

Senju Service Manager 2024.0.1



リリースノート -ReleaseNotes-

株式会社野村総合研究所

Nomura Research Institute, Ltd.

- 本書は、Senju Service Manager システムバージョン毎の主な新機能、不具合対応、前バージョンからの変更点、稼働環境の情報をまとめたものです。
- 本書は、Senju Service Manager システムをインストールまたは利用する前に一読して下さい。なお、万一ご不明な点や記載誤り・漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までお知らせ下さい。
- 本書に記載した内容は予告無く変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断でコピーすることは法律で禁止されています。
- Senju Operation Conductor、Senju DevOperation Conductor、EX 千手/EXSENJU、千手/SENJU および e-千手/e-SENJU は、株式会社野村総合研究所の登録商標です。
Adobe 及び Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。
Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。
ORACLE は、米国 Oracle Corporation の登録商標です。
Oracle Developer/2000 は、米 Oracle Corporation の登録商標です。
Oracle Applications は、オラクル社の商標です。
PostgreSQL は、PostgreSQL の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
iPhone は Apple Inc.の登録商標です。
Mattermost は、Mattermost, Inc. の登録商標です。
Redmine は、Jan Schulz-Hofen 及び Jean-Philippe Lang の商標または登録商標です。
JIRA は、Atlassian Pty Ltd. の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。
その他のすべての会社名や製品名は、それぞれの会社の商標、登録商標または、サービスマークです。
- 本書では、便宜上 Microsoft 社の Windows ファミリーを Windows と表記しています。
また、特に断りが無い場合、Windows NT とは”Windows NT Workstation”, ”Windows NT Server”を、Windows 2000 とは”Windows 2000 Professional”, ”Windows 2000 Server”, ”Windows 2000 Advanced Server”を、Windows XP とは”Windows XP Professional”を、Windows Server 2003 とは”Windows Server 2003 Standard Edition”, ”Windows Server 2003 Enterprise Edition”を、Windows Vista とは”Windows Vista Ultimate”, ”Windows Vista Business”を、Windows 7 とは”Windows 7 Ultimate”, ”Windows 7 Professional”を、Windows 8.1 とは”Windows 8.1 Pro”を、Windows 10 とは”Windows 10 Pro”を、Windows Server 2008 とは”Windows Server 2008 Standard Edition”, ”Windows Server 2008 Enterprise Edition”を、Windows Server 2012 とは”Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition”を、Windows Server 2016 とは”Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition”を、Windows Server 2019 とは”Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition”, ”Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition”を、Windows Server 2022 とは”Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition”, ”Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition”, ”Microsoft Windows Server 2022 Datacenter: Azure Edition”を指します。
- 本書では、便宜上、Senju Service Manager を SSM、Senju Operation Conductor を SOC、Senju Enterprise Navigator を SEN と表記している箇所があります。また、Senju DevOperation Conductor と Senju Operation Conductor を合わせて Senju Operation Conductor と表記しています。

発行日 2024 年 7 月 23 日

第 1.0.1 版

著作、編集、発行
お問合せ先

株式会社野村総合研究所

マルチクラウドインテグレーション事業本部

クラウド運用ソリューション事業部

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-1 横浜野村ビル

Copyright © Nomura Research Institute, Ltd.

TEL : 0120-736-580

E-mail : senjuinfo@nri.co.jp

URL : <http://senjufamily.nri.co.jp/>

本マニュアルの一部又は全部を無断で複製する事を禁じます。

Senju Service Manager 2024.0.1	1-1
1 Senju Service Manager の機能	1-5
1.1 バージョン 2024 マニュアル構成	1-5
1.1.1 マニュアル構成	1-5
1.2 バージョン 2024.0.1 の主な機能	1-6
1.2.1 主な新機能	1-6
1.2.2 不具合の対応	1-20
1.2.3 前バージョンからの変更点	1-24
1.2.4 既知障害	1-25
1.3 バージョン 2024.0.0 の主な機能	1-26
1.3.1 主な新機能	1-26
1.3.2 不具合の対応	1-30
1.3.3 前バージョンからの変更点	1-30
1.3.4 稼働環境の変更点	1-30
1.4 バージョン 2023.0.5 の主な機能	1-32
1.4.1 主な新機能	1-32
1.4.2 不具合の対応	1-39
1.4.3 前バージョンからの変更点	1-42
1.4.4 稼働環境の変更点	1-42
1.5 バージョン 2023.0.4 の主な機能	1-43
1.5.1 主な新機能	1-43
1.5.2 不具合の対応	1-51
1.5.3 前バージョンからの変更点	1-53
1.5.4 稼働環境の変更点	1-54
1.6 バージョン 2023.0.3 の主な機能	1-55
1.6.1 主な新機能	1-55
1.6.2 不具合の対応	1-57
1.6.3 前バージョンからの変更点	1-59
1.6.4 稼働環境の変更点	1-59
1.7 バージョン 2023.0.2 の主な新機能	1-60
1.7.1 不具合の対応	1-60
1.7.2 前のバージョンからの変更	1-60
1.7.3 稼働環境の変更点	1-60
1.8 バージョン 2023.0.1 の主な新機能	1-61
1.8.1 主な新機能	1-61
1.8.2 不具合の対応	1-72
1.8.3 前バージョンからの変更点	1-75
1.9 バージョン 2023.0.0 の主な新機能	1-77
1.9.1 主な新機能	1-77
1.9.2 不具合の対応	1-79
1.9.3 前バージョンからの変更点	1-79
1.9.4 稼働環境の変更点	1-80
1.10 バージョン 2022.0.3 の主な新機能	1-82
1.10.1 主な新機能	1-82
1.10.2 不具合の対応	1-82
1.10.3 前バージョンからの変更点	1-85

1.10.4 既知障害	1-85
1.11 バージョン 2022.0.2 の主な新機能	1-86
1.11.1 主な新機能	1-86
1.11.2 不具合の対応	1-87
1.11.3 前バージョンからの変更点	1-88
1.11.4 既知障害	1-88
1.12 バージョン 2022.0.1 の主な新機能	1-89
1.12.1 主な新機能	1-89
1.12.2 不具合の対応	1-92
1.12.3 前バージョンからの変更点	1-94
1.12.4 既知障害	1-95
1.13 バージョン 2022.0.0 の主な新機能	1-96
1.13.1 主な新機能	1-96
1.13.2 不具合の対応	1-96
1.13.3 前バージョンからの変更点	1-99
1.13.4 稼働環境の変更点	1-99
1.13.5 既知障害	1-100
1.14 バージョン 2021.0.0 の主な新機能	1-101
1.14.1 主な新機能	1-101
1.14.2 不具合対応	1-112
1.14.3 前バージョンからの変更点	1-117
1.14.4 稼働環境の変更点	1-117
1.15 バージョン 2020.0.0 の主な新機能	1-119
1.15.1 主な新機能	1-119
1.15.2 不具合対応	1-125
1.15.3 前バージョンからの変更点	1-127
1.15.4 稼働環境の変更点	1-128
1.16 バージョン 2018.0.0 の主な新機能	1-129
1.16.1 主な新機能	1-129
1.16.2 不具合対応	1-133
1.16.3 稼働環境の変更点	1-134
1.17 バージョン 2016.0.0 の主な新機能	1-135
1.17.1 主な新機能	1-135
1.17.2 不具合対応	1-159
1.17.3 前バージョンからの変更点	1-171
1.17.4 稼働環境の変更点	1-197
1.17.5 レイアウトの変更点	1-198
1.18 バージョン 2014.0.0 の主な新機能	1-204
1.18.1 主な新機能	1-204
1.18.2 不具合対応	1-209
1.18.3 前バージョンからの変更点	1-220
1.18.4 稼働環境の変更点	1-228
1.19 バージョン 2013.0.0 の主な新機能	1-230
1.19.1 主な新機能	1-230
1.19.2 不具合対応	1-235
1.19.3 前バージョンからの変更点	1-235
1.20 バージョン 12.0.1 の主な新機能	1-246

1.20.1	主な新機能	1-246
1.20.2	セキュリティ機能強化	1-249
1.20.3	不具合対応	1-249
1.20.4	前バージョンからの変更点	1-250
1.21	バージョン 12.0.0 の主な新機能	1-251
1.21.1	主な新機能	1-251
1.21.2	セキュリティ機能強化	1-255
1.21.3	不具合対応	1-255
1.21.4	前バージョンからの変更点	1-255
1.22	バージョン 11.0.1 の主な新機能	1-256
1.22.1	主な新機能	1-256
1.22.2	セキュリティ機能強化	1-259
1.22.3	不具合対応	1-259
1.23	バージョン 11.0.0 の主な新機能	1-261
1.23.1	主な新機能	1-261
1.23.2	セキュリティ機能強化	1-263
1.23.3	不具合対応	1-264
1.23.4	前バージョンからの変更点	1-264
1.24	バージョン 10.0.1 の主な新機能	1-265
1.24.1	主な新機能	1-265
1.24.2	セキュリティ機能強化	1-269
1.24.3	不具合対応	1-270
1.25	バージョン 10.0.0 の主な新機能	1-271
1.25.1	主な新機能	1-271
1.25.2	不具合対応	1-275
1.26	バージョン 3.0.1 の主な新機能	1-276
1.26.1	主な新機能	1-276
1.26.2	不具合対応	1-278
1.27	バージョン 3.0.0 の主な新機能	1-279
1.27.1	主な新機能	1-279
1.27.2	不具合対応	1-282
1.28	バージョン 2.1.1 の主な新機能	1-283
1.28.1	主な新機能	1-283
1.28.2	不具合対応	1-284
1.29	バージョン 2.1.0 の主な新機能	1-285
1.29.1	主な新機能	1-285
1.29.2	セキュリティ機能強化	1-289
1.29.3	不具合対応	1-290
1.30	バージョン 2.0.0 の主な新機能	1-291
1.30.1	主な新機能	1-291
1.30.2	セキュリティ機能強化	1-291
1.30.3	不具合対応	1-292
1.31	バージョン 1.1.0 の主な新機能	1-293
1.31.1	主な新機能	1-293
1.32	バージョン 1.0.0 の主な新機能	1-294
1.32.1	インシデント管理	1-294
1.32.2	問題管理	1-294

1.32.3 変更管理	1-295
1.32.4 外部連携	1-296
2 稼働環境	2-1
2.1 サーバー環境	2-1
2.1.1 Microsoft Windows Server 2022 環境	2-1
1. Oracle	2-1
2. PostgreSQL	2-2
2.1.2 Microsoft Windows Server 2019 環境	2-3
1. Oracle	2-3
2. PostgreSQL	2-4
2.1.3 Microsoft Windows Server 2016 環境	2-5
1. Oracle	2-5
2. PostgreSQL	2-6
2.1.4 Oracle Linux 7 環境	2-7
2.1.5 Red Hat Enterprise Linux 7 環境	2-7
2.1.6 Oracle Linux 8 環境	2-8
2.1.7 Red Hat Enterprise Linux 8 環境	2-8
2.1.8 Amazon RDS for Oracle 環境	2-8
2.1.9 Amazon RDS for PostgreSQL 環境	2-9
2.2 クライアント環境	2-10
2.2.1 Microsoft Windows 11 環境	2-10
2.2.2 Microsoft Windows 10 環境	2-10
2.2.3 スマートフォンクライアント環境	2-10
2.3 その他環境	2-11
2.3.1 Senju Service Automation 連携	2-11
2.3.2 イベント連携	2-11
2.3.3 Active Directory 連携	2-11
2.3.4 OpenLDAP 連携	2-11
2.3.5 CTI 連携	2-11
2.3.6 Senju Enterprise Navigator ESP 連携	2-12
2.3.7 Elasticsearch 連携	2-12
2.3.8 API 連携	2-13
2.4 通信ポート	2-15
2.5 特記事項	2-17
3 制限事項	3-1
3.1 Senju Service Manager システム	3-1
3.2 Amazon RDS for Oracle Database のご利用における制限	3-1
3.3 Amazon RDS for Postgres Database のご利用における制限	3-1
4 注意事項	4-1
4.1 SSM DB サーバー/SSM WEB サーバー	4-1

1 Senju Service Manager の機能

Senju Service Manager システムバージョン 2013.0.0 より、それ以前のバージョンから基本機能の大幅な拡張が行われています。

画面の表示や動作に影響がありますので、2013.0.0 より前のバージョンから、引き続き Senju Service Manager を使用される場合、インストールガイド「1.9 バージョンアップ」を実施する前に、あらかじめリリースノート「1.18 バージョン 2013. 0. 0 の主な新機能」をご確認ください。

1.1 バージョン2024マニュアル構成

1.1.1 マニュアル構成

マニュアル名称	
ユーザズガイド (UsersGuide)	01. SenjuServiceManager システム導入にあたって
	02. 運用ガイド
	03. 操作ガイド
	04. 管理ガイド
インストールガイド(InstallGuide)	
リリースノート(ReleaseNotes)	
外部ツール連携ガイド(ExternalToolsCollaborationGuide)	
コマンドリファレンス(CommandGuide)	
項目一覧(ItemGuide)	
公開ビュー(PublicViewGuide)	
資料集(ReferenceGuide)	
Elasticsearch 連携機能ガイド(ElasticsearchCollaborationGuide)	
API 連携機能ガイド(APICollaborationGuide)	
HTML メール連携ガイド(HtmlEmailLinkageGuide)	

1.2 バージョン2024.0.1の主な機能

1.2.1 主な新機能

No	内容								
1.	<p>SenjuSM と ESP サーバーとの HTTPS 通信対応を行いました。</p> <p>制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。</p> <p>[a].制御情報に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・管理者メニュー ＞ 制御情報 <p>メニュー区分：共通</p> <p>制御グループ：共通</p> <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>設定値</th></tr><tr><td>ESP サーバーの接続形態</td><td>ESP サーバーの接続形態を定義します。</td><td>HTTP</td><td>HTTP HTTPS</td></tr></table>	管理項目名	説明	初期値	設定値	ESP サーバーの接続形態	ESP サーバーの接続形態を定義します。	HTTP	HTTP HTTPS
管理項目名	説明	初期値	設定値						
ESP サーバーの接続形態	ESP サーバーの接続形態を定義します。	HTTP	HTTP HTTPS						
2.	<p>メール送信時の SMTP の接続形態に STARTTLS を追加しました。</p> <p>制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。</p> <p>[a].制御情報に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・管理者メニュー ＞ 制御情報 <p>メニュー区分：共通</p> <p>制御グループ：共通</p> <table><tr><th>管理項目名</th><th>設定値</th></tr><tr><td>メール送信時の接続形態</td><td>SMTP(STARTTLS)+SMTP 認証を使用しない SMTP(STARTTLS)+SMTP 認証を使用する</td></tr></table> <p>※制限事項は以下となります。</p> <p>プロセス承認 WEBAPI やコマンド送信メール、イベント連携送信メールを利用されている場合は上記の設定は利用できません。</p> <p>以下の設定は従来通り利用可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none">・SMTP+SMTP 認証を使用しない・SMTP+SMTP 認証を使用する・SMTPs+SMTP 認証を使用しない・SMTPs+SMTP 認証を使用する <p>[b].下記画面操作からのメール送信において、SMTP の接続形態に STARTTLS を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・メール送信画面からの手動メール送信	管理項目名	設定値	メール送信時の接続形態	SMTP(STARTTLS)+SMTP 認証を使用しない SMTP(STARTTLS)+SMTP 認証を使用する				
管理項目名	設定値								
メール送信時の接続形態	SMTP(STARTTLS)+SMTP 認証を使用しない SMTP(STARTTLS)+SMTP 認証を使用する								

	<div>・エスカレーション、承認等の操作に伴う自動メール送信</div> <div>[c].下記コマンドのメール送信機能において、SMTP の接続形態に STARTTLS を追加しました。</div> <div>・イベント連携デーモン</div> <div>・申請状況通知コマンド</div> <div>・自動メール通知コマンド</div>								
3.	<div>SMTP 認証時の認証方式に「暗号化されたパスワード認証」を追加しました。</div> <div>制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。</div> <div>[a].制御情報に以下の項目を追加しました。</div> <div>・管理者メニュー ＞ 制御情報</div> <div>メニュー区分： 共通</div> <div>制御グループ： 共通</div> <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>設定値</th></tr><tr><td>SMTP 認証時の認証方式</td><td>SMTP 認証時の認証方式を定義します。</td><td>平文のパスワード認証</td><td>平文のパスワード認証 暗号化されたパスワード認証</td></tr></table>	管理項目名	説明	初期値	設定値	SMTP 認証時の認証方式	SMTP 認証時の認証方式を定義します。	平文のパスワード認証	平文のパスワード認証 暗号化されたパスワード認証
管理項目名	説明	初期値	設定値						
SMTP 認証時の認証方式	SMTP 認証時の認証方式を定義します。	平文のパスワード認証	平文のパスワード認証 暗号化されたパスワード認証						
4.	<div>背景色・ブロックヘッダーなどの色彩パターンを変更する機能を追加しました。</div> <div>制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。</div> <div>[a].制御情報に以下の項目を追加しました。</div> <div>・管理者メニュー ＞ 制御情報</div> <div>メニュー区分： 共通</div> <div>制御グループ： 共通</div> <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>設定値</th></tr><tr><td>テーマカラー設定</td><td>画面のテーマ色を変更します。 背景色・ブロックヘッダーなどの色が変更されます。</td><td>青</td><td>青 赤 橙 青緑 緑 紫 黒</td></tr></table>	管理項目名	説明	初期値	設定値	テーマカラー設定	画面のテーマ色を変更します。 背景色・ブロックヘッダーなどの色が変更されます。	青	青 赤 橙 青緑 緑 紫 黒
管理項目名	説明	初期値	設定値						
テーマカラー設定	画面のテーマ色を変更します。 背景色・ブロックヘッダーなどの色が変更されます。	青	青 赤 橙 青緑 緑 紫 黒						
5.	<div>画面上のフォントを変更する機能を追加しました。</div> <div>制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。</div> <div>[a].制御情報に以下の項目を追加しました。</div> <div>・管理者メニュー ＞ 制御情報</div> <div>メニュー区分： 共通</div>								

	制御グループ：共通			
	管理項目名	説明	初期値	設定値
	フォント設定	画面上のフォントを設定します。	Noto Sans JP	Noto Sans JP 游ゴシック MS ゴシック
6.	WEBHOOK 連携のタイムアウト時間を変更する機能を追加しました。 制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。 [a].制御情報に以下の項目を追加しました。 ・管理者メニュー＞制御情報 メニュー区分：共通 制御グループ：共通			
	管理項目名	説明	初期値	設定値
	WEBHOOK 連携 タイムアウト時間 (ミリ秒)	WEBHOOK 連携のタイムアウト 時間をミリ秒で設定します。	10000	3000 ～ 600000
7.	ユーザー管理および要員管理の電話番号項目について、バリデーションチェックを行う機能を追加しました。 制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。 [a].制御情報に以下の項目を追加しました。 ・管理者メニュー＞制御情報 メニュー区分：利用者メニュー 制御グループ：要員管理			
	管理項目名	説明	初期値	設定値
	電話番号 チェック設定	ユーザー管理および要員管理の 下記項目について、バリデーシ ョンチェックを行うかどうかを定義 します。 ・内線番号 ・電話番号 1 ・電話番号 2 ・FAX 番号 ・携帯電話番号 「チェックする」を指定した場合 半角数字・半角ハイフン以外の 文字が含まれていると入力エラ ーとなります。	チェックしない	チェックしない チェックする
	※このチェックは画面からの登録、DB コンフィグレータからの登録 データ登録コマンドによる登録、イベント連携デーモンによる登録で行われます。			
8.	エスカレーション対象を指定する際に、エンドユーザーを対象に含めない機能を追加しまし た。 制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。			

[a].制御情報に以下の項目を追加しました。

・管理者メニュー > 制御情報

メニュー区分：利用者メニュー

制御グループ：プロセス管理

管理項目名	説明	初期値	設定値
エンドユーザーへのエスカレーション実施	エスカレーション対象を設定する際に、エンドユーザーを対象に含めることを許可するかどうかを定義します。	許可する	許可しない 許可する

9.

プロセス管理の一覧表示でデータ内容によって行背景色を変更する機能を追加しました。

設定した項目の文字色に依存した行背景色が設定されます。

制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。

[a].制御情報に以下の項目を追加しました。

・管理者メニュー > 制御情報

メニュー区分：利用者メニュー

制御グループ：プロセス管理 管理項目名	説明	初期値	設定値
プロセス一覧の行背景色変更判定項目の設定	プロセス一覧の行背景色変更の判定項目を設定します。 背景色は設定した項目の文字色に依存します。	設定しない	設定しない ステータス サブステータス 種別 インパクト 緊急度 優先度 コンボボックス 1 ... コンボボックス 40 クローズ種別

10.

プロセス情報取得 WEBAPI のレスポンスに現在承認者情報項目を追加しました。

11.

構成管理の一覧画面で「エクスポート」ボタンを追加しました。

このボタンをクリックすると、データ登録コマンドでインポート可能なフォーマットで検索結果をファイルを出力します。

制御情報の以下の設定により、「エクスポート」ボタンの表示/非表示を選択することが可能です。

・管理者メニュー > 制御情報

メニュー区分：利用者メニュー

制御グループ：構成管理

管理項目名	説明	初期値	設定値
構成アイテム一覧画面のエクスポートボタン表示制御設定	構成アイテム一覧画面に[エクスポート]ボタンを表示させるかを定義します。	利用しない	利用しない 利用する

制御情報の以下の設定により、マッピングアイテムファイルとして利用可能なヘッダ情報を出力するかを選択することが可能です。

・管理者メニュー > 制御情報

メニュー区分：利用者メニュー

制御グループ：構成管理

管理項目名	説明	初期値	設定値
エクスポートヘッダー出力設定	構成アイテム一覧画面でエクスポートを行う場合、エクスポートファイルにヘッダーを出力するかを定義します。	利用しない	利用しない 利用する

【エクスポート機能制限事項】

1.データ登録コマンド用マッピングルールファイル(MappingRule.xml)にある

以下定義の文字列が出力データ内容に含まれると、登録後のデータ不正や

登録失敗を招く可能性があるため、構成管理画面上のデータに使用しないようにするかエクスポート後別の文字列に変更してください。

- ・dataLinFeed
- ・linFeed
- ・multiDelimiter
- ・multiDelimiter2

2.構成管理画面上のデータに存在する半角カンマと半角ダブルクォーテーションは実行時の設定によってはデータ登録コマンドで区切り文字として扱われる可能性があるため、エクスポート時、全角カンマと全角ダブルクォーテーションに変換されます。

3.エクスポート時、各項目値の区切り文字は半角カンマで固定となります。

データ登録コマンド用マッピングルールファイル(MappingRule.xml)で

以下定義を「Comma」にしてください。

- ・delimiter

4.構成管理画面上のデータに存在する改行は、エクスポート時に改行文字列に

	<p>変換されるので、データ登録コマンド用マッピングルールファイル(MappingRule.xml)の以下定義文字列に変換してください。</p> <p>・dataLinFeed</p> <p>MappingRule.xml のサンプルファイルは以下に格納されています。</p> <p>%CCFSPDBHOME%dat¥spu¥importdata¥sample</p> <p>※%CCFSPDBHOME%は SSMDB のインストール先を表しています。</p>								
12.	プロセス登録 WEBAPI のレスポンスに経過 ID を追加しました。								
13.	<p>プロセス管理項目に複数の日付を選択できる項目を追加しました。</p> <p>・選択日付 1</p> <p><制限事項></p> <ul style="list-style-type: none">・以下の機能においては、「選択日付 1」項目を利用することができません。・SLAM チャート抽出条件・SLAM チャート詳細帳票・チェックリスト条件・Webhook 連携項目・プロセス登録 WEBAPI・プロセス更新 WEBAPI・プロセス情報取得 WEBAPI・複数のプロセス情報取得 WEBAPI <p>[a].公開ビューに公開選択日付ビュー(PVIEW_01_1201、PVIEW_01_1201_0001～PVIEW_01_1201_0103)を追加しました。</p> <table><tr><th>物理名</th><th>項目名</th></tr><tr><td>COL_99990001</td><td>プロセス登録番号</td></tr><tr><td>COL_00000001</td><td>選択日付種別(1:選択日付 1)</td></tr><tr><td>COL_06010001</td><td>日付</td></tr></table>	物理名	項目名	COL_99990001	プロセス登録番号	COL_00000001	選択日付種別(1:選択日付 1)	COL_06010001	日付
物理名	項目名								
COL_99990001	プロセス登録番号								
COL_00000001	選択日付種別(1:選択日付 1)								
COL_06010001	日付								
14.	<p>承認フローにおいて、申請者と承認者が同一の場合に承認できないように制御する機能を追加しました。下記の制御情報にて設定可能です。</p> <p>・管理者メニュー > 制御情報</p> <p>メニュー区分：利用者メニュー</p> <p>制御グループ：プロセス管理、ナレッジ</p> <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>設定値</th></tr><tr><td>申請者の承認許可設定</td><td>自身が申請者となっているレコードで自身が承認者でもある場合に承認操作を</td><td>許可する</td><td>許可しない 許可する</td></tr></table>	管理項目名	説明	初期値	設定値	申請者の承認許可設定	自身が申請者となっているレコードで自身が承認者でもある場合に承認操作を	許可する	許可しない 許可する
管理項目名	説明	初期値	設定値						
申請者の承認許可設定	自身が申請者となっているレコードで自身が承認者でもある場合に承認操作を	許可する	許可しない 許可する						

	許可するかどうかを定義します。 許可しない場合は承認フロールートが決定したタイミングで申請者が承認者から除外されます。 ただし、申請ルート選択画面で選択した承認フロールートもしくは承認画面で選択したサブルートの中で、 下記に当てはまるルートについては、設定にかかわらず申請者の承認操作が許可され、承認者から除外されません。 ＜申請ルート選択画面＞ ・[No]が 1 のルート ・[No]が 2 以降のルート かつ [承認者]が“申請者”の場合 ＜承認画面(サブルート選択)＞ ・[承認者]が“申請者”の場合											
15.	プロセス管理画面および簡易プロセス画面の既存項目を拡張し以下の項目を追加しました。 利用できる機能は既存項目と同様です。 ・API 連携用テキスト 6～10 [a].以下の公開ビューに「API 連携用テキスト 6～10」を追加しました。 <table><tr><th>公開ビュー</th><th>ビュー名</th></tr><tr><td>PVIEW_01_0901</td><td>公開ラージテキストビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_0901_0001 ～ PVIEW_01_0901_0103</td><td>公開ラージテキストビュー (プロセス 1 ～ 103)</td></tr></table>				公開ビュー	ビュー名	PVIEW_01_0901	公開ラージテキストビュー	PVIEW_01_0901_0001 ～ PVIEW_01_0901_0103	公開ラージテキストビュー (プロセス 1 ～ 103)		
公開ビュー	ビュー名											
PVIEW_01_0901	公開ラージテキストビュー											
PVIEW_01_0901_0001 ～ PVIEW_01_0901_0103	公開ラージテキストビュー (プロセス 1 ～ 103)											
16.	以下の公開ビューに「フォーム公開フラグ」「起票種別」を追加しました。 <table><tr><th>公開ビュー</th><th>ビュー名</th></tr><tr><td>L_PVIEW_01_0101</td><td>ラベル公開プロセスビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_0101</td><td>公開プロセスビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_0101_0001 ～ PVIEW_01_0101_0103</td><td>公開プロセスビュー (プロセス 1 ～ 103)</td></tr></table>				公開ビュー	ビュー名	L_PVIEW_01_0101	ラベル公開プロセスビュー	PVIEW_01_0101	公開プロセスビュー	PVIEW_01_0101_0001 ～ PVIEW_01_0101_0103	公開プロセスビュー (プロセス 1 ～ 103)
公開ビュー	ビュー名											
L_PVIEW_01_0101	ラベル公開プロセスビュー											
PVIEW_01_0101	公開プロセスビュー											
PVIEW_01_0101_0001 ～ PVIEW_01_0101_0103	公開プロセスビュー (プロセス 1 ～ 103)											
17.	プロセス管理の一括承認機能で承認処理および承認前後の Webhook 処理を非同期で実行する機能を追加しました。下記の制御情報にて設定可能です。 ・管理者メニュー ＞ 制御情報 メニュー区分：利用者メニュー 制御グループ：プロセス管理 <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>設定値</th></tr><tr><td>一括承認処理の実行方式</td><td>一括承認処理の実行方式を設定します。 -同期実行 すべての承認処理の終了を待って実行結果を表示します。 Webhook は実行されません。 -非同期実行 承認処理の終了を待たずに実行結果一覧を表示します。 承認処理の実行結果は実行結果一覧から確認できます。</td><td>同期実行</td><td>同期実行 非同期実行</td></tr></table>				管理項目名	説明	初期値	設定値	一括承認処理の実行方式	一括承認処理の実行方式を設定します。 -同期実行 すべての承認処理の終了を待って実行結果を表示します。 Webhook は実行されません。 -非同期実行 承認処理の終了を待たずに実行結果一覧を表示します。 承認処理の実行結果は実行結果一覧から確認できます。	同期実行	同期実行 非同期実行
管理項目名	説明	初期値	設定値									
一括承認処理の実行方式	一括承認処理の実行方式を設定します。 -同期実行 すべての承認処理の終了を待って実行結果を表示します。 Webhook は実行されません。 -非同期実行 承認処理の終了を待たずに実行結果一覧を表示します。 承認処理の実行結果は実行結果一覧から確認できます。	同期実行	同期実行 非同期実行									

Webhook が設定されている場合には実行されます。

また、非同期実行をおこなう場合以下の設定が追加で必要となります。

SSM DB サーバーコンフィグレータを起動し「拡張設定」>「常駐機能」画面から「一括処理実行機能(Web 画面)で非同期実行を使用する」チェックボックスをオンに変更してください。

- ・「一括処理実行機能(Web 画面)で非同期実行を使用する」チェックボックスがオンの場合には、サービス(CCFSP Process Manager)で一括処理実行が定期的に動作します。

WEB 画面から非同期実行で一括承認が依頼されたときに、非同期で一括承認が実行されます。なお、同期実行も問題なく動作します。

- ・「一括処理実行機能(Web 画面)で非同期実行を使用する」チェックボックスがオフの場合には、サービス(CCFSP Process Manager)で一括処理実行は動作しません。(従来動作)

WEB 画面から非同期実行で一括承認が依頼されても一括承認は実行されません。

なお、同期実行は問題なく動作します。

[a].上記制御情報で「非同期実行」を設定した場合の、一括処理結果一覧画面 1 ページ表示件数が設定可能です。下記の制御情報にて設定可能です。

・管理者メニュー > 制御情報

メニュー区分：利用者メニュー

制御グループ：プロセス管理

管理項目名	説明	初期値	最小値	最大値
一括処理結果一覧 1 ページ表示件数(件)	一括処理結果一覧の 1 ページに表示する最大件数を定義します。	10	1	100

[b].SSM DB サーバーコンフィグレータにおいて、「拡張設定」>「常駐機能」>「一括処理実行機能(Web 画面)で非同期実行を使用する」

チェックボックスの配下にある「DB との接続状態を保持する」チェックボックスにて DB 接続状態を維持するか設定可能です。

・「DB との接続状態を保持する」チェックボックスがオンの場合は、データベースとの接続状態を維持した状態になります。

・「DB との接続状態を保持する」チェックボックスがオフの場合は、データベースとの接続状態を維持せず、データベース操作時に毎回接続します。

<制限事項>

- 1) この機能を利用する場合には、WEB サーバーのレイアウト定義フォルダを DB サーバーに手動でコピーしてください。

	<p>DB サーバーには「¥design¥Process」フォルダが存在しないため 空のフォルダを作成してから作業してください。</p> <p>コピー元)%CCFSPWEBHOME%¥dat¥spb¥design¥Process コピー先)%CCFSPDBHOME%¥dat¥spb¥design¥Process</p> <p>2) この機能を利用する場合には、WEB サーバーの制御情報ファイルを DB サーバーに手動でコピーしてください。</p> <p>対象ファイル: sjSPB_WEBSPCtlMst.xml コピー元)%CCFSPWEBHOME%¥dat¥spb コピー先)%CCFSPDBHOME%¥dat¥spb</p> <p>3) サービス(CCFSP Process Manager)の再起動を実施した場合 承認処理の実行も停止されますのでご注意ください。</p> <p>その場合、一括処理実行結果画面では実行の進捗状況が確認できませんのでログファイル を参照して確認を行うか、該当データのプロセス詳細画面より申請状況を確認してください。</p> <p>4) SSM DB サーバーと SSM WEB サーバーを分離構成で構成している環境において Webhook のレスポンス受信アクションに「プロセス更新」を設定して非同期実行で一括承認 を実行した場合、一括処理実行結果画面の実行結果詳細に「データの更新に失敗し ました」が表示され、プロセス更新処理が失敗します。</p> <p>※レスポンス受信アクションの「プロセス更新」以外の処理は正常に動作します。</p> <p>5) 非同期実行での一括承認では、制御情報「承認完了時プロセス自動クローズ設定」が 「自動クローズにする」が設定されていてもプロセスレコードの自動クローズは実行され ません。</p>
18.	<p>プロセス管理画面でアクションの WebhookAPI 実行 1～10 のボタン表示を 申請状況および承認フロータイトルの値によって表示制御する機能を追加しました。 下記の画面で設定可能です。</p> <p>・管理者メニュー > 機能別 > Webhook 連携 > Webhook 送信設定</p> <p>[表示条件]: [トリガーアクション]が“WebhookAPI 実行 1”～“WebhookAPI 実行 10” の場合に表示します。選択肢は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に表示 ※初期値 ・申請前 ・フロータイトル

	<div>・承認済</div> <div>[設定値]:[表示条件]が“フロータイトル”の場合に表示します。</div> <div>選択肢はフロータイトルとなります。</div>								
19.	<div>プロセスの経過を更新する WEBAPI を追加しました。</div> <div>・プロセス経過更新 WEBAPI</div>								
20.	<div>以下の WEBAPI の対象項目に表項目を追加しました。</div> <div>・プロセス登録 WEBAPI</div> <div>・プロセス更新 WEBAPI</div> <div>・プロセス情報取得 WEBAPI</div> <div>・複数のプロセス情報取得 WEBAPI</div>								
21.	<div>表項目の項目説明を画面操作中に自動で表示する機能の対象項目を追加しました。</div> <div>下記の制御情報にて設定可能です。</div> <div><div>・管理者メニュー ＞ 制御情報</div><div>メニュー区分：利用者メニュー</div><div>制御グループ：プロセス管理</div></div> <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>選択値</th></tr><tr><td>項目値にフォーカス時の項目説明表示設定</td><td>プロセス・簡易プロセス画面で項目値の入力フィールドにフォーカスした時に項目説明を表示するかどうかを定義します。</td><td>項目説明を表示しない</td><td>項目説明を表示しない 項目説明を表示する</td></tr></table> <div><div>[a].表項目の各項目の詳細設定時に新たに入力例が設定可能になりました。</div><div>以下の画面から設定します。</div><div>・管理者メニュー ＞ 画面 ＞ レイアウト定義 ＞ サービスデスク画面レイアウト一覧</div><div>＞ 詳細レイアウト(表項目)</div></div> <div><div>[b].上記制御情報に「項目説明を表示する」を設定した場合</div><div>以下の画面においてこの機能が動作します。</div><div>・プロセス管理、簡易プロセス新規登録画面</div><div>・プロセス管理、簡易プロセス編集画面</div><div>・プロセス管理、簡易プロセス詳細画面</div></div>	管理項目名	説明	初期値	選択値	項目値にフォーカス時の項目説明表示設定	プロセス・簡易プロセス画面で項目値の入力フィールドにフォーカスした時に項目説明を表示するかどうかを定義します。	項目説明を表示しない	項目説明を表示しない 項目説明を表示する
管理項目名	説明	初期値	選択値						
項目値にフォーカス時の項目説明表示設定	プロセス・簡易プロセス画面で項目値の入力フィールドにフォーカスした時に項目説明を表示するかどうかを定義します。	項目説明を表示しない	項目説明を表示しない 項目説明を表示する						
22.	<div>項目名にマウスオーバー時に項目説明を自動で表示する機能を追加しました。</div> <div>下記の制御情報にて設定可能です。</div> <div><div>・管理者メニュー ＞ 制御情報</div><div>メニュー区分：利用者メニュー</div><div>制御グループ：プロセス管理</div></div>								

	管理項目名	説明	初期値	選択値
	項目値にマウスオーバー時の項目説明表示設定	プロセス・簡易プロセス画面で項目名にマウスオーバーした時に項目説明を表示するかどうかを定義します。	項目説明を表示しない	項目説明を表示しない 項目説明を表示する
	<p>[a].上記制御情報で「項目説明を表示する」を設定した場合、以下の画面においてこの機能が動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス管理、簡易プロセス新規登録画面 ・プロセス管理、簡易プロセス編集画面 ・プロセス管理、簡易プロセス詳細画面 <p>※簡易プロセス画面で項目説明を表示する場合、既存制御情報「簡易プロセスの項目説明のリンク表示設定」が「簡易プロセスの項目説明のリンクを表示する」に設定されている必要があります。</p>			
23.	<p>表項目のヘッダ行の色を変更する機能を追加しました。</p> <p>[a].表項目の各項目の詳細設定時にコンボボックス「ヘッダ行表示色」で表項目の行の色が設定可能になりました。以下の画面から設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー＞画面＞レイアウト定義＞サービスデスク画面レイアウト一覧＞詳細レイアウト(表項目) ・管理者メニュー＞画面＞簡易画面レイアウト定義＞簡易画面レイアウト一覧＞フォームレイアウト(表項目) <p>[b].以下の画面において表項目のヘッダ行の色が設定値で表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス管理、簡易プロセス新規登録画面 ・プロセス管理、簡易プロセス編集画面 ・プロセス管理、簡易プロセス詳細画面 ・ナビゲーション設定新規/編集-プレビュー画面 			
24.	<p>プロセス管理・簡易プロセス画面で表項目のヘッダ行の値の表示位置を変更する機能を追加しました。</p> <p>[a].表項目の各項目の詳細設定時にチェックボックス「項目値表示位置」で表項目値の表示位置を設定可能になりました。以下の画面から設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー＞画面＞レイアウト定義＞サービスデスク画面レイアウト一覧＞詳細レイアウト(表項目) ・管理者メニュー＞画面＞簡易画面レイアウト定義＞簡易画面レイアウト一覧＞フォームレイアウト(表項目) <p>※「左寄せ」、「中央寄せ」、「右寄せ」から選択します。</p>			
25.	<p>テキスト項目にプレースホルダー機能を追加しました。</p>			

	<p>[a].各項目の詳細設定時に、テキスト項目の場合「プレースホルダー」で表示する値が設定可能になりました。以下の画面から設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー＞画面＞レイアウト定義＞サービスデスク画面レイアウト一覧＞詳細レイアウト ・管理者メニュー＞画面＞レイアウト定義＞サービスデスク画面レイアウト一覧＞詳細レイアウト(表項目) <p>[b].以下の画面において項目のプレースホルダー表示が行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス管理、簡易プロセス新規登録画面 ・プロセス管理、簡易プロセス編集画面
26.	<p>サービスデスク画面レイアウトのレイアウト CSV 出力対象に下記項目が追加されました。レイアウト CSV 出力機能に新しい項目が追加されました。</p> <p>[a].サービスデスク画面レイアウトのレイアウト CSV 出力対象に下記項目が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力例(表項目) ・項目値表示位置(表項目) ・ヘッダ行表示色(表項目) ・プレースホルダー <p>[b].簡易画面レイアウトのレイアウト CSV 出力対象に下記項目が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目値表示位置(表項目) ・ヘッダ行表示色(表項目)
27.	<p>プロセス管理、簡易プロセスの新規登録画面および編集画面で登録前および更新前をトリガーとする Webhook 連携処理を実施した時に置換文字列として入力データ(%CMN:INPUT_DATA%)を指定した場合に置換される値について表項目の入力内容が含まれるようになりました。</p>
28.	<p>Senju/SM コマンド実行画面で、データ出力コマンドが実行できるようになりました。実行結果はファイルとして Senju/SM コマンド実行詳細画面の「アウトプットファイル」項目でダウンロードできます。</p>
29.	<p>データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)に「一括処理」モードを追加しました。このモードでは、出力対象レコード情報のファイル出力に加え、出力対象レコードの経過を含む添付ファイル項目のすべての添付ファイルが出力されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※親添付ファイル項目は項目ごとにフォルダを分けて出力されます。 ※経過添付ファイル項目は経過ごと、項目ごとにフォルダを分けて出力されます。 ※Senju/SM コマンド実行画面から実行する場合、出力対象レコード情報のファイルと添付ファイルは zip 圧縮して出力されます。

30.

データ出力コマンド (sjSPU_ExportData_Ex.exe) の検索条件ファイルでフロータイトルを指定できるようになりました、

【追加条件】

フロータイトル,フロータイトル条件

【指定例(単数指定)】

フロータイトル,承認

フロータイトル条件,以外

【指定例(複数指定)】

フロータイトル,承認<tab 区切り>確認

フロータイトル条件,以外

31.

Senju Service Manager iOS 版アプリケーション用の設定を追加しました。

[a].制御情報に以下の項目を追加しました。

・管理者メニュー > 制御情報

メニュー区分：共通

制御グループ：共通

管理項目名	説明	初期値	選択値
ログイン画面のアクセス元制御設定	ログイン画面表示時にアクセス元の判定を行うかどうかを定義します。 -無効 ログイン画面表示時にアクセス元の判定を行わずログイン画面を表示します。 -有効 ログイン画面表示時にアクセス元の判定を行い、特定のアプリケーションもしくは許可された IP アドレスからのアクセスの場合のみログイン画面を表示します。	無効	無効 有効

<制限事項>

1) Senju Service Manager iOS 版アプリケーションを利用しない場合「有効」を選択しないでください。「有効」を選択すると、すべてのユーザーがログインできなくなります。

※Senju Service Manager iOS 版アプリケーションについては千手カスタマーサポートセンターに問い合わせください。

32.

コマンド実行デーモンにおいて、DB 接続状態を維持するオプションを追加しました。

[a].SSM DB サーバーコンフィグレータにおいて、「拡張設定」 > 「常駐機能」
> 「Senju/SM コマンド実行機能(Web 画面)を使用する」
チェックボックスの下に「DB との接続状態を保持する」チェックボックスを追加しました。

[b].コマンド実行デーモンが Senju/SM データベースと接続する際に上記設定に沿って動作するようになります。

	<ul style="list-style-type: none">・「DB との接続状態を保持する」チェックボックスがオンの場合は、データベースとの接続状態を維持した状態になります。・「DB との接続状態を保持する」チェックボックスがオフの場合は、データベースとの接続状態を維持せず、データベース操作時に毎回接続します。(従来動作)
33.	過去データ削除コマンドおよびシステム削除コマンドにおいて、選択日付項目のデータを削除対象に追加しました。

1.2.2 不具合の対応

No	内容
1.	<p>制御情報で以下の設定をしている場合に プロセス管理画面の時刻項目の時刻補完ボタンが改行されてしまう不具合を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「画面余白サイズの設定」を「狭く表示」に設定していて「現在時刻入力機能の使用設定」を「使用する」に設定している場合 ・「画面余白サイズの設定」を「狭く表示」に設定していて「現在日時入力ボタンの表示設定」を「表示する」に設定している場合
2.	<p>プロセス管理のコピー登録時に、コピー元の「対応者」項目に無効ユーザーが含まれている状態でコピー登録すると無効ユーザーもコピーされてしまう不具合を修正しました。</p>
3.	<p>プロセス管理の制御情報「変更履歴保存機能」が「変更履歴を保存しない」に設定されていてレスポンス受信アクションでの履歴情報の更新が実行されてしまう不具合を修正しました。</p>
4.	<p>簡易プロセスおよびプロセス管理画面において、新規登録もしくは更新を行う際に以下の条件を満たす場合、問合せ元 ID 項目に表示されている選択ボタンを押下すると問合せ元選択ダイアログ表示時に警告ダイアログが表示する不具合を修正しました。</p> <p>【条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の間合せ元項目で、「問合せ元 ID 入力制御設定」が「自由入力を許可しない」であること。 ・下記の間合せ元項目で、問合せ元 ID に値がないもしくは問合せ元 ID およびシステムと紐づく問合せ元マスタレコードが存在しないこと。 <p>【問合せ元項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問合せ元 1 ・問合せ元 2 ・表項目 1 問合せ元 ・表項目 2 問合せ元 ・表項目 3 問合せ元 ・表項目 4 問合せ元 ・表項目 5 問合せ元 <p>【問合せ元 ID 入力制御設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問合せ元 1: 制御情報「編集画面の問合せ元情報入力制御設定」 ・問合せ元 2: 制御情報「編集画面の問合せ元情報 2 入力制御設定」 ・表項目 1 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」 ・表項目 2 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」 ・表項目 3 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」 ・表項目 4 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」 ・表項目 5 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」

5.	<p>簡易プロセスおよびプロセス管理画面において、新規登録もしくは更新を行う際に以下の条件を満たす場合、問合せ元 ID 項目に表示されている選択ボタンを押下しても即座に問合せ元マスタレコードが反映されないように修正しました。</p> <p>【条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の問合せ元項目で、「問合せ元 ID 入力制御設定」が「自由入力を許可しない」であること。 ・下記の問合せ元項目で、問合せ元 ID およびシステムと紐づく問合せ元マスタレコードが一件のみ存在していること。 <p>【問合せ元項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問合せ元 1 ・問合せ元 2 ・表項目 1 問合せ元 ・表項目 2 問合せ元 ・表項目 3 問合せ元 ・表項目 4 問合せ元 ・表項目 5 問合せ元 <p>【問合せ元 ID 入力制御設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問合せ元 1: 制御情報「編集画面の問合せ元情報入力制御設定」 ・問合せ元 2: 制御情報「編集画面の問合せ元情報 2 入力制御設定」 ・表項目 1 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」 ・表項目 2 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」 ・表項目 3 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」 ・表項目 4 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」 ・表項目 5 問合せ元: 制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」
6.	<p>簡易プロセスおよびプロセス管理画面において、新規登録もしくは更新を行う際に、簡易画面レイアウトもしくはサービスデスク画面レイアウトの入力制御において表項目問合せ元の反映対象の項目の表示形式が「参照」の場合、表項目問合せ元情報が画面上は反映されるが、登録または更新ボタンを押下しても反映値が登録更新されない不具合を修正しました。</p> <p>本件については、以下の追加した制御情報の設定値によって、表項目問合せ元情報の反映仕様を、画面上も反映されない動作とするか、反映値が登録更新される動作とするかをプロセス管理画面毎に設定できるように対応しました。</p> <p>【追加した制御情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー > 制御情報 メニュー区分：利用者メニュー

	制御グループ：プロセス管理			
	管理項目名	説明	初期値	設定値
	参照項目への表項目問合せ元情報の反映制御設定	表項目問合せ元反映時、反映先項目が入力制御で参照となっている場合に反映するかどうかを定義します。 -参照項目に反映しない 問合せ元 ID は入力制御の状況に関わらず値が反映されます。 問合せ元 ID 以外の問合せ元関連項目は入力制御が参照になっている場合は反映されません。 -参照項目に反映する すべての問合せ元関連項目は入力制御の状況に関わらず値が反映されます。	参照項目に反映しない	参照項目に反映しない 参照項目に反映する
7.	問合せ元登録/更新 WEBAPI、表項目問合せ元登録/更新 WEBAPI について以下の項目の上限値を画面と同じ 300byte に修正しました。 ・問合せ元 ID ・問合せ元 ID 補助 ・問合せ元テキスト(1～18)			
8.	Senju Service Manager の接続プロトコルに HTTPS を使用する場合、ログイン後の画面遷移時に証明書エラーが発生する可能性がある不具合を修正しました。			
9.	ログインユーザーに所属していない[公開グループ]が選択されている場合、“登録前”、“更新前”をトリガーアクションとした Webhook の送信メッセージで置換文字列[入力データ]内の[公開グループ]の値に所属していない[公開グループ]が含まれてしまう不具合を修正しました。			
10.	データ登録コマンドもしくはイベント連携でイベント管理およびプロセス管理に対して新規登録・更新を行う際に、マッピングアイテムファイルもしくは連携データに表項目が指定されており、表項目の 1 行内の項目の値がすべて空値もしくはスペースが指定されている場合、表項目に空行が登録される動作について修正しました。 本仕様については、以下の追加した制御情報の設定値によって、表項目データの登録仕様を、空行が登録更新されない動作とするか、空行が登録更新される動作とするかをプロセス管理画面毎に設定できるように対応しました。 【追加した制御情報】 ・管理者メニュー ＞ 制御情報 メニュー区分：利用者メニュー 制御グループ：プロセス管理			
	管理項目名	説明	初期値	設定値
	コマンドからプロセス管理の表項目登録設定	コマンドからプロセス管理の登録/更新時、表項目の値が全て空の場合に表項目の空行登録を行う	空行登録しない	空行登録しない 空行登録する

		かどうかを定義します。		
11.	経過にデータが 21 件以上登録されている場合、最新経過 20 件より前の経過の経過内容および経過内容(リッチテキスト)を拡大して表示すると正しい内容が表示されない不具合を修正しました。			
12.	イベント管理詳細画面のレイアウトに問合せ元情報もしくは問合せ元情報 2 の「問合せ元 ID」項目が存在する場合、イベント管理詳細画面を表示することができない不具合を修正しました。			
13.	制御情報の SAML 応答情報の設定で、XPath に対して Senju/SM 2022 以前では正しく動作していた特定の記載方法が動作せず、該当の記載があると SAML 認証を利用してログインができなくなる不具合を修正しました。			
14.	メール送信処理時に出力されるログがローテーションされるタイミングで複数のメール送信処理が呼び出された際に、メール送信が実行されず、WEB サービス全体がハングアップしてしまう不具合を修正しました。			
15.	WEBAPI のログローテーション時にエラーが発生し、ログファイルが出力されない不具合を修正しました。			
16.	プロセス更新 WEBAPI で最終更新者項目に空値を指定した場合にエラーが発生する不具合を修正しました。			
17.	WEBAPI で下記機能に異なる表項目に存在する同名の問合せ元 ID を登録できない不具合を修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・表項目問合せ元の登録 WEBAPI ・表項目問合せ元情報の更新 WEBAPI ・複数の表項目問合せ元情報の更新 WEBAPI 			
18.	コマンド実行デーモンで特定のデータベース構成に対する利用でメモリリークが発生する不具合を修正しました。			
19.	プロセス管理および簡易プロセスの新規登録画面と編集画面において、登録前および更新前をトリガーとする Webhook 連携処理を実施した時に、送信メッセージテンプレート内で置換文字列として入力データ(%CMN:INPUT_DATA%)を使用しており、かつ入力値にダブルクォーテーションを含むテキストが存在すると Webhook 連携に失敗する不具合を修正しました。			
20.	WEBAPI で下記機能の性能を改善しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス登録 WEBAPI ・プロセス更新 WEBAPI ・プロセス情報取得 WEBAPI ・複数のプロセス情報取得 WEBAPI 			
21.	チャットボット機能において、文章で質問を行うと「申し訳ございません、この質問の回答が見つかりませんでした」と回答される不具合を修正しました。			

1.2.3 前バージョンからの変更点

No	内容											
1.	複数のプロセス情報取得 WEBAPI にて、複数のシステムを指定できるように修正しました。											
2.	複数のプロセス情報取得 WEBAPI にて、システム未指定の場合には所属する全システムの 情報取得ができるように修正しました。											
3.	WEBAPI モジュールの配置先が「C:\Program Files\CCFSP」配下に固定されていたため共有 ディスク等に配置できない課題に対して、Senju Service Manager の WEB サーバーのホーム ディレクトリと同じ位置に配置するように仕様を変更しました。											
4.	構成管理の関連機器に登録できる最大件数を、制御情報で設定できるよう修正しました。 下記の制御情報にて設定可能です。 ・管理者メニュー＞制御情報 メニュー区分：共通 制御グループ：共通											
	<table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>設定値</th></tr><tr><td>構成管理一関 連機器登録可 能最大件数(件)</td><td>構成管理の関連機器に関連付け ることが可能な構成管理の最大 件数を定義します。</td><td>1</td><td>最小値:1 最大値:500</td></tr></table>				管理項目名	説明	初期値	設定値	構成管理一関 連機器登録可 能最大件数(件)	構成管理の関連機器に関連付け ることが可能な構成管理の最大 件数を定義します。	1	最小値:1 最大値:500
管理項目名	説明	初期値	設定値									
構成管理一関 連機器登録可 能最大件数(件)	構成管理の関連機器に関連付け ることが可能な構成管理の最大 件数を定義します。	1	最小値:1 最大値:500									
5.	プロセスの関連構成に登録できる最大件数を、制御情報で設定できるよう修正しました。 下記の制御情報にて設定可能です。 ・管理者メニュー＞制御情報 メニュー区分：共通 制御グループ：共通											
	<table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>設定値</th></tr><tr><td>プロセス一関連 構成管理登録 可能最大件数 (件)</td><td>プロセスに関連付けることが可能 な構成管理の最大件数を定義し ます。</td><td>200</td><td>最小値:1 最大値:500</td></tr></table>				管理項目名	説明	初期値	設定値	プロセス一関連 構成管理登録 可能最大件数 (件)	プロセスに関連付けることが可能 な構成管理の最大件数を定義し ます。	200	最小値:1 最大値:500
管理項目名	説明	初期値	設定値									
プロセス一関連 構成管理登録 可能最大件数 (件)	プロセスに関連付けることが可能 な構成管理の最大件数を定義し ます。	200	最小値:1 最大値:500									
	＜制限事項＞ ・設定値を 200 以上に設定した場合、プロセス管理画面の表示性能が低下する可能性があ ります。											
6.	プロセスの各表項目に登録可能な最大件数を 500 件に拡張しました。 下記の制御情報にて設定可能です。 ・管理者メニュー＞制御情報 メニュー区分：利用者メニュー 制御グループ：プロセス管理											

	管理項目名	説明	初期値	設定値
	プロセスの各表項目の登録可能最大件数(件)	プロセスの各表項目に登録可能な最大件数を定義します。	100	最小値: 1 最大値: 500
7.	<p>マスタ登録コマンドで、旧フォーマットのインポートファイル指定で使用する「-s」オプションの動作仕様を変更しました。</p> <p>[a].最新のフォーマットのインポートファイルを使用した時、「-s」を指定しても未指定時と同様の動作をするように変更しました。</p> <p>[b].旧フォーマットのインポートファイルを使用した時、「-s」が未指定の場合、インポートは行わずに旧新フォーマット変換しファイル出力しますが、この際の終了コードを正常終了から警告終了に変更しました。</p>			
8.	チャットボット機能において、検索対象の表記を「プロセス1、プロセス2」から「プロセス」に変更しました。			

1.2.4 既知障害

本パッチには、以下の既知障害がございます。
今後、修正版パッチを配布致しますので、適用するまでは障害が起こる事をご承知ください。

- (1) 経過が 21 件以上存在する場合、経過編集の際にプロセスの経過編集画面で更新またはキャンセルボタンを押下すると最新の経過が表示される事象がございます。

1.3 バージョン2024.0.0の主な機能

1.3.1 主な新機能

No	内容
34.	<p>構成アイテム新規登録・詳細画面に下記ボタンを追加して、構成管理の登録操作を簡略化する機能を追加しました。</p> <p>■「登録+申請起票」ボタン</p> <p>新規登録画面に表示されます。</p> <p>ボタン押下後、以下の処理を自動的にを行い、申請フローを開始することができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・構成管理の新規登録・プロセスのレコードの新規登録・プロセス詳細の表示・申請ルート選択の表示 <p>■「申請起票+承認申請」ボタン</p> <p>詳細画面に表示されます。</p> <p>ボタン押下後、以下の処理を自動的にを行い、申請フローを開始することができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・プロセスのレコードの登録・プロセス詳細の表示・申請ルート選択の表示 <p>■「承認申請」ボタン</p> <p>詳細画面に表示されます。</p> <p>ボタン押下後、以下の処理を自動的にを行い、申請フローを開始することができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・プロセス詳細の表示・申請ルート選択の表示
35.	<p>構成管理に JSON テキスト項目を追加しました。</p> <p>■対象画面</p> <p>以下の画面に JSON テキスト 1～5 を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・構成アイテム新規登録・構成アイテム変更予定・構成アイテム削除予定・構成アイテム編集・構成アイテム詳細(現在)・構成アイテム詳細(最新)・構成アイテム詳細(履歴)

	<ul style="list-style-type: none"> ・構成アイテム一覧:検索条件 ・(構成アイテム)関連検索:検索条件 ・(構成アイテム)関連選択:検索条件 <p>■コマンド</p> <p>以下のコマンドに JSON テキスト 1～5 を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ登録コマンド(構成管理) <p>■公開ビュー</p> <p>以下のビューに JSON テキスト 1～5 を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開構成管理(CI)ビュー ・(画面別)公開構成管理(CI)現在ビュー ・(画面別)公開構成管理(CI)最新ビュー ・(画面別)公開構成管理(CI)履歴ビュー ・公開構成管理(CI)ラベルビュー
36.	<p>構成管理に追加した JSON テキスト項目(JSON テキスト 1～5)を表形式で表示できます。</p> <p>以下の画面に表示形式(JSON 形式⇄表形式)を切り替えるラジオボタンを追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成アイテム新規登録 ※参照項目の場合のみ ・構成アイテム変更予定 ※参照項目の場合のみ ・構成アイテム削除予定 ※参照項目の場合のみ ・構成アイテム編集 ※参照項目の場合のみ ・構成アイテム詳細(現在) ・構成アイテム詳細(最新) ・構成アイテム詳細(履歴)
37.	<p>全文検索機能の検索対象に構成管理を追加しました。</p> <p>全文検索における構成管理の対象項目は以下になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成アイテム名 ・参考 URL ・テキスト 1～4 ・テキストエリア 1～3 ・添付ファイル 1～2 ・JSON テキスト 1～5
38.	<p>構成管理の新規予定、変更予定、削除予定を API で起票または起票、即時反映を実施できるようになりました。</p>
39.	<p>ホーム画面のレイアウトをテンプレートから選択できるようになりました。</p> <p>分割パターン(2 分割/3 分割Ⅰ/3 分割Ⅱ)および左右の比率を変更できます。</p>

	<p>ホーム画面に表示するブロックをパネル化し任意の場所に配置できるようにしました。</p> <p>ホーム画面に表示可能なブロックを追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスメニュー ・SLAM チャート 1～50 <p>ホーム画面の表示時にブロックを展開して表示できるようになりました。</p>
40.	<p>メインメニューにカスタムメニューを追加して、メニューをカスタマイズできる機能を追加しました。</p>
41.	<p>簡易プロセスに関連構成を追加して、エンドユーザーが構成管理を参照できる機能を追加しました。</p> <p>詳細画面に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連構成 1～4 <p>一覧画面に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索条件: 関連構成 ・検索結果一覧: 関連構成 1～4
42.	<p>FAQ の新規登録画面および編集画面で回答項目をリッチテキスト形式で編集できるようになりました。</p> <p>ラジオボタンにより従来のテキスト形式とリッチテキスト形式を切り替えることができます。</p>
43.	<p>ナレッジ(既知エラー/FAQ/ファイルライブラリ/リンク集)のレコードをナレッジダイアログに公開する際に承認申請が省略可能になりました。</p> <p>[管理者メニュー > 制御情報 > 利用者メニュー > ナレッジ > ナレッジ起票時に即時で承認済みにする設定]から使用できます。]</p>
44.	<p>CSV ファイルを使用しナレッジ(既知エラー/FAQ/ファイルライブラリ/リンク集)のレコードを一括登録できるようになりました。</p> <p>一覧画面のアクションボタンから一括登録できます。</p>
45.	<p>ナレッジ(既知エラー/ファイルライブラリ/リンク集)のレコードを CSV 形式でエクスポートできるようになりました。</p> <p>検索を行ってヒットされるレコードが存在する場合に、「検索」ボタンの下したに「帳票出力」ボタンが表示されます。</p>
46.	<p>プロセス管理および簡易プロセス画面の表項目を拡大表示できるようになりました。</p> <p><対象画面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス新規登録 ・プロセス編集 ・プロセス詳細 ※編集不可

	<ul style="list-style-type: none">・簡易プロセス新規登録・簡易プロセス編集・簡易プロセス詳細 ※編集不可
47.	チャットボット機能を追加しました。 プロセス管理/ナレッジ(FAQ/ファイルライブラリ)に蓄積された情報を検索し、ユーザーの質問に対する回答を返します。
48.	SLAM チャートの抽出条件で 2 軸を指定できる「グループ抽出条件」を追加しました。 SLAM チャート設定画面のラジオボタンにより従来の単一条件抽出とグループ抽出条件を切り替えることができます。
49.	SLAM チャートのチャート内容を以下の形式で図示することができるようになりました。 SLAM チャート設定画面から設定することができます。 <ul style="list-style-type: none">・タコメータ・棒グラフ+折れ線グラフ
50.	データ登録コマンドで複合キーを指定して構成管理を特定し登録・更新できるようになりました。

1.3.2 不具合の対応

	内容
22.	プロセス詳細画面にて、(経過)チャネル項目に「メール」が選択されている場合、メールアイコンをクリックした際に表示されるメール詳細画面に、送信者が表示されない不具合を修正しました。
23.	SAML 連携機能にて Senju Service Manager のサーバーに、IdP サーバーから連携される SAML レスポンスの XML 内に prefix が含まれる場合と prefix が含まれない場合が混在するケースに対して、prefix を除外して情報を取得することにより、どちらのケースでも SAML 認証でログインできるように修正しました。

1.3.3 前バージョンからの変更点

No	内容
9.	下記画面は VB から .Net 化に対応しました。 ・画面ポリシー ・職責 ・コード値別編集制御 ・コード値別必須制御 ・チーム ・役割
10.	以下の制御情報を変更しました。 対象が FAQ からナレッジ(既知エラー/FAQ/ファイルライブラリ/リンク集)に変わりました。 【管理項目名】 (変更前) [FAQ 一覧帳票出力上限件数(件)] (変更後) [ナレッジ一覧帳票出力上限件数(件)]
11.	プロセスの経過タイトルの入力可能文字数が 80byte から 1024byte に増えました。
12.	Kibana 連携機能が一時的に非対応になりました。 今後のパッチで再度対応機能に追加する予定です。

1.3.4 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。
 本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「**2 稼働環境**」を参照してください。

- (1) 以下のクライアント構成がサポート対象外になりました。
 - ・ Microsoft Windows 8.1 + Google Chrome
 - ・ Microsoft Windows 8.1 + Mozilla Firefox
- (2) 以下のサーバー構成がサポート対象となりました。
 - ・ Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition + PostgreSQL Database 16.X

- Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition + PostgreSQL Database 16.X
 - Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition + PostgreSQL Database 16.X
 - Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition + PostgreSQL Database 16.X
 - Amazon RDS for PostgreSQL 16
- (3) 以下のサーバー構成がサポート対象外となりました。
- Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition + PostgreSQL Database 11.X
 - Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition + PostgreSQL Database 12.X
 - Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition + PostgreSQL Database 11.X
 - Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition + PostgreSQL Database 12.X
 - Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + PostgreSQL Database 11.X
 - Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + PostgreSQL Database 12.X
 - Microsoft Windows Server 2016 Datacenter Edition + PostgreSQL Database 11.X
 - Microsoft Windows Server 2016 Datacenter Edition + PostgreSQL Database 12.X
 - Microsoft Windows Server 2012R2 Standard Edition + Oracle Database 19

1.4 バージョン2023.0.5の主な機能

1.4.1 主な新機能

No	内容
1.	<p>プロセス経過編集または経過追加画面の経過ヘッダーに回答ボタンを追加しました。</p> <p>回答ボタンを押下すると、チャンネルに「アウトバウンド」「SSM」を自動入力し経過登録されます。</p> <p>また、問合せまたは回答により登録された経過情報の場合、経過ヘッダーに対応するラベル(問合せ・回答)を表示する機能を追加しました。</p>
2.	<p>日時項目において、現在の日時を1アクションで入力できる「現在日時入力」ボタンが追加されました。</p> <p>「現在日時入力」ボタンを押下することで、対となる項目(日付・時刻)に現在の日付・時刻を一括入力することができます。</p> <p>ボタンの表示・非表示は制御情報で制御することができます。</p> <p>＜対象範囲＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス管理 <ul style="list-style-type: none"> -新規登録 -編集 -経過追加・編集画面の編集項目 <p>＜表示条件＞</p> <p>「現在日時入力」ボタンは以下の条件を満たすときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「管理メニュー>制御情報>共通」から、「現在日時入力ボタンの表示設定」を「する」に設定されている。 ・対象となる日付・時刻項目の組み合わせについて、左側に日付・右側に時刻の順で横並びに画面表示されている。 ・時刻項目が編集項目となっている。 <p>＜表示対象となる日付・時刻項目＞</p> <p>「現在日時入力」ボタンの表示対象となる日付・時刻項目の組み合わせは以下の通りです。</p> <p>【親項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計算開始日、計算開始時刻 ・計算終了日 1、計算終了時刻 1 ・計算終了日 2、計算終了時刻 2 ・計算終了日 3、計算終了時刻 3 ・対応予定日 1、対応予定時刻 1

	<ul style="list-style-type: none"> ・対応予定日 2、対応予定時刻 2 ・対応予定日 3、対応予定時刻 3 ・対応予定日 4、対応予定時刻 4 ・対応予定日 5、対応予定時刻 5 ・対応実績日 1、対応実績時刻 1 ・対応実績日 2、対応実績時刻 2 ・対応実績日 3、対応実績時刻 3 ・対応実績日 4、対応実績時刻 4 ・対応実績日 5、対応実績時刻 5 ・スケジュール設定開始日、スケジュール設定開始時刻 ・スケジュール設定終了日、スケジュール設定終了時刻 ・メール通知基準日、メール通知基準時刻 ・開始予定日、開始予定時刻 ・終了予定日、終了予定時刻 ・日付テキスト 1、時刻テキスト 1 ・日付テキスト 2、時刻テキスト 2 ・日付テキスト 3、時刻テキスト 3 ・日付テキスト 4、時刻テキスト 4 ・日付テキスト 5、時刻テキスト 5 ・日付テキスト 6、時刻テキスト 6 ・日付テキスト 7、時刻テキスト 7 ・日付テキスト 8、時刻テキスト 8 ・日付テキスト 9、時刻テキスト 9 ・日付テキスト 10、時刻テキスト 10 ・日付テキスト 11、時刻テキスト 11 ・日付テキスト 12、時刻テキスト 12 ・日付テキスト 13、時刻テキスト 13 ・日付テキスト 14、時刻テキスト 14 ・日付テキスト 15、時刻テキスト 15 <p>【経過項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(経過)対応日、対応時刻 ・(経過)日時テキスト日付 1、日時テキスト時刻 1 ・(経過)日付テキスト 1、時刻テキスト 1 ・(経過)日付テキスト 2、時刻テキスト 2
3.	プロセス登録 WEBAPI のリクエストに「プロセス ID」項目を追加しました。

4.

プロセス登録 WEBAPI、プロセス更新 WEBAPI、プロセス情報取得 WEBAPI のレスポンスに「アクセス URL」「SAML 認証用アクセス URL」項目を追加しました。

API の設定ファイル(ssmwebapi.conf)に以下の指定をすることで本機能を使用することができます。

[a].設定ファイル(ssmwebapi.conf)に以下の項目を追加しました。

設定名	説明	(設定例)
ACCESS_URL_SOURCE	アクセス URL 生成用 URL を定義します。	http://your-senjusm-url/

5.

チャンネル項目の選択肢に「API」を追加しました。

プロセス経過追加 WEBAPI でチャンネル項目を未指定や空文字指定して登録した場合「API」で登録されます。

6.

WEBAPI 利用時の SSL サーバ証明書の検証をオプション化しました。

API の設定ファイル(ssmwebapi.conf)に以下の指定をすることで本機能を使用することができます。

[a].設定ファイル(ssmwebapi.conf)に以下の項目を追加しました。

設定名	説明	設定値
SSM_AUTHENTICATION_OPTION	SSL 検証の有効化を設定します。	True / False

・True が指定された場合 …SSL 検証を有効にする

・False が指定された場合…SSL 検証を無効にする

・True、False 以外の値が指定された場合…SSL 検証を有効にする

※未指定を含む

7.

特定フォルダの CSV ファイルを読み込んでプロセス管理に短時間内に大量のレコードを登録する試験的な機能(※)に対して、以下の二つ改善機能を追加しました。

■改善機能 1:

特定のネットワークドライブに配置される CSV ファイルを取り込むことができるように改善しました。

■改善機能 2:

特定フォルダの CSV ファイルに改行が含まれるテキスト項目も登録できるように改善しました。

※試験的な機能のため、使用を希望する場合には製品販売元もしくは千手カスタマーサポートセンターにご相談ください。

8.

以下の公開ビューに「表項目問合せ元 ID」を追加しました。

公開ビュー	ビュー名
L_PVIEW_01_1001	公開プロセス表項目 1 ラベルビュー
PVIEW_01_1001	公開プロセス表項目 1 ビュー
PVIEW_01_1001_0001 ~ PVIEW_01_1001_0103	公開プロセス表項目 1 ビュー (プロセス 1 ~ 103)
L_PVIEW_01_1002	公開プロセス表項目 2 ラベルビュー

		<table><tr><td>PVIEW_01_1002</td><td>公開プロセス表項目 2 ビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_1002.0001 ~ PVIEW_01_1002.0103</td><td>公開プロセス表項目 2 ビュー (プロセス 1 ~ 103)</td></tr><tr><td>L_PVIEW_01_1003</td><td>公開プロセス表項目 3 ラベルビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_1003</td><td>公開プロセス表項目 3 ビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_1003.0001 ~ PVIEW_01_1003.0103</td><td>公開プロセス表項目 3 ビュー (プロセス 1 ~ 103)</td></tr><tr><td>L_PVIEW_01_1004</td><td>公開プロセス表項目 4 ラベルビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_1004</td><td>公開プロセス表項目 4 ビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_1004.0001 ~ PVIEW_01_1004.0103</td><td>公開プロセス表項目 4 ビュー (プロセス 1 ~ 103)</td></tr><tr><td>L_PVIEW_01_1005</td><td>公開プロセス表項目 5 ラベルビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_1005</td><td>公開プロセス表項目 5 ビュー</td></tr><tr><td>PVIEW_01_1005.0001 ~ PVIEW_01_1005.0103</td><td>公開プロセス表項目 5 ビュー (プロセス 1 ~ 103)</td></tr></table>	PVIEW_01_1002	公開プロセス表項目 2 ビュー	PVIEW_01_1002.0001 ~ PVIEW_01_1002.0103	公開プロセス表項目 2 ビュー (プロセス 1 ~ 103)	L_PVIEW_01_1003	公開プロセス表項目 3 ラベルビュー	PVIEW_01_1003	公開プロセス表項目 3 ビュー	PVIEW_01_1003.0001 ~ PVIEW_01_1003.0103	公開プロセス表項目 3 ビュー (プロセス 1 ~ 103)	L_PVIEW_01_1004	公開プロセス表項目 4 ラベルビュー	PVIEW_01_1004	公開プロセス表項目 4 ビュー	PVIEW_01_1004.0001 ~ PVIEW_01_1004.0103	公開プロセス表項目 4 ビュー (プロセス 1 ~ 103)	L_PVIEW_01_1005	公開プロセス表項目 5 ラベルビュー	PVIEW_01_1005	公開プロセス表項目 5 ビュー	PVIEW_01_1005.0001 ~ PVIEW_01_1005.0103	公開プロセス表項目 5 ビュー (プロセス 1 ~ 103)	
PVIEW_01_1002	公開プロセス表項目 2 ビュー																								
PVIEW_01_1002.0001 ~ PVIEW_01_1002.0103	公開プロセス表項目 2 ビュー (プロセス 1 ~ 103)																								
L_PVIEW_01_1003	公開プロセス表項目 3 ラベルビュー																								
PVIEW_01_1003	公開プロセス表項目 3 ビュー																								
PVIEW_01_1003.0001 ~ PVIEW_01_1003.0103	公開プロセス表項目 3 ビュー (プロセス 1 ~ 103)																								
L_PVIEW_01_1004	公開プロセス表項目 4 ラベルビュー																								
PVIEW_01_1004	公開プロセス表項目 4 ビュー																								
PVIEW_01_1004.0001 ~ PVIEW_01_1004.0103	公開プロセス表項目 4 ビュー (プロセス 1 ~ 103)																								
L_PVIEW_01_1005	公開プロセス表項目 5 ラベルビュー																								
PVIEW_01_1005	公開プロセス表項目 5 ビュー																								
PVIEW_01_1005.0001 ~ PVIEW_01_1005.0103	公開プロセス表項目 5 ビュー (プロセス 1 ~ 103)																								
9.	<p>API からクローズされたプロセスデータを更新できるような機能を追加しました。</p> <p>クローズされたプロセスデータに対する更新許可設定に関する制御情報の管理項目名と説明について API を含むように修正しました。</p> <p>・管理者メニュー ＞ 制御情報</p> <p>メニュー区分：利用者メニュー</p> <p>制御グループ：プロセス管理</p> <p>■修正前：</p> <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>選択値</th></tr><tr><td>コマンドからのクローズされたプロセスデータに対する更新許可設定</td><td><p>データ登録コマンドおよび SEN からのイベント連携機能によるデータの登録においてプロセス管理のクローズされたレコードに対する、更新操作の可否を定義します。</p><p>・更新を許可しない場合：ステータス更新によるクローズ解除のみ許可される。</p><p>・更新を許可する場合：ステータスを含むすべての親項目の更新が許可される。</p></td><td>更新を許可しない</td><td>更新を許可しない 更新を許可する</td></tr></table> <p>■修正後：</p> <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>選択値</th></tr><tr><td>コマンドおよび API からのクローズされたプロセスデータに対する更新許可設定</td><td><p>データ登録コマンド、SEN からのイベント連携機能および API によるデータの登録において、プロセス管理のクローズされたレコードに対する、更新操作の可否を定義します。</p><p>・更新を許可しない場合：ステータス更新によるクローズ解除のみ許可される。</p></td><td>更新を許可しない</td><td>更新を許可しない 更新を許可する</td></tr></table>			管理項目名	説明	初期値	選択値	コマンドからのクローズされたプロセスデータに対する更新許可設定	<p>データ登録コマンドおよび SEN からのイベント連携機能によるデータの登録においてプロセス管理のクローズされたレコードに対する、更新操作の可否を定義します。</p> <p>・更新を許可しない場合：ステータス更新によるクローズ解除のみ許可される。</p> <p>・更新を許可する場合：ステータスを含むすべての親項目の更新が許可される。</p>	更新を許可しない	更新を許可しない 更新を許可する	管理項目名	説明	初期値	選択値	コマンドおよび API からのクローズされたプロセスデータに対する更新許可設定	<p>データ登録コマンド、SEN からのイベント連携機能および API によるデータの登録において、プロセス管理のクローズされたレコードに対する、更新操作の可否を定義します。</p> <p>・更新を許可しない場合：ステータス更新によるクローズ解除のみ許可される。</p>	更新を許可しない	更新を許可しない 更新を許可する						
管理項目名	説明	初期値	選択値																						
コマンドからのクローズされたプロセスデータに対する更新許可設定	<p>データ登録コマンドおよび SEN からのイベント連携機能によるデータの登録においてプロセス管理のクローズされたレコードに対する、更新操作の可否を定義します。</p> <p>・更新を許可しない場合：ステータス更新によるクローズ解除のみ許可される。</p> <p>・更新を許可する場合：ステータスを含むすべての親項目の更新が許可される。</p>	更新を許可しない	更新を許可しない 更新を許可する																						
管理項目名	説明	初期値	選択値																						
コマンドおよび API からのクローズされたプロセスデータに対する更新許可設定	<p>データ登録コマンド、SEN からのイベント連携機能および API によるデータの登録において、プロセス管理のクローズされたレコードに対する、更新操作の可否を定義します。</p> <p>・更新を許可しない場合：ステータス更新によるクローズ解除のみ許可される。</p>	更新を許可しない	更新を許可しない 更新を許可する																						

		・更新を許可する場合:ステータスを含むすべての親項目の更新が許可される。		
10.	<p>申請状況通知コマンドで以下の設定でプロセスレコードの最新経過の内容が送信できるように対応しました。</p> <p>【設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールテンプレート(自動送信)編集画面でメールアクションが「申請中自動(通知)」を設定する ・メールテンプレート(自動送信)編集画面で本文に「経過情報:内容(%PRC:CONTENTS%)」置換文字列を設定する 			
11.	<p>自動メール通知コマンドで以下の設定でプロセスレコードの最新経過の内容が送信できるように対応しました。</p> <p>【設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールテンプレート(自動送信)編集画面でメールアクションは以下のいずれかを設定する <ul style="list-style-type: none"> ・自動メール通知_通知種別 1(コマンド) ・自動メール通知_通知種別 1 クローズ(コマンド) ・自動メール通知_通知種別 2(コマンド) ・自動メール通知 プロセスタスクリスト_通知種別 1(コマンド) ・自動メール通知 プロセスタスクリスト_通知種別 2(コマンド) ・メールテンプレート(自動送信)編集画面で本文に「経過情報:内容(%PRC:CONTENTS%)」置換文字列を設定する 			
12.	<p>プロセスおよび簡易プロセス管理画面において、表項目の「コンボボックス 1～5」項目に表項目問合せ元マスタを反映できるような機能を追加しました。</p> <p>[a].管理者メニュー > マスタ > 問合せ元 > 表項目問合せ元マスタ画面について、以下に対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表項目問合せ元の新規/編集/詳細画面に以下のように「問合せ元コンボボックス 1～5」項目を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・表項目種別 ・システム ・問合せ元 ID ・問合せ元 ID 補助 ・問合せ元テキスト 1～18 ・問合せ元テキストエリア 1 ・問合せ元コンボボックス 1～5 ※1※2 ・問合せ元日付 1 <p>※1: 項目名はコンボボックス x としますが、項目種類は任意のテキスト項目です。</p> <p>※2: 入力上限値は 80 バイトです。上限値を超えると、登録および更新されず、以下のアラートメッセージが表示されます。</p>			

 以下は全角 40 文字以内、半角 80 文字以内で入力してください。

-問合せ元コンボボックス x

 ※x は 1～5 です。

- ・表項目問合せ元の検索一覧画面について、
 - ・「問合せ元コンボボックス 1～5」項目はフリーワード検索対象です。
 - ・表項目問合せ元画面の一括登録機能と帳票出力機能は「問合せ元コンボボックス 1～5」項目に対応しました。

[b].プロセス管理画面および簡易プロセス画面に以下の機能を追加しました。

- ・プロセスの表項目に表項目 X コンボボックス 1～5 を追加し、表項目 X コンボボックス 1～5 に対応する表項目問合せ元の問合せ元コンボボックス 1～5 を追加しました。

※プロセスの表項目と表項目問合せ元の関係は以下となります。

プロセスの表項目の項目	表項目問合せ元の項目
表項目 X テキスト 1	問合せ元テキスト 1
表項目 X テキスト 2	問合せ元テキスト 2
表項目 X テキスト 3	問合せ元テキスト 3
表項目 X テキスト 4	問合せ元テキスト 4
表項目 X テキスト 5	問合せ元テキスト 5
表項目 X テキスト 6	問合せ元テキスト 6
表項目 X テキスト 7	問合せ元テキスト 7
表項目 X テキスト 8	問合せ元テキスト 8
表項目 X テキスト 9	問合せ元テキスト 9
表項目 X テキスト 10	問合せ元テキスト 10
表項目 X テキスト 11	問合せ元テキスト 11
表項目 X テキスト 12	問合せ元テキスト 12
表項目 X テキスト 13	問合せ元テキスト 13
表項目 X テキスト 14	問合せ元テキスト 14
表項目 X テキスト 15	問合せ元テキスト 15
表項目 X テキスト 16	問合せ元テキスト 16
表項目 X テキスト 17	問合せ元テキスト 17
表項目 X テキスト 18	問合せ元テキスト 18
表項目 X テキスト 19	問合せ元テキストエリア 1
表項目 X コンボボックス 1	問合せ元コンボボックス 1 ※今回追加
表項目 X コンボボックス 2	問合せ元コンボボックス 2 ※今回追加
表項目 X コンボボックス 3	問合せ元コンボボックス 3 ※今回追加
表項目 X コンボボックス 4	問合せ元コンボボックス 4 ※今回追加
表項目 X コンボボックス 5	問合せ元コンボボックス 5 ※今回追加
表項目 X 日付テキスト 1	問合せ元日付 1

- ・プロセスの表項目配下の「コンボボックス 1～5」の表示形式に関わらず、以下の通り設定されます。

・表項目問合せ元マスタが空(“”)の場合、プロセスの表項目配下の「コンボボックス

1～5」項目は変更されません。

- ・表項目問合せ元マスタへの登録状況によって、プロセスの表項目配下の「コンボボックス 1～5」項目の選択リストに設定される値が異なります。
- ・同じコード名が存在しない場合、表項目のコンボボックス項目は変更されません。
- ・同じコード名が 1 件存在する場合、該当する表項目問合せ元マスタを表項目のコンボボックス項目へ設定します。
- ・同じコード名が複数存在する場合、以下のソート項目の昇順の最初のコード値に該当する表項目問合せ元マスタを表項目のコンボボックス項目へ設定します。

【ソート順】

- ・表示順
- ・コード内部番号

[c].マスタ登録コマンドにおいて、マスタ区分が「表項目問合せ元」の場合、以下を対応しました。

- ・インポートファイルのフォーマット以下になりました。

- ・表項目種
- ・システム
- ・問合せ元 ID
- ・問合せ元 ID 補助
- ・問合せ元テキスト 1～18
- ・問合せ元テキストエリア 1
- ・問合せ元コンボボックス 1～5 ※1
- ・問合せ元日付 1

※1: 入力上限値は 80 バイトですが、登録および更新時に上限値を超えると 80 バイトまで切り捨てて登録します。

- ・過去バージョンのフォーマットのインポートファイルの実行オプション[-s]は対応しました。

- ・マッピングアイテムファイルを指定しない場合、
- ・コマンドラインに「-s」オプションを指定しない場合、登録処理が行わず、過去バージョンのフォーマットのインポートファイルに対して、今回追加項目は空白として取り込んで最新バージョンのフォーマットのインポートファイルを生成します。
- ・コマンドラインに「-s」オプションを指定する場合、過去バージョンのフォーマットのインポートファイルに対して、今回追加項目は空白として取り込んでいて、登録します。
- ・マッピングアイテムファイルを指定する場合、登録処理が行わず、異常終了とします。

1.4.2 不具合の対応

	内容
1.	WEBAPI 実行処理のリクエストに、API 連携用テキストの入力情報が含まれていない不具合を修正しました。
2.	<p>承認申請前トリガーアクションの発動タイミングが、承認申請のトランザクションと同期していない不具合を修正しました。</p> <p>承認申請後と同様に「申請」ボタンを押下し、更新処理が実行される直前に、承認申請前トリガーアクションが発動します。</p> <p>現在の承認申請前トリガーアクションはトリガーアクション名を承認申請選択前に変更しました。</p> <p>上記の対応を実施したトリガーアクションは次の通りです。</p> <p>【トリガーアクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認申請前 ・承認前 ・確認前 ・作業完了前 ・差戻し前 ・却下前
3.	<p>簡易プロセスおよびプロセス管理画面において、新規登録もしくは更新を行う際に以下の条件を満たす場合、表項目の問合せ元 ID の必須チェックが実施されない不具合を修正しました。</p> <p>【条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御情報「編集画面の表項目問合せ ID 入力制御設定」が「自由入力を許可しない」であること。 ・簡易画面レイアウト一覧もしくはサービスデスク画面レイアウト一覧の入力制御で問合せ元 ID の表示形式が「必須」に設定されていること。
4.	<p>Webhook 連携機能によって送信した置換後の表項目内容に以下の文字列が存在する場合にエスケープ処理が実施されず、JSON として値が取得できない不具合を修正しました。</p> <p>【文字列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・¥ ・" ・(ラインフィード) ・(キャリッジリターン) ・(タブ文字) ・(バックスペース) ・(改ページ)
5.	表項目問合せ元新規登録画面において、表項目種別項目に対する画面側の必須チェックが実施されていない不具合を修正しました。

6.	管理者メニュー ＞ 画面 ＞ サービスデスクレイアウト定義画面の CSV ファイル出力機能において、表項目 1～5 配下の項目の表示形式が、「編集」の場合に、生成される CSV ファイル中の表示形式の値が「任意」になる不具合を修正しました。																					
7.	トリガーアクションが「登録前」もしくは「更新前」である Webhook 設定に紐づける Webhook 送信テンプレートに表項目が含まれている場合、簡易プロセス管理画面において、新規登録もしくは更新を行うとシステムエラーになる不具合を修正しました。																					
8.	簡易プロセスおよびプロセス管理画面において、以下の条件を満たす場合、表項目の問合せ元情報を選択する際に、「該当するデータがありません」メッセージが表示される不具合を修正しました。 【条件】 ・制御情報「編集画面の表項目問合せ ID 入力制御設定」が「自由入力を許可する」であること。 ・他の表項目に対して、問合せ元選択ダイアログ経由で問合せ元情報を選択したことがあること。																					
9.	データ登録コマンドにおいて、インポートファイルに「リッチテキスト x」項目が指定されて、「リッチテキスト x(テキストのみ)」項目が指定されない場合、データベースに登録される「リッチテキスト(テキストのみ)」項目値に意図されない内容が含まれる不具合を修正しました。 ※x はリッチテキスト項目の番号です。																					
10.	簡易プロセスおよびプロセス管理画面において Webhook 連携を行った場合、表項目の置換文字列の置換後の内容について、JSON データ内の各項目のキーと値を示すためのダブルクォーテーションがエスケープされて送信される不具合を修正しました。																					
11.	簡易プロセスおよびプロセス管理画面において Webhook 連携を行った場合、日付項目の置換文字列の置換後の内容について、該当項目の値が未設定の場合に「(月)」と置換されて送信される不具合を修正しました。																					
12.	簡易プロセス画面において以下のトリガーアクション(※)で Webhook 連携を行った場合にアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。 ※問題になるトリガーアクションは以下です。 <table><tr><td>トリガーアクション</td><td>操作画面</td><td>操作ボタン</td></tr><tr><td>承認申請後</td><td>申請ルート選択画面</td><td>申請ボタン</td></tr><tr><td>承認後</td><td>承認フロー承認画面</td><td>承認ボタン</td></tr><tr><td>作業後</td><td>承認フロー作業画面</td><td>作業ボタン</td></tr><tr><td>確認後</td><td>承認フロー確認画面</td><td>確認ボタン</td></tr><tr><td>差戻し後</td><td>承認フロー差戻し画面</td><td>差戻しボタン</td></tr><tr><td>却下後</td><td>承認フロー却下画面</td><td>却下ボタン</td></tr></table>	トリガーアクション	操作画面	操作ボタン	承認申請後	申請ルート選択画面	申請ボタン	承認後	承認フロー承認画面	承認ボタン	作業後	承認フロー作業画面	作業ボタン	確認後	承認フロー確認画面	確認ボタン	差戻し後	承認フロー差戻し画面	差戻しボタン	却下後	承認フロー却下画面	却下ボタン
トリガーアクション	操作画面	操作ボタン																				
承認申請後	申請ルート選択画面	申請ボタン																				
承認後	承認フロー承認画面	承認ボタン																				
作業後	承認フロー作業画面	作業ボタン																				
確認後	承認フロー確認画面	確認ボタン																				
差戻し後	承認フロー差戻し画面	差戻しボタン																				
却下後	承認フロー却下画面	却下ボタン																				
13.	簡易プロセスおよびプロセス管理画面において Webhook 連携を行った場合、表項目の置換文字列が参照する項目(列)のうち、全ての行のデータが未入力の項目(列)が多いとデータベースのコネクション上限に達しシステムエラーが発生する不具合を修正しました。																					
14.	イベント連携デーモンのエスカレーション送信機能において、メールテンプレート中に以下の対象項目を送信対象に設定した場合、それらの項目の送信内容が不正である不具合を修正しました。 【対象項目】 ・(経過)マルチ 2 連分類 2-1																					

	<ul style="list-style-type: none"> ・(経過)マルチ 2 連分類 2-2A ・(経過)マルチ 2 連分類 2-2B ・(経過)マルチ 2 連分類 2-2C ・(経過)マルチ 2 連分類 2-2D
15.	<p>データベースに PostgreSQL を使用している場合、データ登録コマンドにてユーザー管理を登録する際に以下のアカウント区分がそれぞれライセンスに定義される上限値を超えても登録できる不具合を修正しました。</p> <p>【アカウント区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(固定)サービスデスクユーザー ・(同時接続)サービスデスクユーザー ・エンドユーザー
16.	<p>特定の環境設定でログアウトが正常に動作しておらず、WEB ブラウザの新規起動もしくは IIS 再起動後の初回ログイン以降に一度ログアウトした後再ログインした時、強制ログアウト確認メッセージが毎回表示され、強制ログアウトも正常に動作しないため再ログインできなくなる不具合を修正しました。</p>
17.	<p>トリガーアクションが「登録前」、「更新前」の Webhook 連携機能を利用する際、以下の条件を満たす場合に、「対象ノード」項目の区切り文字をタブからカンマに修正しました。</p> <p>【条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webhook 連携テンプレートの置換文字列に「入力データ(%CMN:INPUT_DATA%)」が設定されること。 ・対象プロセス管理/簡易プロセス画面に「対象ノード」項目を表示するように設定されること。
18.	<p>Senju/SM の業務エラーでシステムエラー画面へ遷移する際、システムログファイル中に余計なエラーメッセージが出力される不具合を修正しました。</p>
19.	<p>管理者メニュー>画面>レイアウト定義>サービスデスク画面レイアウトから以下のラベル名を変更する際に Senju/SM の WEB サーバーの時刻が 0 時以降 10 時前の場合、データベースに登録される最終更新時刻の値が不正である不具合を修正しました。</p> <p>【ラベル名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビュー定義のビュー名 ・詳細レイアウト(ブロック)のブロック名 ・詳細レイアウト(項目)/詳細レイアウト(表項目)の項目名
20.	<p>プロセス更新 WEBAPI、データ登録コマンドおよびイベント連携デーモンでプロセスレコードを更新する際、コンボテキスト-コンボ項目に対して、空もしくは「その他」以外の値へ更新する場合に、コンボテキスト-テキスト項目が初期化されない不具合を修正しました。</p>
21.	<p>プロセス管理新規および編集画面において、制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」が「自由入力を許可しない」の場合、以下の問合せ元項目に対してマスタ側に親画面に設定されているシステムと紐づけるマスタレコードが存在しない場合、以下の問合せ元項目の「選択」ボタンをクリックすると、既存のレコードがクリアされる不具合を修正しました。</p> <p>【問合せ元項目】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・問合せ元 1 ・問合せ元 2 ・表項目 1 問合せ元 ・表項目 2 問合せ元 ・表項目 3 問合せ元 ・表項目 4 問合せ元 ・表項目 5 問合せ元
--	---

1.4.3 前バージョンからの変更点

No	内容
1.	グループマスタ管理画面において、グループ登録上限値が 1000 件から 2000 件に拡張されました。
2.	ユーザーマスタ管理画面において、所属グループの登録上限数が 1000 件から 2000 件に拡張されました。
3.	コードマスタ管理画面において、コード種別が「緊急度」「インパクト」のデータの登録上限値がそれぞれ 500 件から 10000 件に拡張されました。
4.	Webhook 連携の送信メッセージテンプレートで、表項目の置換文字列をダブルクォーテーションで括った場合に、置換後の内容が JSON データとして扱われるように Webhook 連携時にダブルクォーテーションを外して送信する動作に修正しました。

1.4.4 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。

本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「**2 稼働環境**」を参照してください。

- (1) 以下の環境が Active Directory 連携の環境の対象となりました。
- ・ Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition 日本語版
 - ・ Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition 日本語版
 - ・ Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition 日本語版
 - ・ Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition 日本語版

1.5 バージョン2023.0.4の主な機能

1.5.1 主な新機能

No	内容																		
1.	<p>プロセス管理画面および簡易プロセス管理画面において Webhook 送信メッセージに表項目 1～5 の情報を設定できるようになりました。</p> <p>[a].Webhook 送信メッセージテンプレートの新規/編集時に以下の置換文字列の表示を追加しました。</p> <table border="1"> <tr> <th>項目名</th><th>置換文字列</th></tr> <tr> <td>表項目 1</td><td>%PRC:TABLE_ITEM_1% ※1 ※2</td></tr> <tr> <td>表項目 2</td><td>%PRC:TABLE_ITEM_2% ※1 ※2</td></tr> <tr> <td>表項目 3</td><td>%PRC:TABLE_ITEM_3% ※1 ※2</td></tr> <tr> <td>表項目 4</td><td>%PRC:TABLE_ITEM_4% ※1 ※2</td></tr> <tr> <td>表項目 5</td><td>%PRC:TABLE_ITEM_5% ※1 ※2</td></tr> </table> <p>※1:この置換文字列は表項目全体を一つの置換文字列として JSON 形式で組み立てて置換します。表項目内の各項目を個別に置換する置換文字列は提供されません。</p> <p>※2:Webhook 送信メッセージテンプレート画面で該当の置換文字列を指定するためには、該当するプロセス管理画面または簡易プロセス管理画面の画面レイアウトで該当する表項目が表示されている必要があります。</p> <p>[b].Webhook 連携のトリガーアクションによって外部サービスへメッセージ送信する際に Webhook 送信メッセージテンプレートに含まれる表項目置換文字列を該当レコードの表項目情報を JSON 形式で組み立てて置換します。</p> <p>[c].表項目置換文字列は Webhook 連携のトリガーアクションにより以下の制限事項があります。</p> <table border="1"> <tr> <th>トリガーアクション</th><th>制限事項</th></tr> <tr> <td>登録前</td><td>※1</td></tr> <tr> <td>更新前</td><td>※2</td></tr> </table> <p>※1:トリガーアクションが「登録前」の場合、メッセージ送信時に表項目情報がまだデータベースに登録されていない為、置換される情報は必ず空の配列「[]」となります。</p> <p>※2:トリガーアクションが「更新前」の場合、置換される情報は対象レコードの更新前の表項目情報となります。</p> <p>[d].表項目置換文字列で置換される表項目の JSON 形式のデータ内の各項目のフォーマットは、親情報と同じ種類の項目です。</p> <p>[e].Webhook 送信メッセージテンプレートに置換文字列として設定された表項目が画面で非表示になっている場合、外部サービスへメッセージ送信する際に、該当置換文字列は以下のように置換されます。</p> <p>・置換内容:%PRC:TABLE_ITEM_x%(参照権限がない項目のため置換できません)</p>	項目名	置換文字列	表項目 1	%PRC:TABLE_ITEM_1% ※1 ※2	表項目 2	%PRC:TABLE_ITEM_2% ※1 ※2	表項目 3	%PRC:TABLE_ITEM_3% ※1 ※2	表項目 4	%PRC:TABLE_ITEM_4% ※1 ※2	表項目 5	%PRC:TABLE_ITEM_5% ※1 ※2	トリガーアクション	制限事項	登録前	※1	更新前	※2
項目名	置換文字列																		
表項目 1	%PRC:TABLE_ITEM_1% ※1 ※2																		
表項目 2	%PRC:TABLE_ITEM_2% ※1 ※2																		
表項目 3	%PRC:TABLE_ITEM_3% ※1 ※2																		
表項目 4	%PRC:TABLE_ITEM_4% ※1 ※2																		
表項目 5	%PRC:TABLE_ITEM_5% ※1 ※2																		
トリガーアクション	制限事項																		
登録前	※1																		
更新前	※2																		

	※:x は表項目の番号「1～5」を指します。
2.	<p>問合せ元マスタについてシステムと紐づけられるようになりました。</p> <p>プロセス管理画面および簡易プロセス画面において、プロセスレコードのシステム情報に関連づけられた問合せ元情報のみが選択可能となります。</p> <p>[a].問合せ元、問合せ元 2 マスタ管理画面に対して、以下を対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索条件項目に「システム」項目を追加しました。 <ol style="list-style-type: none"> 1.「全システム共通」を指定した場合、「全システム共通」システムに紐づいた問合せ元レコードが検索されます。 2.「全システム共通」以外を指定した場合、「全システム共通」システムおよび「指定されたシステム」に紐づいた問合せ元レコードが検索されます。 3.「-----」を指定した場合、ログインユーザーがメンテナンス権限を持つシステムに紐づいた問合せ元レコードが全て検索されます。 ・検索結果一覧に「システム」項目を追加しました。 <p>検索結果一覧の表示順は「システム ID 昇順」+「問合せ元 ID 昇順」になります。</p> ・新規/編集画面に必須項目としての「システム」項目を追加しました。 <p>「システム」項目ではログインユーザーがメンテナンス権限を持つシステムのみ選択可能です。</p> ・帳票出力機能で出力される内容に「システム」項目を追加しました。 <p>帳票の表示順は「システム ID 昇順」+「問合せ元 ID 昇順」になります。</p> ・一括登録機能の指定項目に「システム」項目を追加しました。必須項目となります。 <p>[b].プロセス管理画面および簡易プロセス管理画面でプロセスレコードのシステム情報に関連づけられた問合せ元マスタデータのみが検索されるように修正しました。</p> <p>[c].マスタ登録コマンドにおいて、マスタ名が「問合せ元」もしくは「問合せ元 2」の場合、インポートファイルに「システム」項目の指定が必須となる追加対応を行いました。また、過去バージョンのフォーマットのインポートファイルを指定する場合も登録できるように対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「-s」オプションを指定しない場合、現行の仕様のままで、今回追加されるシステム項目が「全システム共通」として最新バージョンのインポートファイルを生成されます。 ・「-s」オプションを指定する場合、今回追加されるシステム項目が「全システム共通」として登録されます。 <p>[d].パッチ適用前の問合せ元、問合せ元 2 のデータは「全システム共通」システムに紐づけられます。</p>

3.	<p>プロセス管理画面および簡易プロセス画面の表項目にて、問合せ元 ID を指定して表項目問合せ元情報を反映する機能を追加しました。</p> <p>[a].管理者メニュー>マスタ>問合せ元配下に表項目問合せ元マスタ画面を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索条件項目は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> -表項目種別 ※1 -システム ※2 -問合せ元 ID -問合せ元 ID 補助 -フリーワード <p>※1:選択肢は固定で「表項目 1～5」となります。必須項目です。</p> <p>※2:選択肢は「全システム共通」+「メンテナンス権限を持つシステム」となります。必須項目です。</p> ・検索結果項目は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> -表項目種別 -システム -問合せ元 ID -問合せ元 ID 補助 ・表項目問合せ元の新規/編集/詳細画面に表示される項目は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> -表項目種別 ※3 -システム ※4 -問合せ元 ID ※4 -問合せ元 ID 補助 -問合せ元テキスト 1～18 -問合せ元テキストエリア 1 -問合せ元日付 1 <p>※3:新規登録時必須項目です。編集時参照項目となり登録後の変更はできません。</p> <p>※4:新規登録・編集時必須項目です。</p> ・問合せ元画面および問合せ元 2 画面と同様に表項目問合せ元画面についても帳票出力機能を追加しました。 <p>帳票出力機能により、登録済みの表項目問合せ元レコードが CSV 形式で出力されます。出力項目は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> -表項目種別 -システム -問合せ元 ID -問合せ元 ID 補助 -問合せ元テキスト 1～18 -問合せ元テキストエリア 1
----	---

－問合せ元日付 1

- ・問合せ元画面および問合せ元 2 画面と同様に表項目問合せ元画面についても一括登録機能を追加しました。
- ・一括登録用の CSV ファイルのフォーマットは帳票出力される CSV ファイルのフォーマットと同じです。
- ・表項目種別、システム、問合せ元 ID は必須項目です。それ以外の項目は任意項目となります。
- ・「表項目種別 + 問合せ元 ID」の指定値を元に検索し、既に DB に存在する場合は更新処理が実行されます。DB に存在しない場合は新規登録処理が実行されます。

[b].プロセス管理画面および簡易プロセス画面にて以下を対応しました。

- ・表項目 1～5 の配下にそれぞれ「問合せ元 ID」項目(※1)を追加しました。
- ※1: 表項目の「問合せ元」ID 項目の表示形式は親情報の問合せ元 ID 項目と同じです。
- ・表項目の問合せ元 ID 項目の操作は、現行の親情報の問合せ元 ID 項目の操作と同じです。以下に動作の内容を示します。

1.制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」が「自由入力を許可しない」の場合:

- ・表項目の問合せ元 ID 項目が入力できません。
- ・右側の「選択」ボタンをクリックすると、問合せ元情報選択ダイアログが開きます。
- ・問合せ元情報選択ダイアログの操作方法は親情報の問合せ元項目と同様です。

2.制御情報「編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定」が「自由入力を許可する」の場合:

- ・表項目の問合せ元 ID 項目が入力できます。
- ・表項目の問合せ元 ID に入力せずに右側の「選択」ボタンをクリックすると、制御情報により以下の通り動作します。
 - ・制御情報「表項目問合せ元の検索方式」が「完全一致」の場合:
 - ・「該当するデータはありません」メッセージが表示されます。
 - ・制御情報「表項目問合せ元の検索方式」が「部分一致」の場合:
 - ・ヒットしたレコードがない場合、「該当するデータはありません」メッセージが表示されます。
 - ・ヒットしたレコードが 1 件の場合、後述の「プロセスの表項目と表項目問合せ元の関係」に従い、表項目の問合せ元情報を該当表項目に反映します。
 - ・ヒットしたレコードが 2 件以上の場合、問合せ元情報選択ダイアログが開きます。問合せ元情報選択ダイアログの操作方法は親情報の問合せ元項目と同様です。
- ・表項目の問合せ元 ID を入力して右側の「選択」ボタンをクリックすると、入力された問合せ元 ID で表項目問合せ元を検索します。
 - ・ヒットしたレコードがない場合、「該当するデータはありません」メッセージが表示されます。
 - ・ヒットしたレコードが 1 件の場合、後述の「プロセスの表項目と表項目問合せ元の関係」に従い、表項目の問合せ元情報を該当表項目に反映します。

- ・ヒットしたレコードが 2 件以上の場合、問合せ元情報選択ダイアログが開きます。
問合せ元情報選択ダイアログの操作方法是親情報の問合せ元項目と同様です。

- ・プロセスの表項目と表項目問合せ元の関係は以下となります。

表項目問合せ元の項目	プロセスの表項目の項目
問合せ元テキスト 1	表項目 X テキスト 1
問合せ元テキスト 2	表項目 X テキスト 2
問合せ元テキスト 3	表項目 X テキスト 3
問合せ元テキスト 4	表項目 X テキスト 4
問合せ元テキスト 5	表項目 X テキスト 5
問合せ元テキスト 6	表項目 X テキスト 6
問合せ元テキスト 7	表項目 X テキスト 7
問合せ元テキスト 8	表項目 X テキスト 8
問合せ元テキスト 9	表項目 X テキスト 9
問合せ元テキスト 10	表項目 X テキスト 10
問合せ元テキスト 11	表項目 X テキスト 11
問合せ元テキスト 12	表項目 X テキスト 12
問合せ元テキスト 13	表項目 X テキスト 13
問合せ元テキスト 14	表項目 X テキスト 14
問合せ元テキスト 15	表項目 X テキスト 15
問合せ元テキスト 16	表項目 X テキスト 16
問合せ元テキスト 17	表項目 X テキスト 17
問合せ元テキスト 18	表項目 X テキスト 18
問合せ元テキストエリア 1	表項目 X テキスト 19
問合せ元日付 1	表項目 X 日付テキスト 1

- ・表項目のインポート/エクスポート機能に「問合せ元 ID」項目を追加しました。
 - ・インポートファイル中に問合せ元 ID 項目のみが入力されている場合、
入力された問合せ元 ID によって表項目問合せ元マスタ情報を検索します。
 - ・表項目問合せ元のレコードがヒットした場合、前述の「プロセスの表項目と
表項目問合せ元の関係」に従って、ヒットされた情報を表項目へ登録されます。
 - ・表項目問合せ元のレコードがヒットしなかった場合、指定されている問合せ元
ID の内容はテキスト項目として登録されます。
 - ・インポートファイル中に問合せ元 ID 以外の項目も入力されている場合、
指定されている問合せ元 ID の内容はテキスト項目として登録されます。

- ・制御情報に以下の項目を追加しました。

管理者メニュー > 制御情報

メニュー区分：利用者メニュー

制御グループ：プロセス管理

管理項目名	説明	初期値	選択値
表項目問合せ元 ID 桁数設定	表項目情報の問合せ元 ID を 入力してデータを検索する 際、指定桁数まで左 0 埋めを して検索を行います。 ただし管理項目値に[1]が指 定された場合、0 埋め検索を 行いません。	1	—

		-管理項目値[1] (例:(入力)1 → (0 埋め後)1) -管理項目値[6] (例:(入力)1 → (0 埋め後)000001)			
	表項目問合せ元 ID の IME 制御設定	表項目問合せ元 ID の IME 入力モードを定義します。	OFF	OFF ON	
	表項目問合せ元の検索方式	表項目問合せ元の検索方式を定義します。 -完全一致 編集画面の場合、検索対象は表項目問合せ元マスタの[表示用 ID]となります。 ログインユーザーのデフォルト設定の[検索時の大文字小文字/全角半角]の設定値に関わらず、常に[区別する]で検索を行います。 一覧検索の場合、プロセスの対象項目に対し、入力値で完全一致且つログインユーザーのデフォルト設定の[検索時の大文字小文字/全角半角]の設定値で検索を行います。 -部分一致 編集画面の場合、検索対象は表項目問合せ元マスタの[表示用 ID]と[表示用 ID 補助]となります。 ログインユーザーのデフォルト設定の[検索時の大文字小文字/全角半角]の設定値を使用して検索を行います。 また、制御情報[表項目問合せ元 ID 桁数設定]の設定値に関わらず、入力した値で検索を行います。 一覧検索の場合、プロセスの対象項目に対し、入力値で部分一致且つログインユーザーのデフォルト設定の[検索時の大文字小文字/全角半角]の設定値で検索を行います。	完全一致	完全一致 部分一致	
	編集画面の表項目問合せ元 ID 入力制御設定	編集画面で、表項目問合せ元 ID を自由入力させるかどうかを定義します。 管理項目値に「自由入力を許可する」が指定された場合に、管理項目「表項目問合せ元情報の検索方式」の設定が有効になります。	自由入力を許可しない	自由入力を許可しない 自由入力を許可する	

	<p>[c].データ登録コマンドおよびイベント連携デーモンにおいて、表項目を登録する際に問合せ元 ID を指定できます。この場合、問合せ元マスタの検索は実施せず、テキスト項目として登録されます。</p> <p>[d].マスタ登録コマンドにおいて、マスタ区分の問合せ元情報 >「表項目問合せ元」が指定できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・インポートファイルのフォーマットは以下の通りです。<ul style="list-style-type: none">-表項目種別-システム-問合せ元 ID-問合せ元 ID 補助-問合せ元テキスト 1～18-問合せ元テキストエリア 1-問合せ元日付 1・「表項目種別」項目の指定値は固定で「1～5」となります。それ以外の値が指定された場合、以下のエラーメッセージが出力されます。<ul style="list-style-type: none">・エラーメッセージ: インポートファイルに存在しない表項目を指定されています。(指定された値) <p>[e].マスタ登録コマンド対応のパラメータ追加について、Senju/SM コマンド実行画面も併せて対応しました。</p> <p>[f].マスタ削除コマンドにおいて、マスタ区分に「表項目問合せ元」が指定できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・マスタ区分に「表項目問合せ元」を指定した場合、表項目問合せ元レコードが全て削除されます。								
4.	<p>一括承認時のメール送信のデフォルト値を「メールを送信する」に設定できるようにしました。制御情報の以下の設定を「メールを送信する」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>[a].制御情報に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・管理者メニュー > 制御情報 <p>メニュー区分：共通</p> <p>制御グループ：共通</p> <table><tr><th>管理項目名</th><th>説明</th><th>初期値</th><th>選択値</th></tr><tr><td>承認依頼のメール送信の初期値</td><td>一括承認時のメール送信項目の初期選択値を定義します。</td><td>メールを送信しない</td><td>メールを送信しない メールを送信する</td></tr></table>	管理項目名	説明	初期値	選択値	承認依頼のメール送信の初期値	一括承認時のメール送信項目の初期選択値を定義します。	メールを送信しない	メールを送信しない メールを送信する
管理項目名	説明	初期値	選択値						
承認依頼のメール送信の初期値	一括承認時のメール送信項目の初期選択値を定義します。	メールを送信しない	メールを送信しない メールを送信する						
5.	<p>プロセス登録 WEBAPI、プロセス更新 WEBAPI、プロセス情報取得 WEBAPI のエンドポイントで取り扱い可能な項目について以下の項目を追加しました。</p>								

- ・数値テキスト 1～60
- ・日付テキスト 1～15
- ・時刻テキスト 1～15
- ・(社外申請者情報)会社名
- ・(社外申請者情報)組織名
- ・(社外申請者情報)氏名
- ・(社外申請者情報)氏名カナ
- ・(社外申請者情報)電話番号
- ・(社外申請者情報)メールアドレス
- ・(社内申請者情報)社員番号
- ・(社内申請者情報)氏名
- ・(社内申請者情報)氏名カナ
- ・(社内申請者情報)会社名
- ・(社内申請者情報)組織名
- ・(社内申請者情報)役職
- ・(社内申請者情報)内線番号
- ・(社内申請者情報)電話番号 1
- ・(社内申請者情報)電話番号 2
- ・(社内申請者情報)FAX
- ・(社内申請者情報)携帯電話番号
- ・(社内申請者情報)メールアドレス 1
- ・(社内申請者情報)メールアドレス 2
- ・チェックボックス 1～23
- ・選択ユーザー 1～10
- ・コンボテキスト 1～2ーコンボ
- ・コンボテキスト 1～2ーテキスト
- ・ブロック制御コンボボックス 1～3
- ・開始日
- ・開始時刻
- ・終了日 1～3
- ・終了時刻 1～3
- ・開始予定日
- ・開始予定時刻
- ・終了予定日
- ・終了予定時刻
- ・スケジュール設定開始日
- ・スケジュール設定開始時刻

	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール設定終了日 ・スケジュール設定終了時刻
6.	<p>プロセス経過登録 WEBAPI、プロセス経過情報取得 WEBAPI のエンドポイントで取り扱い可能な項目について以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(経過)チャンネル ・(経過)日付テキスト 1～2 ・(経過)時刻テキスト 1～2 ・(経過)日時テキスト日付 1 ・(経過)日時テキスト時刻 1
7.	<p>データ登録コマンドおよびイベント連携デーモンにおいて、<HTML>タグが存在しない HTML ファイルを登録する機能を追加しました。</p> <p>[a]. イベント連携デーモンの場合、以下の動作仕様となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Senju/EN ルール中で、「リッチテキスト 1」「リッチテキスト 2」「経過リッチテキスト」を指定する場合： <ul style="list-style-type: none"> ・<HTML>タグの有無により HTML データかテキストデータを判断します (パッチ適用前の仕様と変わりません) ・Senju/EN ルール中で、「リッチテキスト 1HTML ファイル」「リッチテキスト 2HTML ファイル」「経過リッチテキスト HTML ファイル」を指定する場合： <ul style="list-style-type: none"> ・指定されたファイルの拡張子が「.html」「.htm」の場合： <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの中に<HTML>タグが存在するかどうか関わらず、HTML データとして扱い、登録されます。 ・指定されたファイルの拡張子が「.html」「.htm」ではない場合： <ul style="list-style-type: none"> ・テキストデータとして扱い、登録されます。 <p>[b]. データ登録コマンドの場合、以下の動作仕様となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リッチテキスト項目に指定されたファイルの拡張子が「.html」「.htm」の場合： <ul style="list-style-type: none"> ・ファイルの中に<HTML>タグが存在するかどうか関わらず、HTML データとして扱い、登録されます。 ・リッチテキスト項目に指定されたファイルの拡張子が「.html」「.htm」ではない場合： <ul style="list-style-type: none"> ・テキストデータとして扱い、登録されます。
8.	<p>問合せ元登録 WEBAPI、問合せ元更新 WEBAPI において、システム ID を指定する機能を追加しました。</p>
9.	<p>表項目問合せ元登録 WEBAPI、表項目問合せ元更新 WEBAPI、表項目問合せ元削除 WEBAPI を新たに追加しました。</p> <p>※WEBAPI の使い方は「APIReferenceGuide.html」をご参照ください。</p>

1.5.2 不具合の対応

No	内容
----	----

1.	<p>ホーム画面定義画面の画面別ステータス設定で「ステータス 1」「ステータス 2」のリストにコンボボックス 21～40 が表示されない不具合を修正しました。</p> <p>・通常メニュー > ホーム > ホーム > ホーム画面定義ボタン</p>				
2.	<p>以下の公開ビューでコンボボックス 21～40 が出力されない不具合を修正しました。</p> <table border="1"> <tr> <th>公開ビュー</th><th>ビュー名</th></tr> <tr> <td>PVIEW_13_0002</td><td>公開 SLAM チャート抽出条件(プロセス)ビュー</td></tr> </table>	公開ビュー	ビュー名	PVIEW_13_0002	公開 SLAM チャート抽出条件(プロセス)ビュー
公開ビュー	ビュー名				
PVIEW_13_0002	公開 SLAM チャート抽出条件(プロセス)ビュー				
3.	<p>プロセス編集画面および簡易プロセス編集画面で API 連携用テキスト項目を API 連携用テキスト 1 から順番に使用していない場合に、API 連携テキストのリスト選択ボタンを押下すると、エラーメッセージが表示されてリスト選択画面が表示されない不具合を修正しました。</p>				
4.	<p>プロセス管理画面および簡易プロセス画面で API 連携用テキスト項目のリスト選択ボタンを押下して正常に処理をされた場合でもシステムログ(sjSPB_System.log)に ERROR レベルでログ出力されてしまう不具合を修正しました。</p>				
5.	<p>プロセス登録 WEBAPI、プロセス更新 WEBAPI について以下の項目に制限 byte 以上の文字列を入力した時、正しくエラー処理が実施されるように修正いたしました。</p> <p>・問合せ元 1 テキスト 1～18</p> <p>・問合せ元 2 テキスト 1～18</p>				
6.	<p>プロセス経過登録 WEBAPI について以下の項目に 101byte 以上の文字列が入力できない不具合を修正しました。</p> <p>・(経過)from</p> <p>・(経過)to</p> <p>・(経過)cc</p>				
7.	<p>イベント連携デーモンにおいて、絵文字等の特殊文字が特定の組み合わせで含まれる HTML ファイルの解析に失敗する不具合を修正しました。</p>				
8.	<p>簡易プロセス編集画面で、[更新+承認]ボタンの押下時にエラーが発生する不具合を修正しました。</p> <p>また、下記ボタンについて同様の不具合を修正しました。</p> <p>[更新+再承認]、[更新+代理承認]、[更新+代理再承認]</p> <p>[更新+確認]、[更新+再確認]、[更新+代理確認]、[更新+代理再確認]</p> <p>[更新+作業完了]、[更新+再作業完了]、[更新+代理作業完了]、[更新+代理再作業完了]</p>				
9.	<p>string 型項目の値に空文字("")を指定して API を実行した際に、400 Bad Request が返却される不具合を修正しました。</p> <p>[対象 API]</p> <p>・プロセス登録 API</p> <p>・プロセス更新 API</p> <p>・経過登録 API</p> <p>string 型項目の値に空文字("")を指定した場合の挙動は以下となります。</p>				

	<p>詳細については「API 連携機能利用ガイド」をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス登録 API <ul style="list-style-type: none"> －「Default」の記載がある以下の項目はデフォルト値が設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> － 現在対応者 － 最終更新者 －「Default」の記載がない項目には値が設定されません。 ・経過登録 API <ul style="list-style-type: none"> －「Default」の記載がある以下の項目はデフォルト値が設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> － 対応日 － 対応時刻 －「Default」の記載がない項目には値が設定されません。 ・プロセス更新 API <ul style="list-style-type: none"> － 後述の「1.4.3 前バージョンからの変更点」項番 2 の仕様に変更されます。 <p>※WEBAPI のインターフェースが変更になるため記載を熟読して API 利用処理の改修をしてください。</p>
10.	[公開グループ]が複数選択されている場合、“登録前”、“更新前”をトリガーアクションとした Webhook の送信メッセージで置換文字列[入力データ]内の[公開グループ]の値が空になる不具合を修正しました。
11.	「編集合計時間」項目が画面上に表示されている場合、“登録前”、“更新前”をトリガーアクションとした Webhook の送信メッセージで、置換文字列[入力データ]内の[編集合計時間]の値が空になる不具合を修正しました。
12.	「フロータイトル」項目が画面上に表示されている場合、申請中のチケットに対して、“登録前”、“更新前”をトリガーアクションとした Webhook の送信に失敗し、アプリケーションエラーにある不具合を修正しました。
13.	管理者メニュー > 画面 > サービスデスクレイアウト定義画面の CSV ファイル出力機能において、表項目 1～5 配下の項目の表示形式が「編集」の場合に、生成される CSV ファイル中の表示形式の値が「任意」になる不具合を修正しました。
14.	kibana のダッシュボードで表示されるコンボボックスのキー名が内部 ID で表示されてしまう不具合を修正しました。

1.5.3 前バージョンからの変更点

No	内容
1.	<p>プロセス登録 WEBAPI のシステムの指定について、システム ID ではなくシステム名で指定するように変更しました。</p> <p>※システム ID を指定するインターフェースは互換性の為保持していますが将来的に廃止予</p>

	定です。
2.	<p>プロセス更新 WEBAPI について、値のクリアができるように仕様を変更しました。</p> <p>string 型項目の値に空文字(""), Array of strings 型項目の値に空リスト([])を指定して API を実行した際に値がクリアされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「Default」の記載がある以下の項目はデフォルト値で更新されます。 - 最終更新者 - 「Default」の記載がない項目は値がクリアされます。 <p>■■ 注意点 ■■</p> <p>プロセス更新 WEBAPI は 2023.0.3 以前の仕様では空文字指定の場合にデータは更新されない仕様ですが、フォーマットが規定されている項目(日付、時刻、ユーザー選択)で空文字指定をするとエラーとなっていました。</p> <p>2023.0.3.1 にてエラーとなっていた項目を含めすべての項目で空文字指定は更新しない仕様となっていました。</p> <p>上記仕様ではプロセス更新 WEBAPI で値を空に更新することができない為、空文字指定は値を空に更新するように仕様を変更します。</p> <p>2023.0.3.1 以前のインターフェースを想定して任意の項目を空文字指定でプロセス更新 WEBAPI 実行しますと値がクリアされてしまいますので、値をクリアする意図なく項目に空文字指定を実施してプロセス更新 WEBAPI を実行していないかを確認し、存在する場合実行処理を修正してください。</p> <p>また、新旧 WEBAPI を同時稼働させることが可能です。「API 連携機能利用ガイド」の「1.5.5 WEBAPI 複数導入設定」を参照のうえ、実行処理の一括での修正が難しい場合、新旧 WEBAPI を同時稼働させた状態で新仕様への移行を進めてください。</p> <p>上記仕様変更に伴って、タイトル、ステータス、現在対応者の項目については必須指定項目のため、空文字指定の場合にエラーとなります。</p>
3.	<p>複数バージョンの WEBAPI による同時稼働がサポート対象となりました。</p> <p>導入方法については「API 連携機能ガイド」の「1.5.5 WEBAPI 複数導入設定」を参照してください。</p>

1.5.4 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。
本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「2 稼働環境」を参照してください。

- (1) API 連携で利用する Apache の以下バージョンがサポート対象となりました。
 - ・ Apache 2.4.58
- (2) API 連携で利用する Apache の以下バージョンがサポート対象外となりました。
 - ・ Apache 2.4.48

1.6 バージョン2023.0.3の主な機能

1.6.1 主な新機能

No	内容
1.	WEBAPI に対して監視が可能なヘルスチェック用のエンドポイントを新規で作成しました。
2.	<p>プロセス登録 WEBAPI、プロセス更新 WEBAPI、プロセス情報取得 WEBAPI のエンドポイントで取り扱い可能な項目について以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リッチテキスト 1、リッチテキスト 2 ・(経過)経過内容(リッチテキスト) ・問合せ元 1ID、問合せ元 2ID ・問合せ元 1 テキスト 1～問合せ元 1 テキスト 18 ・問合せ元 2 テキスト 1～問合せ元 2 テキスト 18 ・問合せ元 1 テキストエリア 1、問合せ元 2 テキストエリア 1 ・問合せ元 1 日付 1、問合せ元 2 日付 1 ・テキスト 20～50 ・コンボボックス 21～40
3.	<p>プロセス管理画面および簡易プロセス画面の既存項目を拡張し、以下の項目を追加しました。利用できる機能は既存項目と同様です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト 20～50 ・数値テキスト 4～60 ・コンボボックス 21～40 ・選択ユーザー3～10 <p>[a].パッチ適用の直後は、下記条件設定画面の項目に追加項目が表示されません。表示が必要な場合は、画面＞レイアウト定義＞サービス画面レイアウトから該当プロセスのビューの編集画面を開き、更新ボタンをクリックしてビューを更新後、レイアウト定義一覧にてレイアウト定義を更新してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SLAM チャート抽出条件設定 ・チェックリスト条件設定 ・自動メール通知条件設定
4.	<p>プロセス管理画面および簡易プロセス画面の親項目に以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・API 連携用テキスト 1～5 <p>[a].下記画面の「API 連携用テキスト 1～5」項目にて WEBAPI の URL を指定することで外部の WEBAPI から選択肢を取得し画面に表示することができます。詳しくはユーザーズガイドを参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー ＞ 機能別＞ WEBAPI 連携(プロセス管理入力) <p>[b].複数指定を可能にする場合はレイアウト定義画面で項目の高さを 55px から任意の高さに変更してください。</p>

	<p>[c].WEBAPI が返却する選択肢に、タブ文字や改行が含まれている場合には、データの区切りが判定できずに画面表示が崩れます。また、同じ要素名が存在している場合は、データを一意に識別することができません。いずれの場合も画面表示後の動作に影響があるため、外部の WEBAPI からは上記を含む選択肢を返却しないようにしてください。</p> <p>[d].本項目は下記の画面に対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細(プロセス管理、簡易プロセス) ・一覧(プロセス管理、簡易プロセス) ・検索条件(プロセス管理、簡易プロセス) ※ ・一覧帳票 ・詳細帳票 <p>※ホーム > ユーザー設定 > デフォルト設定の[検索時の大文字小文字/全角半角]設定は本項目に対して対象外となり、設定にかかわらず大文字小文字全角半角が区別された状態で検索されます。</p> <p>[e].本項目は下記の機能に対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目説明 ・コピー登録 ・メールテンプレート(メール送信、自動メール送信) ・送信メッセージテンプレート ・WEBAPI 連携(プロセス管理入力): 外部 WEBAPI へのリクエスト ・プロセス取得 API ・公開ビュー <p>[f].本項目は下記の機能には対応していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連登録コピー ・Elasticsearch 連携 ・レスポンス受信アクション ・WEBAPI 連携(プロセス管理入力): プロセス管理入力 ・プロセス登録・更新 API ・データ登録コマンド ・Senju/EN 連携 ・データ出力コマンド ・申請状況通知コマンド ・自動メール通知コマンド
5.	<p>プロセス管理、簡易プロセスの新規登録画面および編集画面で登録および更新処理前に Webhook 連携を実施できる機能を追加しました。</p> <p>[a].Webhook 連携のトリガーアクションに「登録前」「更新前」を追加しました。このトリガーアクションを使用した Webhook 連携は登録および更新処理前に Webhook 実行します。また、レスポンス受信アクションにて「キャンセル」処理を行うことが可能です。</p> <p>[b].送信メッセージテンプレートの置換文字列に「入力データ(%CMN:INPUT_DATA%)」を追加しました。本置換文字列はトリガーアクションが「登録前」「更新前」の送信メッセージでのみ、該当画面で入力したデータに置換されます以下の画面から設定してください。また、置換後の形式についてはマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー > WEBHOOK 連携 > 送信メッセージ <p>[c].制限事項は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリガーアクションが「登録前」の場合、送信メッセージに「%PRC:」で始まる置換文字列が指定されていた場合は空文字で置換されます。また、一部の置換文字列について制限があります。詳細はマニュアルを参照してください。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「%CMN:INPUT_DATA%」は JSON オブジェクトが設定されます。ダブルクォーテーションで括った場合にエスケープ処理を実施していないため、直前、直後のダブルクォーテーションを強制的に外す仕様となります。 ・トリガーアクションが「登録前」の場合、Webhook 連携は複数システム選択による一括登録に対応していません。新規登録時に複数システムを選択していて、選択されているシステムのうち 1 つでもトリガーアクションが「登録前」の WEBHOOK 送信設定が存在する場合、WEBHOOK 送信は実行されず、プロセス登録処理も実行されません。 ・画面で入力した値に、サポートされていない文字が含まれている場合に、WEBAPI に渡す値が HTML エンコードされます。この場合、WEBAPI 側で文字長チェックなどを行う際に想定通りのチェックが行われないことが想定されます。 ・入力データの対象項目が該当画面で未入力または未設定の場合、項目の値は空の状態 WEBAPI に渡されます。
6.	<p>管理者メニューの承認フロールートの帳票出力対象にサブルートを追加しました。</p> <p>[a].追加項目は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブルート選択 ・承認者選択ルート No ・外部チェック <p>[b].以下の項目は出力内容に変更があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルート種別 メインルート/サブルート ・差戻し先ルート No サブルートの場合はメインルート対象の場合のみ、数字の後に「(メインルート)」と出力
7.	<p>データ移行コマンドで以下のマスタ情報を移行対象として追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー/画面/画面定義/入力文字制御 ・管理者メニュー/画面/画面定義/フリーワード検索対象定義 ・管理者メニュー/画面/画面定義/必須項目初期表示制御管理
8.	<p>特定フォルダの CSV ファイルを読み込んでプロセス管理に短時間内に大量のレコードを登録する試験的な機能(※)を追加しました。</p> <p>※試験的な機能のため、使用を希望する場合には製品販売元もしくは千手カスタマーサポートセンターにご相談ください。</p>
9.	<p>PostgreSQL をデータベースサーバーに使用した場合の SSA 連携機能および ESP 連携機能のカスタム監視スクリプトを提供しました。</p> <p>スクリプトの利用手順は「2023.0.3_ReadMe_別紙_SSA カスタム監視スクリプト_1.0 版.txt」をご参照ください。</p>

1.6.2 不具合の対応

No	内容
1.	<p>プロセス経過登録 WEBAPI について以下の項目に制限 byte 以上の文字列を入力した時、正しくエラー処理が実施されるように修正いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応先 ・テキスト 1～4

2.	関連ナレッジに登録されている既知エラーのタイトルリンクを押下した際、システムエラーが発生する不具合を修正しました。
3.	プロセス管理画面で経過追加を同時に実施した場合に経過番号が重複して登録されてしまい、一覧画面と詳細画面で不正表示となる不具合を修正しました。
4.	レスポンス受信アクションでテキスト項目などに日付形式の文字列を指定すると自動変換される不具合を修正しました。
5.	webhook 連携を行うトリガーに削除前、経過削除前、クローズ前を指定した場合に、レスポンス受信アクション利用時、トリガーアクションのキャンセルが実施されない不具合を修正しました。
6.	Webhook 送信設定管理画面の一覧リストにトリガーアクションの値が表示されていない不具合を修正しました。
7.	プロセス検索結果一覧レイアウトにおいて、「更新情報」の右側に「×マーク」を配置すると一括承認選択画面でアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。
8.	プロセス管理画面および簡易プロセス画面において、1 行のみ表示されている項目でスクロールが出る不具合を修正しました。以下の項目が対象となります。 ・公開グループ ・選択ユーザー ・添付ファイル
9.	レイアウト定義画面で特定のテンプレートを適用した画面に対してレイアウト CSV 出力を実施するとシステムエラーが発生する不具合を修正しました。
10.	データ登録コマンドにおいて、マッピングアイテムファイルに同じ名称の項目を複数指定した場合に、エラー原因が分かるように以下のメッセージを出力するように修正しました。 ・メッセージ: 「マッピングアイテムファイルに同じ項目名が複数存在します。(重複項目名)」
11.	画面に表示されている表項目ブロックの数を超える番号の表項目(※)が存在するプロセス管理画面において、新規登録画面を開くとアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。 ※例: 2 つの表項目が表示されている画面に表項目 3～表項目 5 が存在している場合
12.	「管理者メニュー>画面>サービスデスク画面レイアウト」で「セパレータ」項目を設定したプロセス管理のビューに対して、レイアウト CSV 出力を行うと「セパレータ」項目が「空白用項目」として CSV ファイルに出力される不具合を修正しました。
13.	以下の条件を満たす場合に「管理者メニュー>画面>簡易画面レイアウト」画面でレイアウト CSV 出力を行うとアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。 ・ログインユーザーが所属する画面ポリシーで「レイアウト定義>簡易画面レイアウト」の「使用ビュー」が「2:編集強制解除可」の場合
14.	データ登録コマンドおよびイベント連携デーモンにおいて、プロセス管理に対して更新モード(102)を指定して処理を実行時に、指定したシステム名のシステムが複数存在すると処理が異常終了する不具合について、以下のメッセージを出力しプロセスを登録しないように修正しました。 ・メッセージ: 「指定されたシステム名が複数存在しているため、更新対象を特定できません。」
15.	プロセス登録 WEBAPI、プロセス更新 WEBAPI、プロセス経過登録 WEBAPI について、以下の項目の値を空で指定した時例外が発生する不具合について、項目値を空で処理するように修正しました。 ・リッチテキスト 1、リッチテキスト 2 ・(経過)経過内容(リッチテキスト)
16.	イベント連携デーモンによるプロセス管理およびイベントの登録、更新、経過追加で、以下の項目の値を空で指定した時エラーが発生する不具合について、項目値を空で処理するように修正しました。 ・リッチテキスト 1、リッチテキスト 2

	・経過リッチテキスト
17.	WEBAPI 連携(プロセス管理入力) 機能で対象外としている項目に WEBAPI から値が返却された場合に、画面に値が反映されてしまう不具合を修正しました。
18.	Elasticsearch 連携対象に以下の項目が含まれていない不具合を修正しました。 ・日付テキスト 3～15 ・時刻テキスト 3～15

1.6.3 前バージョンからの変更点

No	内容
1.	制御情報の「画面余白サイズの設定」設定を「狭く表示」にした場合のブロックヘッダとブロックヘッダ下のボタンとの間隔を広げました。
2.	システムマスタ画面において新規登録または更新を行う際に、入力したシステム名が既に存在する場合、以下の警告メッセージを表示するように変更しました。 ・警告メッセージ 登録の場合:「指定されたシステム名が既に存在していますが、登録しますか？」 更新の場合:「指定されたシステム名が既に存在していますが、更新しますか？」 「OK」をクリックした場合、警告を無視しシステムマスタレコードの登録または更新を行います。

1.6.4 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。
本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「**2 稼働環境**」を参照してください。

- (3) Kibana 連携で利用する Python の以下バージョンがサポート対象となりました。
・Python 3.11.3
- (4) Kibana 連携で利用する Python の以下バージョンがサポート対象外となりました。
・Python 3.7.9

1.7 バージョン2023.0.2の主な新機能

1.7.1 不具合の対応

- (1) チェックリスト条件設定画面で日付テキスト 3～日付テキスト 15 と時刻テキスト 3～時刻テキスト 15 に条件値を入力したときに、プロセス管理のレコード登録時に該当項目の条件値に合致してもチェックリストが適用されない不具合を修正しました。
- (2) データベースが PostgreSQL の場合に、プロセス管理、簡易プロセス画面のフリーワード検索の性能を改善しました。
- (3) ESP システムマスター一括登録でマスタ件数上限値チェックの計算対象件数が間違っている不具合を修正しました。
- (4) 条件設定画面とプロセス管理画面にある、日付テキスト 3～日付テキスト 15 と時刻テキスト 3～時刻テキスト 15 に値を入力した際、チェックリストが適用されないという不具合を修正しました。

1.7.2 前のバージョンからの変更

- (1) データベースが PostgreSQL の場合に、障害メッセージ制御 機能をサポート対象に追加しました。

1.7.3 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。
本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「**2 稼働環境**」を参照してください。

- (1) API 連携で利用する Python の以下バージョンがサポート対象となりました。
・Python 3.11.3
- (2) API 連携で利用する Python の以下バージョンがサポート対象外となりました。
・Python 3.7.9

1.8 バージョン2023.0.1の主な新機能

1.8.1 主な新機能

No	内容								
1.	<p>画面全体の余白部分を狭くし画面内の情報量を増やす設定機能を追加しました。 制御情報の以下の設定を「狭く表示」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】 ・余白サイズの設定</p> <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>								
2.	<p>簡易画面レイアウト定義において、フォームレイアウトの経過項目に経過内容(リッチテキスト)項目を設定できるようにしました。</p>								
3.	<p>ログインフレームからナレッジ(既知エラー／FAQ／ファイルライブラリ／リンク集)を参照時に「最終更新者」項目を非表示にできるようにしました。 制御情報の以下の設定を「表示しない」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】 ・最終更新者表示設定</p> <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>								
4.	<p>問合せ後、再問合せ後、完了後の操作を Webhook 送信設定のトリガーアクションに追加しました。 実行される画面は以下の通りです。</p> <p>＜問合せ後＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易プロセス詳細画面(問合せ) ・簡易プロセス新規登録画面(登録＋問合せ) ・簡易プロセス編集画面(更新＋問合せ) <p>＜再問合せ後＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡易プロセス詳細画面(再問合せ) <p>＜完了後＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス管理詳細画面(完了) ・簡易プロセス詳細画面(完了) 								
5.	<p>Webhook の置換文字列に「操作画面 ID」を追加しました。 Webhook 送信のトリガーアクションが行われた画面の表示用データ種別が出力されます。</p>								
6.	<p>Webhook の置換文字列に「簡易画面フォーム名」を追加しました。 簡易プロセスにて起票したチケット、もしくはプロセス起票してフォーム公開したチケットについて、簡易画面フォーム名が出力されます。</p>								
7.	<p>以下の公開ビューに「簡易画面フォーム名」を追加しました。 簡易プロセスにて起票したチケット、もしくはプロセス起票してフォーム公開したチケットについて、簡易画面フォーム名が取得できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公開ビュー</th><th>ビュー名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L_PVIEW_01_0001</td><td>公開プロセスラベルビュー</td></tr> <tr> <td>PVIEW_01_0001</td><td>公開プロセスビュー</td></tr> <tr> <td>PVIEW_01_0001_0001 ～ PVIEW_01_0001_0103</td><td>公開プロセスビュー(プロセス 1 ～ 103)</td></tr> </tbody> </table>	公開ビュー	ビュー名	L_PVIEW_01_0001	公開プロセスラベルビュー	PVIEW_01_0001	公開プロセスビュー	PVIEW_01_0001_0001 ～ PVIEW_01_0001_0103	公開プロセスビュー(プロセス 1 ～ 103)
公開ビュー	ビュー名								
L_PVIEW_01_0001	公開プロセスラベルビュー								
PVIEW_01_0001	公開プロセスビュー								
PVIEW_01_0001_0001 ～ PVIEW_01_0001_0103	公開プロセスビュー(プロセス 1 ～ 103)								

8.	<p>簡易プロセス新規登録画面(フォーム選択前)に遷移できるアクセス URL について、フォーム ID(“FormId”)を指定することにより簡易プロセス新規登録画面(フォーム選択後)に遷移できるようにしました。</p> <p>アクセス URL は下記の通りです。(例:SAML 認証 かつ 簡易プロセス 1 の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーム ID 指定なし: https://xxxxxxx/ssm/menu/SamlLogin/saml_login.asp?DispId=00000003&DataType=00000104 ・フォーム ID 指定あり: https://xxxxxxx/ssm/menu/SamlLogin/saml_login.asp?DispId=00000003&DataType=00000104&FormId=XXXXXXXX <p>※[フォーム ID 指定あり]の場合は、クエリパラメータに“FormId”を追加してください。 管理者メニュー > 画面 > レイアウト定義 > 簡易画面レイアウト メニューより、簡易画面定義画面(フォーム定義タブ)にてご確認頂けます。 (主な新機能[10]参照)</p> <p>※[フォーム ID 指定なし]も今まで通りご利用可能です。</p>
9.	<p>サービスデスク画面定義画面(ビュー定義タブ)に、下記項目を表示するようにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録画面用アクセス URL
10.	<p>簡易画面定義画面(フォーム定義タブ)に、下記項目を表示するようにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録画面用アクセス URL(フォーム指定無・有)
11.	<p>簡易プロセス詳細画面に「業務ステータス」を表示する機能を追加しました。 下記[a][b][c]の 3 つの設定が全て行われている場合に表示されます。</p> <p>[a].下記の制御情報が“使用する”になっていること。</p> <p>制御情報に以下の項目を追加しましたので、ご利用になる場合は設定値を変更してください。 【管理項目名】 ・業務ステータス機能使用設定</p> <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p> <p>[b].業務ステータスの設定が行われていること。</p> <p>【 管理者メニュー > 機能別 > 業務ステータス > 業務ステータスマスタ管理メニュー 】 “使用する”にチェックが付いている有効なステータスが 1 つでもあれば表示対象となります。</p> <p>[c].フォームレイアウトに「ステータス」項目が存在すること。</p> <p>※表示される「業務ステータス」について、プロセス管理画面では下記ボタンによりステータス変更を可能としていますが、簡易プロセス画面ではボタン表示はせず参照のみ可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次のステータスへ」ボタン ・「ステータス選択」ボタン ・「クローズ」ボタン
12.	<p>簡易プロセス詳細画面に表示される経過情報の表示順を変更する機能を追加しました。 制御情報の以下の設定を変更することで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】 ・簡易プロセス詳細画面の経過情報表示順設定</p> <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>

13.	<p>データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)について、以下のリッチテキスト項目を登録・更新する機能を追加しました。</p> <p>[a].この機能で登録・更新する表示対象項目は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親情報-リッチテキスト 1 ・親情報-リッチテキスト 2 ・経過情報-経過(リッチテキスト) <p>[b].データ登録コマンドで上述のリッチテキスト項目を登録及び更新したい場合には、インポートファイル中に、それぞれ以下のフィールドを追加しリッチテキスト内容ファイル(※1)の絶対パスを入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親情報-リッチテキスト 1: <ul style="list-style-type: none"> ・リッチテキスト 1(※2)(※3) ・リッチテキスト 1(テキストのみ)(※4)(※5) ・親情報-リッチテキスト 2: <ul style="list-style-type: none"> ・リッチテキスト 2(※2)(※3) ・リッチテキスト 2(テキストのみ)(※4)(※5) ・経過情報-経過(リッチテキスト): <ul style="list-style-type: none"> ・経過リッチテキスト(※2)(※3) ・経過リッチテキスト(テキストのみ)(※4)(※5) <p>※1: 指定ファイルのエンコード及びファイル内の charset は必ず下記にしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SHIFT_JIS ・ISO-2022-JP ・US-ASCII ・UTF-8 <p>※2: リッチテキスト 1、リッチテキスト 2 および経過リッチテキストの入力上限値は 10,000,000byte となります。</p> <p>この上限値は指定された情報をエスケープ処理した後のサイズとなります。</p> <p>記号等を含む場合には余裕を持って指定してください。</p> <p>指定したファイルのサイズが上限を超えた場合、該当リッチテキストとリッチテキスト(テキストのみ)は登録及び更新されません。</p> <p>※3: リッチテキスト項目について、HTML 形式で装飾された情報を登録する場合、インポートファイルに指定される絶対パスのファイル中身は<HTML>~</HTML>の形式で記載してください。</p> <p>※4: リッチテキスト 1(テキストのみ)、リッチテキスト 2(テキストのみ)および経過リッチテキスト(テキストのみ)を指定しない場合</p> <p>対応するリッチテキスト 1、リッチテキスト 2 および経過リッチテキストが指定されていれば、その内容からテキストを抽出し 4000byte 分を自動的に登録・更新します。</p> <p>※5: リッチテキスト 1(テキストのみ)、リッチテキスト 2(テキストのみ)および経過リッチテキスト(テキストのみ)の入力上限値は 4000byte となります。</p> <p>指定したファイルのサイズが上限値を超えた場合、4000byte まで切り捨ててから、登録・更新されます。</p>
14.	<p>プロセス管理で承認フローのルートを進行了た際に既存のエスカレーション対応者情報を保持しないようにする機能を追加しました。</p> <p>制御情報の以下の設定を「保持しない」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認ルート進行時の対応者保持設定

	⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」
15.	<p>簡易プロセスから承認フロー申請、承認、却下、差戻し画面を表示した際に「通知先」項目を非表示にする機能を追加しました。</p> <p>制御情報の以下の設定を「表示しない」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> 承認フロー通知先の表示制御設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
16.	<p>データ登録コマンドおよびイベント連携デーモンにクローズされたレコードの更新機能を実装しました。</p> <p>[a].データ登録コマンドおよびイベント連携デーモンでプロセス管理のクローズ済みレコードを更新する場合に、以下の制御情報によって、クローズ状態の解除のみを許可する(※1)か、全ての指定された項目を更新するか(※2)を切り替えられるようにする機能を追加しました。</p> <p>※1 アップデート前の既存動作となります。</p> <p>※2 クローズ済みのレコードに対して、指定値によりクローズ解除および指定内容の更新として扱われますが、一部項目には制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - クローズ済みレコードに対しステータスを更新せずにエスカレーション先情報を指定した場合、指定は無視され項目は更新されません。 - クローズ済みレコードのステータスをクローズに更新する場合、エラーにはならずクローズと扱われます。この場合以下の動作となります。 <ol style="list-style-type: none"> 1. アップデータ前の既存動作と同じく、ステータスをクローズに指定する場合にはクローズ者は必須項目として必ず指定してください。 2. 前回のクローズ時に登録されていた、クローズ日、クローズ時刻、クローズ者、クローズ理由、クローズコメントは、新たな値が指定されている場合にはその値で上書き更新されます。 <p>[b].制御情報に以下の項目を追加しました。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> コマンドからのクローズされたプロセスデータに対する更新許可設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
17.	<p>登録されているお知らせを編集・更新する機能を追加しました。</p> <p>[a].お知らせ一覧画面に表示されるお知らせレコードの削除ボタンの左側に「編集」ボタンを追加しました。</p> <p>[b].お知らせの「編集」ボタンをクリックすると、お知らせ編集画面が表示されるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ編集画面にはお知らせ新規画面と同じように以下の項目が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル ※1 ・内容 ※1 ・表示期限 ※2、※3 ・公開先 ※1、※6 ・添付ファイル ※2、※5

[c].画面ポリシーの一括登録機能において、お知らせ使用ビューの値を設定できるように対応しました。
既存の使用ビューが存在する画面と同じように、お知らせの画面 ID の指定値は以下となります。

[指定値の説明]

お知らせに対して「表示する/しない」を 0/1 で指定します。
その上で、ビューID を区切り文字でつなげて指定します。※1、※2

※1:ビューID は「お知らせ編集可/お知らせ編集不可」を 1/2 で指定してください。

※2:「管理者メニュー > 機能別 > 帳票」の置換文字設定(必須)で
SSM_INSIDE_DIVISION>」に設定した値を指定してください。

[指定値の例]

該当画面ポリシーのお知らせを表示する/お知らせ編集不可(ユーザーグループ情報非表示)に設定する場合(区切り文字には “;” が設定されている場合)

ID,TITLE,OUTLINE,999000003,画面ポリシー1,画面ポリシー1 概要,0:3

[d].利用者メニュー > ホーム > お知らせ一覧画面において、以下の通り表示制御するように変更します。

[表示制御ボタン]

- ・「新規登録」ボタン
- ・「編集」ボタン
- ・「削除」ボタン

[表示制御一覧項目]

- ・「公開先」項目
- ・「登録者」項目
- ・「最終更新者」項目

ログインユーザーに設定されている画面ポリシーのお知らせ使用ビューの設定と表示制御は以下ようになります。

- ・「1:お知らせ編集可」に設定されてれる場合:
お知らせ一覧画面に上述の[表示制御ボタン]と[表示制御一覧項目]は表示されます。
- ・「2:お知らせ編集不可」に設定されている場合:
お知らせ一覧画面に上述の[表示制御ボタン]は表示されませんが、上述の[表示制御一覧項目]は表示されます。
- ・「3:お知らせ編集不可(ユーザーグループ情報非表示)」に設定されている場合:
お知らせ一覧画面に上述の[表示制御ボタン]と[表示制御一覧項目]は両方とも表示されません。

[e].利用者メニュー > ホーム > ホーム の お知らせブロックにおいて、以下の通り表示制御するように変更します。

ログインユーザーに設定されている画面ポリシーのお知らせ使用ビューの設定が表示制御は以下ようになります。

- ・「1:お知らせ編集可」に設定されている場合:
「追加」ボタンが表示されます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「2:お知らせ編集不可」に設定されている場合: 「追加」ボタンが表示されません。 ・「3:お知らせ編集不可(ユーザーグループ情報非表示)」に設定されている場合: 「追加」ボタンが表示されません。
19.	<p>利用者メニュー > ホーム > お知らせ一覧画面において、表示順を最終更新日時順に設定する機能を追加しました。 制御情報の以下の設定を「最終更新日時の降順」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>[a].制御情報に以下の項目を追加しました。 【管理項目名】 ・お知らせの表示順設定 ⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p> <p>[b].利用者メニュー > ホーム > ホーム の お知らせブロックにおいて以下の通り動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お知らせレコードの表示順について: <ul style="list-style-type: none"> ・制御情報「お知らせの表示順設定」が「登録日時の降順」に設定されている場合、各レコードの登録日時の降順で表示されます。 ・制御情報「お知らせの表示順設定」が「最終更新日時の降順」に設定されている場合、各レコードの最終更新日時の降順で表示されます。 ・お知らせレコードに表示される経過時間について: <ul style="list-style-type: none"> ・制御情報「お知らせの表示順設定」が「登録日時の降順」に設定されている場合、各レコードの登録日時によって計算される経過時間で表示されます。 ・制御情報「お知らせの表示順設定」が「最終更新日時の降順」に設定されている場合、各レコードの最終更新日時によって計算される経過時間で表示されます
20.	<p>SLAM チャートにおいて、条件設定に「所属する全システム」を設定することで、ユーザー毎の参照可能な範囲の件数を表示する機能を追加しました。</p> <p>[a].以下の画面のシステム項目において、「所属する全システム」が選択及び表示できるように対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー > 機能別 > SLAM チャート > SLAM チャート抽出条件設定 ・管理者メニュー > 機能別 > SLAM チャート > SLAM チャート設定 > SLAM チャート条件編集画面 > SLAM チャート条件選択画面 <p>※一括登録機能でも「所属する全システム」選択肢が入力できるように対応しました。 ※システムを複数選択した場合、「所属する全システム」を含めることはできません。 ※システムに「所属する全システム」が設定された場合、システム項目に連動するコード項目などについては「全システム共通」の値しか選択できません。</p> <p>[b].利用者メニュー > サービスレベル > SLAM チャートにおいて、条件設定に「所属する全システム」が設定された場合に、ログインユーザーが所属する全システムに絞り込んだ状態で検索を行い件数を表示します。</p> <p>※該当条件が設定された場合、ログインユーザーの所属するシステムによりユーザー毎に異なる件数が表示される仕様となります。 ※既存の条件と同様に参照権限を持たないレコードに対しても件数は集計されますが、</p>

	SLAM チャート詳細画面を開くと、参照権限を持たないレコードについては「参照権限がないレコードです」と表示されます。
21.	<p>[21].プロセス管理画面/簡易プロセス画面のフリーワード検索対象項目をカスタマイズできるように対応しました。</p> <p>[a].管理者メニュー > 画面 > 画面定義の配下に、「フリーワード検索対象定義」画面を新たに追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーワード検索対象定義画面では、まず「画面名」項目を選択後に「編集」ボタンを押下して、対象画面のフリーワード検索対象定義編集画面を表示してください。 ・フリーワード検索対象定義編集画面では、フリーワード検索の対象となる画面項目を設定します。 レコードを選択したうえで、[>]ボタンもしくは[<]ボタンで選択元/先リストの間に遷移できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・選択元リスト ※1 ・選択済みリスト ※2、※3 <p>※1:フリーワード検索対象項目についてクローズ理由以外の項目が表示されます。なお、制限事項として本機能ではクローズ理由をフリーワード検索対象から外すことができません。</p> <p>※2:このリストにある項目がフリーワード検索の対象となります。インストール直後は全ての項目が選択済みとなっています。</p> <p>※3:「更新」ボタンをクリックする際に、選択済みリストの中に少なくとも1件のレコードが存在する必要があります。</p> <p>[b].管理者メニュー > ユーザー > 画面ポリシーに「フリーワード検索対象定義」レコードを追加します。なお、パッチ適用時にこの画面ポリシーの値は OFF の状態となります。必要に応じて値を ON に変更してください。</p> <p>[c].プロセス管理画面および簡易プロセス画面において、フリーワード検索を行う際に以下の項目に対して検索を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリーワード検索対象定義画面で定義されたフリーワード検索対象項目 ・クローズ理由
22.	<p>プロセス管理画面および簡易プロセス画面において、新規登録時に必須項目に設定される値を「画面ごと > 項目ごと」に設定する機能を追加しました。</p> <p>[a].管理者メニュー > 画面 > 画面定義の配下に、「必須項目初期表示制御管理」画面を新たに追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「必須項目初期表示制御管理」画面において、まず「画面名」「表示対象(※1)」項目を選択後に「表示」ボタンを押下して、必須項目初期表示制御管理編集画面を表示してください。 <p>※1:表示対象項目は「ビュー1 の表示項目」と「すべての項目」の2つの選択肢があります。「ビュー1 の表示項目」の場合、選択した画面のビュー1 で必須に設定されている「システム」以外のすべてのプルダウン項目が表示されます。 「すべての項目」の場合、必須に設定されているかに関わらず選択した画面の「システム」以外のすべてのプルダウン項目が表示されます。 なお、本機能では「システム」の設定はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必須項目初期表示制御管理編集画面に表示された一覧において、必須項目の初期値を

	<p>設定したい項目に以下の設定を実施してください。</p> <p>「必須項目初期表示制御の設定値」</p> <p>以下の4種類選択肢があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御情報の設定値に従う: 共通の制御情報「必須指定項目の初期表示」の設定値に従います。 ・表示順が最も若い項目を選択する: 表示される必須項目の選択肢の中で表示順が最も若い項目が初期値となります。 「----(未選択)」は選択肢から除外されます。 ・----を表示する: 「----(未選択)」が初期値となります。 ・デフォルト値を表示する: 後述の「デフォルト値」で選択した値が初期値となります。「----(未選択)」は選択肢から除外されます。 <p>「デフォルト値」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「必須項目初期表示制御の設定値」が「デフォルト値を表示する」以外の場合、空白で表示されます。 ・「必須項目初期表示制御の設定値」が「デフォルト値を表示する」の場合、プルダウンが表示されます。 <p>なお、プルダウンの選択肢には全システム共通の有効なコード値のみが表示されます。</p> <p>[b].管理者メニュー > ユーザー > 画面ポリシーに「必須項目初期表示制御管理」レコードを追加します。なお、パッチ適用時にこの画面ポリシーの値は OFF の状態となります。必要に応じて値を ON に変更してください。</p> <p>[c].プロセス管理画面/簡易プロセス画面でプルダウン項目の必須項目の初期表示時(※1)に、「必須項目初期表示制御管理」で設定した値が選択された状態で表示されるようになります。(※2)</p> <p>※1: 必須項目の初期表示は以下の場合に動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録画面および経過追加画面を表示する場合。 ・編集画面および経過編集画面の表示する際に、必須項目設定が変更されていたり、新規登録時の別のビューが使用されているなどの理由で、必須項目に値が存在しない場合。 ・コピー登録、関連登録、イベント管理経由での新規登録を行う際に、コピー元画面/関連登録元画面/イベント画面から引き継がれた値が存在しない場合。 ※引き継がれた値がある場合はその値が選択されます。 <p>※2: 他に初期値を設定できる場合の優先度は以下の通りとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公開グループ」項目: ユーザーデフォルト設定のデフォルトグループの設定値 > 必須項目初期表示制御管理の設定値 > 制御情報「必須指定項目の初期表示」の設定値 ・「公開グループ」以外項目: 必須項目初期表示制御管理の設定値 > 制御情報「必須指定項目の初期表示」の設定値
23.	プロセス管理画面/簡易プロセス画面の以下の検索条件対象項目について、「(未選択)」もし

くは「(未入力)」のレコードを検索できるように対応しました。

[a].検索条件対象項目は以下となります。

・「(未選択)」が設定できる検索条件項目は以下となります。

・コードリストの項目：

- ・コンボボックス 1～20
- ・種別
- ・クローズ種別
- ・接続先名(RBA)
- ・ラジオボタン 1～2
- ・コンボテキスト 1～2
- ・インパクト
- ・優先度
- ・緊急度
- ・公開グループ
- ・種別設定元コンボボックス 1～10
- ・ブロック制御コンボボックス 1～3
- ・サブステータス
- ・ステータス
- ・チェックボックス 1～23

・分類の項目：

- ・大分類＞中分類＞小分類
- ・2 連分類 1-1＞2 連分類 1-2
- ・2 連分類 2-1＞2 連分類 2-2
- ・3 連分類 1-1＞3 連分類 1-2＞3 連分類 1-3
- ・3 連分類 1-1＞3 連分類 1-2＞3 連分類 1-3
- ・5 連分類 1-1＞5 連分類 1-2＞5 連分類 1-3＞5 連分類 1-4＞5 連分類 1-5
- ・5 連分類 2-1＞5 連分類 2-2＞5 連分類 2-3＞5 連分類 2-4＞5 連分類 2-5

・「(未入力)」が設定できる検索条件項目は以下となります。

- ・クローズ期限日
- ・起票日
- ・クローズ日
- ・問合せ元 1 日付 1
- ・問合せ元 2 日付 1
- ・最終更新日
- ・承認申請日
- ・申請完了日
- ・開始日
- ・終了日 1～終了日 3
- ・対応予定日 1～対応予定日 5
- ・対応実績日 1～対応実績日 5
- ・スケジュール設定開始日
- ・スケジュール設定終了日
- ・メール通知基準日
- ・開始予定日
- ・終了予定日
- ・日付テキスト 1～日付テキスト 15
- ・更新実施日

[b].プロセス管理画面および簡易プロセス画面の検索条件ブロックについて画面表示を以下

	<p>のように変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(未選択)」が設定できる検索条件項目において、現行の項目画面表示の後ろに「(未選択)」チェックボックス項目を追加しました。 ・「(未入力)」が設定できる検索条件項目において、現行の項目画面表示の後ろに「(未入力)」チェックボックス項目を追加しました。 <p>[c].プロセス管理画面および簡易プロセス画面の検索処理を以下のように変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索条件項目の「(未選択)」もしくは「(未入力)」チェックボックスが OFF の状態で検索を行う場合、検索条件の値が入力されている場合は、指定される値に合致するレコードが検索結果一覧に表示されます。検索条件の値が空の場合は、全てのレコードが検索結果一覧に表示されます。 ※既存仕様となります。 ・検索条件項目の「(未選択)」もしくは「(未入力)」チェックボックスは ON の状態で検索を行う場合、検索条件の値が入力されている場合は、指定される値に合致するレコードと値が空であるレコードが両方検索結果一覧に表示されます。検索条件の値が空の場合は、値が空であるレコードが検索結果一覧に表示されます。 ・検索条件項目が分類項目の場合、「(未選択)」チェックボックスは 1 つの分類項目の中で 1 つのプルダウンにしか設定できません。
24.	<p>通常メニューのユーザー検索機能について表示対象のユーザーを、ログインユーザーが所属するグループのユーザーのみに限定する機能を追加しました。 制御情報の以下の設定を「ログインユーザーの所属グループ」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー選択時の未所属グループ検索設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
25.	<p>プロセス管理の承認処理を API から実行できるよう WEBAPI サーバーの機能を追加しました。 ※承認申請、却下、差戻しには対応しておりません。</p>
26.	<p>イベント連携機能において、Senju/SM のプロセスが異常停止した場合に、通常の設定ではメモリ上にあるキューのメール情報は失われますが、予めディスクにデータを記録しておくことで異常停止した場合でもメールをリカバリするオプションを追加しました。</p> <p>1.SSM DB サーバーコンフィグレータにおいて、「拡張設定」>「常駐機能」>「イベント連携機能を使用する」チェックボックスの配下に「イベント連携機能の未処理データを保持する」チェックボックスを追加しました。</p> <p>1-1.「イベント連携機能の未処理データを保持する」チェックボックスがオンの場合に、「2-1」の処理を行います。</p> <p>1-2.「イベント連携機能の未処理データを保持する」チェックボックスがオフの場合は、「2-2」の処理を行います。(動作は変わりません)</p> <p>2.イベント連携機能において、オプション設定時のディスクへの未処理データの記録処理および取得処理を追加しました。</p> <p>2-1.「1-1.」の場合に、Senju/EN 側から連携されるイベント内容をローカルディスク上の一時ファイルに保存します。その後、保存されている一時ファイルから情報を取得して Senju/SM の DB サーバーへ取り込みます。</p> <p>2-2.「1-2.」の場合に、Senju/EN 側から連携されるメール内容は既存処理のままで、キュー</p>

	にデータを格納した上で、キューから情報を取得して Senju/SM の DB サーバーへ取り込みます。
--	---

1.8.2 不具合の対応

No		Oracle	PostgreSQL
1.	最終ルートの最終承認時にサブルート選択を行った結果、最終承認ではなくなった場合でも、制御情報の「最終承認時の承認フロー追加通知先へのメール送信選択権限設定」の値を参照しメール送信のチェックボックスがチェックありで描画される不具合を修正しました。	○	○
2.	最終ルートの最終承認時に却下または差戻しを行った場合、制御情報の「最終承認時の承認フロー追加通知先へのメール送信選択権限設定」の値を参照しメール送信のチェックボックスがチェックありで描画される不具合を修正しました。	○	○
3.	データ登録コマンドおよびイベント連携デモンにおいて、指定される承認フロー追加通知先の値について、名称<アドレス形式>を指定し、かつ名称の前後もしくは名称内に半角スペースが存在する場合、メールアドレス形式チェックエラーとなり、承認フロー追加通知先項目が登録されず、警告メッセージが出力される不具合を修正しました。	○	○
4.	イベント連携デモンにおいて、指定されるリッチテキスト項目の内容が、HTML 形式かつ META タグ(<META HTTP-EQUIV...>)から始まっている場合に、HTML 形式ではなくテキスト形式として扱われてしまう不具合を修正しました。	○	○
5.	帳票出力にて、Excel 形式で出力したファイルの作成者と前回保存者に不適切な値が設定される不具合を修正しました。	○	○
6.	2022.0.2 以降の Senju/SM で Kibana 連携を利用している場合に、マークダウン項目が全文検索機能・類似検索機能に反映されていない不具合を修正しました。	○	○
7.	メールテンプレート画面に「SAML 認証用アクセス URL (%PRC:SAML_ACCESS_URL%)」が 2 つ表示される不具合を修正しました。	○	○
8.	組織情報の「表示順」項目について、画面から登録した内容と API から登録した内容とで相違が発生する不具合を修正しました。	○	○
9.	<p>構成管理画面で構成アイテムの検索時に、検索条件項目の「システム」に複数のシステムを指定して検索したのち、検索結果リストに対し以下の操作を行ったときに、「所属する全システム」の状態データの抽出が行われてしまう不具合を修正しました。</p> <p>【対象画面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成アイテム一覧画面 ・プロセス新規登録－関連構成の関連選択画面 ・構成アイテム新規登録－関連構成の関連選択画面 <p>【対象操作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帳票出力 ※構成アイテム一覧画面のみ ・改ページ(<>)<>][<>][<>]<>ボタン) 	○	○
10.	<p>別の WEB ブラウザを使用して、同じユーザーが Senju/SM にログインを行い、以下の操作を行った際に「不正な操作が行われました」エラーが発生する不具合を修正しました。</p> <p>事象が発生する操作</p>	○	○

No		Oracle	PostgreSQL
	①Senju/SM にログイン ②別の WEB ブラウザから同じユーザーで Senju/SM ログイン後、プロセス編集画面の操作 ③先にログインしていた Senju/SM の画面を操作 この時、後からのログインによりユーザーの接続が切断されているため、「接続が無効になりました」エラーが発生 ④この状態で、後からログインしたプロセス編集画面に戻り「更新」ボタンを押下すると「不正な操作が行われました」エラーが発生		
11.	データベースに PostgreSQL を使用している場合、イベント管理画面にて、特定のレコード(※)に対して、送信者を指定した検索を行った際に検索結果が不正となる不具合を修正しました。 ※データ登録コマンドまたはイベント連携デーモン経由で登録する際に「送信元」項目と「送信元アドレス」項目のいずれかが、指定されないもしくは NULL で指定されたレコード。	×	○
12.	データベースに PostgreSQL を使用している場合、データ出力コマンドにてイベント管理を出力する際に、特定のレコード(※)の項目「送信者」の値が不正となる不具合を修正しました。 ※データ登録コマンドまたはイベント連携デーモン経由で登録する際に「送信元」項目と「送信元アドレス」項目のいずれかが、指定されないもしくは NULL で指定されたレコード。	×	○
13.	データベースに PostgreSQL を使用している場合 かつ プロセス管理の ID ルール設定で以下の設定をしている場合に、データ登録コマンド もしくは Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録でレコードを登録した際に、画面名略称の桁数に応じて 5 桁～8 桁件目になるレコード(※)を登録しようとした時に登録が失敗する不具合を修正しました。 ※9 桁から画面名略称の桁数を引いた桁数。画面名略称が 4 桁の場合、5 桁となる 10,000 件目以降のレコードを登録しようとした時が該当します。 【 利用者メニュー > プロセス管理 】 管理項目名 : ID ルール設定 設定値 : 画面名略称 + 年月日(YYMMDD) + 左 0 詰め	×	○
14.	プロセス管理の ID ルール設定で以下の設定をしている場合に、データ登録コマンド もしくは イベント連携デーモン経由でプロセス管理レコードのレコード ID を指定せずに自動設定されるように登録した時に、特定の条件(※1、※2、※3)でレコード ID が重複する不具合を修正しました。 【 利用者メニュー > プロセス管理 】 管理項目名 : ID ルール設定 設定値 : 年月日(YYYYMMDD) + 左 0 詰め 画面名略称 + システム名略称 + 左 0 詰め 画面名略称 + 年月日(YYMMDD) + 左 0 詰め ※1: 下記の制御情報の設定値が「年月日(YYYYMMDD) + 左 0 詰め」の場合、11 桁件目以降のレコードを登録しようとした時が該当します。 ※2: 下記の制御情報の設定値が「画面名略称 + システム名略	○	○

No		Oracle	PostgreSQL
	<p>称+左 0 詰め」の場合、画面名略称およびシステム略称の桁数に応じて 9 桁～16 桁件目以降のレコードを登録しようとした時が該当します。</p> <p>※3: 下記の制御情報の設定値が「画面名略称+年月日 (YYMMDD)+左 0 詰め」の場合、画面名略称の桁数に応じて 11 桁～16 桁件目以降のレコードを登録しようとした時が該当します。</p>		
15.	データベースに PostgreSQL を使用している場合、「業務グループ 起動時刻変更」が入力されている際に、最終ルート of 最終承認を実行するとエラーになる不具合を修正しました。	×	○
16.	プロセス管理の一括承認選択画面でフリーワード項目を検索条件に指定した際に検索実施するとエラーが発生する不具合を修正しました。	○	○
17.	<p>ホーム画面と代理承認画面の表示性能を改善しました。</p> <p>1.「ホーム」>「ホーム」>「ホーム」画面</p> <p>※以下のホーム画面の設定を有効にした場合 【 利用者メニュー > ホーム 】 管理項目名: ホーム画面代理承認一覧表示制御設定 設定値 : 表示する</p> <p>2.「ホーム」>「代理承認」>「代理承認」画面</p>	○	○
18.	データ出力コマンドのログ出力内容に不備がある不具合を修正しました。	○	○
19.	<p>「Senju/SM のメール送信機能により送信したメールを Senju/EN のメール連携機能を用いて Senju/SM に取り込む操作」を複数回繰り返す場合、取り込んだメールアドレスの宛名に連続してバックスラッシュが付与される不具合を修正しました。</p> <p>※初回の取り込み時には、仕様変更前と同様にエスケープのためにバックスラッシュが付与される場合があります。</p>	○	○
20.	Webhook 送信メッセージ内に「¥」(エンマーク)、「”(ダブルクォーテーション)、TAB 文字、改行が含まれる場合に、Webhook の送信に失敗する不具合を修正しました。	○	○
21.	日時項目選択ダイアログ表示が、ユーザーデフォルト設定の言語設定に関わらず日本語のフォーマットで表示される不具合を修正しました。	○	○
22.	プロセス管理画面のチェックリスト編集の進捗ステータス項目において、無効なレコードが表示される不具合を修正しました。	○	○
23.	<p>管理者メニュー > 画面 > レイアウト定義 > サービスデスクレイアウト画面において、サービスデスク画面定義の詳細レイアウト(項目)画面中の以下の経過項目がフリーワード検索対象項目であるにも関わらず、フリーワード検索対象アイコンが表示されない不具合を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過タイトル ・対応者 ・対応先 ・テキスト 1 ・テキスト 2 ・テキスト 3 ・テキスト 4 	○	○

No		Oracle	PostgreSQL
	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストエリア 1 ・テキストエリア 2 ・テキストエリア 3 ・テキストエリア 4 		
24.	<p>下記画面で、特定のタイミング(※)で F5 キー押下などにより再描画を行うと「不正な操作が行われました」のエラーが発生する不具合を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス詳細画面 ・プロセスタスクリスト詳細画面 ・簡易プロセス詳細画面 <p>※特定のタイミング: エスカレーション後、承認申請後 等、ダイアログ画面から詳細画面表示を行った時</p>	○	○
25.	プロセス検索結果一覧レイアウトにおいて、「更新情報」の右側に「メマーク」を配置するとアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。	○	○
26.	SLAM チャート抽出条件設定の新規登録・編集・詳細画面において、画面名が「イベント管理」の場合に不要な項目が表示される不具合を修正しました。	○	○
27.	SAML 認証用アクセス URL のパラメータに誤りがあった場合にアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。	○	○
28.	<p>以下の設定をした状態で、簡易プロセス画面で承認申請をするとシステムエラーが発生する不具合を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスデスク画面レイアウトのビュー1に「公開グループ」項目を表示 ・Webhook 送信設定で承認申請のトリガーアクションを設定 	○	○
29.	経過情報の参照職責を保持していないユーザーがプロセス詳細画面を開いた際に、最新の経過情報が経過ブロックに表示されてしまう不具合を修正しました。	○	○
30.	プロセス管理画面において、分類項目にマスターデータがない項目が指定された際に表示される、「該当レコードなし」の文字列が文字化けする不具合を修正しました。	○	○
31.	公開されているアクセス時のサーバー名と WEB サーバーのマシン名が一致しない場合、システムログにエラー「サーバー名またはアドレスは解決されませんでした」が出力される不具合を修正しました。	○	○
32.	サービスデスク画面レイアウトのサービスデスク画面定義で「詳細レイアウト(項目)」ブロック配下の任意項目において項目名を変更してから「選択元」に移動したうえで「更新」ボタンをクリックするとアプリケーションエラーになる不具合を修正しました。	○	○

1.8.3 前バージョンからの変更点

- (1) 画面をスクロールした際にタイトルエリアが画面上部に固定して表示するよう修正しました。
- (2) 下記画面について一覧表示列の幅を見直して修正しました。

- ・承認フロー申請画面
- ・承認フローコメント画面
- ・承認フロー差戻し画面

- ・ 承認フロー却下画面
 - ・ 承認フロー履歴一覧画面
- (3) データ登録コマンドにおいて、マッピングファイルおよびインポートファイル中にリスト項目を指定した際の性能改善を行いました。
- (4) プロセス詳細画面において、エスカレーション機能 及び 経過表示の性能改善を行いました。

1.9 バージョン2023.0.0の主な新機能

1.9.1 主な新機能

No	内容
1.	<p>プロセス詳細画面において、任意のタイミングで外部サービスと連携する機能を追加しました。</p> <p>以下の画面にて設定してください。</p> <p>【 管理者メニュー > 機能別 > Webhook 連携 > Webhook 送信設定 】</p> <p>本機能はシステムに「全システム共通」を選択している場合につき利用可能となります。</p>
2.	<p>Webhook 連携に Webhook 連携先のレスポンスを受信して、ダイアログ表示などのアクションを行う機能「レスポンス受信アクション」機能を追加しました。</p> <p>以下の画面にて設定してください。</p> <p>【 管理者メニュー > 機能別 > Webhook 連携 > Webhook 送信設定 】</p> <p>本機能は Webhook 連携ライセンスを保持している場合につき利用可能となります。</p>
3.	<p>Webhook 連携のトリガーアクションを以下に変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エスカレーション後 ・承認申請前 ・承認申請後 ・承認前 ・承認後 ・確認前 ・確認後 ・作業前 ・作業後 ・差戻し前 ・差戻し後 ・却下前 ・却下後 ・登録後 ・更新後 ・削除前 ・経過登録後 ・経過更新後 ・経過削除前 ・クローズ前
4.	<p>送信メッセージテンプレート(Webhook 連携)に置換項目として以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面 ID ・チケットの登録番号(内部 ID) ・承認フロールート名
5.	<p>プロセス新規登録・編集画面においてコンボボックスの選択値変更に連動し、テキスト項目・コンボボックス項目に値を設定する機能を追加しました。</p> <p>対象のコンボボックスは以下の画面にて設定してください。</p> <p>【 管理者メニュー > 機能別 > WEBAPI 連携(プロセス管理入力) 】</p> <p>設定する項目・値は、Senju/SM 外部に構築した WEBAPI のレスポンスで指示することができ</p>

	ます。
6.	プロセス管理・イベント管理の画面項目(親・経過)にマークダウン項目を追加しました。
7.	プロセスの更新を API から実行できるようになりました。
8.	<p>下記画面に帳票出力ボタンを追加して、帳票出力機能を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面ポリシー画面:「帳票出力」ボタン ・簡易画面レイアウト一覧画面:「レイアウト csv 出力」ボタン ・サービスデスク画面レイアウト一覧画面:「レイアウト csv 出力」ボタン
9.	<p>マスタに「データエクスポート画面」を新規作成して、下記マスタデータ出力機能を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類 ・コード
10.	<p>機能に下記画面を新規作成して、プロセス画面ヘルプ機能を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーション設定管理画面 ・ナビゲーション設定新規登録 ・ナビゲーション設定編集 ・プレビュー画面
11.	<p>簡易レイアウトにコメントエリアを追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親画面:コメント 1～コメント 10 ・経過画面:コメント 1～コメント 5
12.	<p>移行対象のマスタの一覧に下記テーブル情報を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBAPI 設定マスタ「API_COLLAB_PRC_INPUT_MST」 ・日付項目チェック設定ファイル「DATE_CHECK_CTL_MST」 ・関連登録データ種別マスタ「RELATION_ADD_DATA_TYPE_MST」 ・ナビゲーション情報ファイル「NAVIGATION_INFO_FIL」 ・ナビゲーション詳細ファイル「NAVIGATION_DETAIL_FIL」
13.	<p>以下の操作を API から実行できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の新規作成 ・組織の参照 ・組織の編集 ・組織の削除 ・問い合わせ元の新規作成 ・問い合わせ元の参照 ・問い合わせ元の編集 ・問い合わせ元の削除
14.	Senju/SM 画面から手動送信した HTML メールの HTML ヘッダ情報に charset を指定するようにしました。
15.	<p>イベント連携デーモンでのレコード登録・更新時に、以下の項目が指定可能になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リッチテキスト 1HTMLCharset ・リッチテキスト 2HTMLCharset ・経過リッチテキスト HTMLCharset

1.9.2 不具合の対応

No	内容	Oracle	PostgreSQL
1.	職責の全機能利用可能および画面ポリシーの全画面利用可能について、すべての職責・画面が選択されない不具合を修正しました。	○	○
2.	「Senju/SM のメール送信機能により送信したメールを Senju/EN のメール連携機能を用いて Senju/SM に取り込む操作」を複数回繰り返す場合、 取り込んだメールアドレスの宛名に「(バックスラッシュ)」を付与してしまう不具合を修正しました。 ※初回の取り込み時は、仕様変更前と同様に「(バックスラッシュ)」を付与する場合があります。	○	○
3.	構成管理(構成アイテム 1～50)の変更予定起票にて、関連構成項目(関連構成 1、関連構成 2A～2E のいずれか)に構成アイテムが登録されている場合、下記 2 パターンの不具合が発生していましたが不具合を改修しました。 ※関連構成項目(関連構成 1、関連構成 2A～2E のいずれか)をご使用されていない場合は、本不具合は発生致しません。 ▼①不要データが残ってしまう不具合 [事象] 構成アイテム情報の「関連先の構成アイテムから関連元の構成アイテム」の関連情報が適切に削除されずに残ります。 ▼②データが欠損する不具合 [事象] 構成アイテム情報の「関連先の構成アイテムから関連元の構成アイテム」の関連情報が削除されます。	○	○
4	Senju/SM コマンド実行一覧画面の検索結果が不正となる不具合を修正しました。	○	○
5	イベント連携デーモンがリトライ後に成功した場合に、返り値を「失敗」とする不具合を修正しました。	○	○
6	ログアウト時ブラウザ Chrome と Firefox ブラウザが終了できないとなる不具合を修正しました。	○	○
7	マスタ登録コマンドメンテナンス権限(共通)が実施失敗となる不具合を修正しました。	○	○
8	メッセージ ID「MSG_LOGIN_MST_NOTFOUND」が不正となる不具合を修正しました。	○	○

1.9.3 前バージョンからの変更点

(5) 下記の URL が変更されました

①ログイン URL

http://(SSMWEB サーバーのホスト名)/ccfsp

⇒

http://(SSMWEB サーバーのホスト名)/ssm

②アクセス URL

http://(SSMWEB サーバーのホスト名)/ccfsp/

menu/login/login.asp?DispId=*****&Id=*****
 ⇒
 http://(SSMWEB サーバーのホスト名)/ssm/
 menu/login/login.asp?DispId=*****&Id=*****

・SAML 認証用の URL は下記に対応しました。

①ログイン URL

http://(SSMWEB サーバーのホスト名)/ccfsp/menu/SamlLogin/saml_login.asp
 ⇒
 http://(SSMWEB サーバーのホスト名)/ssm/menu/SamlLogin/saml_login.asp

②アクセス URL

http://(SSMWEB サーバーのホスト
 名)/ccfsp/menu/SamlLogin/saml_login.asp?DispId=*****&Id=*****
 ⇒
 http://(SSMWEB サーバーのホスト
 名)/ssm/menu/SamlLogin/saml_login.asp?DispId=*****&Id=*****

③レスポンス受信 URL

http://(SSMWEB サーバーのホスト名)/ccfsp/menu/SamlLogin/login.asp
 ⇒
 http://(SSMWEB サーバーのホスト名)/ssm/menu/SamlLogin/login.asp

(6) 下記画面は VB から .Net 化に対応しました。

- ・ログイン画面
- ・コードマスタ管理画面
- ・コード値別自動選択設定画面

(7) コードマスタ登録コマンド下記に対応しました。

登録モードの場合、重複なデータが登録できます。

1.9.4 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。

本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「2 稼働環境」を参照してください。

(1) 以下のクライアント構成がサポート対象外となりました。

- ・Microsoft Windows 10 + Microsoft Internet Explorer 11
- ・Microsoft Windows 8.1 + Microsoft Internet Explorer 11

(2) 以下のサーバー構成がサポート対象となりました。

- ・Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)
- ・Microsoft Windows Server 2016 DataCenter Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)
- ・Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)
- ・Microsoft Windows Server 2019 DataCenter Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)
- ・Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)
- ・Oracle Linux 7.5, 7.6, 7.9, 8.4 + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)
- ・Red Hat Enterprise Linux 7.5, 7.6, 7.9, 8.4 + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)
- ・Amazon RDS for Oracle 19.14.0.0
- ・Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + PostgreSQL DataBase 14.X
- ・Microsoft Windows Server 2016 DataCenter Edition + PostgreSQL DataBase 14.X

- Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition + PostgreSQL DataBase 14.X
 - Microsoft Windows Server 2019 DataCenter Edition + PostgreSQL DataBase 14.X
- (3) 以下のサーバー構成がサポート対象外となりました。
- Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition + Oracle Database 12c Standard Edition (12.1.0.1)
 - Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition + Oracle Database 12c Standard Edition One (12.1.0.1)
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Edition + Oracle Database 12c Standard Edition Two(12.1.0.2)
 - Microsoft 社が提供するフェイルオーバークラスター環境における Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Edition + Oracle Database 12c Standard Edition Two(12.1.0.2)
 - Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + Oracle Database 12c Release 2 (12.2.0.1)
 - Microsoft Windows Server 2016 Datacenter Edition + Oracle Database 12c Release 2 (12.2.0.1)
 - Oracle Linux 7.5, 7.6, 7.9 + Oracle Database 12c Release 2 (12.2.0.1)
 - Red Hat Enterprise Linux 7.5, 7.6, 7.9 + Oracle Database 12c Release 2 (12.2.0.1)
 - Amazon RDS for Oracle 12.1.0.2

1.10 バージョン2022.0.3の主な新機能

1.10.1 主な新機能

No	内容
1.	<p>日付項目に本日日付ボタンを追加できるようにしました。</p> <p>制御情報の以下の設定を「する」に設定することで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日日付入力ボタンの表示設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
2.	<p>下記画面から遷移されるユーザー選択画面の検索条件にステータス項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー > マスタ > システム > システムユーザー システムユーザー管理一覧リストの「選択」ボタン押下時 ・管理者メニュー > ユーザー > 権限 > チーム チームマスタ管理一覧リストの「ユーザー設定」ボタンを押下し チームユーザー設定一覧リストの「選択」ボタン押下時
3.	Elasticsearch 連携の稼働環境に RHEL8 環境を追加しました。
4.	Senju/SM コマンド実行画面にて過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)を利用できるようになりました。
5.	<p>過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)で削除対象ファイル名「-F」指定できるようになりました。</p> <p>制御情報の以下の設定を「利用する」に設定することで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去データ削除コマンドの利用設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>

1.10.2 不具合の対応

No	内容	Oracle	PostgreSQL
1.	<p>レイアウト定義で検索結果一覧の幅を指定した場合、最後列(一番右側)に出力する項目が表示幅(px)の設定値通りの出力幅にならない不具合を修正しました。</p> <p>ただし、最後列の右端には 20px の余白を付与します。</p> <p>そのため、パッチ適用後はレイアウト定義で設定した幅より 20px 広がります。</p>	○	○
2.	<p>制御情報の「HTML メール編集設定」を「HTML メールを編集する」に設定にしていた場合、</p> <p>メールテンプレートの設定で、引用符置換文字列の後ろに、改行なしでリッチテキスト項目置換文字列を配置したテンプレートを作成し、メール送信にて選択した時、</p> <p>リッチテキスト項目が正しく文字置換されずに HTML タグが表示さ</p>	○	○

No	内容	Oracle	PostgreSQL
	れてしまう不具合を修正しました。		
3.	Senju/SM コマンド実行画面において、検索結果一覧の表示順が一覧へ反映されない不具合を修正しました。	○	○
4.	制御情報「クローズ時の自動完了設定」を「完了にする」に設定した場合、制御情報「評価機能利用設定」の設定値によらず、常に評価メールが送信されてしまう不具合を修正しました。	○	○
5.	イベント連携デーモンで長時間大量のメール送信した場合にメモリリークする問題を修正しました。	○	○
6.	日付項目にはオートコンプリート機能を使用しないよう修正しました。	○	○
7.	制御情報に以下が設定されている場合に、プロセス編集画面と簡易プロセス編集画面の「更新＋承認申請」ボタンが表示されない不具合を修正しました。 【利用者メニュー＞プロセス管理】 管理項目名: プロセスおよび問合せ/申請の承認申請可能最大回数(回) 設定値 : 「2」以上	○	○
8.	2022.0.1 で追加した以下の機能が使用できない不具合を修正しました。 問合せ元検索画面の一覧表示に以下の項目の出力を追加しました。 ・問合せ元テキスト1 ・問合せ元テキスト2 ・問合せ元テキスト3 制御情報の以下の設定を「拡張表示する」に設定することで本機能を使用することができます。 【管理項目名】 ・問合せ元情報選択画面の拡張表示設定 ⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」	○	○
9.	複数のプロセスチケットに対して一括処理(一括承認)を実施すると、通知先が設定されていない承認フロールートが紐づけられているにもかかわらず、承認時に通知が行われる場合がある不具合を修正しました。	○	○
10.	イベント連携デーモンで HTML メール の charset が取得できない場合にデーモンがクラッシュする場合がある修正しました。	○	○
11.	デフォルト言語が English のアカウントにてサービスデスク画面レイアウト定義を開いた際に、 検索条件レイアウトタブに日付テキスト 3～15、時刻テキスト 3～15 の項目が選択元、選択済ともに表示されない不具合を修正しました。	○	○
12.	Elasticsearch をユーザー認証無しでご利用の場合に全文検索や類似検索を行うと、システムログにエラーレベル[ERROR]でログが出力されてしまう不具合を修正しました。	○	○
13.	コードマスタ管理でステータスを新規登録及び削除した場合、業務ステータス管理画面に反映されない不具合を修正しました。	×	○

No	内容	Oracle	PostgreSQL
14.	下記の画面で検索条件登録した場合にエラーが発生する場合があります の不具合を修正しました。 ・構成アイテム一覧 ・構成アイテム管理一覧 ・FAQ 一覧 ・ファイルライブラリー一覧 ・既知エラー一覧 ・リンク集一覧 ・FAQ 検索 ・ファイルライブラリ検索	×	○
15.	下記の画面で検索条件登録した場合にエラーが発生する場合があります の不具合を修正しました。 ・プロセス一覧＞関連構成＞関連選択(関連構成) ・構成アイテム一覧＞構成アイテム新規登録/編集＞関連選択(関連構成 1) ・構成アイテム一覧＞構成アイテム新規登録/編集＞関連選択(関連構成 2A) ・構成アイテム一覧＞構成アイテム新規登録/編集＞関連選択(関連構成 2B) ・構成アイテム一覧＞構成アイテム新規登録/編集＞関連選択(関連構成 2C) ・構成アイテム一覧＞構成アイテム新規登録/編集＞関連選択(関連構成 2D) ・構成アイテム一覧＞構成アイテム新規登録/編集＞関連選択(関連構成 2E)	×	○
16.	プロセス一覧画面で一括クローズした場合にエラーが発生する場合があります の不具合を修正しました。	×	○
17.	外部チェック機能にて外部チェックを行った場合にエラーが発生する 場合がありますの不具合を修正しました。	×	○
18.	イベント連携デモンで下記案件種別を行った場合にデータ登録 失敗する場合がありますの不具合を修正しました ・イベント管理 ・要員管理 ・構成アイテム(構成管理) ・構成アイテム管理(ID 管理) ・ユーザー管理	×	○
19.	管理者メニュー＞マスタ＞システム＞システムユーザー 上記画面の選択ボタンを押下し、表示されるユーザー選択画面で (検索条件)表示順に会社を設定し、検索ボタンを押下する場合、シ ステムエラーが発生する不具合を修正しました。	×	○
20.	Senju/SM コマンド実行新規登録画面にて、ファイル項目にファイル を設定した状態でコマンド種別を切り替えた場合、ファイル項目に 2 個以上登録できてしまう不具合を修正しました。	○	○
21.	下記環境構成で、簡易プロセス新規登録画面で「登録＋承認申 請」ボタンを押下する場合にシステムエラーが発生する場合があります の不具合を修正しました。 WEB/DB 分離構成(WEB/DB + Database) ▲DB+Oracle 【OS】Windows Server 2012 【DB】Oracle Database 12.1.0.2 ▲WEB 【OS】Windows Server 2012	○	×

No	内容	Oracle	PostgreSQL
	【Oracle】Oracle Client 12.1.0.2		

1.10.3 前バージョンからの変更点

- (1) ログイン画面とログイン後の左メニュー上部にある「Senju Service Manager」の表記をラベル化しました。
- (2) ログイン画面とログイン後の左メニュー上部にある「Senju Service Manager」の表記を非表示設定できるように修正しました。
- (3) ログアウト完了画面、インフォメーション画面に表示される「ログイン画面へ戻る」「SAML 認証用ログイン画面へ戻る」リンクの表記をラベル化しました。
- (4) プロセス管理、簡易プロセス画面のフリーワード検索性能を向上しました。
- (5) 下記画面で画面操作が遅延する場合がある不具合を修正しました。
 - ・コードマスタ管理画面
 - ・コード値別編集制御マスタ管理画面
 - ・コード値別必須制御マスタ管理画面

1.10.4 既知障害

本パッチには、以下の既知障害がございます。

今後、修正版パッチを配布致しますので、適用するまでは障害を引き起こす操作は行わないようにしてください。

- (2) 英語版ブラウザ (Chrome、Edge、Firefox) にてファイル名に文字「×」「BI」が含まれている添付ファイルをダウンロードしますと、ファイル名が「file_download.asp」に変更されて正しいファイル名でダウンロードできない事象がございます。また、英語版ブラウザ (IE) の場合、ファイル名の文字「BI」が「%E4%BA%B」に置き換えられてダウンロードされます。

1.11 バージョン2022.0.2の主な新機能

1.11.1 主な新機能

No	内容
1.	<p>プロセス管理の日付項目について、入力値の大小チェックを行う機能を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較したい日付項目は以下の画面にて設定してください。 <p>【 管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > 日付項目チェック設定 】</p> <p>※ バージョンアップ後は、画面ポリシーの設定で日付項目チェック設定の権限を ON にしてください。</p>
2.	<p>DB が PostgreSQL の場合に Senju Service Automation 機能をサポート対象に追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Senju Service Automation 機能の詳細は「ユーザズガイド」の「3.5.1.30 Senju Service Automation 機能」をご参照ください。 <p>※注意事項:DB が PostgreSQL の Senju/SM で Senju Service Automation 機能を利用する場合、必ず Senju/EN 2022.0.0 に対して PostgreSQL に対応した修正モジュールを適用してください。</p>
3.	<p>メールテンプレート(手動送信および自動送信)と送信メッセージテンプレート(Webhook 連携)にプロセス新規登録画面アクセス URL の置換項目として以下の項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス新規登録画面用アクセス URL ・プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL ・簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL ・簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL
4.	<p>画面およびコマンドからのメール送信と Webhook 連携時に以下の置換項目について内容を置換して送信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス新規登録画面用アクセス URL ・プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL ・簡易プロセス新規登録画面用アクセス URL ・簡易プロセス新規登録画面用 SAML 認証用アクセス URL
5.	<p>プロセス新規登録画面アクセス URL を利用し Senju Service Manger にアクセスしたときに、以下の通り新規登録画面を開く機能を追加します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Senju/SM にログインしていない場合 ログイン画面/SAML 認証用ログイン画面を表示します。 ログイン後、指定されたプロセス/簡易プロセス新規登録画面を表示します。 2. Senju/SM にログインしている場合 通信プロトコルが HTTPS で、制御情報「ログイン状態維持設定」が「維持する」の場合は、ログイン画面を表示せずに指定されたプロセス/簡易プロセス新規登録画面を別ウィンドウで表示します。 <p>それ以外の場合は、別途ログイン画面/SAML 認証用ログイン画面を表示します。 ログイン後、指定されたプロセス/簡易プロセス新規登録画面を表示します。</p>
6.	<p>下記コマンドにてチェックボックス項目を登録対象/出力対象としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ登録コマンド ・イベント連携コマンド ・データ出力コマンド
7.	<p>構成管理 ID にて自動採番を行うことが可能となりました。</p>

No	内容
	・構成管理 ID は今まで入力制御が「必須」のみになっていましたが、本対応により「参照」が選択可能となっています。 自動採番を行う場合、構成アイテム ID の入力制御は「参照」としてください。
8.	Oracle Database 19.14 を新たにサポート対象としました。
9.	Kibana 連携機能を追加しました。 詳細は「Kibana 連携機能ガイド」をご参照ください。

1.11.2 不具合の対応

No	内容
1.	添付ファイルをダウンロードした際にファイル名が変更されてしまう場合がある不具合を修正しました。
2.	システムマスタ画面にて登録した各プロセス管理画面の管理者情報に設定するメールテンプレートについて、 登録済みのメールテンプレートをメールテンプレート管理画面から編集し更新した場合に、システムマスタ画面にて登録されたメールテンプレートの選択が解除されてしまう不具合を修正しました。
3.	自動メール通知機能で自動適用日付項目のチェックが不正となる不具合を修正しました。
4.	ホーム>ユーザー設定>ユーザー情報編集で項目「電話番号 1」を空で更新すると POST 値エラーとなる不具合を修正しました。
5.	EN 経由でプロセスデータ登録を行う際に、案件種別名が「インシデント」の場合に「データ種別 ID」を空で登録するとエラーとなる不具合を修正しました。
6.	簡易画面レイアウト編集のフォームレイアウトにて複数項目の項目名(フォーム)設定して更新するとエラーとなる不具合を修正しました。
7.	メール送信+経過追加で、メール本文に「¥」を入力した場合に、システムエラーが発生する不具合を修正しました。
8.	分類選択ダイアログで、初期表示される分類の件数が、 制御情報「管理者メニュー > 分類 > 分類初期表示可能件数(件)」の値を超えた時、 分類は展開されずに第一階層の分類のみを表示しますが、この分類を展開した際に、配下の分類が階層別にインデント表示がされない不具合を修正しました。
9.	承認フロー承認画面において、以下の条件に合致したサブルートを選択した際に、SQL エラーが発生する不具合を修正しました。 □条件 ・ルートの承認者に「職責」または「役割」が設定されているサブルート ・設定された「職責」または「役割」配下にユーザーが 1001 人以上所属している
10.	一覧帳票出力時に項目名が文字化けする不具合を修正しました。 [対象機能] ・通常メニュー > ホーム > タスク ・通常メニュー > ナレッジ > FAQ ・通常メニュー > サービスレベル > SLAM チャート > SLAM チャート(フレーム・ネット・ジョブ申請一覧) ・通常メニュー > 外部連携 > SenjuFamily 連携 > フレーム・ネット・ジョブ申請 ・管理者メニュー > ユーザー > ユーザー ・管理者メニュー > ユーザー > 権限 > 職責 ・管理者メニュー > マスタ > コード ・管理者メニュー > マスタ > 分類 ・管理者メニュー > マスタ > 問合せ元 > 問合せ元 ・管理者メニュー > マスタ > 問合せ元 > 問合せ元 2 ・管理者メニュー > 機能別 > 承認フロー > 承認フロールート

No	内容
	・管理者メニュー > 機能別 > 承認フロー > 承認フロー
11.	プロセスメニューの表示色が、表示色パターンで設定した色で表示されない不具合を修正しました。
12.	分類マスタ登録コマンドで登録した分類が分類選択画面に表示されない不具合を修正しました。
13.	×を含むファイル名をアップロード時ファイルが名文字化けする不具合を修正しました。
14.	不要なデータが残っていた場合にシステム削除できなくなる不具合を修正しました。
15.	SLAM チャート編集画面に表示される文字に取り消し線が引かれる不具合を修正しました。
16.	データ登録コマンド/イベント連携デーモンにて外字を取り除く処理の不具合を修正しました。

1.11.3 前バージョンからの変更点

- (1) 表項目のテキスト項目が入力可能な場合、表項目のテキスト項目をテキストエリアに変更し、マウス操作で縦幅を任意に調整できるように変更しました。
また、表項目のテキスト項目の下に「拡大して表示」リンクを追加し、テキスト編集画面を呼び出せるようにしました。
- (2) 簡易プロセス詳細画面にて申請状況が「却下」の場合に削除ボタンが活性とすることができるよう修正しました。

制御情報にて削除ボタンを活性とすることが設定可能です。
- (3) 「※はじめにお読みください」から不要な設定を削除しました。
- (4) プロセス分析機能を廃止しました。
【通常メニュー > サービスレベル > プロセス分析】
【管理者メニュー > 機能別 > 分析】

1.11.4 既知障害

本パッチには、以下の既知障害がございます。
今後、修正版パッチを配布致しますので、適用するまでは障害を引き起こす操作は行わないようにしてください。

- (1) 英語版ブラウザ(Chrome、Edge、Firefox)にてファイル名に文字「×」「bI」が含まれている添付ファイルをダウンロードしますと、ファイル名が「file_download.asp」に変更されて正しいファイル名でダウンロードできない事象がございます。
また、英語版ブラウザ(IE)の場合、ファイル名の文字「bI」が「%E4%BA%B」に置き換えられてダウンロードされます。

1.12 バージョン2022.0.1の主な新機能

1.12.1 主な新機能

No	内容
1.	<p>プロセス、簡易プロセスの登録／編集時、特定の項目の入力値が既存レコードに既に登録されている場合に入力エラーとする機能を追加しました。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力値の重複チェック(単独チェック)1 ・入力値の重複チェック(単独チェック)2 ・入力値の重複チェック(複数チェック)1-1 ・入力値の重複チェック(複数チェック)1-2 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
2.	<p>関連登録コピー 及び コピー登録項目に、下記項目が設定可能になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問合せ元 1ID ・問合せ元 1 テキスト 1 ～ 18 ・問合せ元 1 テキストエリア 1 ・問合せ元 1 日付 1 ・問合せ元 2ID ・問合せ元 2 テキスト 1 ～ 18 ・問合せ元 2 テキストエリア 1 ・問合せ元 2 日付 1
3.	<p>関連登録コピー機能について、関連登録コピー先が参照項目でもコピーされるようになりました。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連登録時の入力不可項目への引き継ぎ設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
4.	<p>ブロック制御コンボボックスで、活性状態のプルダウンから非活性状態のプルダウンに変更した際に表示される確認ダイアログが省略可能になりました。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック制御コンボボックス変更時のダイアログ表示設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
5.	<p>以下の画面で、チーム検索機能を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームマスタ管理 ・ユーザーマスタ新規登録のチーム-役割選択ダイアログ
6.	<p>ユーザーマスタ管理一覧画面で、検索条件の「チーム」に選択ダイアログを追加しました。</p>
7.	<p>各プロセスの新規登録ボタンおよびコピー登録ボタンの表示有無を設定する制御情報を追加しました。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録ボタン表示設定 ・コピー登録ボタン表示設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
8.	<p>プロセス新規登録とプロセス編集の問合せ元情報 1 と問合せ情報 2 について、自由入力を不</p>

No	内容
	<p>可にできるよう制御情報を追加しました。 簡易プロセス新規登録と簡易プロセス編集についても同じ制御情報で制御されます。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集画面の問合せ元情報入力制御設定 ・編集画面の問合せ元情報 2 入力制御設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
9.	<p>プロセス詳細からのメール送信で、宛先の直接入力を不可にできるよう制御情報を追加しました。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手動メール送信時の入力許可設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
10.	<p>ブラウザが下記の場合でも、タスク一覧画面/プロセス一覧画面/プロセス詳細画面からの Excel 帳票出力を可能としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Chrome ・Mozilla Firefox ・Chromium 版 Edge
11.	<p>以下の画面の各項目から呼び出されたユーザー選択(複数)画面の検索条件に「グループ」項目を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークフロー申請 : 通知先 ・ワークフロー承認 : 通知先 ・ワークフロー却下 : 通知先 ・ワークフロー差戻し : 通知先 ・承認フロールート編集: 承認者/通知先
12.	<p>プロセス新規登録時とプロセス編集時に承認申請が行えるようになりました。 制御情報の以下の設定を「表示する」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>＜対象画面と表示されるボタン＞</p> <p>[プロセス新規登録画面]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録＋承認申請 <p>[プロセス編集画面]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更新＋承認申請 ・更新＋再申請 ・更新＋代理再申請 <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス画面の登録＋承認申請 及び更新＋承認申請のボタン表示設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
13.	<p>プロセス一覧画面のヘッダーブロックの枠線の色が、表示色パターンで設定した色で表示されます。</p> <p>表示色パターンは以下の画面で設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > メニュー > 画面名編集(プロセス 1～103)
14.	<p>プロセスメニューの表示色が、表示色パターンで設定した色で表示されます。</p>

No	内容
	<p>表示色パターンは以下の画面で設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者メニュー > 画面 > 画面定義 > メニュー > 画面名編集(プロセス 1～103) <p>制御情報の以下の設定を「表示する」にすることで本機能を使用することができます。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセスメニューの表示色パターン適用設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
15.	<p>イベント連携デーモンにメール送信機能を実装しました。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント連携時のメール送信の設定情報保持設定 ・イベント連携時のメール送信用ベース URL <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
16.	<p>プロセス管理/簡易プロセス管理に対して、以下の項目が追加可能になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックボックス 4～23
17.	<p>コード登録コマンドで、以下の項目が指定可能になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックボックス 4～23
18.	<p>システム削除コマンドおよび過去データ削除コマンドで、以下の項目が削除対象になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックボックス 4～23
19.	<p>表項目について、下記機能を追加しました。</p> <p>①表項目の行選択機能を追加しました。</p> <p>表項目の行を選択した場合に行選択状態(背景色:淡藍色 左外枠:茶色線)になります。 後述の行挿入機能および行コピー機能利用時に利用します。</p> <p>②表項目の行挿入機能を改善しました。</p> <p>表項目の行が選択されていない場合、「追加」ボタンをクリックすると、既存仕様と同じく最後の行の下に空行を追加します。 表項目の行が選択されている場合、「追加」ボタンをクリックすると、選択済みの行の下に空行を追加します。</p> <p>③表項目の行コピー機能を追加しました。</p> <p>「コピー追加」ボタンを既存の「追加」ボタンの隣に追加しました。 表項目の行が選択されていない場合、「コピー追加」ボタンは非活性となりクリックすることができません。 表項目の行が選択されている場合、「コピー追加」ボタンをクリックすると、選択済みの行の下に選択済みの行と同じ値が設定されたコピー行を追加します。</p> <p>④表項目の行並び替え機能を追加しました。</p> <p>表項目の行をドラッグ & ドロップできるようになりました。 ドラッグ & ドロップしている行は同じ表項目の任意の位置に移動できるようになりました。</p>
20.	<p>ElasticSearch を Windows Server に対して構築することが可能になりました。 ElasticSearch 連携の全ての機能が利用可能です。</p>
21.	<p>公開プロセスビュー(PVIEW_01_0001)および画面別公開プロセスビュー(PVIEW_01_0001_0001</p>

No	内容
	<p>～PVIEW_01_0001_0103)</p> <p>に対して、以下の項目を取得できるように追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス URL ・SAML 認証用アクセス URL
22.	公開ビューにチーム取得公開ビュー(PVIEW_61_0001)を追加しました。
23.	<p>マスタ削除コマンドに下記機能を追加しました。</p> <p>①マスタ名(-c)にチームを指定できるようになりました。</p> <p>②マスタ名(-c)にグループを指定できるようになりました。</p> <p>③マスタ名(-c)に組織を指定した場合、削除対象ファイルに組織名を指定できるようになりました。</p>
24.	<p>PostgreSQL 版 Senju/SM にて以下のコマンドを新たにサポート対象としました。</p> <p>①DB 診断コマンド</p> <p>②システム削除コマンド</p>
25.	<p>プロセス管理および簡易プロセスの一覧帳票出力で下記の項目が出力できるようになりました。</p> <p>①選択ユーザー1</p> <p>②選択ユーザー2</p>
26.	公開ビューにユーザーグループビュー(PVIEW_53_0005)を追加しました。

1.12.2 不具合の対応

No	内容
1.	<p>一覧帳票出力時に項目名が文字化けする不具合を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成管理 > 構成管理 > 構成アイテム ・構成管理 > ID 管理 > 構成アイテム管理
2.	プロセス新規登録、編集画面にて、システム変更後に項目説明が表示されなくなる不具合を修正しました。
3.	<p>サービスデスク画面定義 - 詳細レイアウト(項目)、簡易画面定義 - フォームレイアウトの項目編集画面にて、詳細画面の項目の高さを変更した際に実行している範囲チェックの不具合を修正しました。</p> <p>2021.0.0 バージョン以降に、項目の高さを「27～54」に設定している場合に、項目編集画面の保存時にエラーが発生した際は、項目の高さを「55」に設定し直して保存してください。</p>
4.	<p>下記の条件において、アクセス URL をアドレスバーに直接貼り付けた時に、処理中の表記のまま画面が残ってしまうため、詳細画面の表示後もこの画面が残っている場合は、手動でこの画面を閉じてください」と表示するように修正しました。</p> <p>□条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・https 通信であること ・制御情報の「ログイン状態維持設定」が「ログイン状態を維持する」であること ・同一のブラウザで既に Senju/SM にログインしていること <p>□事象発生ブラウザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Chrome ・Chromium 版 Edge ・FireFox
5.	下記の条件において、Senju/SM の親画面を開いていない状態でアクセス URL からプロセス詳細画面を開くと、Senju/SM の親画面が表示されない不具合を修正しました。

No	内容
	<input type="checkbox"/> 条件 <ul style="list-style-type: none"> ・https 通信であること ・制御情報の「ログイン状態維持設定」が“ログイン状態を維持する”であること ・同一のブラウザで既に Senju/SM にログインしていること <input type="checkbox"/> 事象発生ブラウザ <ul style="list-style-type: none"> ・Google Chrome ・Chromium 版 Edge ・FireFox
6.	<p>Firefox を用いて Senju/SM にログインしている状態で、アクセス URL によるアクセスを行った際に、不要な画面がクローズされない不具合を修正しました。</p> <input type="checkbox"/> 事象発生ブラウザ <ul style="list-style-type: none"> ・FireFox
7.	<p>下記の状況において、Senju/SM への接続無効状態により表示されるインフォメーション画面に、「ログイン画面へ戻る」リンクが表示される不具合を修正しました。 修正後は「ダイアログを閉じる」が表示されます。</p> <input type="checkbox"/> 状況 <ul style="list-style-type: none"> ・Senju/SM の親画面が閉じられている ・アクセス URL から開いたダイアログ画面が残っている
8.	プロセス管理一覧にて、帳票出力上限件数を超過した際の帳票出力ボタンの表示が「帳票出力」と表示されない不具合を修正しました。
9.	ホーム画面への遷移に時間がかかる問題を改善しました。
10.	データ登録コマンド/イベント連携デーモンにおいて文字列チェック処理で正しい文字列を不正な文字列として検出してしまう不具合を修正しました。
11.	簡易画面定義で項目名（フォーム）または項目値を 2 回変更した際にシステムエラーが発生する不具合を修正しました。
12.	構成管理変更予定編集集中に IIS を再起動すると変更予定に編集集中の情報が残ってしまい、第三者が該当の削除できなくなる不具合を修正しました。
13.	プロセスタスクリストに対して担当へ自動メール通知する時に通知先が過去の全担当者となる不具合を修正しました。
14.	データ登録コマンド/イベント連携デーモンを用いてデータ登録する際に項目「承認フロー追加通知先」の@左に「.」を登録できるように修正しました。
15.	システム選択ダイアログで「全システム共通」を選択できない不具合を修正しました。
16.	関連登録コピー定義画面にてコピー対象項目を大量項目を設定した際に、SQL エラーが発生する不具合を修正しました。
17.	PostgreSQL 環境の場合、116 モードでイベント連携を行った際にプロセスの新規登録が異常終了する不具合を修正しました。
18.	PostgreSQL 環境の場合、SSM DB サーバーコンフィグレータによるユーザーのインポートがエラーとなる不具合を修正しました。
19.	プロセスおよび簡易プロセスの新規/編集画面にて、チェックボックス項目にコードの色が反映されない不具合を修正しました。
20.	ホーム画面にて「既知エラー」、「FAQ」、「ファイルライブラリ」、「リンク集」の件数表示が不正となる不具合を修正しました。
21.	PostgreSQL 環境で、データ登録コマンド/イベント連携デーモンを用いてデータ登録する際に、項目「承認フロー追加通知先」に複数メールアドレスかつ全角文字を登録できるように修正しました。
22.	表項目の「コピー追加」機能で、参照項目の値をコピーできてしまう不具合を修正しました。
23.	<p>以下画面のセキュリティを強化しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールテンプレート（自動送信）編集画面 ・業務ステータスマスタ管理画面

No	内容
24.	<p>簡易プロセス/プロセス詳細画面から評価機能を利用するには、以下の条件の達成が必要になりました。</p> <p>▲ 簡易プロセス画面から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ログインユーザーはプロセスの簡易プロセス使用権限を持っているユーザーであること ・下記のいずれかの条件に当てはまること <ul style="list-style-type: none"> ① 起票者がログインユーザーであること ② 公開グループがログインユーザーの所属システムに存在すること ③ ワークフロー上にログインユーザーがいること ・申請機能起票の場合、ログインユーザーは申請者または再申請者であること ・問合せ機能起票の場合、ログインユーザーは問合せ者または再問合せ者であること <p>▲ □プロセス画面から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価が記載されていること
25.	業務ステータスマスタ編集画面の表示内容を改善しました。
26.	イベント連携デーモンで送信されたエスカレーションメールに変更後の画面名が反映されない不具合を修正しました。

1.12.3 前バージョンからの変更点

- (1) 問合せ元 1ID、問合せ元 1 テキスト 1～18、問合せ元 2ID、問合せ元 2 テキスト 1～18 の入力最大桁数(byte)を、100 から 300 に拡張しました。

※以下のコマンドについても入力最大桁数を拡張しました。

- ・マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・イベント連携デーモン

- (2) チーム名の入力最大桁数(byte)を、60 から 300 に拡張しました。

※以下のコマンドについても入力最大桁数を拡張しました。

- ・マスタ登録コマンド

- (3) サービスデスクレイアウト定義画面で、2 連分類 1-1、2-1 のみを配置することが可能となりました。

※本パッチ適用前は 2 連分類 1-1 と 1-2、2-1 と 2-2 の各々がセットで配置する必要がありました。
 なお、2 連分類 1-2、2-2 のみの配置は、本パッチ適用前と変わらず不可となっております。

- (4) チーム登録上限を 1000 件から 10000 件に変更しました。

- (5) 入力例アイコンのラベル値をラベルマスタ管理にて設定可能にしました。

- (6) プロセス詳細画面とレイアウト編集画面間で、ラベルの見た目が一致するよう修正しました。
 以下画面の入力必須制御アイコンの配置を変更しました。

[対象画面]

- ・プロセス新規登録画面
- ・プロセス編集画面
- ・プロセス詳細画面
- ・簡易プロセス新規登録画面
- ・簡易プロセス編集画面
- ・簡易プロセス詳細画面

- (7) 左メニューにインデントをつけて階層構造表記を改善しました。
- (8) SAML 認証利用している場合のインフォメーション画面に「ログイン画面へ戻る」「SAML 認証用ログイン画面へ戻る」リンクを表示しました。
- (9) ログアウト完了画面の表示を変更しました。
 - SAML 認証利用していない場合
「ログイン画面へ戻る」リンクを表示しました。
 - SAML 認証利用している場合
「ログイン画面へ戻る」「SAML 認証用ログイン画面へ戻る」リンクを表示しました。
- (10) 以下の機能を廃止しました。
【 管理者メニュー > 機能別 > チェックリスト > チェックリスト診断 】

1.12.4 既知障害

本パッチには、以下の既知障害がございます。
今後、修正版パッチを配布致しますので、適用するまでは障害を引き起こす操作は行わないようにしてください。

- (1) 添付ファイル項目にて Shift-JIS で「5C」のコードを含む名前のファイルをダウンロードした際に「5C」のコードの文字の後ろに「_」が入ったファイル名でダウンロードされます。

1.13 バージョン2022.0.0の主な新機能

1.13.1 主な新機能

No	内容
1.	<p>ElasticSearch に取込済のデータが Senju Service Manager 側で削除された場合、ElasticSearch でも対象データの削除を自動削除する機能を追加しました。 上記機能を利用するには以下の管理項目の設定を行う必要があります。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Elasticsearch の接続形態 ・Elasticsearch サーバー名 ・Elasticsearch ポート番号 <p>⇒コマンドリファレンス「1.2.25 ElasticSearch データ削除モジュール (sjSPU_ElasticSearchDelete.vbs)」</p>
2.	<p>削除されたプロセスが全文検索画面の検索結果に表示されてしまう不具合を修正しました。</p>
3.	<p>業務ステータス変更時の自動エスカレーション機能を追加しました。 自動エスカレーションが発動するタイミングは下記の通りです</p> <p>【対象画面: タイミング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス新規登録画面: 業務ステータス選択して、登録を行う ・プロセス詳細画面: 「次のステータスへ」ボタンを押下して、次の業務ステータスへ遷移する ・ステータス選択ダイアログ: 任意の業務ステータスを選択して、更新ボタンを押下する <p>上記機能を利用するには以下の管理項目の設定を行う必要があります。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務ステータス自動エスカレーション機能使用設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
4.	<p>簡易プロセス画面で問合せ者/申請者による対応内容の評価機能を追加しました。 そして、プロセス画面から評価内容を参照できるようになりました。</p> <p>上記機能を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。</p> <p>【管理項目名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価機能使用設定 <p>⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」</p>
5.	<p>簡易プロセス/プロセスの評価機能の追加に伴い、以下の公開ビューを修正いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公開プロセスビュー(PVIEW_01_0001)」 ・「公開プロセスビュー(プロセス 1~103)(PVIEW_01_0001_0001~PVIEW_01_0001_0103)」 ・「公開プロセスラベルビュー(L_PVIEW_01_0001)」
6.	<p>週別/月別/日別画面のプロセスタスクスケジュールにおいて、タスク名を確認できるように改善しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日別スケジュール画面に項目区分列を追加しました。 ・週別/月別スケジュール画面に行を追加しました。 ・実績ありのアイコンを追加しました。

1.13.2 不具合の対応

No	内容
1.	<p>複数のユーザーで同じレコードに表項目を登録した場合、表項目の行数上限を超えたデータが登録されてしまう不具合を修正しました。</p>

No	内容
2.	プロセス管理で ICT 連携機能 (SSA) を利用する場合、却下操作を行ったチケットを再度承認するとエラーになる不具合を修正しました。
3.	承認フローのコメント画面および履歴画面における承認フロールートタイトル行の表示が不一致となる不具合を修正しました。
4.	プロセス一覧表示時に日時テキスト項目の表示フォームが不正となる不具合を修正しました。
5.	制御情報(プロセス管理)の権限がない場合、制御情報(プロセス管理)の「表示」ボタンを押下するとエラーとなる不具合を修正しました。
6.	承認フロー新規登録画面において、「ルート名」項目必須チェックのメッセージが不正となる不具合を修正しました。
7.	構成管理でマッピングアイテムファイルに関連系項目を指定せずにデータ登録コマンド変更予定を起票した場合、接続先機器登録が不正となる不具合を修正しました。
8.	データ登録コマンドで、チャンネルに「インバウンダー-SSM」を指定し、イベント管理を登録する場合、エラーにならない不具合を修正しました。
9.	データ登録コマンドとイベント連携デーモンを実行する際に外字がある場合に不具合が発生する問題を修正しました。
10.	データ登録コマンドで「構成アイテム名」に全半角スペースのみを指定し、エラーにならない不具合を修正しました。
11.	レコード ID が重複したプロセスが存在する場合、データ出力コマンドで出力した添付ファイルフォルダが不正となる不具合を修正しました。
12.	マスタ登録コマンドで職責を登録できる上限値は、画面側から登録するより一つ少なくなる不具合を修正しました。
13.	下記の条件で簡易プロセス詳細画面のインポートボタンを押下した際に「指定された情報を表示する権限がありません」と表示されてしまう不具合を修正しました。 ・公開グループに所属していない且つ本来承認者 ・公開グループが未設定且つ本来承認者
14.	承認申請中、簡易プロセス編集画面の「申請状況」リンクを押下した際にエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
15.	SLAM チャート画面で[メニュー非表示]ボタンを押下した際にエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
16.	添付ファイル項目に対して一度に 10 件の添付ファイルを添付して「登録」ボタンを押した際、エラーが発生してしまう不具合を修正しました。
17.	プロセス詳細画面にて承認申請中かつログインユーザーが本来承認者でない場合に、下記事象が発生してしまう不具合を修正しました。 ・最新の経過情報が表示されない。 ・経過追加・編集ができない。
18.	プロセス詳細画面にて承認申請中かつログインユーザーが本来承認者の場合に、表項目のインポートができない不具合を修正しました。
19.	既知エラー詳細画面と FAQ 詳細画面にて、小分類項目に中分類の値が表示されてしまう不具合を修正しました。
20.	英語設定の WEB ブラウザ(Chrome)で添付ファイルをダウンロードした際、ファイル名が文字化けしてしまう不具合を修正しました。
21.	パスワードミス回数上限超過後に正しいパスワードで再度認証した際、ロック解除時間を超えた後もエラーになってしまう不具合を修正しました。
22.	Firefox を用いて SSM にログインしていない状態でアクセス URL によるアクセスを行う場合に、下記事象が発生してしまう不具合を修正しました。 ・ダイアログウィンドウが開かない ・ダイアログウィンドウは開くが、空白画面のままで詳細画面が表示されない
23.	Firefox と Chrome で、「ブラウザの「×」マークを押下して閉じた際に自動ログアウトする機能」が動作しない不具合を修正しました。
24.	一部ラベルにて、入力された文字列が HTML のタグとして認識されてしまう不具合を修正しました。
25.	申請ルートが複数の場合、承認フロー追加通知先のチェックボックスが選択されていない不具合

No	内容
	合を修正しました。
26.	職責管理画面にて帳票出力を実施した直後に「表示順変更」を実行した際、自動的に帳票出力されてしまう不具合を修正しました。
27.	データ登録コマンドとイベント連携デーモンを 102 モードで実行する際に表項目が指定された場合、一意制約エラーとなる不具合を修正しました。
28.	公開ビューから承認フローでサブルートを選択したチケットのフロータイトルが取得できない不具合を修正しました。
29.	プロセスタスクリストを再適用してからタスクを追加した場合、エラーとなる不具合を修正しました。
30.	手動でメール送信を行う際に、画像データを含む経過を引用して HTML メール本文を作成するとアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。
31.	FAQ 一覧画面にて、検索条件の項目名が「フリーワード」ではなく「キーワード」になっていた不具合を修正しました。
32.	ファイル名に半角カタカナが含まれているファイルをアップロードする場合に発生する下記の不具合を修正しました。 ・Oracle 版: 半角カタカナのファイル名が文字化けして登録されてしまう不具合。 ・PostgreSQL 版: 登録の際にシステムエラーが発生する不具合。
33.	適用条件(※1)のコード/分類項目に複数値を指定した際に、自動適用機能(※2)を利用するとエラーとなる不具合を修正しました。 ※1: チェックリスト条件設定 自動メール通知条件設定 種別条件設定 ※2: プロセスレコード登録/更新による: チェックリスト自動適用 自動メール通知自動適用 種別自動適用 チェックリスト再適用
34.	制御情報の「ID ルール設定」を「画面名略称+年月日(YMMDD)+左 0 詰め」に、画面名略称を任意の文字列に設定し、データ登録コマンドでレコード ID 未指定でレコードを登録するとエラーとなる不具合を修正しました。
35.	ホーム画面-スケジュールブロックの初期件数と展開件数が不一致となる不具合を修正しました。
36.	関連構成項目に選択されたレコードが 100 件以上選択された場合、関連構成ダイアログでの選択済アイテムに表示された件数が不正となる不具合を修正しました。
37.	SLAM チャート行詳細帳票出力の場合、ラベル「計算結果数値テキスト X」が出力されない不具合を修正しました。
38.	表示中のレコードで他のユーザーによってクローズされた場合、「ステータス選択」ボタンを押下すると、出力されたメッセージが不正となる不具合を修正しました。
39.	表示されているレコードの対応中の業務ステータスが他のユーザーによって削除された場合、「次のステータスへ」ボタンを押下すると、アプリケーションエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
40.	分類マスタ登録コマンドを実行する際に、SQL 実行タイムアウトエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
41.	114 モードで経過項目を指定しないでイベント連携デーモンで実行するとエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
42.	ファイルライブラリダイアログ画面とリンク集ダイアログ画面の検索ボタンを押下するとアプリケーション実行エラーが発生する不具合を修正しました。
43.	IE と Firefox を使用した場合、チームマスタ管理画面でチーム名のテキストボックスに日本語が入力できない不具合を修正しました。
44.	システムスケジュールのセキュリティを強化しました。

1.13.3 前バージョンからの変更点

- (1) Senju Service Manager のデータベースは Oracle および PostgreSQL の両方をサポートするようになりました。WEB/DB コンフィグレータより DB タイプを指定可能です。
- (2) Senju Service Manager のデータベースに PostgreSQL を利用時のサポート対象機能が拡張されました。サポート対象機能の詳細についてはユーザズガイドをご参照ください。
- (3) 制御情報の以下の管理項目の内容を変更しました。
【管理項目名】
 データ登録コマンドの不正入力データ処理
【説明】
 旧: データ登録コマンドから構成アイテムを登録する際、入力データに不正な値が含まれていた場合の動作を定義します。
 ※項目の特別処理については、マニュアルをご参照してください。
 新: データ登録コマンドから構成アイテムを登録する際、入力データに不正な値が含まれていた場合の動作を定義します。
 ※項目の特別処理については、マニュアルをご参照ください。
- (4) 制御情報の以下の管理項目の内容を変更しました。
【管理項目名】
 旧: SAML 応答情報-フェデレーションサービス識別子
 新: SAML 応答情報-認証リクエスト ID
【説明】
 旧: SAML 認証使用時、XML 形式の認証応答からフェデレーションサービス識別子の値を指定する XPath を定義します。
 新: SAML 認証使用時、XML 形式の認証応答から認証リクエスト ID の値を指定する XPath を定義します。

1.13.4 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。
 本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「2 稼働環境」を参照してください。

- (1) Oracle Database サーバーのサポート OS に Oracle Linux 8 および Red Hat Enterprise Linux 8 を追加しました。
- (2) 以下のサーバー構成がサポート対象となりました。
 データベースは Oracle の場合 :
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0)
 - ・ Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0)
 - ・ Redhat Enterprise Linux 8.x (x64) + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0)
 - ・ Oracle Linux 8.4(x64) + Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0)
 データベースは PostgreSQL の場合 :
 - ・ Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + PostgreSQL DataBase 13.X
 - ・ Microsoft Windows Server 2019 DataCenter Edition + PostgreSQL DataBase 13.X
- (3) 以下のサーバー構成がサポート対象外となりました。
 - ・ Redhat Enterprise Linux 6.6(x64) + Oracle Database 12c Standard Edition Two (12.1.0.2.10)
 - ・ Redhat Enterprise Linux 6.6 + Oracle Database 12c Standard Edition Two (12.1.0.2.0)

1.13.5 既知障害

本パッチには、以下の既知障害がございます。
今後、修正版パッチを配布致しますので、適用するまでは障害を引き起こす操作は行わないようにしてください。

- (1) ・ Senju/SM WEB サーバー：Windows2016
・ 通信プロトコル：https
・ ブラウザ：FireFox

上記の環境で Senju/SM を操作した場合に、次の画面に不具合が生じます。

- ・ イベント一覧
 - 一括経過追加後に「イベント〇〇〇は既に振分済みです」のメッセージが表示されます。イベントは正常に更新されます。
- ・ 帳票出力(タスク一覧／タスク件数一覧／プロセス一覧／コードシステム別件数一覧帳票／コード詳細一覧帳票)
 - 帳票選択ダイアログから帳票出力ボタン押下時「誤った操作が行われた為、接続が切断されました。」のメッセージが表示されます。帳票は出力されません。
- ・ 職責編集
 - 職責更新時に「不正な操作が行われました。」のメッセージが表示されます。職責は更新されます。
- ・ サービスデスク画面レイアウト一覧
 - レイアウト定義更新時に「以下のビューの更新に失敗しました。」のメッセージが表示されます。レイアウトは更新されます。
- ・ 制御情報
 - 職責更新時に「不正な操作が行われました。」のメッセージが表示されます。職責は更新されます。

- (2) Senju/SM 2021.0.0.0 より前バージョンで、詳細画面の項目の高さを「365px - 500px」の値に設定していた場合、バージョンアップ後の画面レイアウト定義で、該当項目の項目名リンクから項目編集画面を開いて、「更新」ボタンを押下した際、以下のエラーメッセージが表示され、項目編集画面で修正した内容を更新することができません。

以下の項目(1)は範囲(2)の値を入力してください

- (1):項目の高さ
(2):27px - 500px

障害が発生する対象画面は以下の画面です。

- ・ サービスデスク画面定義 - 詳細レイアウト(項目) - 項目編集画面
- ・ 簡易画面定義 - フォームレイアウト - 項目編集画面

1.14 バージョン2021.0.0の主な新機能

1.14.1 主な新機能

- (1) Senju/SM の画面デザインを刷新しました

以下の内容が廃止されました

- ・従来の画面デザイン(パターン 1/パターン 2)
- ・メニュー/サブメニュー選択時に表示される一覧画面
- ・ログインフレームのメニュー一覧画面
- ・本日日付の入力ボタン
- ・時刻入力ダイアログ
- ・ボタンのアイコン表示設定

以下の内容が修正されました

- ・一部のダイアログをモーダルウィンドウで表示するようになりました
- ・画面上部のボタン群を「アクション」ボタン配下のメニューに集約しました

- (2) ユーザーマスタ管理画面で行う以下の操作を API から実行できるようになりました。

- ・ユーザーの新規作成
- ・ユーザーの参照
- ・ユーザーの編集
- ・ユーザーの削除

- (3) 添付ファイル登録画面を改修しました。

- ・添付ファイルの登録をドラッグ&ドロップで行えるようになりました
従来通り、ファイルを選択して添付ファイルを登録することも可能です
- ・複数の添付ファイルを一度に登録できるようになりました

- (4) ポップアップ表示される確認ダイアログの表示/非表示を制御する機能を追加しました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

確認ポップアップレベル設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (5) ログイン直後に表示されるホーム画面を改修しました。

別画面に遷移せず以下の操作を行うことができます。

- ・自身が担当している案件の状況確認
- ・各案件へのジャンプ
- ・簡易検索
- ・簡易申請

⇒ユーザーズガイド「3.4.1 ホーム」

- (6) ユーザーごとにホーム画面をカスタマイズできるようになりました。

ホーム画面に表示する情報を「ホーム画面定義」画面で設定することができます。

⇒ユーザーズガイド「3.4.7-4 ホーム画面定義」

- (7) プロセスおよび問合せ/申請画面において承認フローを複数回回す機能を追加しました。

申請状況が「承認済」かつ、ステータスが「クローズ以外」の場合に再度承認申請を行うことができます。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

プロセスおよび問合せ/申請の承認申請可能最大数(回)

⇒ユーザガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (8) 複数の候補から承認者を絞り込む際に
申請者および承認フロー途中の担当者が承認者を選択可能になりました。

※従来は直前の承認フローの担当者のみしか承認者を選択することができませんでした。

- (9) エスカレーション/承認申請の操作を行った際に以下の外部サービスと連携する機能を追加しました。
以下のサービスにて稼働検証を行っております。
- ・Mattermost
 - ・Jira
 - ・Redmine

⇒ユーザガイド「2.4.28 Webhook 連携機能を使用する」

- (10) プロセス管理・簡易プロセス画面に表項目を 5 つ追加しました。
表項目の列には以下の項目を設定可能です。
- ・テキスト
 - ・コンボボックス
 - ・日付テキスト
 - ・時刻テキスト
 - ・選択ユーザー
- 他の項目と同様レイアウト定義にてカスタマイズを行うことができます。

- (11) 以下の項目を追加しました。
- ・計算結果数値テキスト
 - ・(経過)計算用数値テキスト 1～3

すべての経過の(経過)計算用数値テキスト n の値を集計し、親画面の計算結果数値テキスト n に表示します。

- (12) プロセス管理画面で起票したレコードを簡易プロセス画面で参照できる機能を追加しました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

簡易画面公開機能利用設定

プロセス画面 公開グループリストの選択可能グループ設定

⇒ユーザガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (13) プロセス画面で既存の「ステータス」項目を視覚的に表示する機能を追加しました。
また、当該ステータスで行うタスクが一目で分かるようにガイドンスを表示するようにしました。

上記機能を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

業務ステータス機能使用設定

⇒ユーザガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (14) プロセスチケットのレコード ID の採番ルールに「画面名略称+年月日 (YYMMDD)+左0詰め」を指定できるようになりました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

ID ルール設定

⇒ユーザガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (15) プロセス管理の既存項目「日付テキスト 1」～「日付テキスト 2」および「時刻テキスト 1」～「時刻テキスト 2」を拡張し、以下の項目を追加しました。

- ・日付テキスト 3～日付テキスト 15
- ・時刻テキスト 3～時刻テキスト 15

(16) プロセス管理・簡易プロセス画面に以下の項目を追加しました。

- ・SAML 認証用アクセス URL

SAML 認証利用時に、上記 URL よりログインし該当レコードの詳細画面を表示することができます。

(17) プロセス管理・簡易プロセス画面に以下の項目を追加しました。

- ・通し作業
- ・非稼働日実施

プロセス項目のスケジュール設定開始日時・終了日時を指定した場合に、「通し作業か」「対象システムの非稼働日にスケジュールへ表示するか」を指定可能です。

上記機能を利用するためには、レイアウト定義で以下の項目をプロセス画面に表示する必要があります。

- ・スケジュール設定オプション

⇒ユーザーズガイド「3.5.1.20 ユーザースケジュール反映項目」

⇒ユーザーズガイド「3.5.1.21 システムスケジュール反映項目」

(18) 承認申請中にエスカレーションを行う機能を追加しました。これに伴い、プロセス管理に以下の項目を追加しました。

- ・対応者
- ・承認者

上記機能を利用するためには、レイアウト定義で「対応者」をプロセス画面に表示する必要があります。また、以下の管理項目の設定を行うことにより、承認申請時に上記「対応者」の情報を保持する／しないを制御することができます。

【管理項目名】

承認申請時の現在対応者情報保持設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

(19) プロセス管理のエスカレーション機能に「現在対応者にエスカレーション」機能を追加しました。

上記機能を使用した場合、現在対応者がエスカレーション先に選択された状態でエスカレーション先選択画面が表示されます。

⇒ユーザーズガイド「3.5.1.8 エスカレーション」

(20) プロセス管理のエスカレーション先選択選択画面に「エスカレーション先保存リスト編集」機能を追加しました。頻繁にエスカレーション先・通知先へ指定するユーザーを、グループ単位で登録することができます。

⇒ユーザーズガイド「3.5.1.8-2 エスカレーション先・通知先の保存」

(21) プロセスを新規起票と同時にクローズする機能を追加しました。

上記機能を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

プロセス新規登録画面の「登録＋クローズ」ボタン表示設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (22) プロセス一覧画面に一括クローズ機能を追加しました。
複数のレコードに対して一括でクローズ処理を行うことができます。

⇒ユーザーズガイド「3.5.1.33-1 一括クローズ機能」

- (23) 簡易プロセス画面で起票したレコードに対する完了機能について、利用する／しないを制御する機能を追加しました。

上記機能を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

完了機能利用設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (24) 簡易プロセスにおいて、特定の操作を行った際に処理中の画面表示を行い、追加で画面操作を行うことを防ぐ機能を追加しました。

- (25) 簡易プロセス画面で新規登録／編集を行う際の[登録]／[更新]ボタンについて、表示する／しないを制御する機能を追加しました。

上記機能を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

簡易プロセス画面の[登録/更新]ボタン表示設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (26) 簡易プロセス画面の「再問合せ」アクションについて、表示する／しないを制御する機能を追加しました。

上記機能を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

再問合せボタン表示設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (27) SLAM チャート設定編集画面から下記項目設定を削除しました。

- ・行タイトル背景色
- ・列タイトル背景色
- ・しきい値制御背景色
- ・しきい値制御文字色
- ・しきい値制御太字

⇒ユーザーズガイド「4.3.5.11-1 SLAM チャート設定の編集」

- (28) SLAM チャート一括登録 CSV への指定から下記項目を削除しました。

- ・行タイトル背景色
- ・列タイトル背景色
- ・しきい値制御背景色
- ・しきい値制御文字色
- ・しきい値制御太字

⇒ユーザーズガイド「4.3.5.11-2 CSV ファイルを使用した SLAM チャート設定の一括登録」

⇒ユーザーズガイド「4.3.5.11-3 SLAM チャート設定の一括登録ケーススタディ」

- (29) データ出力コマンドで、プロセス管理に以下項目の出力機能を変更しました：

- ・現在対応者
- 出力データは承認者＋対応者(重複を除外)になります

申請状況通知コマンド/自動メール通知コマンドで、以下項目を置換対象としました：

- ・承認者
- ・対応者

過去データ削除コマンド/システム削除コマンドで、以下テーブルを削除対象としました：

- ・承認フロー承認ファイル(WF_APPROVE_FIL)
- ・承認フロー承認ユーザーファイル(WF_APPROVE_USER_FIL)

申請状況通知コマンドで、以下項目の置換機能を変更しました：

- ・エスカレーション先
置換データは承認者＋対応者(重複を除外)になります

自動メール通知コマンドで、以下項目の置換機能を変更しました：

- ・現在対応者
置換データは承認者＋対応者(重複を除外)になります

- (30) プロセス画面のリッチテキスト項目の XSS 発生について、チェックする／チェックしないを制御する機能を追加しました。

上記機能を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

イベント連携のリッチテキスト項目の入力チェック設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (31) データ出力コマンドで、プロセス管理及びイベント管理に以下項目の出力機能を追加しました：

- ・日付テキスト 3～15
- ・時刻テキスト 3～15

データ登録コマンド/Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録で、プロセス管理及びイベント管理に以下項目の登録/更新機能を追加しました：

- ・日付テキスト 3～15
- ・時刻テキスト 3～15

- (32) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)、Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録、プロセス管理およびイベント管理の以下項目を登録/更新する機能を追加しました。

- ・スケジュール設定オプション・通し作業
- ・スケジュール設定オプション・非稼働日

⇒コマンドリファレンス「1.2.5 データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)」

⇒コマンドリファレンス「1.2.6 Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録」

- (33) 承認フロールートマスタで、項目名「承認者選択ルート NO」のルート指定を追加しました
項目「承認者選択ルート NO」の追加に伴い、以下場所に「承認者選択ルート NO」詳細内容を追加しました

⇒コマンドリファレンス：「1.2.3.4.5 承認フロールートマスタをマッピングアイテムファイルを用いて更新する」

⇒コマンドリファレンス：「1.2.3.6.2 承認フロールートマスタ」

⇒コマンドリファレンス：「1.3.4.1.6 承認フロールートマスタ」

- (34) マスタ登録コマンド(sjSPU_ImportMst.exe)にマスタ「メンテナンス権限」と「メンテナンス権限(システム別)」の登録/更新できる対象は以下の項目を追加しました

メンテナンス権限(共通): 全文検索

メンテナンス権限(共通): ホーム画面定義

メンテナンス権限(共通): 業務ステータス

メンテナンス権限(共通): 送信メッセージテンプレート

メンテナンス権限(システム別): Webhook 送信設定

- ⇒コマンドリファレンス:「1.2.3.4.9 メンテナンス(共通)マスタを新規登録する」
- ⇒コマンドリファレンス:「1.2.3.4.10 メンテナンス(システム別)マスタを新規登録する」
- ⇒コマンドリファレンス:「1.3.4.1.10 メンテナンス権限(共通)」
- ⇒コマンドリファレンス:「1.3.4.1.11 メンテナンス権限(システム別)」

データ移行コマンドにて以下の移行対象を追加しました

- ・管理者メニュー画面/機能別/業務ステータスマスタ管理
- ・管理者メニュー画面/機能別/送信メッセージテンプレート
- ・管理者メニュー画面/機能別/Webhook 送信設定

⇒コマンドリファレンス:「1.2.13.5 移行対象マスタ情報」

システム削除コマンド(sjSPU_DeleteSystem.exe)にて Webhook 送信設定ファイルは削除対象とします

⇒コマンドリファレンス:「1.2.18.2 実行結果」

- (35) データ登録コマンドと Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録にて項目「公開グループ」は「プロセス管理」に対して、指定可能な項目になりました

データ登録コマンドと Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録にて「プロセス管理」に対して、登録/更新できる項目は「フォーム公開」を追加しました

⇒コマンドリファレンス:「1.2.5.10.1 プロセス管理／インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理」

⇒コマンドリファレンス:「1.3.1 凡例」

⇒コマンドリファレンス:「1.3.6.1 プロセス管理」

⇒コマンドリファレンス:「1.3.7.1 プロセス管理」

- (36) データ登録コマンドにて「プロセス管理」と「イベント管理」に対して、指定可能な項目が「経過計算用数値テキスト 1～3」を追加しました

⇒コマンドリファレンス:「1.2.5.10.1 プロセス管理／インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理」

⇒コマンドリファレンス:「1.2.5.10.2 イベント管理／インシデント候補」

⇒コマンドリファレンス:「1.3.6.1 プロセス管理」

⇒コマンドリファレンス:「1.3.6.2 イベント管理」

Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録にてプロセス管理に対してし、登録できる項目が「経過計算用数値テキスト 1～3」を追加しました

⇒コマンドリファレンス:「1.3.7.1 プロセス管理」

データ出力コマンドにて一覧帳票出力対象が以下の項目を追加しました

- ・計算結果数値テキスト 1-3
- ・計算用数値テキスト 1-3(-a 指定の場合)

⇒コマンドリファレンス:「1.2.10.2.1 プロセス管理」

⇒コマンドリファレンス:「1.2.10.2.2 イベント管理」

- (37) コード登録コマンドに対して指定可能な項目は以下のように追加しました

■表項目 1～5:コンボボックス 1～3

⇒コマンドリファレンス:「1.2.2.5 指定可能フィールド情報」

データ登録コマンドにて「プロセス管理」と「イベント管理」に対して指定可能な項目は以下のように追加しました

- ・表項目 1～5 情報:テキスト 1～5

- ・表項目 1～5 情報:コンボボックス 1～3
- ・表項目 1～5 情報:日付テキスト1～3
- ・表項目 1～5 情報:時刻テキスト 1～3
- ・表項目 1～5 情報:選択ユーザー1～3

⇒コマンドリファレンス:「1.2.5.7 設定ケーススタディ」

⇒コマンドリファレンス:「1.2.5.10.1 プロセス管理／インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理」

⇒コマンドリファレンス:「1.2.5.10.2 イベント管理／インシデント候補」

⇒コマンドリファレンス:「1.3.6.1 プロセス管理」

⇒コマンドリファレンス:「1.3.6.2 イベント管理」

Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録にてプロセス管理に対して指定可能な項目は以下のように追加しました

- ・表項目 1～5 情報:テキスト 1～5
- ・表項目 1～5 情報:コンボボックス 1～3
- ・表項目 1～5 情報:日付テキスト1～3
- ・表項目 1～5 情報:時刻テキスト 1～3
- ・表項目 1～5 情報:選択ユーザー1～3

⇒コマンドリファレンス:「1.3.7.1 プロセス管理」

(38) 表項目 1～5 の値を取得する公開ビューを追加しました。

- ・「公開プロセス表項目 1 ビュー(PVIEW_01_1001)」
- ・「公開プロセス表項目 1 ビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_1001_0001～PVIEW_01_1001_0103)」
- ・「公開プロセス表項目 2 ビュー(PVIEW_01_1002)」
- ・「公開プロセス表項目 2 ビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_1002_0001～PVIEW_01_1002_0103)」
- ・「公開プロセス表項目 3 ビュー(PVIEW_01_1003)」
- ・「公開プロセス表項目 3 ビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_1003_0001～PVIEW_01_1003_0103)」
- ・「公開プロセス表項目 4 ビュー(PVIEW_01_1004)」
- ・「公開プロセス表項目 4 ビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_1004_0001～PVIEW_01_1004_0103)」
- ・「公開プロセス表項目 5 ビュー(PVIEW_01_1005)」
- ・「公開プロセス表項目 5 ビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_1005_0001～PVIEW_01_1005_0103)」
- ・「公開プロセス表項目 1 ラベルビュー(L_PVIEW_01_1001)」
- ・「公開プロセス表項目 2 ラベルビュー(L_PVIEW_01_1002)」
- ・「公開プロセス表項目 3 ラベルビュー(L_PVIEW_01_1003)」
- ・「公開プロセス表項目 4 ラベルビュー(L_PVIEW_01_1004)」
- ・「公開プロセス表項目 5 ラベルビュー(L_PVIEW_01_1005)」

(39) プロセス管理の日付・時刻項目の拡張に伴い、以下の公開ビューを修正しました。

- ・「公開プロセスビュー(PVIEW_01_0001)」
- ・「公開プロセスビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_0001_0001～PVIEW_01_0001_0103)」
- ・「公開プロセスラベルビュー(L_PVIEW_01_0001)」
- ・「公開 SLAM チャート抽出条件ビュー(プロセス)(PVIEW_13_0002)」

(40) 承認申請中にエスカレーションを行う機能の追加に伴い、以下の公開ビューを修正いたしました。

- ・「公開エスカレーションビュー(PVIEW_01_0101)」
- ・「公開エスカレーションビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_0101_0001～PVIEW_01_0101_0103)」

(41) 簡易プロセス一覧画面から検索を行う際の、「ステータス」項目の初期値を「クローズ以外」から変更でき

るようになりました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

検索条件のステータス初期設定値

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (42) 簡易プロセス画面の「公開グループ」項目について、ログインユーザーが所属していない公開グループを登録・参照することができるようになりました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

※本項目は「プロセス画面 公開グループリストの選択可能グループ設定」から名称が変更されております。

【管理項目名】

公開グループの表示設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (43) 申請ルート選択画面および承認フロー承認画面から表示する承認者選択画面について、承認者の氏名に加えて会社名、組織名を表示できるようになりました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

要員・ユーザー選択時の表示フォーマット

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (44) プロセスに公開グループを登録する場合に、複数の公開グループを登録できるようになりました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

プロセスー公開グループ登録可能最大件数(件)

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (45) プロセス管理から起票されたレコードを、エンドユーザーが承認できるようになりました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

サービスデスク申請時のエンドユーザー承認設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (46) 関連登録およびコピー登録機能について、項目「公開グループ」がコピーできるようになりました。

⇒ユーザーズガイド「4.3.2.8 関連登録コピー定義」

⇒ユーザーズガイド「4.3.2.9 コピー登録定義」

- (47) 関連登録機能について、項目「アクセス URL」がコピーできるようになりました。

※コピー先項目としては指定できません。任意のテキスト項目へコピーするように設定する必要があります。

⇒ユーザーズガイド「4.3.2.8 関連登録コピー定義」

- (48) フォーム起票レコードをサービスデスク画面から参照した場合に、タイトルの背景色を変更する機能を追加しました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

フォーム起票レコードに対するプロセス詳細画面のタイトル背景色変更設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (49) 以下のコマンドで「公開グループ」項目の複数件登録に対応しました。

- ・データ登録コマンドおよび Senju/EN によるメール取り込みで、プロセス管理の公開グループが複数指定可能になりました。
- ・データ出力コマンドで、公開グループが複数出力可能になりました。
- ・申請状況通知コマンドおよび自動メール通知コマンドで、置換文字列を利用した際に公開グループが複数出力可能になりました。
- ・データ削除コマンドおよびシステム削除コマンドで、公開グループ複数指定しているレコードも正しく削除できるようになりました。

- (50) 公開グループの情報を取得する公開ビューを追加しました。

- ・「公開公開グループビュー(PVIEW_01_1101)」
- ・「公開公開グループビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_1101_0001～PVIEW_01_1101_0103)」

上記に伴い、以下の公開ビューから公開グループ(物理名:COL_02010011)を削除しました。

- ・「公開プロセスビュー(PVIEW_01_0001)」
- ・「公開プロセスビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_0001_0001～PVIEW_01_0001_0103)」

- (51) 表項目について、以下項目が設定可能になりました。

- ・テキスト 6～20
- ・コンボボックス 4～20
- ・日付テキスト 4、5
- ・時刻テキスト 4、5
- ・選択ユーザー 4、5

選択ユーザー 4、5 については、下記の制御情報にて検索対象の設定が可能です。

【管理項目名】

編集画面の表項目選択ユーザー4

編集画面の表項目選択ユーザー5

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (52) 表項目のエクスポート機能を追加しました。

- (53) 表項目のインポート機能を追加しました。

インポートできる最大件数については、下記の制御情報の設定値通りとなります。

【管理項目名】

プロセスの各表項目の登録可能最大件数(件)

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (54) 入力文字制御において、半角記号を制御対象に追加しました。

入力文字制御管理画面より、各項目に対する上記半角記号の入力許可・禁止を設定することができます。

- (55) 各画面に表示されるユーザー名リンクについて、リンク表示にするかテキスト表示にするか設定できる機能を追加しました。

下記の制御情報にて設定可能です。

【管理項目名】

ユーザー詳細リンク表示設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (56) ユーザー情報のメールアドレス項目に入れるメールアドレス情報について、正規表現でチェックする機能を追加しました。

下記の制御情報にて設定可能です。

【管理項目名】

メールアドレス 1 チェック設定

メールアドレス 1 正規表現設定

メールアドレス 2 チェック設定

メールアドレス 2 正規表現設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (57) データ登録コマンドおよびイベント連携デーモンでのレコード登録・更新時に、表項目の以下項目が指定可能になりました。

- ・テキスト 6～20
- ・コンボボックス 4～20
- ・日付テキスト 4、5
- ・時刻テキスト 4、5
- ・選択ユーザー 4、5

- (58) イベント連携デーモン(sjSPX_EventRcvd.exe)について、HTML メールの内容を解析し適切な変換を自動実施してリッチテキスト項目に登録する機能を追加しました。

- (59) 公開ビューのシノニム作成コマンド(sjSPU_CreateSynonymPView.cmd)について、Amazon RDS 環境に対応できるように修正しました。

- (60) 祝祭日の情報を取得する公開ビューを追加しました。

- ・「公開祝祭日マスタビュー(PVIEW_60_0001)」

- (61) STATSPACK(データベースパフォーマンス診断ツール)の導入手順をインストールガイドに追加しました。

⇒インストールガイド「1.4.11 STATSPACK の設定」

- (62) プロセス管理および簡易プロセス(申請)において、承認フローの申請前と承認前に外部チェック WEBAPI を利用してチケット内容のチェックを行い、チェックが完了した場合にのみ承認フローを進められるようにする機能を追加しました。

上記機能を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

・外部チェックリクエスト送信設定

・外部チェック機能利用設定

・外部チェック WEBAPI の URI

WEBAPI はお客様の要件に合わせて作成しますが、お客様にてご用意いただくことも可能です。詳細は弊社お問合せ先へお問合せください。

⇒資料集「1.2.4 外部チェック機能の WEBAPI 仕様まとめ」

- (63) プロセス管理画面からプロセスレコードの新規登録を行う際、レコード ID が重複している場合に登録を行わない設定ができるよう修正しました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

ID の重複許可設定

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (64) 「初めにお読みください」に Chromium 版 Edge におけるポップアップブロック許可設定の説明を追加しました。

※旧バージョンの Edge については、サポート終了に伴い、「初めにお読みください」から該当する項目を削除しました。

- (65) プロセス新規登録画面、プロセス編集画面での関連プロセスの変更(関連付けの登録・削除)の履歴を、対応一覧画面から参照できる機能を追加しました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

変更履歴保存機能

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (66) ランブックテンプレートの 1 データ種別あたりの登録可能な最大件数を、制御情報で設定できるよう修正しました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

ランブックテンプレート 1 データ種別 配下登録可能最大件数(件)

ランブックテンプレート 1 データ種別 配下有効登録可能最大件数(件)

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (67) 関連登録機能について、項目「SAML 認証用アクセス URL」がコピーできるようになりました。

※コピー先項目としては指定できません。任意のテキスト項目へコピーするように設定する必要があります。

⇒ユーザーズガイド「4.3.2.8 関連登録コピー定義」

- (68) Elasticsearch 連携機能(全文検索および類似検索)の Elasticsearch の稼働環境について、OpenJDK8 および CentOS7 の環境構成をサポート対象に加えました。

- (69) 以下の画面で、チーム検索機能を追加しました。

- ・チームマスタ管理
- ・ユーザーマスタ新規登録のチーム・役割選択ダイアログ

- (70) ユーザーマスタ管理一覧画面で、検索条件の「チーム」に選択ダイアログを追加しました。

- (71) チーム登録上限を 1000 件から 3000 件に変更しました。

上記設定を利用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

チーム登録可能最大件数(件)

⇒ユーザーズガイド「4.3.1.1-6 管理項目一覧」

- (72) 以下の公開ビューに「チェック状況(物理名:COL_02010011)」を追加しました。

- ・「公開プロセスビュー(PVIEW_01_0001)」
- ・「公開プロセスビュー(プロセス 1~103)(PVIEW_01_0001_0001~PVIEW_01_0001_0103)」

以下の公開ビューを新規で追加しました。

- ・「公開承認フロールート名称ビュー(PVIEW_59_0001)」
- ・「公開承認フロールートビュー(PVIEW_59_0002)」
- ・「公開承認フロールート承認者ビュー(PVIEW_59_0003)」
- ・「公開承認フロールート通知先ビュー(PVIEW_59_0004)」

- ・「公開承認フロービュー(PVIEW_59_0101)」
- ・「公開対応一覧外部チェックビュー(PVIEW_01_0701)」
- ・「公開承認フロー現在(プロセス 1～103)ビュー(PVIEW_01_0204)」
- ・「公開承認フロー現在(プロセス 1～103)ビュー(PVIEW_01_0204_0001～PVIEW_01_0204_0103)」
- ・「公開承認フロー現在職責・ユーザー・役割ビュー(PVIEW_01_0205)」
- ・「公開承認フロー現在職責・ユーザー・役割(プロセス 1～103)ビュー(PVIEW_01_0205_0001～PVIEW_01_0205_0103)」
- ・「公開承認フロー現在通知先ビュー(PVIEW_01_0206)」
- ・「公開承認フロー現在通知先(プロセス 1～103)ビュー(PVIEW_01_0206_0001～PVIEW_01_0206_0103)」

(73) 以下の公開ビューに「承認フローNO」を追加しました。

- ・公開承認フロー履歴職責・ユーザー・役割ビュー(PVIEW_01_0202)
- ・公開承認フロー履歴通知先ビュー(PVIEW_01_0203)
- ・公開承認フロー履歴職責・ユーザー・役割ラベルビュー(L_PVIEW_01_0202)
- ・公開承認フロー履歴通知先ラベルビュー(L_PVIEW_01_0203)

1.14.2 不具合対応

- (1) 以下のリッチテキスト項目に画像ファイルを登録した場合に、画像がリッチテキスト項目のエリア外に表示される不具合を修正しました。

<プロセス詳細画面>

- ・リッチテキスト 1
- ・リッチテキスト 2
- ・経過内容リッチテキスト

<プロセス編集画面>

- ・リッチテキスト 1
- ・リッチテキスト 2
- ・経過内容リッチテキスト

<メール編集画面>

- ・本文

<メールテンプレート選択画面>

- ・本文

<送信メール参照>

- ・本文

- (2) メール送信画面において、メールの本文項目に対し以下の条件で画像ファイルが貼り付けられた状態でメール送信を行った場合に、アプリケーション実行エラーが発生する不具合を修正しました。

- ・Microsoft Internet Explorer/Microsoft Edge を利用している。
- ・制御情報「手動メールの HTML メール編集設定」において「HTML メールを編集する」を設定している。
- ・画像ファイルデータに数値文字参照の改行(
)コードが含まれている。

- (3) 一括承認機能にてアプリケーション実行エラーが発生する不具合を修正しました。
- (4) 制御情報の「承認完了時プロセス自動クローズ設定」を「自動クローズする」に設定しプロセスの一括承認を行った際に、入力チェック制御(クローズ時の必須設定)が行われない不具合を修正しました。
- (5) 共通の制御情報「グループリストの選択可能グループ設定」を「全ての登録グループ」に設定した場合関連プロセス検索画面と一括処理のプロセス検索画面で公開グループの検索条件で、ログインユーザ

- ーで所属しているグループのみが表示されること、
全ての公開グループは選択肢に表示されるように修正しました。
- (6) ToDo リストのセキュリティを強化しました。
- (7) 申請状況が「承認済」のレコードをクローズした際に、入力チェック制御「クローズ時の必須設定」が有効とならない不具合を修正しました。
- (8) イベントの振分先がプロセス 1 以外の画面の場合、自動メール通知適用設定で登録されたプロセスタスクリスト別のルールが適用されない不具合を修正しました。
- (9) 「データの一括承認」権限を持たないユーザーが一括承認を実行した際に、以下の挙動となる不具合を修正しました。
- ・タイトルに「参照権限のないレコードです」と表示される
 - ・実行結果詳細が表示されない
- (10) 以下の制御情報を設定した場合、プロセス管理／簡易プロセスで「公開グループ」項目の挙動が統一されていない不具合を修正しました。
- 【共通＞共通】
「グループリストの選択可能グループ設定」: ログインユーザーの所属グループ
【利用者メニュー＞プロセス管理】
「プロセス画面 公開グループリストの選択可能グループ設定」: 全ての登録グループ
- (11) ユーザーマスタ編集画面においてシステム×職責を変更した場合、目的のシステム×職責とは別に、職責が未選択のシステムが設定されてしまう不具合を修正しました。
- (12) Internet Explorer の開発者ツールを表示した状態でチェックリスト診断パターン新規登録画面の操作を行った際に、JavaScript のエラーが発生する不具合を修正しました。
- (13) 分析レポート管理画面の検索条件「レポート定義名」コンボボックスに「★未設定★」という文字が含まれている不具合を修正しました。
- (14) 承認フロー新規登録画面にて、ルート名に値を入力せず登録ボタンを押下した際に「null を入力してください」というメッセージが表示される不具合を修正しました。
- (15) 問合せ元マスタ管理画面にて不正な CSV ファイルを指定して一括登録した際にエラーとならない不具合を修正しました。
- (16) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録で、テキストメールをリッチテキスト項目に取り込み時、改行が表示不正となる問題を修正しました。
以下の文字でも類似事象が発生するため修正しました:
 & (アンパサンド)
 半角スペース
 タブ文字
- (17) イベント連携デーモンがメモリリークする場合がある不具合を修正しました。
- (18) フォーム公開したプロセスレコードをプロセス管理詳細画面から承認申請した際に、簡易プロセス画面の表示権限のみ保持しているサービスデスクユーザーが承認者から外れてしまう不具合を修正しました。
- (19) フォーム公開したプロセスレコードをプロセス管理詳細画面から承認申請した際に、以下のユーザーが通知先の初期表示から外れてしまう不具合を修正しました。
- ・簡易プロセス画面の表示権限のみ保持しているサービスデスクユーザー
 - ・エンドユーザー
- (20) FAQ 一覧の帳票出力ボタン押下時にアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。
- (21) プロセス一覧の帳票出力ボタン押下時に JavaScript のエラーが発生することがある不具合を修正しました。
- (22) 構成管理の関連選択画面から呼び出される検索条件保存ダイアログが閉じない不具合を修正しました。

- (23) モーダルダイアログを表示する際にエラーが発生して、ブラウザのダイアログでエラーメッセージを表示した場合に、ブラウザのダイアログを閉じてモールドダイアログが閉じられない不具合を修正しました。
- (24) チェックリスト診断設定詳細画面にチェックリスト件数が表示されない不具合を修正しました。
- (25) 日別スケジュール画面で時刻部分の帯が表示されない不具合を修正しました。
- (26) ユーザー情報編集画面の代理承認者選択ボタンからユーザー選択ができない不具合を修正しました。
- (27) 以下画面のセキュリティを強化しました。
- ・伝言メモ新規登録
 - ・ToDo 新規登録／編集
 - ・お知らせ新規登録／編集
 - ・承認フロールート編集
 - ・送信メッセージテンプレート詳細
 - ・ユーザー詳細
- (28) CSV 形式の帳票を Microsoft Excel で開いたときに不正な動作をしないようにする処理を追加しました。
- (29) 簡易プロセスを問合せとして使用する場合に、問合せ内容が未入力状態で問合せボタンを押下した際に、エラーメッセージが表示されずメッセージダイアログのみが表示される不具合を修正しました。
- (30) サービスデスク画面レイアウトにて「対応者」項目を表示し「現在対応者」項目を非表示にした場合、プロセス詳細帳票にエスカレーション履歴シートが出力されない不具合を修正しました。
- (31) 以下画面の表示内容を改善しました。
- ・ユーザー編集
 - ・承認フロー新規登録
 - ・プロセス新規登録
 - ・簡易プロセス新規登録
- (32) 「ホーム画面定義」の「画面名選択」ダイアログで、利用されてない画面名が表示されてしまう不具合を修正しました。
- (33) プロセス編集画面および簡易プロセス編集画面にてシステムを変更した場合、コンボテキスト 1 またはコンボテキスト 2 に設定された「その他」のコードが消えてしまう不具合を修正しました。
- (34) プロセス管理にて項目説明を表示した際に、サービスデスク画面レイアウト定義の入力例で設定したスペース・タブ・改行が正しく表示されない不具合を修正しました。
- (35) フォーム公開を行ったプロセスレコードを、簡易プロセス画面から問合せをした場合に、問合せ中のレコードが簡易プロセス画面から編集できてしまう不具合を修正しました。
- (36) プロセスチケットの公開グループに所属していないエンドユーザーが現在対応者となった場合に、プロセスチケットが該当エンドユーザーのホーム画面にタスクとして表示されてしまう不具合を修正しました。
- (37) チェックボックスを一括選択／一括解除する部品のインターフェースを変更しました。
- 変更前
- ・ヘッダ行のチェックボックスをクリックするたびにチェックボックスの一括選択／一括解除を切り替えます。
- 変更後
- ・ヘッダ行の「すべて選択」ボタンをクリックするとチェックボックスを一括選択します。
 - ・ヘッダ行の「すべて解除」ボタンをクリックするとチェックボックスを一括解除します。

[対象画面]

- ・申請ルート選択
- ・承認フロー承認
- ・承認フロー却下
- ・承認フロー差戻し
- ・画面使用設定管理

- ・関連項目設定管理
 - ・ラベルマスタ管理
- (38) データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)の添付ファイル出力モードで異常終了が発生する問題に対し、発生頻度を低下させる暫定処理を加えました。
- (39) コマンド実行デーモン(sjSPX_CmdMgr.exe)の画面登録ファイル取得処理で異常終了が発生する問題に対し、発生頻度を低下させる暫定処理を加えました。
- (40) 以下の画面において特定のパターンで表示不正となる不具合を修正しました。
- ・構成アイテム新規登録・編集・詳細画面
 - ・録音ファイル再生画面
 - ・分類選択ダイアログ画面
- (41) 言語設定が英語の場合に、対応一覧画面に「ステータス更新」の変更履歴が出力されない不具合を修正しました。
- (42) 下記の条件において、既に Senju/SM にログインしている状態でアクセス URL を開いて直接詳細画面を表示した時に、詳細画面が開いた後、数秒後に画面が閉じてしまう不具合を修正しました。
- ☐条件
 - ・https 通信であること
 - ・制御情報の「ログイン状態維持設定」が"ログイン状態を維持する"であること
 - ☐事象発生ブラウザ
 - ・GoogleChrome
 - ・Chromium 版 Edge
 - ・Safari
- (43) ユーザースケジュール編集画面の登録者に登録日時が表示される不具合を修正しました。
- (44) 簡易プロセス編集画面および簡易プロセス経過一覧画面において、処理中にフォーム公開が取り消されて参照できなくなったレコードについても参照できてしまう不具合を修正しました。
- (45) 簡易画面定義のフォームレイアウトタブから遷移する項目編集画面において、項目名(プロセス)が編集不可項目であるのに編集可能項目のように表示されている不具合を修正しました。
- (46) 制御情報の一括編集画面の確定ボタン押下時に、JavaScript のエラーが発生する不具合を修正しました。
- (47) 分類メンテナンス画面で、初期表示時に展開表示しない場合に追加ボタン・削除ボタンの表示不正となる不具合を修正しました。
- (48) コードマスタ新規登録／編集画面の「コード種別」コンボボックスのリスト表示順について、「接続先名」と「ブック名」の表示位置を変更しました。
- (49) 表項目の 2 行目以降のテキスト 1～5 の値が、「全文検索」および「類似検索」で検索対象文字列とならない不具合を修正しました。
- (50) 管理者メニュー > Webhook 連携 > 送信メッセージテンプレート新規/編集で、置換文字列選択元項目不正の不具合を修正しました。
- (51) DB 再構築コマンド(sjSPB_ReconstructDB.exe) 実行中に、別の処理によってテーブルロックがかけられ「ORA-00054」エラーが発生した場合に、自動的にインデックス再ビルド処理のリトライを行うように修正しました。
- (52) レコードの登録または更新時に、1 つのレコードにおいて表項目 1～5 の入力項目数(列数と行数の積)の総合計が 10,000 を超える場合、エラーメッセージを出力するように修正しました。
- (53) 項目説明ダイアログを初期表示した際に、テキストエリアが 2 行しか表示されない不具合を修正しました。
- (54) プロセス詳細/編集画面の申請時必須項目とクローズ時必須項目を示すアイコンの色が識別しにくい不具合を修正しました。
- (55) 簡易プロセス新規登録画面でフォーム変更時に列数が違う表項目がレイアウトに存在するとエラーにな

- る不具合を修正しました。
- (56) プロセス画面からの承認申請時に、公開グループ未所属エラーが表示されてしまう不具合を修正しました。
- (57) 表項目エリアの項目からフォーカスを外した際に JavaScript のエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
- (58) 公開 FAQ ライセンスがない場合にシステムマスタ編集画面がレイアウト崩れしてしまう不具合を修正しました。
- (59) WEB コンフィグレーターの基本設定に廃止された編集ボタン、削除ボタンのアイコン設定が残っている不具合を修正しました。
- (60) ダイアログ画面表示中に、画面左のメニューにカーソルを合わせるとメニュー項目がダイアログ画面の上に表示されてしまう不具合を修正しました。
- (61) コード値別編集制御で参照設定になっている「制御対象ブロック」に表項目は配置できない仕様であるはずが、表項目が配置できてしまう不具合を修正しました。
※既に制御対象ブロックに表項目を配置している場合は、表項目を他のブロックに移動してください。
- (62) イベント管理で既存プロセス経過追加を実施した後に表示されるプロセス経過追加画面で、「キャンセル」ボタンを押下してから完了するまでの間、「登録」ボタンが押下できてしまう不具合を修正しました。
- (63) 承認フロー画面で承認者選択をした場合に、「申請者／本来承認者」が決定しているにもかかわらず承認履歴一覧に「申請者／本来承認者」が表示されない不具合を修正しました。
- (64) ユーザー別タスク一覧画面で、不正な却下アイコンが表示されてしまう不具合を修正しました。
- (65) 構成管理一覧画面の一括登録機能で、ユーザー名に全角括弧が含まれるとエラーメッセージが表示され登録できない不具合を修正しました。
- (66) ホーム画面のスケジュール表示部について、タスク別スケジュールを表示した場合の表示崩れを修正しました。
- (67) ユーザー詳細ダイアログに表示しているユーザーがログイン中の場合、「ログイン中」のステータス表示がされない不具合を修正しました。
- (68) 画面幅によってホーム画面のスケジュール日時が改行される不具合を修正しました。この対応により、件数と日時の表示位置を変更しました。
※お知らせ／伝言メモ／ToDo の件数表示についても同様の変更を行いました。
- (69) Senju/SM 2021.0.0.0 より前に登録された承認フローで、却下処理(強制却下処理含む)を行うとエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
- (70) 簡易プロセスの公開グループ項目について、コピー登録による新規起票時に正しい公開グループが選択できない不具合を修正しました。
- (71) 以下の画面のセキュリティを強化しました。
・承認フロー新規登録画面
・承認フロー履歴画面
- (72) デフォルト設定で言語を英語に設定している場合、構成アイテムの接続先機器選択画面でレコードが選択できなくなる不具合を修正しました。
- (73) 業務ステータスを変更した際にコード値別必須制御が機能しない不具合を修正しました。
- (74) 構成管理詳細画面のレイアウトに「項目を配置していないブロック」が 1 つ以上存在する場合、レイアウトが崩れる不具合を修正しました。
- (75) 構成アイテム管理一覧画面表示時に、左メニュー表示を行うと表示が一部隠れてしまう不具合を修正しました。
- (76) バージョン 2021.0.2 の既知障害(2) (表項目の全文検索および類似検索の検索処理不具合)を修正しました。

- (77) サービスデスク画面定義の詳細レイアウト(表項目)タブにおいて、項目名編集で表項目の項目名に改行ありの文字列を入力して更新した後、詳細レイアウト(表項目)タブ以外の画面へ遷移し、再度、詳細レイアウト(表項目)タブにある表項目の項目名編集を表示した際に、入力した改行が消えてしまう不具合を修正しました。
- (78) 簡易画面定義のフォームレイアウト画面、フォームレイアウト(表項目)画面で、チェックボックス解除時に表示されるクリアメッセージダイアログでキャンセルを選択した場合の動作不具合を修正しました。
- (79) 種別適用設定詳細画面の「適用条件」に表示されているリンク名とリンク先が不正になっている不具合を修正しました。
- (80) SAML 認証ユーザーのユーザー編集画面で、不正な位置に必須アイコンが表示される不具合を修正しました。
- (81) データ登録コマンドを実行した際に、案件種別が構成アイテム(構成管理)かつ変更予定として登録・更新した場合、接続先機器登録が不正となる不具合を修正しました。
- (82) イベント連携デーモンでリッチテキスト項目を登録する際に必要となる Fields の指定漏れがあった場合、エラーとならずに一部のみ登録が成功してしまう不具合を修正しました。
- (83) Senju/SM コマンド実行画面でのコマンド実行、およびデータ出力コマンドを添付ファイル出力モードで実行した際に、コマンドが異常終了する場合がある不具合を修正しました。

1.14.3 前バージョンからの変更点

- (1) デフォルト設定「関連構成検索条件の初期設定」は、「共通」設定グループで 1 つしか設定できませんでしたが構成アイテム 1～50 の画面ごとに設定できるようにしました。
- (2) Senju Service Manager のデータベースを PostgreSQL にサポートになった。そのため、一部の SQL 語句を修正しました。Oracle と違って、別のインストーラを作成して使います。
- (3) Senju Service Manager の一部の機能は PostgreSQL 版ではサポートされていません。サポート対象機能の詳細は、ユーザズガイドをご参照ください。

1.14.4 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。
本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「2 稼働環境」を参照してください。

- (1) 以下のサーバー構成がサポート対象となりました。

データベースは Oracle の場合：

- ・ Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2(19.3.0.0.0)
- ・ Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition + Oracle Database 19c Standard Edition 2(19.3.0.0.0)
- ・ Oracle Linux 7.x(x64) + Oracle Database 19c Standard Edition 2(19.3.0.0.0)
- ・ Redhat Enterprise Linux 7.x(x64) + Oracle Database 19c Standard Edition 2(19.3.0.0.0)

データベースは PostgreSQL の場合：

- ・ Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + PostgreSQL DataBase 11.X
- ・ Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + PostgreSQL DataBase 12.X
- ・ Microsoft Windows Server 2019 DataCenter Edition + PostgreSQL DataBase 11.X
- ・ Microsoft Windows Server 2019 DataCenter Edition + PostgreSQL DataBase 12.X

- (2) 以下のサーバー構成がサポート対象外となりました。

- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 + Oracle Database 11g Standard Edition (11.2.0.3)
- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 + Oracle Database 11g

Standard Edition One (11.2.0.3)

- Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 + Oracle Database 11g

Standard Edition (11.2.0.4)

- Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 + Oracle Database 11g

Standard Edition One (11.2.0.4)

- OracleLinux 6.3(x64) + Oracle Database 11g Standard Edition (11.2.0.3)
- OracleLinux 6.3(x64) + Oracle Database 11g Standard Edition One (11.2.0.3)
- OracleLinux 6.3(x64) + Oracle Database 11g Standard Edition (11.2.0.4)
- OracleLinux 6.3(x64) + Oracle Database 11g Standard Edition One (11.2.0.4)

(3) 以下のクライアント構成がサポート対象外となりました。

- Microsoft Windows 7 Professional Service Pack 1

(4) API 連携の対応環境が追加されました。

1.15 バージョン2020.0.0の主な新機能

1.15.1 主な新機能

- (1) OracleDatabase で PDB を利用した場合の Senju/SM Database サーバーの稼働をサポートしました。
- (2) 使用可能な漢字コードに、Windows-31J (MS932) で表示可能な漢字を追加しました。
- (3) Senju/SM がデフォルトで登録済みの 2020 年の祝祭日データを、最新版のデータに更新いたします。
また、2021 年～2030 年の祝祭日データを新規登録します。
- (4) プロセス管理・イベント管理の画面項目 (親・経過) にリッチテキスト項目を追加しました。
- (5) 手動メール送信画面からリッチテキスト項目の内容を HTML メールとしてそのまま送信する機能を追加しました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

手動メールの HTML メール編集設定

- (6) 承認フロールートのメインルート・サブルートの区分を追加しメインルートの承認フロー実施中に複数の候補からサブルートを選択できる機能を追加しました。
- (7) テキスト参照ダイアログをモーダル表示する機能を追加しました。
デフォルトではモードレス表示する設定となっています。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

テキスト参照画面表示設定

- (8) 簡易画面一覧レイアウトおよびサービスデスク画面レイアウトの検索結果一覧の項目に、以下の項目が設定可能になりました。
テキスト 1～5、テキスト 7～19

- (9) プロセス管理画面の一覧帳票出力について、以下の選択肢を追加しました。
一覧＋プロセスタスクリスト

- (10) 以下の帳票を出力した際に、制御情報の設定により親データの「添付ファイル 1～4」の名称を出力できるようになりました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

添付ファイル一覧帳票出力設定

「プロセス管理一覧＞帳票出力 (EXCEL 形式/CSV 形式)」

- ・一覧
- ・一覧＋経過
- ・一覧＋承認履歴
- ・一覧＋対応一覧
- ・一覧＋プロセスタスクリスト

「簡易プロセス一覧＞帳票出力 (CSV 形式)」

- ・一覧
- ・一覧＋経過

(11) プロセス管理一覧＞帳票出力 (EXCEL 形式/CSV 形式) で帳票を出力した際に、「ラージテキスト 1～4」に入力した値を出力できるようになりました。

- ・一覧
- ・一覧＋経過
- ・一覧＋承認履歴
- ・一覧＋対応一覧
- ・一覧＋プロセスタスクリスト

(12) プロセス管理一覧＞帳票出力 (CSV 形式) で帳票を出力した際に、制御情報の設定によりファイル名に日時情報を付加できるようになりました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

帳票出力時のファイル名日時情報付加設定

- ・一覧
- ・一覧＋経過
- ・一覧＋承認履歴
- ・一覧＋対応一覧
- ・一覧＋プロセスタスクリスト

(13) プロセス管理の詳細帳票を出力する際に、シート名を設定できるようになりました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

Excel 帳票のシート名設定

(14) プロセス管理の詳細帳票を出力する際に、全シートについてすべての列を 1 ページに印刷できるように印刷設定を行うように変更しました。

(15) 以下の項目について、サービスデスク画面定義の詳細レイアウト(項目)において、50%表示で配置可能になりました。

- ・日付テキスト 1～2
- ・時刻テキスト 1～2
- ・経過項目:日付テキスト 1～2
- ・経過項目:時刻テキスト 1～2

- (16) ユーザー選択時に検索条件の職責リストを表示する際にシステムに紐づく職責のみを表示することができるようになりました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

ユーザー選択時の職責リスト表示設定

- (17) 全文検索一覧画面の 1 ページあたりの表示件数が最大 100 件まで設定できるようになりました。

- (18) フォーム起票したチケットをサービスデスク画面にて経過追加する場合、チャンネル項目に対して初期値に「アウトバウンド・SSM」を設定できるようになりました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

フォーム起票レコードに対する経過追加時のチャンネル初期設定

- (19) 期限切れのアイコンを非表示へ切り替えができるようになりました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

期限切れアイコン表示設定

- (20) 利用者メニューにおいて他ユーザーのログイン ID (ユーザーID) が参照・特定できないように、表示・機能の利用の制限設定ができるようになりました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

ユーザーID 表示設定

- (21) テキスト編集画面において、現在入力されている文字のバイト数を動的に表示するようになりました。

- (22) SLAM チャート画面のドーナツチャートをクリックすると、SLAM チャート詳細画面を表示するようになりました。

- (23) 簡易画面一覧レイアウトおよびサービスデスク画面レイアウトの検索条件、検索結果一覧の項目に、以下の項目が設定可能になりました。

・クローズ種別

- (24) 以下の画面に表示されるタスクにおいて、デフォルト設定画面のタスクの表示順の初期設定が表示順に反映されるように変更しました。

・ホーム画面

・タスク一覧画面

- (25) タスクの表示順に「依頼日時」を設定できるようになりました。

- (26) リッチテキスト項目に許可しないタグが含まれていた場合に入力エラーとするかどうかを設定する制御情報を追加しました。

【管理項目名】

リッチテキスト項目の入力チェック設定

- (27) プロセスの削除およびプロセスのイベント戻しを行った場合、ゴミデータが残る不具合を修正しました。
(プロセスタスクリスト情報)

- (28) 会社組織が大量に存在するときに画面描画が遅くなる問題に対して、会社組織の登録数に応じて画面表示を変更するように修正しました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定値を 1001 件以上にする必要があります。

【管理項目名】

組織登録可能最大件数(件)

- (29) Senju/SM コマンド実行画面で、以下の管理項目の設定値により、コマンド種別毎の表示・非表示を切り替え可能になりました。

- (30) 自動メール通知機能を利用した際に、プロセスタスクリストの各プロセスタスクの対応期限日に対してメール通知する機能を追加しました。これに伴い管理画面に以下の変更を実施しました。

以下の設定を「利用する」にすることで本機能を使用することができます。

【管理項目名】

プロセスタスクリストの自動メール通知機能利用設定

- ① 管理者メニュー＞機能別＞メールテンプレート＞メールテンプレート(自動送信)にて、メールアクションに「自動メール通知 プロセスタスクリスト(コマンド)」を追加しました。

プロセスタスクリストを通知条件とする自動メール通知でのメール送信時のテンプレートになります。また、このテンプレートで利用できる置換文字列として以下を追加しました。

- ・プロセスタスクリスト経過情報: 対応日
- ・プロセスタスクリスト経過情報: 対応時刻
- ・プロセスタスクリスト経過情報: 内容

- ② 管理者メニュー＞機能別＞自動メール通知＞自動メール通知ルート設定にて、「通知先」の「区分」に「担当」を追加しました。
「担当」を選択した場合、メール送信先はプロセスの「現在対応者」、もしくはプロセスタスクリストの「担当者」になります。

- ③ 管理者メニュー＞機能別＞自動メール通知＞自動メール通知適用設定にて、「適用先種別」を追加しました。
「プロセス」に対する自動メール通知適用設定か、「プロセスタスクリスト」に対する自動メール通知適用設定かを選択できます。

- (31) 自動メール通知機能を利用した際に、基準日時に到達する前にメール通知する機能を追加しました。

これに伴い管理画面に以下の変更を実施しました。

管理者メニュー＞機能別＞自動メール通知＞自動メール通知ルート設定にて、

- ・「経過時間」を「通知時間」に名称変更しました。
- ・「通知種別」を追加しました。「通知種別」は「超過」、「事前」から選択できます。

メール送信基準日時(※)と自動メール送信コマンド実行時のシステム時間を比較した際に「超過」の場合はメール送信基準日時の「通知時間」後以降であればメール送信します。「事前」の場合はメール送信基準日時の「通知時間」前以降であればメール送信します。

※メール送信基準日時は、プロセスの「起票日」「起票時刻」、「メール通知基準日」「メール通知基準時刻」、もしくはプロセスタスクリストの「対応期限日」「対応期限時刻」のいずれかとなります。

(32) 職責に表示順を設定できるようになりました。

(33) プロセス管理について、編集したサービスデスク画面レイアウトをサービスデスク画面レイアウトのテンプレートとして登録できるようになりました。

(34) 制御値「ユーザー選択時の職責リスト表示設定」が「システムに紐づく職責のみを表示する」を選択した際に、以下の画面の「システム×職責」に NotSet と表示される場合がある不具合を修正しました。

- ・システムユーザー画面
- ・チームユーザー画面

(35) プロセス管理・イベント管理のリッチテキスト項目に対して Senju Enterprise Navigator 経由で HTML メールをそのまま取り込む機能を追加しました。

(36) 過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)、システム削除コマンド(sjSPU_DeleteSystem.exe)において、承認フローデータ削除時、承認フロー分岐ルートの削除を追加しました。

(37) データ移行コマンド(sjSPU_MigrateData.exe)の移行対象に、承認フローサブルート設定を追加しました。

(38) DB 再構築コマンド(sjSPB_ReconstructDB.exe)を RDS 環境にて実行可能になりました。

(39) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)、Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録および DB コンフィグレートにおけるユーザー登録時、認証方法に「SAML 認証」を指定することが可能になりました。

(40) ライセンスキー登録コマンド(sjSPB_EntryKey.exe)で、コマンドを実行するサーバーのホスト名を確認するモードを追加しました。

(41) Senju/EN からのイベント連携(116 モード)によるデータ登録において、レコード ID が指定されていない場合に、タイトルで経過追加先を検索するか、検索せずにプロセス新規登録するかを定義する制御情報を追加しました。

【管理項目名】

イベント連携(116 モード)レコード ID 未指定時のタイトルでの検索設定

- (42) Senju/EN からのイベント連携 (116 モード) によるデータ登録において、経過追加先が存在しない場合に、新規登録されるプロセスのレコード ID に指定された値を利用するか、自動採番するかを定義する制御情報を追加しました。

【管理項目名】

イベント連携(116 モード)プロセス新規登録時のレコード ID 設定

- (43) Senju/EN からのイベント連携 (113、114、115、116 モード) による経過追加時、エスカレーション情報を更新するか、更新しないかを定義する制御情報を追加しました。

【管理項目名】

イベント連携(113、114、115、116 モード)経過追加時のエスカレーション情報更新設定

- (44) 自動メール送信コマンド(sjSPX_ChkElapsedTime)に、送信種別「0004」、「0005」を追加しました。
送信種別「0004」、「0005」で上記コマンドを実行時、以下の条件を満たしている場合、条件に合致したプロセスレコード配下のプロセスタスクリストレコードの内容が「自動メール通知 プロセスタスクリスト(コマンド)」に基づきメール送信されます。

[条件]

- ・自動メール通知適用設定の「適用先種別」が「プロセスタスクリスト」に設定されていること。
- ・自動メール通知ルート設定の「通知種別」、「通知時間」を満たす、「対応期限日」、「対応期限時刻」を持つプロセスタスクリストが存在すること。
- ・自動メール通知条件設定の条件に一致するプロセスレコード配下のプロセスタスクリストレコードのステータスが「未対応」であること。

送信種別「0004」の場合は、通知種別 1 になります。

送信種別「0005」の場合は、通知種別 2 になります。

- (45) Senju/EN からのイベント連携を実施した際に、プロセス管理およびイベント管理の以下項目を登録/更新する機能を追加しました。

- ・リッチテキスト 1
- ・リッチテキスト 1 (テキストのみ)
- ・リッチテキスト 2
- ・リッチテキスト 2 (テキストのみ)
- ・(経過)リッチテキスト
- ・(経過)リッチテキスト(テキストのみ)

- (46) マスタ登録コマンド(sjSPU_ImportMst.exe)で職責を登録/更新する場合、表示順を指定できるようになりました。

- (47) チェックボックスの選択状況を取得する公開ビューを追加しました。

- ・「公開チェックボックスビュー(PVIEW_01_0801)」
- ・「公開チェックボックスビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_0801_0001～PVIEW_01_0801_0103)」

1.15.2 不具合対応

- (1) Windows10 1803 以降に搭載されている Microsoft Edge で添付ファイルをダウンロードした時に日本語ファイル名が文字化けする不具合を修正しました。
- (2) ライセンスキーの有効期限が切れた状態で任意のユーザーが Senju/SM にログインした場合、アプリケーション実行エラーが発生する不具合を修正しました。
- (3) 複数行の確認メッセージにおいて、改行文字(¥n)がエンコードされないことがある不具合を修正しました。
- (4) Google Chrome ブラウザを使用している場合、拡大率を 100%以外に変更し、上下スクロールを行った際にシステムエラーが発生する不具合を修正しました。
- (5) 承認フローでサブルートの1ルート目の承認者が「職責」指定または「役割」指定の場合に、メインルートの最終承認者が承認した際、次ルート承認者(サブルートの1ルート目の承認者)へ承認依頼メールが送信されない不具合を修正しました。
- (6) 組織の登録上限値を 1001 件以上に設定した場合に、ユーザーの検索画面で不正な挙動をする不具合を修正しました。
- (7) Elasticsearch 連携機能を使用時、Logstatsh のログが不正な表示となる不具合を修正しました。
- (8) 「初めにお読みください」画面の内容が Senju/SM の稼働環境と一致していなかった不具合を修正しました。
- (9) 同時接続ライセンス数を超過したユーザーが同時にログイン可能となる不具合を修正しました。
- (10) Elasticsearch を利用した以下の検索機能にて、タイトルが未入力のチケットがヒットした場合にアプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。
 - ・全文検索機能
 - ・類似プロセス(プロセス管理)
- (11) 制御情報「ユーザーID 表示設定」を「表示しない」に設定した際に、ユーザー複数選択画面にて選択リストにユーザーID が表示されてしまう不具合を修正しました。
- (12) 入力チェックエラー画面のレイアウト不正を修正しました。
- (13) レコード登録の二重送信によって ID が二重で採番されてしまう問題を抑止する処理を追加しました。
- (14) 全文検索用のデータ連携で数値テキストなどのフィールドにマイナス値が入っていた場合に連携が停止する不具合を修正しました。
- (15) 全文検索において、経過項目に検索語が含まれるレコードが検索結果一覧に表示されないことがある不具合を修正しました。
- (16) 登録最大件数を超えた際に表示されるエラーメッセージに、登録最大件数が表示されない不具合を修正しました。
- (17) 簡易プロセス検索画面で「アクション」に[起票(ログインユーザー)]を指定した時に、検索結果は「アクション」で絞り込みがされるが、帳票出力では絞り込みがされない不具合を修正しました。
- (18) イベントデータ振分可能な職責が割り当てられたユーザーがイベント振分を行えないことがある不具合を修正しました。
- (19) チェックリストで TAB 文字を含む値を内容に入れたときに、TAB 文字の後に続く文字列で次のチェックリストの内容が更新される不具合を修正しました。
- (20) 自動適用されたプロセスタスクリストに対して、手動でプロセスタスクリストのレコードを追加し、追加したプロセスタスクリストのレコードを削除した後に、「適用」ボタンをクリックすると「ストアドプロシージャ実行エラー」が発生する不具合を修正しました。
- (21) Elasticsearch 連携機能を用いて全文検索・類似検索を行った際に、検索語が含まれるレコードが検索結果一覧に表示されない不具合を修正しました。
- (22) 申請ルート選択画面において、送信されるパラメータを改竄することにより申請ルートを強制的に変更で

き、該当プロセスにおいて承認権限のないユーザーで承認可能となる不具合を修正しました。

- (23) SLAM チャート画面にて、ドーナツチャート中央に「合計:NaN」と表示される不具合を修正しました。
- (24) メール編集画面の本文が未入力状態でメールテンプレートを適用した際に、メール編集画面の本文の先頭・末尾に改行が挿入されてしまう不具合を修正しました。
制御情報「手動メールの HTML メール編集設定」を「HTML メールを編集する」に設定した場合に発生します。

【 利用者メニュー > プロセス管理 】

管理項目名	説明	初期値	設定値
手動メールの HTML メール編集設定	メール編集で HTML メールを編集するか制御します。	テキストメールを編集する	HTML メールを編集する テキストメールを編集する

- (25) サービスデスク画面レイアウトにて、プロセス管理のテンプレート適用により一部の項目に誤った項目名が設定される不具合を修正しました。
- (26) SLAM チャート抽出条件設定画面の一括登録を実施する時、申請状況項目の「以外」の設定が登録することができない不具合を修正しました。
- (27) 以下の画面で、ユーザー情報の「氏名」に、TAB 文字が指定できる不具合を修正しました。
- ・ユーザーマスタ新規登録/編集
 - ・ユーザー情報編集
 - ・要員管理新規登録/編集
- (28) Senju/SM コマンド実行画面でコマンドを実行した際に、ファイルのサイズ取得失敗が発生しコマンドが異常終了する不具合を修正しました。
- (29) 以下の制御情報について、「説明」の記載内容を統一しました
- データ登録コマンドの利用設定
 - マスタ登録コマンドの利用設定
 - コード登録コマンドの利用設定
 - 分類マスタ登録コマンドの利用設定
 - 構成管理反映コマンドの利用設定
- (30) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録において、メモリリークを引き起こす可能性のある箇所を修正しました。
- (31) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録 114 モードで、下記の場合にイベント管理にデータ登録されない不具合を修正しました。
- 「経過追加条件」が取得できない場合
 - 「経過追加条件」の解析に失敗した場合
 - 経過追加対象外の画面 ID が指定された場合
 - 経過追加対象のプロセスが存在しない場合
- (32) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録において、サブスレッド異常停止により、データを正常に登録できない不具合を修正しました。
- (33) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)の新規登録モード(001)において、選択ユーザー項目にスペースのみを指定した場合、カーソル上限超えエラーが発生する不具合を修正しました。
- (34) ライセンスキー登録コマンド(sjSPB_EntryKey.exe)によるライセンスキー登録において、Senju/SM バージョン番号に不正な値が登録される不具合を修正しました。
- (35) コマンドモジュール全体の Senju/SM バージョン情報不正を修正しました。
- (36) Senju/EN からのイベント連携(115、116 モード)によるデータ登録において、制御情報の[イベントの振分先選択制御設定]を[固定]にしたときにプロセス 1 以外を利用した場合に出力されるエラーメッセージが、116 モードを使用しているにもかかわらず 115 モードのエラーメッセージになっている不具合を修正しました。
- (37) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)および DB コンフィグレータで、ユーザー情報の「氏名」に、TAB 文字が指定できる不具合を修正しました。

- (38) Senju/EN からのイベント連携を実施時に、113、114、115、116 モードを指定した際に、経過追加対象のプロセス管理レコードが存在し、かつ上限超過などの理由により経過追加に失敗しイベントとして登録した場合、プロセス管理レコードのエスカレーション履歴を追加しないように変更しました。
- (39) Oracle DB のバージョンが 12.1 の場合、データ移行コマンドの実行に失敗する不具合を修正しました。
- (40) データ登録コマンドの案件種別が「構成アイテム登録」かつ以下の条件に該当する場合、ログファイルに警告を出力するよう修正しました。
 - ・既存の構成アイテムと構成アイテム ID、システムが同じレコードを登録する場合
 - ・項目「関連構成アイテム」と「関連アカウント」に指定された構成アイテムが複数件レコード存在している場合
- (41) 公開ビューの性能改善を行いました。
- (42) プロセス公開ビューの添付ファイル(実データ)のカラムが 2020.0.0.0 を新規にインストールした Database サーバーには含まれていない不具合を修正しました。
- (43) 構成管理一括登録画面にて、[登録]ボタン押下時にシステムエラーとなる不具合を修正しました。
- (44) Google Chrome を利用する場合、イベント一覧画面のイベント一括経過追加が利用できない不具合を修正しました。
- (45) 組織の登録件数の上限値が 1000 件に設定されている場合に、要員管理画面編集を開くと要員に設定されている組織名が空で表示される不具合を修正しました。

1.15.3 前バージョンからの変更点

- (1) 同一セッションにおいてユーザーが既にログイン済みの状態で新たにログイン、あるいは F5 キー・BackSpace キーを押下してメニュー画面を再読み込みした場合に、既にログイン済みのユーザーを強制ログアウトすることができるようになりました。

強制ログアウトを行った場合は、ログイン画面へ遷移します。

本機能により、挙動を以下のように変更いたします。

【前提】

SSL(HTTPS)を利用しており、かつ制御情報値において、「ログイン状態維持設定」を「ログイン状態を維持する」に設定している環境で、同一セッションにおいてユーザーが既にログイン済みの状態で新たにログイン画面を開く、あるいは F5 キー・BackSpace キーを押下してメニュー画面を再読み込みする。

【挙動】

修正前)

- 1.以下のメッセージが表示されます。※[OK]ボタンのみ選択可

「既にログインしています。」

- 2.[OK]ボタンを押下した場合、Senju/SM 画面が自動で閉じられます。

修正後)

- 1.以下のメッセージが表示されます。※[OK]ボタン、[いいえ]ボタンを選択可

「入力されたユーザーID は、以下のいずれかの理由により、

既に同じユーザーID でログインしています

ログインしますか？

-ユーザーID[<ログインユーザーID>]を使用して別の端末からログインしている

-前回終了時にログアウトボタンからログアウトが行われていない」

2.[OK]ボタンを押下した場合、既にログイン済みのユーザーの強制ログアウトを行います。

その後、ログインユーザーに応じたログイン画面へ遷移します。

3.[いいえ]ボタンを押下した場合、「既にログインしています。」メッセージ表示画面へ遷移します。

(2) イベント連携モジュール(sjSPX_EventRcvd.exe)のログ強化を行いました。

1.15.4 稼働環境の変更点

追加または廃止となった稼働環境を以下に記します。

本バージョンでサポートするすべての稼働環境は「2 稼働環境」を参照してください。

(1) 以下のサーバー構成がサポート対象となりました。

- Windows Server 2016 Datacenter Edition + Oracle Database 12c Release 2 (12.2.0.1)
- Redhat Enterprise Linux 6.6(x64) + Oracle Database 12c Standard Edition Two (12.1.0.2.10)
- Redhat Enterprise Linux 7.x(x64) + Oracle Database 12c Release 2 (12.2.0.1)
- Oracle Linux 7.x(x64) + Oracle Database 12c Release 2 (12.2.0.1)

(2) 以下のサーバー構成がサポート対象外となりました。

- Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition SP2 + Oracle Database 11g Standard Edition (11.2.0.3)
- Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition SP2 + Oracle Database 11g Standard Edition (11.2.0.4)

1.16 バージョン2018.0.0の主な新機能

1.16.1 主な新機能

- (1) 画面の表示スタイル(パターン 2)を追加しました。

※上記のスタイルを使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

画面スタイル設定

- (2) 時刻項目の隣に時刻入力表示ボタンと現在時刻入力ボタンを追加しました。
対象項目は時刻を単体で入力する項目です。

＜時刻入力表示ボタン＞

時刻入力表示ボタンをクリックすると、時刻入力ダイアログが表示されます。

時刻入力ダイアログの現在時刻入力ボタンをクリックすると、現在時刻が自動入力されます。

時刻入力ダイアログにて時刻を入力し確定ボタンをクリックすることで、呼出元の時刻項目に時刻入力ダイアログで入力した時刻が反映されます。

＜現在時刻入力ボタン＞

現在時刻入力ボタンをクリックすると、該当する時刻項目に現在時刻が自動入力されます。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

時刻入力表示ボタンの表示設定

現在日時入力機能の使用設定

- (3) シングルサインオン(SAML 認証)によって Senju/SM へログインできる機能を追加しました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

SAML 認証使用有無

SAML サービス識別子

SAML サービス URL

SAML 応答情報-IdP サーバ証明書

SAML 応答情報-認証要求 ID

SAML 応答情報-ユーザーID

- (4) 制御情報「ログアウト時の動作設定」で「ブラウザを終了する」を選択している場合、Firefox と Chrome ではブラウザが閉じられなく画面遷移もされません。
制御情報の設定を追加し、ログアウト完了画面に遷移されるように改善しました。

【管理項目名】

ログアウト時の動作設定

- (5) SSL を利用して接続を行う場合、Cookie 中のセッション ID に Secure 属性を指定するように修正しました。
- (6) レスポンスが"text/html,text/xml"の場合、Content-Type ヘッダに文字コード(Shift_JIS)を指定するように修正しました。

- (7) 簡易プロセス管理・プロセス管理・ナレッジ管理のレコードを承認時に、承認フローを展開する速度について性能改善を行いました。

上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

承認フロー表示時の権限チェックレベル設定

尚「簡易権限チェック」を使用する場合、承認フロールートの承認者/通知先に指定する「職責」、「役割」を適切に設定する必要があります。

指定された「職責」、「役割」を持つ全てのユーザーが表示されるため、該当画面の操作権限(「職責」(データの参照権限など))や、画面の表示権限(「画面ポリシー」)が設定されていないユーザーも承認フロー上の表示対象となります。

①【承認フロールート】にて承認者/通知先を「職責」で指定した場合

＜仕様＞

承認元チケットの「システム」において、指定した「職責」に所属しているすべてのユーザーが表示されます。

＜影響＞

指定した「職責」に以下のユーザーが含まれる場合においても、承認者/通知先に該当のユーザーが表示されます。

- ・該当画面の利用権限がない画面ポリシーが割り当てられているユーザー

指定した「職責」が以下の設定になっている場合においても、承認者/通知先に該当の職責を持つユーザーが表示されます。

- ・該当画面の参照権限がない職責

＜対策＞

[承認フロールート]

承認フロールートで指定する「職責」には、該当画面の参照権限を持たせること。

[ユーザー]

承認フロールートで指定する「職責」を持つユーザーには、該当画面の利用権限を持つ「画面ポリシー」を付与すること。

②【承認フロールート】にて承認者/通知先を「役割」で指定した場合

＜仕様＞

承認元チケットの「システム」において、指定した「役割」に所属しているすべてのユーザーが表示されます。

＜影響＞

指定した「役割」に以下のユーザーが含まれる場合においても、承認者/通知先に該当のユーザーが表示されます。

- ・該当画面の利用権限がない画面ポリシーが割り当てられているユーザー
- ・該当画面の参照権限がない職責が割り当てられているユーザー

＜対策＞

[ユーザー]

指定した「役割」を持ち、かつ以下に当てはまるユーザーの場合、ユーザーから該当の「役割」を外すこと。

- ・該当画面の利用権限がない画面ポリシー
- ・該当画面の参照権限がない職責

- (8) 直接エスカレーションが出来る機能、「簡易エスカレーション」項目を追加しました。
上記の機能を使用する場合は、
[管理者メニュー>画面>レイアウト定義>サービスデスク画面レイアウト>詳細レイアウト(項目)]に、「簡易エスカレーション」項目を選択する事により、簡易エスカレーション機能が使用できます。
- (9) 関連プロセス項目の「ステータス」の代わりに「申請状況」、「フロータイトル」を表示する機能を追加しました。
デフォルトの設定では、「ステータス」が表示される設定となっています。
- 上記のスタイルを使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。
【管理項目名】
関連プロセス一覧表示設定
- (10) プロセスのタイトル登録上限設定範囲を 0～80 バイトから 0～200 バイトまで拡張しました。
※入力文字制御編集画面でタイトルの編集>更新をしたことがない場合、タイトルの入力可能バイト数が「0～200」になり、編集>更新をしたことが有る場合、設定範囲のみが 0～200 に拡張され、設定値は変更されません。
- (11) プロセス管理の承認フロールートが完了する際に、処理の完了前に承認フロー承認ダイアログを閉じてしまうと自動クローズ処理が行われない仕様に対し、承認処理が完了するまで画面を閉じないように促すメッセージを追加し、「しばらくお待ちください」画面を表示するように改善しました。
- (12) ログインフレーム下に全文検索フィールドを追加し、Elasticsearch を利用したプロセスデータへの全検索が行えるようになりました。
- ※[全文検索]ライセンスを保持している場合につき利用可能となります。
- 上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。
【管理項目名】
Elasticsearch の接続形態
Elasticsearch サーバー名
Elasticsearch ポート番号
- (13) 詳細画面に類似プロセス項目(参照項目)を追加し、Elasticsearch を利用したプロセスデータへの類似検索が行えるようになりました。
上記の機能を使用する場合は、
[管理者メニュー>画面>レイアウト定義>サービスデスク画面レイアウト>詳細レイアウト(項目)]に、「類似プロセス」項目を選択する事により、類似プロセス機能が使用できます。
※[類似検索]ライセンスを保持している場合につき利用可能となります。
- 上記機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。
【管理項目名】
Elasticsearch の接続形態
Elasticsearch サーバー名
Elasticsearch ポート番号
- (14) 簡易画面定義画面の入力制御より、「ステータス」項目の参照設定を行う事が出来ます。
- (15) 構成管理の構成アイテム ID に「.(ピリオド)」、「@(アットマーク)」が入力できるようになりました。
- (16) SLAM チャートに円グラフと棒グラフを表示可能としました。
- (17) データ登録コマンドと Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録で、プロセスのタイトル登録上限を 80 バイトから 200 バイトまで拡張しました。

- (18) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録で、115 と 116 を追加しました。
- (19) データ出力コマンドで、プロセス管理の添付ファイル出力機能を追加しました。
- (20) SSMWEB ホスト登録コマンドの削除モードで、直接 WEB ホスト識別子を指定することにより、WEB サーバー設定からその識別子で登録されている関連情報を削除できるようになりました。
- (21) 申請状況通知コマンドで送信時、メールテンプレートに設定される以下文字列を置き換えるようになりました。
- ・「%PRC:PORTAL_ACCESS_URL%」
 - ・「%LBL:APPLY%」
 - ・「%LBL:REQUEST%」
 - ・「%LBL:REPLY%」
 - ・「%LBL:FIN%」
 - ・「%LBL:REQUEST_APPLY%」
- (22) 自動メール通知コマンドで送信時、メールテンプレートに設定される以下文字列を置き換えるようになりました。
- ・「%PRC:PORTAL_ACCESS_URL%」
- (23) データ移行コマンドで「管理者メニュー」>「制御情報」>「WEB サーバー設定」を移行対象からはずしました。
- (24) Senju/SM で Oracle のシステムパスワード、ユーザーパスワードを設定するとき、Oracle がサポートする特殊文字を使えるようになりました。
- !#\$%'-=^@_[]+;:~.,/?_
- ※コマンドプロンプトで、Senju/SM 製品での Oracle ユーザーパスワード、システムパスワードを指定するとき、必ず前後にダブルコーテーションを追加してください。
- 下記特殊文字はサポートしないので、指定したらデータベース接続エラーやコマンド構文エラーになる可能性があるため、
Oracle ユーザーパスワード、システムパスワードに使用しないでください：
¥<>|&^;
- (25) データ登録コマンド、および Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録の際に、構成管理の構成アイテム ID に「.(ピリオド)」、「@(アットマーク)」が入力できるようになりました。
- (26) 以下の公開ビューにて、添付ファイルの実ファイルを BLOB 形式で出力するように修正しました。
添付ファイルの物理名は全て「COL_15010001」となります。
- ・「公開プロセス添付ファイルビュー(PVIEW_01_0601)」
 - ・「公開プロセス添付ファイルビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_0601_0001～PVIEW_01_0601_0103)」
 - ・「公開プロセス経過添付ファイルビュー(PVIEW_01_0602)」
 - ・「公開プロセス経過添付ファイルビュー(プロセス 1～103)(PVIEW_01_0602_0001～PVIEW_01_0602_0103)」
 - ・「公開構成管理添付ファイルビュー(PVIEW_04_0201)」
 - ・「公開構成管理添付ファイル(現在)ビュー(構成アイテム 1～50)(PVIEW_04_0201_0001_01～PVIEW_04_0201_0050_01)」
 - ・「公開構成管理添付ファイル(最新)ビュー(構成アイテム 1～50)(PVIEW_04_0201_0001_02～PVIEW_04_0201_0050_02)」
 - ・「公開構成管理添付ファイル(履歴)ビュー(構成アイテム 1～50)(PVIEW_04_0201_0001_03～PVIEW_04_0201_0050_03)」

1.16.2 不具合対応

- (1) 構成管理、構成アイテム管理にて 1 行 2 列表示した際に、一覧画面の帳票出力に区切り文字が出力されない不具合を修正しました。
- (2) プロセス検索画面にて、画面ポリシーでログインユーザーが表示できない画面に登録されているレコードのタイトルが表示されてしまう不具合を修正しました。
- (3) プロセス管理の一括処理選択画面で一括承認を選択した際に、プロセスの承認フロールートが以下の状態のデータが、無条件でルートを進行できないが選択可能データとして表示される不具合を修正しました。

＜プロセスの承認フロールートの状態＞

- ・現在ルートの承認者は承認者選択にて選ばれている
- ・現在ルートの承認者を選ぶ際、候補となるユーザーから一部のユーザーのみ承認者としている
- ・現在ルートの承認条件が全員承認 かつ 未承認の承認者はあと一人
- ・現在ルートにおいて次ルートの承認者選択が必要である

- (4) プロセス詳細のレイアウト定義がビュー1 のレイアウトと異なるビューを使用している場合、メール送信有で簡易エスカレーションした際にアプリケーション実行エラーが発生する不具合を修正しました。
- (5) プロセス管理チケットの詳細画面よりナレッジ申請ボタンにて登録されたナレッジが未承認の場合、元のプロセス管理チケットを編集・更新すると関連登録が解除される不具合を修正しました。
- (6) 構成管理画面に 1 項目のみ配置したブロックが存在する場合、次ブロック 1 番上の項目が一覧帳票出力で出力されない不具合を修正しました。
同伴修正: 構成アイテム管理
- (7) 構成管理一覧画面の検索条件において、システム連動項目がシステムより先に配置された場合、構成管理の帳票出力を行うと、該当項目で複数選択されている値がクリアされて検索される不具合を修正しました。

構成管理一覧画面の検索条件において、システム連動項目がシステムより先に配置された場合、構成管理一覧画面の検索結果のページを切り替えた際に、該当項目で複数選択されている値がクリアされて検索される不具合を修正しました。

- (8) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録 115、116 モードで、経過情報を一切指定しない場合、イベント管理へのデータ登録でエラーになる不具合を修正しました。
- (9) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録 114 モードで、下記の場合にイベント管理へ情報登録するように修正しました。
 - ・「経過追加条件」指定されてない場合
 - ・「経過追加条件」フォーマット不正の場合
 - ・経過追加対象外の画面 ID を指定された場合
 - ・指定した経過追加対象レコードを見つからなかった場合
 - ・指定した経過追加対象のレコードが複数存在する場合
- (10) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録 113 モードで、下記の場合にイベント管理へ情報登録するように修正しました。
 - ・「経過追加条件」指定されてない場合
 - ・「経過追加条件」フォーマット不正の場合
 - ・指定した経過追加対象レコードを見つからなかった場合
 - ・指定した経過追加対象のレコードが複数存在する場合

- (11) Senju Enterprise Navigator 経由のデータ登録 114 モードで、下記の場合にログメッセージのレベルを WARNING に変更しました。
- ・「経過追加条件」指定されていない場合
メッセージ:「経過追加対象外のメールを受け付けました。経過追加は実行されません。」
 - ・「経過追加条件」フォーマット不正の場合
メッセージ:「経過追加対象外のメールを受け付けました。経過追加は実行されません。」
 - ・経過追加対象外の画面 ID を指定された場合
メッセージ:「経過追加対象外の画面 ID が指定されたため、経過追加は実行されません。」
 - ・指定した経過追加対象記録を見つからなかった場合
メッセージ:「以下条件にて経過追加対象プロセスを検索しましたが、存在しませんでした。経過追加は実行されません。」
- (12) データ登録コマンドもしくは Senju Enterprise Navigator 経由でプロセスデータを更新する際に、起票日、起票時刻、起票者が更新可能となっている不具合を修正しました。
- (13) Senju Enterprise Navigator 経由での経過自動追加機能において、113、114、115、116 モードでクローズされたプロセス記録への経過追加時に現在対応者が更新される不具合を修正しました。
- (14) Senju Enterprise Navigator 経由での経過自動追加機能において、115、116 モードでプロセス記録に経過追加する場合、存在しないシステム名を指定すると経過追加とは別に記録が新規登録される不具合を修正しました。
- (15) Senju Enterprise Navigator 経由での経過自動追加機能において、115、116 モードで経過フィールドを一つも指定しないで経過追加する場合、追加された経過をイベント戻しできない不具合を修正しました。
- (16) データ出力コマンドの添付ファイル出力モードで、ラベルにある半角カンマが全角カンマに変換される不具合を修正しました。
- (17) メニュー一覧に追加したサブメニューが存在する場合、データ出力コマンドを添付ファイル出力モード (-f) で実行すると、指定した画面 ID 以外に追加したサブメニューが出力されてしまう不具合を修正しました。
- (18) データ出力コマンドを添付ファイル出力モード (-f) で実行した際、画面名、添付ファイル項目名、経過ブロック名にある一部の全角文字が正しく出力されない不具合を修正しました。
- (19) 承認フロー編集画面にて、編集集中に該当承認フローが削除された場合、更新ボタン押下時にアプリケーション実行エラーが発生する不具合を修正しました。
- (20) 初めてお読みください画面の「ID=0016」の画像を修正しました。

1.16.3 稼働環境の変更点

- (1) 以下のサーバー構成がサポート対象となりました。
- ・Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition + Oracle Database 12c Release 2 (12.2.0.1)
 - ・Redhat Enterprise Linux 6.6 + Oracle Database 12c Standard Edition Two (12.1.0.2.0)

1.17 バージョン2016.0.0の主な新機能

1.17.1 主な新機能

- (1) 以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

・関連構成

【対象画面】

・構成管理

└ID 管理

└要員管理(要員管理編集・詳細)

・管理者メニュー

└ユーザー

└ユーザー(ユーザーマスタ編集)

・ホーム

└ユーザー設定

└ユーザー情報編集

※プロセス詳細等に表示されるユーザーを選択した際に表示されるユーザーダイアログにも同様に表示を追加しました。

- (2) 以下の画面の項目を変更・新規追加しました。

【変更項目名】

・問合せ元 ID → 問合せ元 1ID

・問合せ元 ID 補助 → 問合せ元 1ID 補助

・問合せ元テキスト 1～18 → 問合せ元 1 テキスト 1～18

・問合せ元テキストエリア 1 → 問合せ元 1 テキストエリア 1

・問合せ元日付 1 → 問合せ元 1 日付 1

・(ブロック)問合せ元情報 → (ブロック)問合せ元情報 1

【追加項目名】

・問合せ元 2ID

・問合せ元 2ID 補助

・問合せ元 2 テキスト 1～18

・問合せ元 2 テキストエリア 1

・問合せ元 2 日付 1

・(ブロック)問合せ元情報 2

【対象画面】

・プロセス管理

└プロセス管理(プロセス編集・詳細・一覧・検索条件・一覧帳票・詳細帳票・表示順)

・問合せ・申請

└簡易プロセス(簡易プロセス編集・詳細)

・イベント管理

└イベント(イベント詳細)

・関連選択一覧・検索条件

・関連検索一覧・検索条件

・管理者メニュー

└機能別

└Senju/SM 間連携(Senju/SM 間連携項目設定)

└SLAM チャート(SLAM チャート抽出条件設定編集・詳細)

└チェックリスト(チェックリスト条件設定編集・詳細)

・サービスレベル

└SLAM チャート(SLAM チャート詳細・詳細帳票)

- (3) Senju Service Manager を英語で表示する機能を追加しました。
上記の機能を使用するためには以下の管理項目の設定を行う必要があります。

【管理項目名】

多言語機能の使用設定

※上記の設定は、英語表示を行う場合のみ設定が必要です。ただし、英語表示の設定を行っている場合でも、エラー発生時等に出力されるログは日本語で表示されます。既存の表示(日本語のみ表示)から変更をしない場合は、上記の設定は不要です。

コマンド及び SSM DB/SSN WEB サーバーコンフィグレータの言語表示は日本語表示固定です。

- (4) 以下の画面に「表示順変更」ボタンを追加しました。
ボタンを押下することでユーザー/要員の表示順を変更可能です。

【対象画面】

ユーザーマスタ管理

要員管理

※ただし、表示順変更ダイアログの使用可能最大件数(1000 件)を超過したユーザー/要員が登録されている場合、「表示順変更」ボタンは非活性となり、使用できません。

- (5) コンボボックス 1～20、種別設定元コンボボックス 1～10、ブロック制御コンボボックス 1～3 に対して以下の点を変更しました。
- ・コンボボックスで、選択元リストの件数が 501 件以上の場合、コンボボックスのレイアウトを変更する。
 - ・コンボボックスで、選択元リストの件数が 501 件以上の場合、該当項目のリスト選択ダイアログのレイアウトを変更する。

対象画面及び対象項目は以下の通りです。

【対象画面】

・プロセス管理

└プロセス管理(プロセス新規登録・編集)

・問合せ・申請

└簡易プロセス(簡易プロセス新規登録・編集)

・分析レポート条件設定新規登録/編集

・SLAM チャート抽出条件設定新規登録/編集

・チェックリスト条件設定新規登録/編集

・チェックリスト診断パターン新規登録/編集

【対象項目】

・コンボボックス 1～20

・種別設定元コンボボックス 1～10

・ブロック制御

・コンボボックス 1～3

【対象画面】

・プロセス管理

└プロセス(プロセス一覧検索条件)

・関連検索-プロセス一覧検索条件

【対象項目】

・コンボボックス 1～20

【対象画面】

・種別条件設定新規登録/編集

【対象項目】

・コンボボックス 1～10

- (6) ログイン画面に URL リンクを埋め込め可能に変更しました。

- (7) 以下の画面に「指定期間」項目を追加しました。
 期間指定項目と指定日を入力すると自動的に期間を算出し、算出結果が本項目に表示されます。
【対象画面】
 ・プロセス分析
 ・分析レポート
- (8) 簡易プロセスフォーム設定画面(フォームにシステムと種別を紐付ける画面)で、公開グループを設定できる機能を追加しました。
- グループマスター一覧画面で、グループ単位にフォーム選択ボタンを追加し、グループに対してフォームを割当てられる機能を追加しました。
- (9) システムマスタ新規登録/編集画面に「遅延監視時刻」を参照項目として表示する機能を追加しました。
- (10) SSA 機能でプロセス管理詳細画面からフレーム・ネット・ジョブの「一時停止解除指示」「一時停止解除実施」「キャンセル」を行った場合にポップアップする確認ダイアログを追加しました。
 [管理者メニュー]>[制御情報]の管理項目[SSA 確認画面の初期選択ボタン設定]にて、確認ダイアログ表示時にデフォルトでどちらのボタンにフォーカスをあてるかを設定可能です。
- (11) 業務グループ起動時刻変更、起動時刻変更と遅延監視時刻変更を同時に申請する機能を追加しました。
- (12) SLAM チャート条件設定拡張により、以下の内容を追加しました。
 ・管理者メニュー配下の SLAM チャート抽出条件設定画面に、画面名に「外部連携」の選択肢を追加。
 ・管理者メニュー配下の SLAM チャート設定画面に、外部連携の抽出条件を各セルに登録できる機能を追加
 ・SLAM チャート 1～20 の一覧画面、ジョブ単位の件数集計機能を追加。
 ・行、列タイトルのリンク先は該当行/列の抽出条件で決める機能を追加
 ・SLAM チャート SSA 詳細ダイアログを追加。
- (13) 業務グループ起動時刻変更機能を追加しました。
 合わせて、以下の内容を追加しました。
 ・業務グループマスタの登録機能を追加。
 ・プロセス管理、簡易プロセス画面に業務グループマスタに登録されたジョブに対して起動時刻変更を実施する機能を追加。
 ・業務グループ起動時刻変更機能に対する職責と画面ポリシーを追加。
 ・ログインフレームから業務グループ起動時刻変更申請状況を確認できる機能を追加。
 ・フレーム・ネット・ジョブ申請一覧に業務グループ起動時刻変更内容を検索条件、一覧表示内容として追加。
 ・業務グループ起動時刻変更の申請内容をデータ出力コマンドの出力対象として追加。
- (14) Senju/SM ⇒ ESP 間のシングルサインオン機能を追加しました。
- (15) マニュアルを WEB 画面から参照できる機能を追加しました。
- (16) 以下の画面の下部にページ遷移ボタン及び帳票出力ボタンを表示するよう、修正を行いました。
【対象画面】
 ・プロセス管理
 ↳ プロセス(プロセス検索結果一覧)
 ・問合せ・申請
 ↳ 簡易プロセス(簡易プロセス検索結果一覧)
 ・イベント管理
 ↳ イベント(イベント一覧)
 ・構成管理
 ↳ 構成アイテム(構成アイテム検索結果一覧)

- ・関連プロセス選択(検索結果一覧)
- ・関連 CI 選択(検索結果一覧)

(17)以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・(経過)日時テキスト日付 1
- ・(経過)日時テキスト時刻 1
- ・(経過)マルチ 2 連分類 1-1
- ・(経過)マルチ 2 連分類 1-2A~1-2D
- ・(経過)マルチ 2 連分類 2-1
- ・(経過)マルチ 2 連分類 2-2A~2-2D

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳プロセス (プロセス編集・詳細・一覧帳票・詳細帳票)
- ・問合せ・申請
 - ↳簡易プロセス (簡易プロセス編集・詳細)
- ・イベント管理
 - ↳イベント (イベント詳細)
- ・経過一覧

(18)以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・(経過)タイトル
- ・(経過)対応日
- ・(経過)対応時刻
- ・(経過)対応者
- ・(経過)内容
- ・(経過)対応先
- ・(経過)チャンネル
- ・(経過)チャンネル (イン／アウトバウンド)
- ・(経過)テキスト 1~4
- ・(経過)テキストエリア 1~4
- ・(経過)数値テキスト 1~2
- ・(経過)日付テキスト 1~2
- ・(経過)時刻テキスト 1~2
- ・(経過)コンボボックス 1~4
- ・(経過)日時テキスト 1
- ・(経過)マルチ 2 連分類 1-1
- ・(経過)マルチ 2 連分類 1-2A~1-2D
- ・(経過)マルチ 2 連分類 2-1
- ・(経過)マルチ 2 連分類 2-2A~2-2D

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳プロセス (プロセス一覧)
- ・関連選択一覧
- ・関連検索一覧

※経過テキスト項目は[管理者メニュー>制御情報>制御情報]によって一覧出力時に表示される文字数が変わります。設定された値よりもテキストの文字数が多い場合は、省略文字「...」が表示されます。省略文字「...」をクリックするとテキスト参照ダイアログが表示されます。

(19)以下の画面に、項目入力時に対象項目の説明文が表示される機能を追加しました。

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳プロセス (プロセス編集)

- ・問合せ・申請
 - └簡易プロセス（簡易プロセス編集）

(20)以下の画面の申請対象機器項目に申請対象機器の適用状態を表すアイコンが表示される機能を追加しました。

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - └プロセス（プロセス編集・詳細）

(21)添付ファイル名を検索する機能を追加しました。

上記機能追加により、以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・添付ファイル名

【対象画面】

- ・構成管理
 - └構成管理（構成アイテム検索条件）
- ・関連選択検索条件
- ・関連検索検索条件

以下の項目が検索対象となります。

【対象項目名】

- ・添付ファイル 1～2

※本機能は以下の設定が適用されます。

【設定名】

- ・検索時の英数字区別

【設定画面】

- ・ホーム
 - └ユーザー設定（デフォルト設定）

(22)以下の画面に使用済口数 1～2 項目を追加しました。検索条件として使用済口数を指定した検索が可能です。

【対象画面】

- ・構成管理
 - └構成管理（構成アイテム検索条件）
- ・関連選択検索条件
- ・関連検索検索条件

(23)連携ステータスが以下の状態に遷移した際に、データを自動的にクローズする機能を追加しました。

【連携ステータス】

- 案件完了
- キャンセル(案件完了)

(24)プロセス画面の「承認フロー追加通知先」項目が非表示かつ値が未入力の際は承認フローダイアログの「メール送信」項目を非表示となるよう修正を行いました。

(25)各プロセスでの対応状況を一覧で参照できる、プロセス検索画面を新規で作成しました。

本画面はログイン情報エリアに表示されるアイコンから遷移します。

アイコンの表示非表示は以下の管理項目で設定を行います。

【管理項目名】

- プロセス検索ボタン表示制御設定

(26)プロセス管理の職責に"申請の強制却下"権限を追加し、「強制却下」ボタン押下で承認フロー却下画面から申請の強制却下が行えるように変更しました。

- (27) 関連プロセス選択画面の検索条件項目にプロセス一覧画面で保存した検索条件を読み込める機能を追加しました。
※ただし、プロセス画面は検索条件項目の初期値をデフォルト設定画面で指定を行えますが、当画面においては検索条件項目の初期値はデフォルト検索条件から指定を変更することはできません。
- (28) 障害メッセージブロックを追加しました。
- (29) プロセス一覧画面に一定間隔で自動リロードする機能を追加しました。
合わせて以下の内容を追加しました。
・ フレーム・ネット・ジョブ申請一覧に自動リロードを「する／しない」の切り替え機能を追加。
・ 自動リロード機能の初期設定をデフォルト設定に追加。
- (30) 一括承認機能をプロセス管理一覧画面に追加しました。
- (31) 画面毎にエスカレーション選択画面のコメントの任意/必須を指定可能な以下の管理項目を追加しました。
【管理項目名】
エスカレーション選択画面コメント必須制御設定
- (32) 承認申請時に全システム共通と選択システム配下のルートがいずれも存在する場合、承認ルートとして選択できる範囲を指定可能な以下の管理項目を追加しました。
【管理項目名】
承認申請時の承認ルートの選択範囲設定
- (33) プロセス単位で複数のタスクを登録可能なプロセスタスクリストブロックを追加しました。
プロセスタスクリストの経過レコードに登録可能な最大件数を設定可能な以下の管理項目を追加しました。
【管理項目名】
新規登録選択可能システム件数(件)
- (34) プロセス単位で複数のタスクを登録可能な、プロセスタスクリストブロックを追加しました。
プロセスタスクリストの経過レコードに登録可能な最大件数を設定可能な以下の管理項目を追加しました。
【管理項目名】
プロセスタスクリストの経過レコード登録可能最大件数(件)
- (35) 承認申請時に申請者のみは申請の取り消しを行える機能を追加しました。
上記に伴い以下の管理項目を追加しました。
【管理項目名】
申請取消設定
- (36) 再適用の職責を持っている場合、プロセス詳細画面で画面对象項目ごとにチェックリストの「再適用」ボタンを表示し、チェックリストが適用されるようになりました。
- (37) 以下の項目のコピー登録が可能となりました。
【対象項目】
・ フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除
・ フレーム・ネット・ジョブ一時停止
・ ネット・ジョブ起動時刻変更
・ 業務グループ起動時刻変更
- (38) 以下の項目を制御対象ブロック 1～3 の配下に配置できるようになりました。
・ (社外申請者)会社名
・ (社外申請者)組織名

- ・(社外申請者)氏名
- ・(社外申請者)氏名カナ
- ・(社外申請者)電話番号
- ・(社外申請者)メールアドレス
- ・(社内申請者)社員番号
- ・(社内申請者)氏名
- ・(社内申請者)氏名カナ
- ・(社内申請者)会社名
- ・(社内申請者)組織名
- ・(社内申請者)役職
- ・(社内申請者)内線番号
- ・(社内申請者)電話番号 1
- ・(社内申請者)電話番号 2
- ・(社内申請者)FAX
- ・(社内申請者)携帯電話番号
- ・(社内申請者)メールアドレス 1
- ・(社内申請者)メールアドレス 2
- ・種別設定元コンボボックス 1
- ・種別設定元コンボボックス 2
- ・種別設定元コンボボックス 3
- ・種別設定元コンボボックス 4
- ・種別設定元コンボボックス 5
- ・種別設定元コンボボックス 6
- ・種別設定元コンボボックス 7
- ・種別設定元コンボボックス 8
- ・種別設定元コンボボックス 9
- ・種別設定元コンボボックス 10
- ・クローズ期限日
- ・クローズ期限時刻
- ・メール通知基準日
- ・メール通知基準時刻
- ・選択ユーザー 1
- ・選択ユーザー 2
- ・関連構成アイテム 2
- ・関連構成アイテム 3
- ・関連構成 1
- ・関連構成 2
- ・関連構成 3
- ・関連構成 4
- ・問合せ元テキスト 1
- ・問合せ元テキスト 2
- ・問合せ元テキスト 3
- ・問合せ元テキスト 4
- ・問合せ元テキスト 5
- ・問合せ元テキスト 6
- ・問合せ元テキスト 7
- ・問合せ元テキスト 8
- ・問合せ元テキスト 9
- ・問合せ元テキスト 10
- ・問合せ元テキスト 11
- ・問合せ元テキスト 12
- ・問合せ元テキスト 13
- ・問合せ元テキスト 14
- ・問合せ元テキスト 15
- ・問合せ元テキスト 16

- ・問合せ元テキスト 17
- ・問合せ元テキスト 18
- ・問合せ元テキストエリア 1
- ・問合せ元日付 1

(39)以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・(障害メッセージ制御)対象ノード
- ・(障害メッセージ制御)接続先名
- ・(障害メッセージ制御)ESP システム名
- ・(障害メッセージ制御)メッセージ ID
- ・(障害メッセージ制御)発信元プロセス
- ・(障害メッセージ制御)メッセージ

【追加ブロック】

- ・障害メッセージ制御ブロック((ブロック)エクステンション情報 6)

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳プロセス (プロセス編集・詳細・一覧・検索条件)
- ・問合せ・申請
 - ↳簡易プロセス (簡易プロセス編集・詳細・一覧・検索条件)
- ・イベント管理
 - ↳イベント (イベント詳細)

【追加項目名】

- ・(障害メッセージ制御)連携結果
- ・(障害メッセージ制御)有効期間(FROM)
- ・(障害メッセージ制御)有効時間(FROM)
- ・(障害メッセージ制御)有効期間(TO)
- ・(障害メッセージ制御)有効時間(TO)

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳プロセス (プロセス編集・詳細)
- ・問合せ・申請
 - ↳簡易プロセス (簡易プロセス編集・詳細)
- ・イベント管理
 - ↳イベント (イベント詳細)

(40)以下の画面に新規項目及びブロックを追加しました。

【追加項目名】

- ・業務グループ起動時刻変更

【追加ブロック】

- ・業務グループ起動時刻変更ブロック

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳プロセス (プロセス編集・詳細・詳細帳票)
- ・問合せ・申請
 - ↳簡易プロセス (簡易プロセス編集・詳細)
- ・イベント管理
 - ↳イベント (イベント詳細)

(41)以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・(ESPセルフメンテナンス申請)連携結果

【追加ブロック】

- ・ESPセルフメンテナンス申請ブロック((ブロック)エクステンション情報 7)

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳ プロセス (プロセス編集・詳細・一覧・検索条件)
- ・問合せ・申請
 - ↳ 簡易プロセス (簡易プロセス編集・詳細・一覧・検索条件)
- ・イベント管理
 - ↳ イベント (イベント詳細)

【追加項目名】

- ・(ESPセルフメンテナンス申請)申請情報

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳ プロセス (プロセス編集・詳細)
- ・問合せ・申請
 - ↳ 簡易プロセス (簡易プロセス編集・詳細)
- ・イベント管理
 - ↳ イベント (イベント詳細)

(42)以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・連携ステータス手動更新日時
- ・連携ステータス手動更新者

【対象画面】

- ・フレーム・ネット・ジョブスキップ/解除新規登録ダイアログ
- ・フレーム・ネット・ジョブ一時停止ダイアログ

(43)業務グループ起動時刻変更機能の追加により、以下のダイアログを追加しました。

【追加ダイアログ画面】

- ・業務グループ起動時刻変更新規登録ダイアログ
- ・業務グループ選択ダイアログ
- ・業務グループ起動時刻変更編集ダイアログ
- ・業務グループ起動時刻変更詳細ダイアログ
- ・ジョブ申請内容一覧ダイアログ
- ・業務グループ起動時刻変更ジョブ詳細ダイアログ

(44)公開グループが指定されている問合せについて、問合せ時と回答時に公開グループのグループ主担当に対して問合せ通知メール(または回答通知メール)を送信する機能を追加しました。上記に伴い以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

問合せ／回答メール送信時のグループ主担当への自動メール送信設定
グループ主担当登録可能最大件数(件)

(45)簡易プロセス一覧に、帳票出力機能を追加しました。

※簡易プロセスの一覧検索条件にて、フォームを選択している場合のみ帳票出力が可能です。

(46)以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・レコードID

【対象画面】

- ・問合せ・申請
 - ↳ 簡易プロセス (簡易プロセス検索条件)

以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・レコード ID
- ・フロータイトル
- 【対象画面】
- ・問合せ・申請
 - ↳簡易プロセス（簡易プロセス検索結果一覧）

(47)簡易プロセス画面に項目説明のリンクを表示するかどうか判断を行う以下の管理項目を追加しました。

- 【管理項目名】
- 簡易プロセスの項目説明のリンク表示設定

(48)以下の画面に新規項目を追加しました。

- 【追加項目名】
- ・数値テキスト 1～3
- 【対象画面】
- ・プロセス管理
 - ↳検索条件

以下の画面に新規項目を追加しました。

- 【追加項目名】
- ・ラジオボタン 1～2
- ・チェックボックス 1～3
- 【対象画面】
- ・プロセス管理
 - ↳検索結果一覧

以下の画面に新規項目を追加しました。

- 【追加項目名】
- ・ラジオボタン 1～2
- 【対象画面】
- ・プロセス管理
 - ↳表示順

(49)以下の画面に新規項目を追加しました。

- 【追加項目名】
- ・関連要員
- 【対象画面】
- ・構成管理
 - ↳構成管理（構成アイテム編集・詳細・一覧帳票）

(50)以下の画面に新規項目を追加しました。

- 【追加項目名】
- ・要員割当状況
- 【対象画面】
- ・構成管理
 - ↳構成管理（構成アイテム編集・詳細・一覧・検索条件・一覧帳票）
- ・関連選択一覧・検索条件
- ・関連検索一覧・検索条件

(51)以下の画面の項目を変更・新規追加しました。

- 【変更項目名】
- ・接続先機器 → 接続先機器 1
- ・接続機器 → 接続機器 1
- ・使用可能アンペア → 使用可能アンペア 1
- ・使用アンペア → 使用アンペア 1

- ・使用済アンペア → 使用済アンペア 1
- ・使用可能口数 → 使用可能口数 1
- ・使用口数 → 使用口数 1
- ・使用済口数 → 使用済口数 1

【追加項目名】

- ・接続先機器 2
- ・接続機器 2
- ・使用可能アンペア 2
- ・使用アンペア 2
- ・使用済アンペア 2
- ・使用可能口数 2
- ・使用口数 2
- ・使用済口数 2

【対象画面】

- ・構成管理
 - ↳ 構成管理（構成アイテム編集・詳細・一覧・検索条件・一覧帳票）
- ・関連選択一覧・検索条件
- ・関連検索一覧・検索条件

※接続先機器 1～2、接続機器 1～2 は、一覧及び検索条件に表示されません。

※使用済アンペア 1～2 は、検索条件に表示されません。

(52)以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・関連構成 2A～2E

【対象画面】

- ・構成管理
 - ↳ 構成管理（構成アイテム編集・詳細・一覧帳票）

(53)構成アイテムの表示対象が最新の構成の場合、関連項目の状況を表すアイコンが表示される機能を追加しました。

以下の画面に新規項目を追加しました。

【対象項目名】

- ・接続先機器 1～2
- ・接続機器 1～2
- ・関連機器
- ・関連構成
- ・関連構成 2A～2E

【対象画面】

- ・構成管理
 - ↳ 構成管理（構成アイテム詳細・一覧・一覧帳票）

※一覧帳票時のみアイコンではなく状況の名称が表示されます。

Ex. 「適用前アイコン」⇒「適用前」

(54)以下の画面に新規項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・起票時刻
- ・最終更新時刻
- ・ラジオボタン 1～2
- ・コンボボックス 1～10
- ・2 連分類 1～5
- ・3 連分類 1～5
- ・コンボテキスト 1～5
- ・ディスク容量

- ・メモリ容量
- ・単位付数値 1～4
- 【対象画面】
- ・構成管理
 - └検索条件

以下の画面に新規項目を追加しました。

- 【追加項目名】
- ・コンボテキスト 1～5
- ・ディスク容量
- ・メモリ容量
- ・単位付数値 1～4
- 【対象画面】
- ・構成管理
 - └検索結果一覧

以下の画面に新規項目を追加しました。

- 【追加項目名】
- ・コンボテキスト 1～5
- ・ディスク容量
- ・メモリ容量
- ・単位付数値 1～4
- 【対象画面】
- ・構成管理
 - └表示順

(55)以下の画面に表示順項目を追加しました。

- 【対象画面】
- ・構成管理
 - └ID 管理
 - └要員管理（要員管理編集・詳細）

(56)ESP のセルフメンテナンス申請の機能を追加しました。

(57)ESP システムマスタメンテナンス機能を追加しました。

(58)Senju Family 連携配下に業務グループ定義を追加しました。

(59)関連項目において、項目ごとに選択できる構成管理（CI）の画面を制御できる機能を追加しました。

また、関連構成 2A～2E においては、選択できる構成管理（CI）の関連構成項目を制御できる機能を追加しました。

機能の設定は以下の画面にて行ってください。

- 【対象画面】
- ・管理者メニュー
 - └画面
 - └画面定義
 - └関連項目設定

※本機能は SSM DB サーバーコンフィグレータの制御情報「機器階層管理設定」の代替設定です。機能拡張に伴い、「機器階層管理設定」は上記対象画面に移行しました。以降は管理者メニュー画面にて、設定を行ってください。なお、アップデート後はすべての画面ポリシーで[関連項目設定]は非表示です。任意の画面ポリシーに対して表示設定を行ってください。

(60)構成管理の各画面で申請を行うプロセス画面を設定できる機能を追加しました。

機能の設定は以下の画面にて行ってください。

【対象画面】

- ・管理者メニュー
 - └画面
 - └画面定義
 - └申請先画面設定

※本機能は SSM DB サーバーコンフィグレータの制御情報「機器階層管理設定」の代替設定です。機能拡張に伴い、「機器階層管理設定」は上記対象画面に移行しました。以降は管理者メニュー画面にて、設定を行ってください。なお、アップデート後はすべての画面ポリシーで[申請先画面設定]は非表示です。任意の画面ポリシーに対して表示設定を行ってください。

(61)画面又はシステム単位に権限を設け、ユーザーに付与することが可能となりました。

以下画面にて、権限の編集ができます。

【対象画面】

- ・管理者メニュー
 - └画面
 - └画面定義
 - └メンテナンス権限(共通)
 - └メンテナンス権限(システム別)

(62)回答時、回答先のアカウント区分によらず、常に回答メールを送るように修正を行いました。
あわせてプロセス管理の問合せ・回答機能において、経過編集の際初期表示のチャンネルの状態に関わらず、「アウトバウンド-SSM」で更新した場合、回答メールが送られるようになりました。

(63)メールテンプレートカスタマイズ対象にエンドユーザーを追加しました。

(64)自動メールテンプレートの経過項目が対応となりました。

(65)ユーザーの強制ログアウト機能を追加しました。

ユーザーマスタ画面にて強制ログアウトアイコンをクリックすると、対象ユーザを強制的にログアウトすることができます。

上記に伴いユーザーマスタ画面の検索条件に「アカウント区分」項目を追加しました。

(66)下記コマンドの実行を WEB 画面から行うことができるようになりました。

【対象コマンド】

- ・マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・コード登録コマンド
- ・分類マスタ登録コマンド
- ・構成反映コマンド
- ・操作ログ取得コマンド

(67)WEB サーバー設定を確認できる画面を追加しました。

【対象画面】

- ・管理者メニュー
 - └制御情報
 - └WEB サーバー設定

(68)簡易画面の検索条件項目、一覧表示項目、帳票出力項目を管理者メニューの簡易画面レイアウトにて設定できるように修正を行いました。

(69)クローズ時に自動的に完了にする機能を追加しました。

上記に伴い、制御情報に以下の管理項目をプロセス管理のデータ種別毎に追加しました。

【管理項目名】

クローズ時の自動完了設定

(70)コンフィグレータで設定を行っていた以下の機能をすべて画面で行えるように変更しました。

旧：

DB コンフィグレータ

- └基本設定
 - └制御情報
 - └メール情報
- └拡張設定
 - └帳票出力
 - └機器階層管理設定

WEB コンフィグレータ

- └拡張設定
 - └ラベル
 - └サービスデスク画面
 - └関連コピー
 - └コピー登録
 - └簡易画面

新：

管理者メニュー

- └制御情報
 - └制御情報
- └画面
 - └画面定義
 - └申請先画面設定(旧：機器階層管理設定)
 - └レイアウト定義
 - └サービスデスク画面レイアウト(旧：サービスデスク画面)
 - └簡易画面レイアウト(旧：簡易画面)
 - └コピー項目定義
 - └関連登録コピー定義(旧：関連コピー)
 - └コピー登録定義(旧：コピー登録)
 - └ラベル
- └機能別
 - └帳票(旧：帳票出力)
 - └メール送信設定
 - └送信元設定(旧：メール情報)

(71)制御情報に、プロセス結果一覧に表示する経過テキスト項目の出力文字数を制限する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・経過テキスト項目一覧出力文字数(Byte)

(72)制御情報に、項目説明の表示を制御する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・項目説明表示設定

(73)制御情報に、代理承認者の編集を制御する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・代理承認者編集制御設定

(74)制御情報に、構成管理の編集画面の値を関連ダイアログ(接続先機器)の検索条件を引き継ぐかを制御する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・関連機器の検索条件引き継ぎ設定
- ・電圧の検索条件引き継ぎ設定

(75)制御情報に、使用可能口数の登録上限値チェックを行う以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・構成管理－使用可能口数 1 による登録上限値チェック
- ・構成管理－使用可能口数 2 による登録上限値チェック

(76)制御情報に、関連要員に選択可能な最大件数を制御する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・構成管理－関連要員登録可能最大件数(件)

(77)制御情報に、コマンドから予定起票を行った際の動作制御を行う以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・コマンドから予定起票が存在する構成アイテムに対して予定起票を行った際の動作設定

(78)制御情報に、データ処理制御を行う以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・データ登録コマンドの不正入力データ処理

(79)制御情報に、関連選択済・接統一覧の 1 ページ表示件数を制御する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・関連選択済・接統一覧 1 ページ表示件数(件)

(80)制御情報に、セッション維持機能利用時に自動的にログアウト処理を行うかを制御する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・セッション維持機能利用時のログアウト制御設定

(81)問合せ元 2 マスタ画面を追加しました。あわせて基本内容は問合せ元マスタ同様で以下の画面で登録／編集 及び 一括登録を行えます。

管理者メニュー

└マスタ

└問合せ

└問合せ 2

画面追加に伴い、以下の制御情報も追加しました。

【管理項目名】

- ・問合せ元 2ID 桁数設定
- ・問合せ元情報 2 の検索方式

(82)制御情報に構成管理の接続機器の伝搬集計を行うかを設定する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

構成管理－接続機器 1 の伝搬集計設定

構成管理－接続機器 2 の伝搬集計設定

(83)グループマスタ新規登録・編集画面に主担当者情報項目を追加しました。

(84)システムマスタ新規登録、編集画面に以下の新規項目とブロックが追加されました。

【追加項目名】

- ・申請時の運用日付制御設定
- ・申請時のリミット日時制御設定

- ・承認時のリミット日時制御設定
- 【追加ブロック】
- ・SSA 共通

【追加項目名】

- ・申請時の運用日付制御設定
- ・最大延長時刻+相対時刻の制限時刻
- ・申請時の制限時間設定
- ・運用日付指定可能日数
- ・承認時の制限時間設定
- ・前倒し時刻の入力制御設定
- ・リミット日時初期値
- 【追加ブロック】
- ・業務グループ起動時刻変更

(85)Senju Enterprise Navigator ESP 連携機能で使用するプロセス管理の項目「障害メッセージ制御」で使用する ESP システムマスタ情報を管理することが可能となりました。

【対象画面】

- ・管理者メニュー
 - └機能別
 - └外部ツール連携
 - └ESP システムマスタ管理

(86)制御情報に、承認申請の各フローにおいてクローズを行った際の警告メッセージの表示を制御する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・申請前・却下時のクローズ警告メッセージ表示設定
- ・申請中のクローズ警告メッセージ表示設定
- ・承認済のクローズ警告メッセージ表示設定

(87)制御情報に、プロセス詳細・編集画面のボタンを文字表示またはアイコン表示に切り替える以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

- ・詳細画面のボタン表示設定

(88)デフォルト設定画面に次の項目を追加しました。

- ①タスク一覧の表示順 1 の左側項目の初期値を設定する項目。
- ②タスク一覧の表示順 1 の右側表示順の「昇順／降順」を設定する項目。
- ③タスク一覧の表示順 2 の左側項目の初期値を設定する項目。
- ④タスク一覧の表示順 2 の右側表示順の「昇順／降順」を設定する項目。

(89)下記画面へログインエリアに表示される下記アイコンから遷移可能となりました

【アイコン→画面】

- ・ESP マネージャアイコン→Senju Enterprise Navigator ESP 画面
- ・システムスケジュールアイコン→システム月別スケジュール画面
- ・プロセス検索アイコン→プロセス検索画面
- ・業務グループ起動時刻変更申請状況アイコン→業務グループ起動時刻変更申請状況画面
- ・マニュアル一覧アイコン→マニュアル一覧画面

(90)データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe) のインポートファイルの指定可能なフィールドに以下の項目が対応しました。

【構成管理】

- ・接続先機器 2
- ・使用可能アンペア 2
- ・使用アンペア 2

- ・使用可能口数 2
- ・使用口数 2
- ・関連構成 2A～2E
- ・関連要員

【プロセス管理】

- ・問合せ元 2ID
- ・問合せ元 2 テキスト 1～18
- ・問合せ元 2 テキストエリア 1
- ・問合せ元 2 日付 1

※ Senju Enterprise Navigator からのイベント連携機能を使用してデータ登録する場合も同じです。

(91)データ移行コマンドで以下マスタ情報を移行対象として追加しました。

- ・管理者メニュー/画面/画面定義/関連項目設定
- ・管理者メニュー/画面/画面定義/申請先画面設定

(92)データ出力コマンド (sjSPU_ExportData_Ex.exe) で以下の項目の出力に対応しました。

(プロセス管理)

- ・問合せ元 2ID
- ・問合せ元 2 テキスト 1～18
- ・問合せ元 2 テキストエリア 1
- ・問合せ元 2 日付 1

(93)マスタ登録コマンドで「問合せ元 2」マスタ情報の登録に対応しました。

指定可能項目は以下となります。

- ・問合せ元 2ID
- ・問合せ元 2ID 補助
- ・問合せ元 2 テキスト 1～18
- ・問合せ元 2 テキストエリア 1
- ・問合せ元 2 日付 1

(94)マスタ削除コマンドで「問合せ元 2」マスタ情報の削除に対応しました。

(95)データ移行コマンドで「問合せ元 2」マスタの情報を移行対象にしました。

(96)マスタ登録コマンドで、「チーム」マスタの登録・更新に対応しました。

(97)データ登録コマンドとイベント受信連携デーモンのユーザーと要員でユーザー/要員に「Not set」職責を割り当てられるようにしました。

また、あるシステムの「Not set」職責と他の任意職責を同時に割り当てた時、「Not set」職責を該当ユーザーから外すようにしました。

(98)DB コンフィグレータのユーザー設定でユーザーにあるシステムの「Not set」職責と他の任意職責を同時に割り当てた時、「Not set」職責該当ユーザーから外すようにしました。

(99)マスタ登録コマンドの職責で新規職責「Not Set」が編集不可のため、インポートに「対象職責名」を「Not Set」指定する時、更新しないようにエラーを出すようにしました。

(100) メンテナンス権限（共通）とメンテナンス権限（システム）の追加に応じて、ユーザーのメンテナンス権限が登録できるように、データ登録コマンドにユーザー項目を追加しました。

(101) データ登録コマンドとイベント連携デーモンでユーザーと要員指定する時、表示順が登録/更新できるように、項目を追加しました。

- (102) マスタ登録コマンドでマッピングアイテムファイル指定ありの場合、メンテナンス権限（共通）とメンテナンス権限（システム）のマスタを登録できるようにしました。
- (103) SSMWEB ホスト登録コマンドを登録/削除するようにしました。
- ・SMWEB サーバー名
 - ・SMWEB サーバーホスト名
 - ・接続プロトコル
 - ・WEB サーバー識別子
- (104) SSMWEB ホスト登録コマンドで下記情報を更新できるようにしました。
- ・SMWEB サーバー名
 - ・SMWEB サーバーホスト名
 - ・接続プロトコル
- (105) ESP メンテナンス申請機能の追加により、システム削除コマンドと過去データ削除コマンドの削除対象テーブルを追加しました。
- なお、2016 にて以下のテーブルも削除対象にします。
- ・プロセス ESP 申請連携結果履歴ファイル (PROCESS_ESP_APPLY_RES_HIS_FIL)
 - ・プロセス ESP 申請ファイル (PROCESS_ESP_APPLY_FIL)
- (106) データ出力コマンドでマッピングアイテム指定ありの場合、以下の出力項目を追加しました。
- ・(ESP 申請)申請情報
 - ・(ESP 申請)連携結果
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)業務グループ
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)通常起動時刻
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)最大延長時刻
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)業務グループ内容
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)延長上の注意
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)コマンド名
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)変更起動時刻
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)再変更起動時刻
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)連携ステータス(グループ)
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)再変更起動時刻指示・日付
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)再変更起動時刻指示・時刻
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)再変更起動時刻指示者
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)再変更起動時刻実施・日付
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)再変更起動時刻実施・時刻
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)再変更起動時刻実施者
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)連携ステータス手動更新日時・日付
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)連携ステータス手動更新日時・時刻
 - ・(業務グループ起動時刻変更詳細)連携ステータス手動更新者
- (107) マスタ登録コマンドのグループ登録でグループ主担当項目（任意項目）が登録できるようにしました。登録時の仕様は以下の通りです。
- ・マッピングアイテム指定ありの場合は、新規登録/更新します。
 - ・マッピングアイテム指定なしの場合は、新規登録の時のグループ主担当は未指定で登録し、更新の時のグループ主担当も未指定で更新します。
 - ・新規登録の場合、GROUP_USER_MST で新規グループ ID に所属する主担当ユーザーを登録します。
- 更新の場合、主担当者のチェックを行わない、GROUP_USER_MST で主担当として登録したユーザーはすべて該当グループに所属するように更新します。
- なお、主担当から外したユーザーについては該当グループに所属するままとして、GROUP_USER_MST は更新しません。

- ・グループ主担当はプロセスごとにユーザーを選択できます。
- ・グループ主担当の最大登録件数は 300 件です。

(108) DB コンフィグレータのユーザー設定のツリーを右クリックし、インポートを押した後にユーザーを更新する場合、グループから外れれば、GROUP_USER_MST と GROUP_MAIN_PERSON_MST の該当主担当は削除します。

※更新置換モードで対応します。

(109) データ登録コマンドでユーザーを更新する際、グループから外れた場合 GROUP_MAIN_PERSON_MST の該当主担当は削除します。

※更新置換モードで対応します。

(110) データ登録コマンドとイベント受信連携コマンドでプロセス管理及びイベント管理の以下の項目を登録できるようにしました。

- ・ラージテキスト 1 (既存)
- ・ラージテキスト 2
- ・ラージテキスト 3
- ・ラージテキスト 4
- ・承認フロー追加通知先

※なお、項目「承認フロー追加通知先」は以下二つ形式で指定できます。

- ・アドレス形式 (*****@**.**(.**))
- ・名称+<アドレス形式> (名称+<*****@**.**(.**)>)

(111) データ登録コマンド（プロセス管理、イベント管理）で現状の複数の値を区切り文字列に加えて、マッピングルールファイルに複数経過を区切る文字列 (@#@) を追加しました。

複数経過を登録したい場合は、既存文字列@@\$@を使って経過内容を区切り、経 1 経過に複数件添付ファイルを登録したい場合は、新規の区切り文字「@#@」で区切ります。

(112) システム登録コマンドの登録対象に、下記項目を追加しました（システム基本情報）。

- ・SSA 共通>申請時の運用日付制御設定
- ・SSA 共通>申請時のリミット日時制御設定
- ・SSA 共通>承認時のリミット日時制御設定
- ・業務グループ起動時刻変更>申請時の運用日付制御設定
- ・業務グループ起動時刻変更>申請時の制限時間設定
- ・業務グループ起動時刻変更>承認時の制限時間設定
- ・業務グループ起動時刻変更>リミット日時初期値
- ・業務グループ起動時刻変更>最大延長時刻+相対時刻の制限時刻
- ・業務グループ起動時刻変更>運用日付指定可能日数
- ・業務グループ起動時刻変更>前倒し時刻の入力制御設定
- ・業務グループ起動時刻変更>変更対象時刻

(113) 2016 にて WEB 化された機能のファイルとロジックをコンフィグレータ (sjSPB_Config) から削除しました。

(114) データ登録コマンド (sjSPU_ImportData.exe) のインポートファイルの指定可能なフィールドに以下の項目を追加しました。

【構成管理】

- ・接続先機器 2
- ・使用可能アンペア 2
- ・使用アンペア 2
- ・使用可能口数 2
- ・使用口数 2
- ・関連構成 2A～2E
- ・関連要員

(115) データ出力コマンドでプロセス管理とイベント管理の情報を出力する際、マッピングアイテム指定ありの場合は経過情報の下記項目の出力対象を追加しました。

- ・日時テキスト日付 1
- ・日時テキスト時刻 1
- ・マルチ 2 連分類 1-1
- ・マルチ 2 連分類 1-2A
- ・マルチ 2 連分類 1-2B
- ・マルチ 2 連分類 1-2C
- ・マルチ 2 連分類 1-2D
- ・マルチ 2 連分類 2-1
- ・マルチ 2 連分類 2-2A
- ・マルチ 2 連分類 2-2B
- ・マルチ 2 連分類 2-2C
- ・マルチ 2 連分類 2-2D

※日時テキスト時刻 1 は制御値「時刻表示フォーマット」(SP_TIME_DISP_FORMAT)の設定に従って出力します。

(116) 以下の経過項目を登録対象にする（プロセスとイベントとも対応）

- ・日時テキスト日付 1
- ・日時テキスト時刻 1
- ・マルチ 2 連分類 1-1
- ・マルチ 2 連分類 1-2A
- ・マルチ 2 連分類 1-2B
- ・マルチ 2 連分類 1-2C
- ・マルチ 2 連分類 1-2D
- ・マルチ 2 連分類 2-1
- ・マルチ 2 連分類 2-2A
- ・マルチ 2 連分類 2-2B
- ・マルチ 2 連分類 2-2C
- ・マルチ 2 連分類 2-2D

(117) 分類削除コマンドで、以下の分類項目を削除対象に追加しました。

- ・[経過]マルチ 2 連分類 1-1>[経過]マルチ 2 連分類 1-2
上層分類：マルチ 2 連分類 1-1
下層分類：マルチ 2 連分類 1-2
- ・[経過]マルチ 2 連分類 2-1>[経過]マルチ 2 連分類 2-2
上層分類：マルチ 2 連分類 2-1
下層分類：マルチ 2 連分類 2-2

(118) 分類登録コマンドで、以下の分類項目を登録対象に追加しました。

- ・[経過]マルチ 2 連分類 1-1>[経過]マルチ 2 連分類 1-2
上層分類：マルチ 2 連分類 1-1
下層分類：マルチ 2 連分類 1-2
- ・[経過]マルチ 2 連分類 2-1>[経過]マルチ 2 連分類 2-2
上層分類：マルチ 2 連分類 2-1
下層分類：マルチ 2 連分類 2-2

(119) IVR 連携コマンドで、追加項目を検索または返却項目に指定する時、

- ①指定できる項目を指定する場合、エラーなしでデータを出力。
- ②指定できない項目を指定する場合、ログにエラーを出す

新規追加した以下の項目を検索と返却指定できる項目にする

- ・使用可能アンペア 2

- ・使用アンペア 2
- ・使用可能口数 2
- ・使用口数 2

以下の項目を検索と返却指定できない項目にします。

- ・関連構成 2A
- ・関連構成 2B
- ・関連構成 2C
- ・関連構成 2D
- ・関連構成 2E
- ・接続先機器 2
- ・使用済アンペア 2
- ・使用済口数 2
- ・関連要員
- ・関連機器
- ・接続先機器
- ・使用済アンペア
- ・使用済口数

(120) マッピングアイテムファイルで、以下の項目名を修正しました。

- ・「SSA>連携ステータス/業務グループ」→「SSA>連携ステータス/業務グループ」
- ・「SSA>コマンド名/業務グループ」→「SSA>コマンド名/業務グループ」

(121) データ出力コマンドのマッピングアイテムファイルに以下項目名が指定できるように修正しました。

- ・承認フロー追加通知先

(122) Web 画面から実行可能なコマンドは以下とします。

- ・マスタ登録コマンド
- ・データ登録コマンド
- ・コード登録コマンド
- ・分類マスタ登録コマンド
- ・構成反映コマンド
- ・操作ログ取得コマンド

(123) データ登録コマンドでプロセス管理の関連プロセス項目の登録(複数指定可)を追加しました。

※指定形式はデータ種別 ID とインシデント ID のセットです。

(124) Senju/EN 連携もしくはデータ登録コマンドからプロセスのレコードを新規登録する際にプロセスタスクリストの適用ができるようになりました。

(125) データ登録コマンドでプロセス管理申請中のレコードを更新できるかどうかを切り替えられるようになりました。

【管理項目名】

コマンドからプロセス管理の申請中のレコードに対する更新操作の制御設定

(126) 自動メール通知コマンドで新しい送信種別、「自動メール通知_通知種別 2」が追加されました、画面の機能別>自動メール通知で設定した通知種別 2 のルートに対して送信を行います。既存の送信種別名称を変更しました。

「自動メールの通知メール」→「自動メール通知_通知種別 1」

「自動メールのクローズ通知メール」→「自動メール通知_通知種別 1 クローズ」

(127) 過去データ削除コマンドでファイルライブラリのデータだけを削除することができるようになりました。

(128) 以下の公開ビューを追加しました。

【追加公開ビュー】

- ・PVIEW_01_0202(公開承認フロー履歴職責・ユーザー・役割ビュー)
- ・PVIEW_01_0203(公開承認フロー履歴通知先ビュー)
- ・PVIEW_01_0304(公開申請対象機器情報ビュー)
- ・PVIEW_01_0406(公開 SSA 障害メッセージビュー)
- ・PVIEW_01_0407(公開 SSA 障害メッセージノードビュー)
- ・PVIEW_01_0408(公開 SSA 障害メッセージ連携結果履歴ビュー)
- ・PVIEW_01_0409(公開 SSAESP 申請ビュー)
- ・PVIEW_01_0410(公開 SSAESP 申請連携結果履歴ビュー)
- ・PVIEW_01_0501(公開選択ユーザービュー)
- ・PVIEW_04_0001(公開構成管理(CI)ビュー)
- ・PVIEW_04_0101(公開関連機器ビュー)
- ・PVIEW_04_0102(公開接続先機器ビュー)
- ・PVIEW_04_0103(公開接続機器ビュー)
- ・PVIEW_04_0104(公開関連構成ビュー)
- ・PVIEW_04_0105(公開関連要員ビュー)
- ・PVIEW_05_0001(公開要員管理ビュー)
- ・PVIEW_05_0002(公開要員職責ビュー)
- ・PVIEW_05_0101(公開要員構成管理ビュー)
- ・PVIEW_51_0001(公開会社マスタビュー)
- ・PVIEW_52_0001(公開組織マスタビュー)
- ・PVIEW_53_0001(公開ユーザーマスタビュー)
- ・PVIEW_53_0002(公開ユーザー職責ビュー)
- ・PVIEW_53_0003(公開ユーザーチーム×役割ビュー)
- ・PVIEW_53_0004(公開ユーザー代理承認者ビュー)
- ・PVIEW_54_0001(公開メインメニューマスタビュー)
- ・PVIEW_54_0002(公開サブメニューマスタビュー)
- ・PVIEW_54_0003(公開データ種別マスタビュー)
- ・PVIEW_54_0101(公開メインメニューサブメニュー関連ビュー)
- ・PVIEW_54_0102(公開サブメニューデータ種別関連ビュー)
- ・PVIEW_55_0001(公開システムマスタビュー)
- ・L_PVIEW_01_0001(公開プロセスラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0002(公開プロセス経過ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0101(公開エスカレーションラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0102(公開エスカレーション履歴ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0201(公開承認フロー履歴ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0202(公開承認フロー履歴職責・ユーザー・役割ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0203(公開承認フロー履歴通知先ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0401(公開 SSA コマンド実行詳細ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0402(公開 SSA ランブック実行詳細ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0403(公開 SSA スキップ実行詳細ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0404(公開 SSA 一時停止実行詳細ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0405(公開 SSA 起動時刻変更実行詳細ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0406(公開 SSA 障害メッセージラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0407(公開 SSA 障害メッセージノードラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0408(公開 SSA 障害メッセージ連携結果履歴ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0409(公開 SSAESP 申請ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_01_0410(公開 SSAESP 申請連携結果履歴ラベルビュー)
- ・L_PVIEW_04_0001(公開構成管理(CI)ラベルビュー)

(129) プロセス、簡易プロセスの画面項目として、「説明テキストエリア」を追加しました。

この項目は、レイアウト定義画面で該当項目の項目編集を行い、「項目値」項目を設定することにより、その内容を参照項目として表示できます。

この項目は 4000 バイトまで入力できます。

- (130) 簡易画面定義のラベル編集時に「項目名(フォーム)」設定する項目を追加しました。
 「項目名(フォーム)を使用する」チェックボックスをチェックすることにより、「項目名(フォーム)」が入力可能になります。
 「項目名(フォーム)」を設定した場合、簡易画面のラベルは設定した値で表示されます。「項目名(フォーム)」が設定されていない場合は、プロセス画面のラベル値を表示します。
- (131) プロセス詳細画面の「メール送信」ボタン押下から送信できるメールについて、メールに添付ファイルが1件以上存在した場合、警告ダイアログを表示する機能を追加しました。
 警告ダイアログのメッセージは、下記のラベルとしてユーザーが任意に設定することが可能です。
 ・ラベル値：「以下の添付ファイルが存在しますこのまま送信しますか？」
- 警告ダイアログを表示する場合は、以下の制御情報の設定値を「する」に設定してください。
【管理項目名】
 メール添付ファイル存在時の警告メッセージ表示設定
【設定値】
 ・する
 ・しない<初期値>
- (132) 以下の画面の問合せ元 ID、問合せ元 2ID の IME 制御をプロセス毎に切り替える機能を追加しました。
 ・プロセス一覧画面
 ・プロセス新規登録画面
 ・プロセス編集画面、
 ・簡易プロセス一覧画面
 ・簡易プロセス新規登録画面
 ・簡易プロセス編集画面
 問合せ元 ID、問合せ元 2ID の IME 制御を ON にする場合は、以下の制御情報の設定値を「ON」に設定してください。
 ※IME 制御の設定は IE のみ有効です。
【管理項目名】
 問合せ元 ID の IME 制御設定
【設定値】
 ・OFF <初期値>
 ・ON
- 問合せ元 2ID の IME 制御設定
【設定値】
 ・OFF <初期値>
 ・ON
- (133) IVR 連携コマンドのタイムアウトまでの待ち時間の設定が可能になりました。
 初期化情報ファイル (iniInfo.txt) の属性値「TimeOut」を設定してください。
 「TimeOut」の値を設定する場合、設定したい DB 接続関連のタイムアウトまでの待ち時間 + 1 秒を設定してください。
 「TimeOut」のデフォルト値は「5000」ミリ秒(5 秒)です。
 この 5 秒は DB 接続関連処理 (4 秒) + それ以外の処理 (1 秒) を制御しており、パッチ適用時点では、適用前と同じタイムアウトまでの待ち時間となります。
 ※「TimeOut」を「1000」ミリ秒以下に設定した場合、デフォルト値「5000」ミリ秒に設定されます。
 ※「TimeOut」が iniInfo.txt に定義されていない（「TimeOut」自体が書かれてない）場合、デフォルト値「5000」ミリ秒に設定されます。
 ※「TimeOut」が iniInfo.txt に定義されているが、値が設定されていない場合、デフォルト値「5000」ミリ秒に設定されます。

- (134) IVR 連携コマンドのログファイルを手動で設定することが可能になりました。
メソッド「Initialize」に第二引数を追加し、ログファイル判定フラグを指定できます。
第二引数に"1"を指定する場合、ログ内容が「sjSPX_LinkDBData.log」、ユーザーログ内容が「sjSPX_User_LinkDBData.log」に出力されます。
第二引数に"1"以外が指定される場合、ログ内容が「sjSPX_LinkDBData2.log」、ユーザーログ内容が「sjSPX_User_LinkDBData2.log」に出力されます。
第二引数を省略する場合、ログ内容が「sjSPX_LinkDBData.log」、ユーザーログ内容が「sjSPX_User_LinkDBData.log」に出力されます。
- (135) すべての日付項目のカレンダーアイコンの隣に、本日日付入力ボタンを追加しました。
本日日付入力ボタンを押下すると、該当する日付項目に当日日付が自動入力されます。
本日日付入力ボタンを表示する場合は、以下の制御情報の設定値を「する」に設定してください。
【管理項目名】
本日日付入力ボタンの表示設定
【設定値】
・しない<初期値>
・する
- (136) プロセス管理 及び 問合せ・申請 の編集・詳細画面で、項目説明が定義されている項目であることを表すアイコンを表示する機能を追加しました。
項目説明アイコンを表示する場合は、以下の制御情報の設定値を「アイコンを表示する」に設定してください。
【管理項目名】
項目説明アイコン表示設定
【設定値】
・アイコンを表示しない<初期値>
・アイコンを表示する
- (137) 承認フローにて、次ルートへ進む際に代理承認者にも承認／確認／作業依頼メール 及び 差戻しメールを送信する機能を追加しました。
本機能を使用する場合は、以下の制御情報の設定値を「する」に設定してください。
【管理項目名】
代理承認者への依頼メール送信設定
【設定値】
・しない<初期値>
・する
- ※本機能を使用する設定としている場合、次ルートの本来承認者に設定されている代理承認者にも依頼メールが送信されます。
尚、データの参照権限を保持していないなど、メール送信時点で該当データを承認することができない代理承認者にはメールは送信されません。
また、管理者メニュー：機能別＞メールテンプレート＞メールテンプレート(自動送信)画面で、画面＞システム単位に代理承認者向けのメールテンプレートをカスタマイズすることができます。
- (138) プロセス編集画面から関連構成(1～4)の関連選択ダイアログを表示した際、呼出元画面の関連構成(1～4)項目に設定されていた値を検索条件「関連機器」に引き継ぐ機能を追加しました。
- (139) プロセス管理の公開ビューを画面単位に分割しました。
分割前の公開ビューはそのまま残してあります。
特定の画面の情報を取得する場合は、分割後の公開ビューを使用してください。
※詳細は別紙「公開ビュー」マニュアルを参照してください。

- (140) 構成管理の公開ビューを画面＞表示区分(現在／最新／履歴)単位に分割しました。
分割前の公開ビューはそのまま残してあります。
特定の画面の情報を取得する場合は、分割後の公開ビューを使用してください。
※詳細は別紙「公開ビュー」マニュアルを参照してください。
- (141) 自動送信メールテンプレートにメールテンプレート単位で置換する言語を設定する機能を追加しました。
- (142) 自動送信メールテンプレートに初期化機能を追加しました。

1.17.2 不具合対応

- (1) 関連選択ダイアログを起動した際に選択可能な画面が存在しない場合、「参照可能な画面が存在しません」とアラート表示され、ダイアログがクローズされる不具合を修正しました。
- (2) 要員情報を削除後にユーザー情報を更新した際に、以下の画面でステータス項目のデータが正しく表示されない不具合を修正しました。
【対象画面】
- ・ユーザーマスタ編集画面
 - ・要員管理画面
- (3) 以下の画面で表示順を以下の項目で検索した際にシステムマスタ管理画面の登録システム一覧の表示順と同様の順番で表示されない不具合を修正しました。
【対象項目】
- ・システム
 - ・公開グループ
- 【対象画面】
- ・プロセス管理
 - ↳ プロセス(プロセス検索結果一覧・一覧帳票出力)
 - ・問合せ・申請
 - ↳ 簡易プロセス(簡易プロセス検索結果一覧・一覧帳票出力)
 - ・フレーム・ネット・ジョブ申請-検索結果一覧・一覧帳票出力
 - ・SLAM チャート-SSA 詳細・帳票出力
- (4) アプリケーション起動処理時に発生していたフォルダの操作権限が削除された場合に、**vbscript** エラーとなってしまう不具合を修正しました。
あわせて、TEMP フォルダの操作権限を削除と TEMP フォルダをリネーム後、IIS を再起動する場合、ログイン画面で、"一時ファイルの削除に失敗しました"のメッセージが表示されるよう修正しました。
- (5) 以下の画面の以下の項目に不正値が入力された際にアプリケーションエラーもしくはシステムエラーが発生していた不具合を、エラーメッセージが表示されるように修正しました。
【対象項目】
- ・日付項目
 - ・時刻項目
- 【対象画面】
- ・条件設定
 - ・フレーム・ネット・ジョブ申請一覧
- (6) 以下の画面で検索条件として参照権限のないシステムを指定し検索を行った場合に、システムエラーが発生する不具合を修正しました。
【対象画面】
- ・構成管理一覧

- ・アカウント管理一覧
 - ・構成アイテム管理一覧
 - ・要員管理一覧
 - ・既知エラー一覧
 - ・FAQ 一覧
 - ・ファイルライブラリ一覧
 - ・リンク集一覧
 - ・簡易プロセス一覧
 - ・イベント一覧
 - ・プロセス一覧
 - ・関連検索（ナレッジすべて）
 - ・関連検索（プロセスすべて）
 - ・FAQ 検索（ログインフレーム）
 - ・FAQ トップ（ログインフレーム）
 - ・既知エラー検索（ログインフレーム）
 - ・既知エラートップ（ログインフレーム）
 - ・リンク集検索（ログインフレーム）
 - ・リンク集トップ（ログインフレーム）
 - ・ファイルライブラリ検索（ログインフレーム）
 - ・ファイルライブラリトップ（ログインフレーム）
 - ・簡易プロセス新規登録
- (7) ログイン後、初期表示画面表示までの間に表示されていた画面を無地画面から「しばらくお待ちください」画面に修正しました。
- (8) 以下の画面の起票日時項目のラベル値を画面毎に修正できない不具合を修正しました。
【対象画面】
- ・プロセス管理
 - ・ホーム
 - ・構成管理
 - ・構成アイテム管理
 - ・既知エラー
 - ・FAQ
 - ・ファイルライブラリ
 - ・リンク集
- (9) ユーザー削除時にデータベース上にユーザー情報が残っていた際、IIS 再起動時に削除されない不具合を修正しました。
- (10) 以下の画面の画面ポリシー、職責の権限チェックが行われない不具合を修正しました。
【対象画面】
- ・障害メッセージ制御ノード選択
 - ・承認フロー申請
 - ・承認フローコメント
 - ・承認フロー差戻し
 - ・承認フロー却下
 - ・情報提供（メール編集）
 - ・確認コメント
 - ・確認一覧
 - ・チェックリスト進捗ステータス詳細
 - ・ランブックテンプレート選択
 - ・ランブックテンプレート詳細
- (11) 以下の画面のテキスト 1～4 項目の入力可能バイト数を変更しました。
【対象画面】

- ・入力文字制御

上記対応によりテキスト 1～4 項目の入力可能バイト数の最大値が"100"から"4000"になります。
※バージョンアップ前に、テキスト 1～4 の入力文字制御を初期値から変更していない場合、
テキスト 1～4 の入力可能バイト数が"100"から"4000"に拡張されます。

また、以下の画面のテキスト 1～4 をテキストからテキストエリアに変更できるようになりました。
項目の高さを 28px 以上にすることで、改行入力可能なテキストエリア形式に変更することができます。

【対象画面】

- ・プロセス管理
- ・問合せ・申請

- (12) プロセス・ナレッジ画面から承認申請を行う際、承認申請画面で各ルートの承認者として展開されるユーザーの抽出条件に画面ポリシーと職責チェックを追加しました。
あわせて、デフォルト通知ユーザー展開判定時も同様に抽出条件に画面ポリシーと職責チェックを追加しました。

- (13) 関連登録とナレッジ申請の登録先選択画面の選択権限を追加しました。

合わせて、以下の 2 点を変更しました。

- ・関連登録先選択画面の画面の 2 連コンボボックスに表示する画面について、ログインユーザーのポリシーとプロセスの「データの追加」権限があるプロセスを選択可能にするように変更。
- ・ナレッジ申請先選択画面に画面の 2 連コンボボックスに表示するデータ種別についてログインユーザーのポリシーと各画面 (既知エラー、FAQ) に対する「データの追加」権限があるものを選択可能にするよう変更。

- (14) 画面をウィンドウ「×」押下から画面を閉じる際に表示されるメッセージを変更しました。

旧：画面を強制的に閉じた場合、次回ログインが不可能となる場合があります

新：このページから移動しますか？

入力したデータは保存されません

- (15) アクセス URL で簡易プロセス画面を参照しようとしたとき、指定した簡易プロセス画面の画面ポリシーを保有していない場合に権限エラーが発生していた不具合を、簡易プロセス画面の画面ポリシーを保有していなくともそれに紐づくプロセス管理の画面ポリシーを保有していればプロセス詳細画面にて表示をするように修正しました。

- (16) 添付ファイルの以下の点について修正を行いました。

- ・添付ファイル項目に削除した添付ファイルが表示されている不具合の修正。
- ・添付ファイルをダブルクリックでダウンロードする機能の削除。
- ・添付ファイルを右クリックで「開く/削除」が表示される機能の削除。

- (17) 初めてお読みくださいに記載されていた以下の内容について修正を行いました。

■NO.0002/OS 対象バージョンを追加しました

■NO.0003/OS 対象バージョンを追加しました

■NO.0004/IE 一部文言の修正を行いました

旧：・ファイルのアップロードを行う場合は、以下の設定を有効にしてください。

・サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める

新：(※) Internet Explorer 9 以降では「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」の項目はありません。

「ファイルのダウンロード」のみ有効にしてください。

■NO.0005/IE 文言の修正を行いました

旧：Internet Explorer のポップアップブロック機能が有効になっている場合は、
ポップアップブロック機能を無効にしてください。

新：接続する Web サーバーを「ポップアップブロック」の「許可する Web サイトのアドレス」に

登録してください。

■NO.0006/IE Web ブラウザの設定として検索ツールバーの設定についての記載を行っていましたが、設定不要となったため記載を削除しました。

■NO.0012/IE インターネットオプションの設定として、インターネット一時ファイルの設定で、「Web サイトを表示するたびに確認する」設定にのみ対応していましたが、「自動的に確認する」設定でもサポートを行うように修正を行いました。

■NO.0015/IE Web ブラウザの設定として SmartScreen フィルター機能の設定の記載を行っていましたが、本設定は本バージョンより保証対象外となったバージョンのみの設定であったため記載を削除しました。

■NO.0016/IE 文言の修正を行いました。

旧：SSL 接続時、暗号化されたページをディスクに保存に設定してください。

新：SSL 接続時、暗号化されたページをディスクに保存しないのチェックを外してください。

(18) ボタンの二度押しが行える不具合を修正しました。

(19) Senju Service Manager のブルートフォース攻撃対策を資料集に記載しました。

(20) 多言語表示対応を行った影響により、デフォルト言語を英語にするとメッセージ等も英語で表示されます。

(21) 管理者メニュー画面の画面ポリシーのみ保持するユーザーの場合もログインできない不具合を修正しました。

(22) 複数の Senju Service Manager 画面を同時に表示した際に 2 つ目以降の画面が表示されない不具合を修正しました。

(23) 以下の画面に表示される役割名の並び順の不具合を以下の順で並ぶように修正しました。

【対象画面】

- ・承認フロー編集
- ・承認フロールート編集
- ・承認フロー申請
- ・承認フロー履歴一覧
- ・承認フロールート選択
- ・承認フロールート詳細
- ・承認フロー一覧（帳票出力）

【並び順】

- ①表示順の昇順
- ②登録順の昇順

以下の画面に表示されるシステム名、会社名の並び順の不具合を以下の順で並ぶように修正しました。

【対象画面】

- ・会社一覧

【並び順】

- ①表示順（システム）の昇順
- ②登録順（システム）の昇順
- ③表示順（会社）の昇順
- ④登録順（会社）の昇順

以下の画面で表示順に「会社」を指定した場合、表示順（会社）で表示されない不具合を修正しました。

【対象画面】

- ・ユーザー一覧

以下の画面に表示される役割名の並び順の不具合を以下の順で並ぶように修正しました。

【対象画面】

- ・チームユーザー設定

【並び順】

- ①表示順の昇順
- ② 登録順の昇順

(24) PC がスリープ状態になった場合に、Senju Service Manager のログアウトボタンが反応しなくなる不具合を修正しました。

(25) プロセスのチェックボックス項目の参照表示時の表示順が正しくない不具合を修正しました。

【対象画面】

- ・プロセス詳細
- ・プロセス詳細帳票
- ・プロセス一覧帳票
- ・簡易プロセス詳細
- ・簡易プロセス一覧帳票

(26) 1 以下の小数点数値を入力した場合、プロセス一覧と簡易プロセス一覧で先頭の"0"が除去されて表示される不具合を修正しました。

(27) Internet Explorer 以外のブラウザにて、選択した添付ファイルが登録時点で存在しない場合、エラーページに遷移する不具合を修正しました。

(28) 下記画面において録音情報が存在しない録音ファイル ID 押下時に表示される録音ファイル再生画面の「録音時間」が「00:00:00」と表示されている不具合を空白で表示されるよう修正しました。

【対象画面】

- ・録音ファイル再生画面
- ・外部リンク詳細画面

(29) 以下の画面で検索条件に分類を指定して検索し、検索条件を変更直後（検索は行わない）に改ページ又は帳票出力を行った場合、検索条件が検索時の状態に戻らない不具合を修正しました。

【対象画面】

- ・アカウント管理
- ・既知エラー
- ・FAQ
- ・ファイルライブラリ
- ・リンク集
- ・メールテンプレート

(30) 画面名が 101byte 以上の場合、該当画面を操作した際にユーザーログに出力されない不具合を修正しました。

(31) クロスサイトリクエストフォージェリ攻撃の対策として以下の機能を追加しました。

- ・不正なアクセスが行われた場合、データ更新時にシステムエラーが発生するようになりました。
- ・画面表示からデータ更新までの時間が以下の設置時間を超えた場合、アラートメッセージが表示されるようになりました。

【管理項目名】

操作可能時間(分)

(32) クロスサイトスクリプティング脆弱性の対策として、ユーザーの入力値がリンクとなる項目

(URLを入力する項目)について入力チェックを行う以下の機能を追加しました。

【管理項目名】

URL リンク項目の入力値チェック

- (33) Internet Explorer にて、添付ファイル等ファイルアップロード時にテキスト入力項目にカーソルが当たっている状態で Enter キーを押下するとシステムエラーが発生する不具合を修正しました。
- (34) 承認フロー申請画面の表示速度を改善しました。
- (35) 承認フロー画面でプロセス及び簡易プロセスの詳細画面の「承認フロー追加通知先」項目に入力されたメールアドレスへのメール送信に失敗した場合、表示されるエラーメッセージが呼び出し元画面のラベルに追従していない不具合を修正しました。
- (36) Session Fixation 攻撃に対する対策を行いました。
- (37) チェックボックス項目のコード名に不正文字が含まれている場合、エンコードが行われない不具合を修正しました。
- (38) 画面再描画時に「ステータス」項目が参照表示の場合に、選択値が消える不具合を修正しました。
- (39) プロセス編集及び簡易プロセス編集画面で画面再描画後の「公開グループ」表示が初期表示内容と異なる不具合を修正しました。
- (40) プロセスで CSV 帳票出力をした際に承認申請が行われたレコードと行われていないレコードで出力フォーマットが異なる不具合を修正しました。
- (41) 以下の画面のフリーワード検索の AND/OR プルダウンに「-----」が表示されていた不具合を、選択肢に AND/OR のみが表示されるように修正しました。

【対象画面】

 - ・プロセス検索ダイアログ
- (42) 簡易プロセス画面からの問合せに対する回答をする際に表示される自動メール送信確認画面のボタンを「OK/キャンセル」から「はい/いいえ」に修正しました。「はい」を押下した際はメールの送信を行い且つ経過追加または更新を行います。「いいえ」を押下した際はメール送信を行わずに経過追加または更新を行います。
- (43) Senju Enterprise Navigator からイベント連携機能を使用してプロセスにレコードを登録した際、チェックリストライセンスがオフに設定されている場合に出力されるログを以下の通り修正しました。

【ログレベル】

旧：ERR
新：INFO

【ログメッセージ】

 - ・チェックリスト適用の場合
旧：ライセンスエラー
新：ライセンスがない為、チェックリストの適用処理は行いません
 - ・チェックリスト診断の場合
旧：ライセンスエラー
新：ライセンスがない為、チェックリストの診断処理は行いません
- (44) SSA にて、ランブック実行の申請で連携ステータス(個別)が異常終了の時に、SSM の画面から案件を削除すると中継テーブルにデータが残る不具合を修正しました。
- (45) 対応一覧に「クローズ解除」時の表示をしない不具合を修正しました。

- (46) ネット・ジョブ起動時刻変更で承認申請時の運用日付のチェックを、運用日付のみで行っていましたが、起動予定時刻を含めて行うよう変更しました。
(運用日付+起動予定時刻が、[管理者メニュー>制御情報]の管理項目「SSA 連携申請時の運用日付制御設定」のしきい値内であれば承認申請可能になります。)
- (47) 以下の画面でジョブ名が未入力時にフレーム名とネット名に同一の値を入力すると登録できる不具合を修正しました。
【対象画面】
ネット・ジョブ起動時刻変更
└新規登録、編集画面
業務グループ定義
└新規登録、編集画面
- (48) プロセス詳細帳票出力時に、誤ったフロータイトルが出力される不具合を修正しました。
- (49) 障害メッセージ制御ブロックの「連携結果」のリンクを押下して開く連携結果一覧の表示に「簡易プロセスの使用」職責をチェックしない不具合を修正しました。
- (50) 録音ファイル ID に[\]を含む文字列を入力すると不要なアラートが表示される不具合を修正しました。
- (51) プロセス一覧帳票の際に「関連プロセス」の内容が重複して出力される不具合を修正しました。
- (52) 簡易プロセス詳細画面での削除処理で、自動メール通知系ファイルの削除処理を追加する。
簡易プロセス詳細画面からデータを削除した際に自動メール通知系ファイルが削除されない不具合を修正しました。
- (53) エンドユーザー承認ライセンスの無い環境にて、エンドユーザーが申請したレコードが以降の承認者から差戻された場合、申請者の簡易プロセス編集画面の編集ボタンが非活性となりクリックできないまたは再申請ボタンが表示されない不具合を修正しました。
- (54) 構成管理反映コマンド(sjSPB_ReflectCI.exe)により登録されたデータを構成管理編集画面及び変更予定起票画面で編集または表示した際、変更箇所チェックボタンを押下してもダイアログが表示されない不具合を修正しました。
- (55) 構成管理の表示対象が最新の構成と履歴情報の同一データの添付ファイルの更新日時項目のデータが異なる不具合を修正しました。
- (56) 構成管理の以下の項目は自動計算時に使用されません。
【対象項目】
使用口数
使用可能アンペア
- (57) 構成管理の変更箇所／申請箇所チェック画面にて、関連構成項目の一覧ボタンを押下した際に発生する JavaScript エラーを修正しました。
- (58) 接続先機器の関連選択画面にて、選択済の構成アイテムの参照権限を保持しない場合、確定ボタン押下時に JavaScript エラーが発生する不具合を修正しました。
- (59) 構成管理一覧にて、検索条件に以下の項目を「複数選択あり」で検索している状態で、選択値を未選択又は単一選択とし、「帳票出力」ボタンを押下した場合、「複数選択あり」の表示状態に戻らない不具合を修正しました。
【対象項目】
ラジオボタン 1～2

コンボボックス 1～10
 コンボテキスト 1～5
 承認ステータス
 用途
 区分
 コンセント形状
 プラグ形状

(60) ナレッジの職責を「データの公開参照」権限のみ保持している場合、申請前・申請中データの添付ファイルを開く際にエラーが発生する不具合を修正しました。

(61) SLAM チャート詳細画面の帳票出力にて、サブステータス項目には種別データが、種別項目にはサブステータスデータが出力されていた不具合を修正しました。

(62) システム一括登録時に一括登録用インポートファイルに記載するオープン FAQ 公開項目の設定値を"0"（公開しない）に設定した場合、オープン FAQ 公開システム名を登録することができない不具合を修正しました。

(63) 以下の画面で表示されるメッセージを以下の通り修正しました。

【対象画面】

・チーム・役割選択

【修正内容】

旧：1 ユーザーが所属可能な最大チーム数は{0}チームです

新：1 ユーザーが所属可能な最大チーム・役割の組み合わせ数は{0}件です

1 ユーザーが所属可能な最大チーム数は{1}件です

以下の画面で表示されるラベルを以下の通り修正しました。

【対象画面】

・チーム・役割選択

【修正内容】

旧：選択されたチーム：〇〇件

新：選択されたチーム・役割：〇〇件

以下の画面で表示されるメッセージを以下の通り修正しました。

【対象画面】

・チーム・役割選択

【修正内容】

旧：1 ユーザーが所属可能な最大システム数は{6}件です

新：1 ユーザーが所属可能な最大職責・システムの組み合わせ数は{6}件です

1 ユーザーが所属可能な最大システム数は{7}件です

(64) チェックリスト診断設定編集画面で特定の診断パターン値を設定して更新すると POST 値エラーが発生する不具合を修正しました。

(65) 以下の画面で表示されていたメッセージを変更しました。

【対象画面】

・職責編集画面

【表示メッセージ】

①職責編集更新時

旧：既にこの職責を使用しているユーザーが存在していますが、更新しますか？

新：既にこの職責を使用しているユーザー・要員が存在していますが、更新しますか？

②職責編集削除時

旧：既にこの職責を使用しているユーザーが存在していますが、削除しますか？

新：既にこの職責を使用しているユーザー・要員が存在していますが、削除しますか？

(66) 以下の画面の以下の項目に初期データを追加しました。

①

【対象画面】

- ・承認フロールート新規登録

【対象項目】

- ・タイトル

【追加内容】

- ・申請
- ・承認
- ・確認
- ・作業

②

【対象画面】

- ・システム別スケジュール画面

【対象項目】

- ・予定

【追加内容】

- ・その他

③

【対象画面】

- ・ノード別スケジュール画面
- ・アカウント別スケジュール画面

【対象項目】

- ・利用区分

【追加内容】

- ・その他

(67) 以下の画面の以下の項目にデータが表示されない不具合を修正しました。

【対象画面】

- ・種別データ設定

【対象項目】

- ・登録日時
- ・最終更新日時

(68) 条件設定詳細画面で下記項目が未指定でかつ「以外」が設定された場合は「以外」を非表示とする修正を行いました。

【対象項目】

- ・サブステータス
- ・問合せ状況
- ・申請状況
- ・フロータイトル

(69) 制御情報に以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

編集ボタン（不活性）のアイコン画像

合わせて、制御情報の以下の管理項目の説明文を変更しました。

【管理項目名】

編集ボタン（活性）のアイコン画像

(70) 制御情報の以下の管理項目の説明文を変更しました。

【管理項目名】

必須指定項目の初期表示方法 ※管理者メニュー配下の画面は上記設定に従いません。

(71) 制御情報「セッション維持機能利用時のログアウト制御設定」を「ログアウト制御を行う」に

している場合に特定の操作からアクセス URL 経由で画面を表示した際、1 つ前に開いた SM のメイン画面に対して画面遷移が行なわれることにより、強制ログアウト状態になってしまう不具合を修正しました。

- (72) コードマスタ管理のシステム別件数一覧帳票にて、プロセス管理の「接続先名」又は「ブック名」の場合、出力結果の件数が倍の値で出力される不具合を修正しました。
- (73) SSMDDB サーバーコンフィグレータの DB 接続設定のセキュリティを強化しました。
- (74) SSMWEB サーバーコンフィグレータの DB 接続設定のセキュリティを強化しました。
- (75) 複数 WEB サーバーを利用しているユーザーにおいて、片方の WEB サーバーを再起動すると、再起動を行っていない WEB サーバー側で作成されている一時データに影響が出る不具合を修正しました。
- (76) エンドユーザー用のホーム画面に表示される問合せ・申請ブロックの「ステータス」項目の名称を「問合せ/申請状況」に変更しました。
- (77) コード登録コマンドにてコードを登録する際、上限値の判定に誤りがあり、登録可能な有効コード数未満であるにも関わらず登録できない場合がある不具合を修正しました。
- (78) 以下の項目が申請状況通知コマンドと自動メール通知コマンドからメール送信する際に管理項目「時刻表示フォーマットの設定」にかかわらず"時分秒"のフォーマットにて送信されていた不具合を修正しました。
【対象項目】
 - ・クローズ期限時刻
 - ・対応予定時刻 1～5
 - ・起票時刻
 - ・最終更新時刻
 - ・開始予定時刻
 - ・終了予定時刻
 - ・承認申請時刻
 - ・メール通知基準時刻
 - ・スケジュール設定開始時刻
 - ・スケジュール設定終了時刻
 - ・現在時刻
- (79) 自動メール通知機能を使用している場合にインシデントを一度クローズし、コマンドでクローズ解除を行った際に指定時間経過時に通知メールが送信されない不具合を修正しました。
- (80) データ削除コマンドにて画面 ID に数値以外の値を指定した場合、ログ出力が不適切となる不具合を修正しました。
- (81) マスタ登録コマンドにて、マッピングアイテムファイル指定ありで承認フロールートを更新する際、ルート数を短くする更新を行った場合(例：ルート数 5→3 へ更新)に、本来削除されるべきルート No(例：No.4 と 5)が削除されずに残ってしまう不具合を修正しました。
- (82) 簡易起票したレコードに対して、データ登録コマンドから更新を行うと、該当簡易起票レコードがサービスデスク画面起票レコードになる不具合を修正しました。
- (83) 自動メール通知機能を使用している場合に一度クローズし、クローズ解除を行った場合に指定時間経過時に通知メールが送信されない不具合を修正しました。
- (84) マスタ登録コマンドを使用して承認フロールートマスタを登録時に、承認者または通知先に同じユーザーが重複して指定された場合に、同じユーザーが複数登録される不具合を修正しました。

た。

- (85) データ登録コマンドを使用してユーザーを登録時に以下の項目に同じデータが重複して指定された場合に、登録エラーとなり登録が行えない不具合を修正しました。
- ・ 職責
 - ・ グループ
 - ・ 代理承認者
 - ・ チーム×役割
- (86) 会社マスタのインポートファイルに対象会社名が存在しない会社を指定し、且つマッピングアイテムファイルを指定した際に、更新モードで会社マスタ登録コマンドを実行すると正常に終了しますがデータが登録されていない不具合を修正しました。
- (87) マスタ登録コマンドで承認フロールートマスタの登録に、「ルート 2」区分が申請者指定、[ルート 2]承認者選択が ON 指定する場合、異常終了したが、エラーメッセージとコマンド終了メッセージが出力されない不具合を修正しました。
- (88) データ削除コマンドにて、画面 ID に数値以外の値を指定した場合、ログ出力不適切の不具合を修正しました。
- (89) コード登録コマンドにてコード登録時に上限値チェック処理が不正に動作する不具合の対応コード登録コマンドにてコードを登録する際、該当コード種別の登録可能な有効コード件数を超えていなくても、インポートファイルの最後のレコードのコード種別の登録可能な有効コード件数を超えた場合、上限値エラーとなる不具合を修正しました。
- (90) データ移行コマンドにて移行対象であるべきシーケンスが移行対象となっていない不具合を修正しました。
- (91) 変更予定あり、かつ、最新と現在の構成 ID またはシステム ID が異なる場合、該当構成アイテムに対してデータ登録コマンドで変更反映が実行できなくなる不具合を修正しました。
- (92) データ登録コマンドにて複数件 CI レコードを登録する際、1 件目のレコードに不正値が存在した場合、CI レコードは登録されるが全ての関連項目が登録されない不具合を修正しました。
- (93) マッピングアイテムファイルに指定した項目数とインポートファイルに指定した項目の数が不一致の場合、データ登録処理が正常終了する(エラーが出力されず、DB にも登録されてしまう)不具合を修正しました。
- (94) データ登録時コマンドでユーザーのメールアドレスを更新後、ユーザーの帳票を出力した際、重複したユーザーが出力される不具合を修正しました。
- (95) 自動メール通知コマンドにて削除した構成管理がメールで正しく出力されない不具合を修正しました。
- (96) データ登録コマンドから構成アイテム管理 (ID 管理) を登録・更新する際に他の項目指定不備によって警告終了した場合、関連構成アイテム項目は正しく指定されていても、更新されない不具合を修正しました。上記対応により、データ登録コマンドで構成アイテム管理 (ID) を登録・更新する際に他の項目指定不備により警告が出た場合においても関連構成アイテム項目が正しく指定されていれば、関連構成アイテムは登録・更新されるようになります。
- (97) Senju/EN 連携もしくはデータ登録コマンドで「インシデント」など旧クラス名で指定した場合、データ登録が異常終了になる不具合を修正しました。
- (98) Senju/EN からのメール取込所要時間の性能を改善しました。
- (99) Senju/EN からのメール取込において取込対象の文字列がラージテキストの入力最大桁数

128000 文字を超え、かつ文字列内にエスケープ対象文字「\」が含まれる場合、イベント受信連携デモンが異常終了し、メール取込が行われない不具合を修正しました。

- (100) 関連構成に指定した構成アイテムが現在構成を持っていない場合、変更反映ができてしまう不具合を修正しました。予定起票に変更反映を指定して構成管理を更新する際は、関連構成に必ず現在構成持つ構成アイテムのみ指定してください。
- (101) EN 連携とデータ登録コマンドからデータ登録・更新する際に、グループで設定する項目について、各項目に設定した値の数が一致するかどうかのチェックを追加しました。
一致した場合、レコードのデータが登録できます。
一致しない場合、エラーを提示し、レコードのデータが登録されません。
グループで設定する項目は具体的に以下項目を示します。
- プロセス項目
 - 関連構成 1～4
 - イベント項目
 - 関連構成 1～4
 - 構成管理：
 - 関連構成
 - 関連構成 2A～2E
 - 関連機器
 - 接続先機器
 - 接続先機器 2
 - ユーザー
 - システムと職責
 - チームと役割
 - 要員
 - システムと職責
- (102) Senju/EN 連携またはデータ登録コマンドから構成管理登録・更新する際に、関連構成と接続先機器の登録可能な構成アイテムの最大件数のチェック不備を修正しました。
- (103) データ登録コマンドで構成管理を登録・更新する際に関連機器、関連構成項目に自身のレコードを指定した場合、自身のレコードが登録されてしまう不具合を修正しました。上記対応により関連機器、関連構成項目に自身のレコードを指定した場合、エラーになります。
- (104) データ登録コマンドの関連項目に指定したアイテムの存在チェックの基準として、最新の構成アイテム ID、システム名が使用されている不具合を修正しました。データ登録コマンドで構成管理の関連項目を指定する際に、関連先が現在構成持つ場合は現在構成の構成アイテム ID とシステム名を指定してください。関連先が現在構成持てない場合のみ、最新構成の構成アイテム ID とシステム名を指定してください。
- (105) マスタ登録コマンドでグループマスタを登録・更新する時、グループ内公開に不正な値を指定しても、正常終了する不具合を修正しました。上記対応によりマスタ登録コマンドでグループマスタを登録・更新する際にグループ内公開に不正な値を指定された場合は、警告終了になります。
- (106) データ出力コマンドにおいて、マッピングアイテムファイルを用いて SSA 連携申請情報を出力する際、検索条件に「運用日付(From)」「運用日付(To)」が使用できない不具合を修正しました。
- (107) Senju/SM 2014.0.0.0 以前のバージョンからバージョンアップした環境で、データ移行コマンドを実行した場合にデータの移行に失敗することがある不具合を修正しました。
- (108) 画面からコマンド実行時、何のログも出力せずに、「コマンド登録用ファイルを取得失敗しました」になる不具合を修正しました。

1.17.3 前バージョンからの変更点

- (1) 以下の条件で Senju Service Manager にログインした場合に表示されるメッセージを変更しました。

【条件】

 - ・エラー等の発生によりブラウザが強制終了した。
 - ・前回終了時にログアウトボタンからログアウトが行われていない。
 - ・ログインしようとしているユーザーID で別の端末から既に Senju Service Manager にログイン中である。
- (2) システムログ (%CCFSPWEBHOME%log\sjSPB_System.log) および DB トレースログ (%CCFSPWEBHOME%log\sjSPB_DBTrace.log) の出力フォーマットを変更しました。
 ※出力の冒頭「[出力日時] SSM WEB サーバーのホスト名」（出力例：[Jan 01 12:00:00.00 2015] hostname INFO）については変更はありません。
- (3) Senju Service Manager のアプリケーション起動時（※）に出力されるログの内容を変更しました。
 ※アプリケーション起動処理は IIS 再起動後、またはアプリケーションプールのリサイクル後、Web 画面を表示した場合に実行されます。
- (4) IIS 再起動後の初回アクセス時に、ログインできなくなる不具合を修正いたしました。
 また、IIS の再起動により Oracle が起動準備状態である場合やエラーが発生した場合にメッセージが表示されるように修正しました。
- (5) XML ロードエラーが発生する動作箇所においてリトライ処理を加えました。本対応によって同エラーの発生頻度が軽減される可能性があります。
- (6) 以下の画面の以下の項目の登録最大桁数を拡張しました。拡張に合わせ、各項目の値の入力欄の幅を伸ばしました。

【対象項目】

 - ・接続先名(コードマスタ)
 - ・接続先名(ESP 用)
 - ・ジョブ定義の千手連携アダプタのドメイン名
 - ・システム名
 - ・フレーム名
 - ・ネット名
 - ・ジョブ名

【対象画面】

 - ・コードマスタ新規登録/編集画面
 - ・業務グループ定義新規登録/編集画面
 - ・業務グループ起動時刻変更ジョブ詳細画面
 - ・フレーム・ネット・ジョブスキップ/解除詳細画面
 - ・フレーム・ネット・ジョブスキップ/解除新規登録/編集画面
 - ・フレーム・ネット・ジョブ一時停止詳細画面
 - ・フレーム・ネット・ジョブ一時停止新規登録/編集画面
 - ・ネット・ジョブ起動時刻変更詳細画面
 - ・ネット・ジョブ起動時刻変更新規登録/編集画面
 - ・ノード選択ダイアログ画面
 - ・プロセス新規登録/編集/経過追加編集画面
 - ・簡易プロセス新規登録/編集画面
 - ・ランブック実行新規登録/編集画面
- (7) メールの送信に失敗した場合に、メール本文をシステムログ (sjSPB_System.log) に出力する

処理を廃止しました。

- (8) フロールートタイトルには最新の状態の承認フロー管理に設定された承認フロールートのタイトルを表示するよう変更しました。

あわせて、フロータイトル検索条件項目の候補の初期表示内容を設定する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

フロータイトル検索条件項目候補設定

- (9) SSA の印刷機能より出力した帳票の時刻を hh:mm 形式で出力していましたが、hhmm 形式で出力されるように変更しました。

- (10) 1 レコードで申請可能な SSA の申請数を 30 件に拡張しました。

申請数を拡張した SSA 項目は以下の通りです。

【対象項目】

- ・一時停止
- ・スキップ／解除
- ・ランブック実行
- ・コマンド実行
- ・起動時刻変更
- ・業務グループ起動時刻変更

拡張により、SSA の印刷機能から帳票を出力した際、A4 に収まらなくなった場合は、ページをまたいで印刷されます。

- (11) 2016 へのバージョンアップ以前に下記画面の下記項目を非表示項目としていた場合、2016 バージョンアップ以降に表示項目とすると項目の高さが 27 p x から 54px となります。

【対象項目】

添付ファイル 1~4

(経過情報)添付ファイル

【対象画面】

- ・プロセス管理
 - ↳ プロセス (プロセス編集・詳細)
- ・問合せ・申請
 - ↳ 簡易プロセス (簡易プロセス編集・詳細)

【対象項目】

添付ファイル

【対象画面】

- ・構成管理
 - ↳ 構成管理 (構成アイテム編集・詳細)
 - ↳ 構成アイテム (構成アイテム管理編集・詳細)

- (12) 表示順の入力値が最大桁数に達していない場合、0 埋めで登録するように表示順の登録方式を変更しました。

上記の対応により 2016 へのバージョンアップ以前に下記画面で表示順を設定していた場合、2016 バージョンアップ以降に表示順の設定が既存のものと異なり表示される場合があります。お手数ですが、既存と同様の表示順の設定内容にて表示を行いたい場合は表示順の見直しをお願いいたします。

【対象画面】

- ・チームマスタ管理
- ・役割マスタ管理
- ・ランブックテンプレート管理

- (13) 2016 より PC 版と同様の画面をスマートフォンから閲覧できるようになりました。

上記対応によりスマートフォン版が廃止となり、廃止に伴いスマートフォン版マニュアル及びス

スマートフォン版の設定等が削除されました。「管理者メニュー>機能別>メールテンプレート>メールテンプレート(自動送信)」でテンプレートにスマートフォン用アクセス URL「%PRC:PHN_ACCESS_URL%」を使用している場合は、お手数ですがテンプレートから該当項目を削除してください。

(14)承認、却下、差戻し時に次ルート対応者が無効ユーザーの場合、メール送信のチェックが ON となってもメール送信を行わないように仕様を変更しました。

(15)2014 ではファイルのバックアップおよびリストアを行う際、該当フォルダをコピーして上書きをする手順を行っていましたが、2016 からコマンドプロンプトからコマンドにてファイルのバックアップおよびリストアを行う手順に変更しました。

(16)ボタンの表示幅（余白）を 2014 より広くなるように変更しました。

(17)件数表示の文字を細字から太字表示に変更しました。

(18)以下の画面で表示されていたアイコンを新規のアイコンに変更しました。

【対象画面及びアイコン】

- ・共通：詳細アイコン
- ・プロセス詳細(経過ブロック)：イベントに戻すアイコン
- ・ユーザー週別スケジュール：月別アイコン

(19)以下の画面で表示されていたボタンをアイコン表示に変更しました。

※ボタンをアイコン表示にしたことにより、ボタン表示時よりも表等の表示場所の幅が狭くなりました。

【対象画面及びボタン】

- ・共通：編集ボタン
- ・システム選択ダイアログ：表示ボタン
- ・ユーザ選択ダイアログ：検索ボタン、クリアボタン
- ・イベント一覧：削除ボタン
- ・経過ブロック表示画面：経過一覧ボタン
- ・イベント詳細、プロセス新規登録/編集：関連プロセス一覧ボタン
- ・プロセス新規登録/編集：申請内容一覧ボタン、会社組織選択ボタン
- ・ユーザー選択ボタン、キャンセルボタン
- ・関連プロセス選択ボタン、問合せ元 ID の検索ボタン
- ・プロセス新規登録：登録ボタン
- ・プロセス編集：更新ボタン、対応一覧ボタン、クローズボタン、クローズ解除ボタン
- ・メール送信ボタン、関連登録ボタン、ナレッジ申請ボタン、帳票出力ボタン
- ・イベントに戻すボタン、削除ボタン、編集ボタン、コピー登録ボタン
- ・最新の情報に更新ボタン、再適用ボタン、閉じるボタン、経過の追加ボタン
- ・経過の経過一覧ボタン、確認情報の確認一覧ボタン、確認情報の追加ボタン
- ・承認申請ボタン、申請取消ボタン、承認ボタン、却下ボタン、差戻しボタン
- ・再申請ボタン、再承認ボタン、代理承認ボタン、代理却下ボタン
- ・代理差戻しボタン、代理再申請ボタン、代理再承認ボタン
- ・簡易プロセス(問合せ元 ID1、問合せ元 ID2)：検索ボタン
- ・プロセス経過追加編集：経過の経過一覧ボタン、経過の登録ボタン、経過の更新ボタン
- ・経過のキャンセルボタン
- ・対応一覧：表示切替ボタン
- ・関連選択：選択済一覧の削除ボタン
- ・会社組織選択：選択ボタン
- ・問合せ元情報選択：選択ボタン
- ・ユーザー選択ダイアログ、要員選択ダイアログ：検索ボタン、クリアボタン
- ・承認フロールート選択ダイアログ、分析レポート条件選択ダイアログ、
- ・チェックリスト選択ダイアログ、チェックリスト条件選択ダイアログ、
- ・自動メール通知ルート選択ダイアログ、自動メール通知条件選択ダイアログ、

会社組織選択ダイアログ：選択ボタン

- ・分析レポート一覧、分析レポート条件設定一覧、SLAM チャート抽出条件設定一覧
- チェックリスト適用設定一覧、チェックリスト条件設定一覧、チェックリスト設定一覧
- 自動メール通知ルート設定一覧、自動メール通知条件設定一覧、
- 自動メール通知適用設定一覧：詳細ボタン
- ・診断対象選択ダイアログ、診断対象参照ダイアログ：詳細ボタン

(20)各画面の添付ファイル項目の削除アイコンを添付ファイル添付時に添付ファイル項目に表示される削除アイコンに変更しました。あわせて、添付ファイルを削除する方法を該当ファイルの横に表示されるアイコンを押下すると削除される仕様に変更しました。

(21)カレンダー表示アイコン押下時に表示されるカレンダー画面の表示サイズを変更しました。

(22)各画面の画面名や項目名、説明文等で表示されていた「・」の表示を「/」の表示に変更しました。

(23)画面遷移時に以下のメッセージが表示されるように変更しました。

- ・処理中です
- しばらくお待ちください

(24)各画面から表示される以下のダイアログ画面の画面サイズを変更しました。

【対象ダイアログ画面】

- ・システム選択ダイアログ
- ・グループ選択ダイアログ
- ・ユーザー選択ダイアログ
- ・外部リンク新規登録ダイアログ
- ・外部リンク編集ダイアログ
- ・リスト選択ダイアログ
- ・コマンド実行新規登録ダイアログ
- ・添付ファイル追加ダイアログ
- ・表示順変更ダイアログ
- ・チーム・役割選択ダイアログ
- ・ユーザー選択ダイアログ
- ・グループ選択ダイアログ
- ・要員選択ダイアログ
- ・サブメニュー並替えダイアログ
- ・サブメニュー新規登録、編集ダイアログ
- ・入力文字制御新規登録、編集ダイアログ
- ・インポートファイル指定ダイアログ
- ・自動メール通知適用設定詳細新規登録、編集ダイアログ
- ・リスト選択ダイアログ
- ・時間指定ダイアログ
- ・リスト複数選択ダイアログ
- ・検索条件編集ダイアログ
- ・帳票選択ダイアログ
- ・登録先選択ダイアログ

(25)各画面に表示されている範囲を示す「～」の表示を「-」の表示に変更しました。

(26)各画面に表示されているテキスト項目のテキスト及びコンボボックス項目のコンボボックスの表示幅を変更しました。

(27)ユーザー月別スケジュール画面のボタン表示を1行表示としていましたが、2行表示に変更しました。（「最新の情報に更新」ボタンと「新規登録」ボタン、「閉じる」ボタンを1行目に、「時間表示/時間非表示」のボタンと表示月変更ボタンを2行目に表示へ変更しました。）

(28)以下の画面の凡例を表記する際に凡例と凡例の間にスペースを表示していましたが、削除しました。

【対象画面】

- ・ユーザー日別スケジュール
- ・ユーザー週別スケジュール

(29)各画面のリストボックスにて、マウスカーソルをのせると対象項目の全文字がツールチップで表示されるように変更しました。

(30)以下の画面の検索条件にシステム項目と画面名項目を追加しました。

【対象画面】

- ・ユーザー月別スケジュール
- ・ユーザー日別スケジュール

(31)以下の画面にメール送信項目を追加しました。本項目はプロセス画面の「承認フロー追加通知先」の値が引き継がれます。

【対象画面】

- ・申請ルート選択ダイアログ
- ・承認フロー承認ダイアログ
- ・承認フロー却下ダイアログ
- ・承認フロー差戻しダイアログ

(32)各画面に表示されている区切り文字を全角のコロン(：)から半角のコロン(:)に変更しました。

(33)各画面に表示されている括弧を全角の括弧から半角の括弧に変更しました。

(34)ユーザー詳細ダイアログにスクロールバーが表示されるように変更しました。

(35)各画面の添付ファイル項目の項目の高さを変更しました。

(36)2016バージョンからはSSMWEBホスト登録コマンドを実施することにより、以下の機能が使用可能となります。

※SSMWEBホスト登録コマンドはインストールやアップデート等の際に必ず実施してください。

【対象機能】

- ・サービスデスク画面レイアウト
- ・簡易画面レイアウト
- ・関連登録コピー定義
- ・コピー登録定義

また上記機能を使用するにあたり、Senju Service Managerのネットワーク要件が一部追加されております。

(37)プロセス及び簡易プロセスの詳細画面の「承認フロー追加通知先」項目に値が入力済且つ非表示の場合、承認フロー画面の「メール送信」項目に表示されるメッセージを以下のとおり変更しました。

旧：承認フロー追加通知先が非表示に設定されているため表示できません

新：データが存在しますが、非表示に設定されたため参照できません

(38)2016.0.0にアップデート後、プロセス、簡易プロセス、ナレッジの詳細画面に[申請取消]ボタンが表示され、申請取消機能が使用可能となります。

(39)2016.0.0にアップデート後、承認申請前及び承認申請却下時にクローズを行った際に警告メッセージが表示されるように変更しました。

- (40)業務グループ起動時刻変更の再変更実施を行った後、連携ステータス(業務グループ)が「依頼待ち」の際は[キャンセル]ボタンが押下可能となりました。
- (41)承認フローで本来承認者の該当システム権限がないと代理承認が出来ない仕様を本来承認者の該当システム権限がなくても代理承認を可能とするよう修正しました。
- (42)申請中のレコードの現在対応者ではない場合、[イベント戻す]/[追加]/[送信+経過追加]ボタン及び[編集]/[削除]アイコンが非活性となり、上記作業が実施できないよう変更しました。
- (43)承認フロー完了通知先の拡張に伴い、以下の機能を追加・変更しました。
- 【追加内容】
- ・承認フロールートが進行した際に、プロセス管理画面にて指定した任意のアドレスへメールを送信できる機能を追加しました。
 - ・承認フローダイアログに「メール送信」チェックボックス項目を追加しました。
- 【変更内容】
- ・プロセス管理画面の以下のラベル名称を変更しました。
旧：承認フロー完了通知先
新：承認フロー追加通知先
 - ・承認フロー完了時以外のアクションでも設定先にメール送信を行えるように機能を変更しました。
 - ・承認フローダイアログの「メール送信」チェックボックスにて、アクション毎にメール送信を行うか否かを選択できるよう変更しました。
- (44)SSA ダイアログで登録/更新、またはプロセス/簡易プロセス承認申請時、SSA 項目に対する重複チェックを追加しました。
下記 SSA 項目に対して、重複チェックを追加します。
- 【対象項目】
- ・フレーム・ネット・ジョブスキップ指定
 - ・フレーム・ネット・ジョブスキップ解除
 - ・フレーム・ネット・ジョブ一時停止
- (45)一時停止解除実施依頼時に一時停止解除実施依頼メール送信対象者が無効ユーザーの場合、そのユーザーにはメールを送信しないように仕様を変更しました。
- (46)承認申請中に社外申請者情報ブロック内に編集可能項目が 1 つ以上あった場合、以下の操作が可能となりました。
- ・[会社組織選択]ボタンを押下し、会社組織選択ダイアログからデータを反映する。
 - ・[ユーザー選択]ボタンを押下し、ユーザー選択ダイアログからデータを反映する。
- (47)簡易プロセス画面からの問合せに対して回答する際、回答先が無効または削除されている場合にも回答を行えるようになりました。
- (48)メールテンプレート選択ダイアログのテンプレートを最終更新日時順で表示されるように仕様を変更しました。
- (49)制御情報にて、「チェックリスト自動適用の利用設定」を"利用する"に設定した場合、再適用ボタンからチェックリストを再適用できるように変更しました。
- (50)プロセス新規登録時のシステムの選択可能件数を 50 件から 1 件に変更しました。
合わせて、プロセス新規登録画面のシステム項目の選択ボタンから表示されるシステム選択ダイアログの説明文から「(最大 50 件が選択可能です)」の記載を削除しました。
- (51)プロセス新規登録時及び編集時、参考 URL 項目に以下の文字列から始まる文字のみとする入力制限を追加しました。
- 【登録可能文字列】

- ・ http://
- ・ https://
- ・ mailto:
- ・ ftp://
- ・ ftps://
- ・ sftp://
- ・ \\
- ・ file://
- ・ smb://

(52)全プロセス画面に対してイベント戻し可能な職責を追加することにより、プロセス画面の経過に追加したイベントを戻すことができる機能を追加しました。

(53)イベント一覧の画面レイアウトを変更しました。変更内容の詳細は以下の通りです。

- ・「削除対象としてすべて選択」ボタン、「削除対象をすべて解除」ボタン、「一括処理」ボタン、一覧の削除列を削除
- ・イベント一覧の先頭列にチェックボックス列を追加(見出し項目部分の全選択、全解除アイコンクリックで指定可能)
- ・イベント一覧の表示件数の後ろに「一括経過追加」ボタン、「一括削除」ボタンを追加
- ・画面上部の説明文の内容を変更

(54)イベント詳細画面の「既存プロセス経過追加」ボタンをクリックした際に表示される対象選択ダイアログの検索条件を変更しました。変更内容の詳細は以下の通りです。

- ・プロセス一覧にて登録した検索条件を選択できるように、検索条件項目を追加
- ・制御情報設定にて、「イベントの振分先選択制御設定」を"任意"に設定した場合、振分先の選択画面名をプロセス 1 以外も選択可能に変更

(55)イベント詳細画面の「新規プロセス登録」ボタンをクリックした際に振分先を選択できる画面を追加しました。

※ただし、制御情報設定にて、「イベントの振分先選択制御設定」を"任意"に設定した場合に限ります。

(56)簡易プロセス画面から承認申請を行う際、承認申請画面で各ルートの「承認者」として展開されるユーザーの抽出条件に以下を追加しました。同様の条件追加を「通知先」のデフォルト通知ユーザーにも適用します。

【追加条件】

- ・画面ポリシーをチェックする
- ・職責をチェックする
- サービスデスクユーザーの場合は、サービスデスクユーザーの職責を参照
- エンドユーザーの場合は、エンドユーザーの職責を参照
- ・管理項目名「公開グループによるエンドユーザー承認者の絞り込み設定」が「公開グループに所属したエンドユーザーのみを対象とする」設定の場合公開グループをチェックする

上記に伴い以下の管理項目を変更しました。

【管理項目名】

旧：公開グループによるエンドユーザー承認者の絞り込み設定
 新：公開グループによる承認者の絞り込み設定

※簡易プロセスを申請画面として利用する場合のみ、有効な設定です。

(57)簡易プロセス一覧画面の以下の検索条件項目を AND・OR 検索できるように変更しました。

【対象項目】

- ・タイトル
- ・起票者

- (58)簡易プロセス一覧画面の検索条件に詳細条件表示ボタンを追加しました。
この対応により簡易プロセスでもプロセス管理と同様に詳細条件項目による検索を行うことができます。
- (59)簡易プロセス一覧画面の検索条件項目に表示されているシステム項目が複数選択可能となったため、システム選択ダイアログの説明文を以下のとおり変更しました。
また、システムの登録最大選択可能件数を 300 件に変更しました。
旧：選択元リストの値を選択し、移動ボタンをクリックすると、選択済みリストに追加することができます
また、選択済みリストの値を選択し、移動ボタンをクリックすると、選択元リストから削除することができます
選択元リスト内のテキスト入力エリアに入力し、表示ボタンをクリックすると、入力した値を含む一覧がリストに表示されます
新：選択元リストの値を選択し、移動ボタンをクリックすると、選択済みリストに追加することができます
また、選択済みリストの値を選択し、移動ボタンをクリックすると、選択元リストから削除することができます
選択元リスト内のテキスト入力エリアに入力し、表示ボタンをクリックすると、入力した値を含む一覧がリストに表示されます
(最大 300 件が選択可能です)
- (60)簡易プロセス一覧画面の検索条件項目に表示されている起票者項目等のユーザー選択項目の選択アイコンから表示されるユーザー選択ダイアログ画面の表示順項目のコンボボックスの幅を変更しました。
- (61)構成アイテム（構成管理）の「申請箇所チェック」ボタンまたは「変更箇所チェック」ボタンを押下した際に、以下の項目をチェック対象外とするよう変更しました。
以下の項目が変更の対象となります。
【対象項目】
・ 接続機器 1～2
・ 使用済アンペア 1～2
・ 使用済口数 1～2
以下の画面が変更の対象となります。
【対象画面】
構成管理
 └構成管理（構成アイテム詳細・編集）
- (62)構成アイテム（構成管理）の以下の項目の選択可能上限数を変更しました。
【対象項目】
・ 関連構成
・ 関連構成 2A～2E
【対象画面】
構成管理
 └構成管理（構成アイテム編集）
【選択可能上限数】
旧：200
新：10,000
- (63)要員管理新規登録、編集画面の備考項目の高さを変更しました。
- (64)構成アイテム月別スケジュールダイアログのボタン表示を 1 行表示から 2 行表示に変更し、1 行目に最新の情報に更新と新規登録ボタン、閉じるボタンを表示、2 行目に時間表示/非表示ボタンを表示に変更しました。

- (65)ナレッジの承認申請ボタンや承認ボタンなどの承認フロー系のボタンについて、職責に「データの非公開参照」権限がある場合のみ表示するように変更しました。
- (66)ナレッジの各画面の詳細に申請取消ボタンを追加しました。ただし本機能は申請状況が申請中の場合のみ表示されます。

(67)プロセス分析画面の画面下部の空白を追加しました。

(68)SLAM チャート画面を追加し、画面数を 20 件から 50 件に変更しました。

(69)SSM DB コンフィグレータで設定していた以下の項目を WEB 画面から設定するよう変更しました。

尚、WEB 画面ではシステム毎に設定が可能となりました。

【対象設定】

- ・ SSA 連携申請時運用日付制御設定
- ・ SSA 連携申請時のリミット日時制御設定
- ・ SSA 連携承認時のリミット日時制御設定
- ・ 業務グループ起動時刻変更申請時の運用日付制御設定
- ・ 業務グループ起動時刻変更申請時の制限時間設定
- ・ 業務グループ起動時刻変更承認時の制限時間設定
- ・ 業務グループ起動時刻変更リミット日時初期値
- ・ 業務グループの最大延長時刻+相対時刻の制限時刻
- ・ 業務グループ起動時刻変更の運用日付指定可能日数
- ・ 業務グループ起動時刻変更の前倒し時刻の入力制御設定

(70)フレーム・ネット・ジョブ申請一覧に画面の自動更新をする・しないを選択するチェックボックスを追加し、自動的に画面の更新を行うことができるように変更しました。

(71)フレーム・ネット・ジョブ申請一覧に以下の検索条件項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・ 起動予定時刻
- ・ 解除予定日時
- ・ 最終更新日時
- ・ 業務グループ
- ・ リミット日時

(72)フレーム・ネット・ジョブ申請一覧に以下の検索結果一覧項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・ 業務グループ
- ・ 起動予定時刻

(73)管理者メニューの以下の項目の入力最大桁数を変更しました。

【対象項目】

コード名

【対象画面】

管理者メニュー

└マスタ

└コード (コードマスタ編集)

【入力最大桁数】

旧:30

新:80

(74)管理者メニューの以下の項目の入力最大桁数を変更しました。

【対象項目】

分類名

【対象画面】

管理者メニュー

└マスタ

└分類（分類マスタ編集）

【入力最大桁数】

旧:30

新:80

(75)コンボボックス登録上限値拡張に伴い、以下の変更を行いました。

- ・コードの登録可能上限値を 1000（有効＋無効）から 20000（有効＋無効）に拡張しました。
- ・リスト選択ダイアログで以下の項目のコードの色を表示するように修正しました。

【対象項目】

- ・コンボボックス 1～20
- ・種別設定元コンボボックス 1～10
- ・ブロック制御コンボボックス 1～3
- ・選択元リストの件数が 501 件以上の場合のコンボボックスのレイアウトを修正。
- ・選択元リストの件数が 501 件以上の場合、該当項目のリスト選択ダイアログのレイアウトを修正。

【対象項目】

- ・コンボボックス 1～20
- ・種別設定元コンボボックス 1～10
- ・ブロック制御コンボボックス 1～3

【対象画面】

- ・プロセス/簡易プロセス新規登録/編集
- ・分析レポート条件設定新規登録/編集
- ・SLAM チャート抽出条件設定新規登録/編集
- ・チェックリスト条件設定新規登録/編集
- ・チェックリスト診断パターン新規登録/編集

【対象項目】

- ・コンボボックス 1～20

【対象画面】

- ・プロセス一覧検索条件
- ・関連検索・プロセス一覧検索条件

【対象項目】

- ・種別設定元コンボボックス 1～10

【対象画面】

- ・種別条件設定新規登録/編集

(76)制御情報の値の更新後、IIS 再起動が必要か否か判別しメッセージを変更して出力する機能を追加しました。

【追加機能】

- ・IIS 再起動が必要な項目はアイコンを表示する
- ・制御情報の値の更新後、再起動が必要な項目が 1 つ以上ある場合は再起動を促すメッセージを出力する

(77)検索条件に無効コードを表示するかどうかを制御する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

各一覧画面で検索条件に無効コード表示有無の制御設定

(78)承認完了時にプロセスの自動クローズを実施するかどうか定義する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

承認完了時プロセス自動クローズ設定

簡易画面起票のレコードをサービスデスク画面でクローズした時に強制的に完了にするかを定義する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

クローズ時の自動完了設定

- (79)ユーザー登録時の「システム・職責」項目は、ユーザーにシステムのみを割り当てることも可能としました。

- (80)制御情報に関連選択ダイアログの初期表示時に初期検索を行うかを設定する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

関連選択ダイアログ(構成アイテム管理)初期検索設定

- (81)メール編集画面の差出人項目の選択コンボボックスに表示される固定文言表示非表示を選択できるように変更しました。

旧：ユーザー名(メールアドレス 1)<mailaddress>

新：ユーザー名(メールアドレス 1)<mailaddress>

ユーザー名<mailaddress>

※どちらの表示にするか制御情報にて選択可能

上記に伴いメール編集画面の差出人項目の選択コンボボックスに固定文言を表示するか否かを設定する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

メール送信時の送信者固定文言表示切替

- (82)クローズしたプロセスレコードをシステムスケジュールで表示するかを設定する以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

クローズ案件のシステムスケジュール表示設定

- (83)以下ダイアログ画面に連携ステータス(個別)変更用のステータス変更ボタンを追加しました。

【対象画面】

フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除詳細

フレーム・ネット・ジョブ一時停止詳細

業務グループ起動時刻変更ジョブ詳細

- (84)以下の管理項目の管理項目値及び説明文を変更しました。

【管理項目名】

SSA フレーム・ネット・ジョブ検索結果反映項目の入力制御設定

- (85)以下の画面に表示されていた以下の項目名を変更しました。

【対象画面】

・ユーザーマスタ新規登録/編集

・ユーザー詳細

・要員新規登録/編集/詳細

・ユーザー情報編集

【対象項目】

旧：職責

新：システム×職責

- (86)制御情報の「承認時メール送信先の必須制御設定」を以下の通りに変更し、選択肢の修正および追加を行いました。

追加された値は、メール送信先、または、通知先に1件以上選択がされていることをチェックします。

また既存の値は、チェックの内容が変わらないように文言のみを修正しました。

【管理項目名】

承認時メール送信先の必須制御設定

(87)SSM DB サーバーコンフィグレータの制御情報で以下の管理項目を変更しました。

【管理項目名】

旧:安全設計集計方式設定

新:構成管理－安全設計集計方式設定

【初期値】

旧:1：安全設計で集計しない

新:2：安全設計で集計する

(88)制御情報の以下の管理項目の内容を変更しました。

【管理項目名】

分類初期表示可能件数(件)

【上限値】

旧:-

新:300

(89)制御情報の以下の管理項目の設定値を変更しました。

【管理項目名】

チーム登録可能最大件数(件)

【最大値】

旧:500

新:1000

(90)レイアウト定義画面でプロセス管理画面に問題管理テンプレートを適用した際、検索条件項目「フリーワード」の項目の高さを 81 p x から 54 p x に変更しました。

(91)画面ポリシーの登録可能最大件数を 100 件から 500 件に変更しました。

(92)分類の 1 システム 1 分類配下の登録可能最大件数を 100 件から 300 件に変更しました。

分類の 1 分類種別 1 システム配下の登録可能最大件数を 5000 件から 10000 件に変更しました。

(93)チェックリスト抽出条件設定の登録可能最大件数を 2000 件から 10000 件に変更しました。

チェックリスト設定の登録可能最大件数を 1000 件から 5000 件に変更しました。

(94)関連登録コピー定義では、テキスト項目とテキストエリア項目を明確に分けていましたが、

2016 より、親データのテキスト項目とテキストエリア項目を統合し、「テキスト」項目とするように変更しました。

今まで設定できなかった 4000 バイト項目から 100 バイト項目などへのコピーについても、コピー先の登録バイト数までがコピーされます。

(95)2014 で「SSM WEB コンフィグレーション > 拡張設定 > サービスデスク画面 > 詳細画面設定 (入力制御の設定)」にて一括して変更を行いたい行を選択して、[選択部分一括編集]ボタンをクリックすることにより選択部分の一括編集が可能な機能を削除しました。

(96)以下の画面で[帳票出力]ボタン押下時に出力される CSV ファイルに、以下の項目が出力されるよう修正しました。

【対象画面】

- ・ユーザーマスタ管理画面

【対象項目】

- ・チーム×役割

(97)制御情報の以下の管理項目の初期値を変更しました。

※機能に変更はありません。

【管理項目名】

DB トレースログのファイルサイズ(byte)

【初期値】

旧：1048576

新：5242880

※上記管理項目は編集ができない項目です。2016.0.0 バージョンにて強制的に初期値を変更いたします。

(98)制御情報の以下の管理項目の初期値を変更しました。

※機能に変更はありません。

【管理項目名】

同時接続ユーザータイムアウトまでの時間 (分)

【初期値】

旧：1440

新：60

(99)制御情報の以下の管理項目の初期値を変更しました。

【管理項目名】

構成管理－安全設計集計方式設定

【初期値】

旧：安全設計で集計しない

新：安全設計で集計する

(100) コードマスタ管理画面のコードマスタ編集時に画面上部に表示される説明文を追加しました。

(101) メンテナンスタブを管理者メニューに変更しました。

且つメンテナンスタブ配下のサブメニューの構成を変更し、管理者メニュー画面のタブを以下の構成としました。

※この対応により各画面の遷移方法が変更されました。

旧：

メンテナンスタブ

└ユーザ管理

└システム管理

└画面管理

└申請管理

└メール管理

└分析管理

└SLAM チャート管理

└チェックリスト管理

└種別設定管理

└自動メール通知設定管理

└Senju/SM 間連携管理

└Senju Family 連携管理

新：

管理者メニュー

└制御情報タブ

└画面タブ

└ユーザタブ

└マスタタブ

└機能別タブ

└Senju/SM コマンド実行タブ

(102) コードマスタ編集画面の編集可能コードに連携ステータス及び連携ステータス(個別)を追加

しました。あわせて削除できないコードはコード名項目に初期コード名が表示されるように変更しました。

(103) メンテナンスタブから管理者メニューに構成が変更になった影響により、コードマスター一覧画面の画面名項目の1段目の選択肢をメンテナンスからマスタ及び機能別に変更しました。

(104) 簡易フォーム作成時に配置した項目のラベルや高さ等を変更した場合以外は、プロセスが項目のラベルを変更した場合に変更内容が簡易プロセスに反映されるように変更しました。

(105) 画面ポリシー管理画面に一覧登録ボタンを追加し、画面ポリシーを一括で登録できるように変更しました。

(106) チームユーザー設定画面の画面上部に表示されている説明文の下部に表示されていた空白行を削除しました。

(107) ユーザーマスタ管理画面の検索条件にアカウント区分項目を追加しました。

(108) ユーザーマスター一覧に強制ログアウトボタンを追加し、権限のあるユーザーに限ってはユーザーの強制ログアウトを行えるように変更しました。

(109) ユーザーマスタ新規登録、編集画面の以下の項目の高さを変更しました。

【対象項目名】

- ・所属グループ
- ・業務内容
- ・備考

(110) 以下の画面に以下の項目を追加しました。

【追加項目名】

- ・権限フィルタ
- ・表示順

【対象画面】

- ・ユーザーマスタ新規登録、編集

(111) ユーザーマスタ新規登録、編集画面の職責項目のラベル値をシステム×職責に変更しました。

(112) チーム・役割選択ダイアログの上部に表示される説明文を以下のように変更しました。

旧：(1ユーザーが所属可能な最大チーム数は 500 チームです)

新：(1ユーザーが所属可能な最大チーム・役割の組み合わせ数は 500 件です)

(1ユーザーが所属可能な最大チーム数は 500 件です)

(113) ユーザー選択ダイアログの選択元リストの検索条件項目にグループ項目を追加しました。

(114) ユーザー選択ダイアログの選択元リストのリストの高さを変更しました。

(115) グループ選択ダイアログの画面上部に表示されている説明文の下部に表示されていた空白行を削除しました。

(116) 職責－システム選択ダイアログのダイアログタイトルをシステム×職責選択ダイアログに変更しました。あわせて説明文内に記載していた「職責－システム選択」の記載を「システム×職責選択」に変更しました。

(117) システム×職責選択ダイアログの選択元リストの表示順をシステム項目、職責項目の順に変更しました。

(118) システム×職責選択ダイアログの選択済リストの表示をシステムに対して紐付けられている

職責を表示するように変更しました。

(119) システムユーザー設定画面を以下のとおり変更しました。

- ・画面の遷移方法を管理者メニューのマスタタブ及びシステム配下から遷移に変更
- ・画面名をシステムユーザー設定からシステムユーザー管理に変更
- ・職責一覧の表示方法をシステム、職責を選択後に検索ボタン押下した際に表示されるように変更
- ・システムの変更を可能に変更
- ・職責変更時の職責一覧の表示方法を職責変更後に検索ボタン押下した際に表示表示されるように変更
- ・画面上部に表示されている説明文の下部に表示されていた空白行を削除
- ・システムマスター一覧画面の表示されていたユーザー設定ボタンを削除
- ・システムマスター一覧画面に戻る一覧ボタンを削除

(120) コードマスタ管理画面の検索条件のシステム項目をコード種別選択時は常に選択可能に変更しました。

(121) コードマスタ新規登録、編集時の画面の上部に以下の説明文が表示されるように変更思案した。

【追加説明文】

プロセス管理の下記コード種別の選択可能件数が 500 件を超える場合、プルダウンメニューを用いて選択することはできません。
(必ず選択ダイアログから選択する動作となります。)

- サブステータス
- コンボボックス 1～コンボボックス 20
- 種別設定元コンボボックス 1～種別設定元コンボボックス 10
- ブロック制御コンボボックス 1～ブロック制御コンボボックス 3

(122) コードマスタ新規登録、編集時の画面のシステム項目を常に選択可能に変更しました。

(123) コード自動選択設定画面の画面タイトルをコード値別自動選択設定に変更しました。

(124) コード値別必須制御画面の検索条件にシステム項目を追加しました。

(125) 分類マスタ管理画面の説明文の記載内容を以下のとおり変更しました。

旧：「新規登録」
新：[新規登録]

(126) 分類マスタ管理画面のシステム項目を常に選択可能に変更しました。

(127) メニュー一覧画面のレイアウトを以下の通り修正しました。

- ・メニューの構成表にメニュー名、画面 ID の記載をした項目ヘッダ行を追加
- ・メニューの構成表に画面 ID 列を追加

(128) メインメニュー新規登録、編集ダイアログにメインメニュー名(英)項目を追加しました。あわせてメインメニュー名項目の名称をメインメニュー名(日)に変更しました。

(129) サブメニュー新規登録、編集ダイアログにサブメニュー名(英)項目を追加しました。あわせてサブメニュー名項目の名称をサブメニュー名(日)に変更しました。

(130) 入力制御管理画面の画面タイトルを入力文字制御管理に変更しました。

(131) 承認フロー管理画面の検索条件と承認フロー新規登録、編集画面の項目の表示順を画面名、システム、申請種別の順に変更しました。

(132) メール管理画面の画面タイトルを送信メール参照管理に変更しました

- (133) 送信メール設定画面の画面タイトルをメールテンプレートに変更しました。
- (134) 自動送信メール設定画面の画面タイトルをメールテンプレート(自動送信)に変更しました。
- (135) メールテンプレート(自動送信)画面の検索条件に以下の項目を追加しました。
- 【追加項目名】
- ・送信先区分
 - ・メールアクション
 - ・送信先区分
- (136) メールアドレスチェック設定管理一覧画面の許可／警告項目の名称を許可ステータスに変更しました。
- (137) メールアドレスチェック設定編集画面の許可項目の名称を許可ステータスに変更しました。
- (138) SLAM チャート設定一覧画面に一括登録ボタンを追加し、SLAM チャート設定を一括登録できるように変更しました。
- (139) SLAM チャート設定編集画面の 1～5 項目の列幅を変更しました。
- (140) SLAM チャート設定編集画面のコンボボックスの初期表示を「-----」から空白表示に変更しました。
- (141) SLAM チャート抽出条件設定管理画面に一括登録ボタンを追加し、SLAM チャート抽出条件設定を一括登録できるように変更しました。
- (142) SLAM チャート抽出条件設定新規登録、編集、詳細画面に条件 ID 項目を追加しました。
- (143) チェックリスト診断設定編集画面のボタン表示を 1 行表示から 2 行表示に変更し、1 行目にインポートボタンと追加ボタンを表示、2 行目に診断項目選択ボタンを表示に変更しました。
- (144) インポートファイル指定ダイアログにラベルの言語項目を追加しました。
- (145) Senju/SM 間連携項目設定画面の画面上部に表示されている説明文の下部に表示されていた空白行を削除しました。
- (146) Senju/SM 間連携項目設定画面の画面下部の空白を追加しました。
- (147) SSM DB コンフィグレータと SSM WEB コンフィグレータ、メンテナンスタブを管理者メニューに移行したことにより、画面の構成が変更になりました。管理者メニューの構成は以下の通りです。
- 管理者メニュー
- └制御情報タブ
 - └制御情報
 - └認証サーバー
 - └WEB サーバー設定
 - └画面タブ
 - └画面定義
 - └画面使用設定
 - └メニュー
 - └申請先画面設定
 - └関連項目設定
 - └入力文字制御
 - └レイアウト定義
 - └サービスデスク画面レイアウト

- └簡易画面レイアウト
- └コピー項目定義
 - └関連登録コピー定義
- └ラベル
- └ユーザタブ
 - └ユーザー
 - └権限
 - └グループ
 - └画面ポリシー
 - └職責
 - └チーム
 - └役割
 - └メンテナンス権限(共通)
 - └メンテナンス権限(システム別)
- └マスタタブ
 - └システム
 - └システム
 - └システムユーザー
- └コード
- └分類
- └会社/組織
 - └会社
 - └組織
- └問合せ元
 - └問合せ元
 - └問合せ元 2
- └祝祭日
- └機能別タブ
 - └帳票
 - └メール送信設定
 - └送信メール参照
 - └送信元設定
 - └メールアドレスチェック設定
 - └メールテンプレート
 - └メールテンプレート
 - └メールテンプレート(自動送信)
- └承認フロー
 - └承認フロールート
 - └承認フロー
- └分析
 - └分析レポート
 - └分析レポート条件設定
- └SLAM チャート
 - └SLAM チャート設定
 - └SLAM チャート抽出設定
- └チェックリスト
 - └チェックリスト設定
 - └チェックリスト条件設定
 - └チェックリスト適用設定
 - └チェックリスト診断
- └自動メール通知
 - └自動メール通知ルート設定
 - └自動メール通知条件設定
 - └自動メール通知適用設定
- └種別設定

- └種別データ設定
- └種別条件設定
- └種別適用設定
- └コード値別制御
 - └コード値別必須制御
 - └コード値別自動選択設定
 - └コード値別編集制御
- └Senju/SM 間連携
 - └Senju/SM 間連携項目設定
 - └Senju/SM 間連携設定
 - └Senju/SM 間連携先設定
 - └Senju/SM 間連携元設定
- └外部ツール連携
 - └ランブックテンプレート
 - └ESP システムマスタ管理
- └Senju/SM コマンド実行タブ

※本対応により、各画面への遷移方法も変更されました。上記の構成を基に該当画面へ遷移してください。

(148) 役割の登録可能最大件数を 100 件から 200 件に変更しました。

(149) SLAM チャート設定一覧画面に一括登録ボタンを追加し、SLAM チャート設定を一括登録できるように変更しました。

(150) 画面ポリシー管理画面に一括登録ボタンを追加し、画面ポリシーを一括登録できるように変更しました。

(151) 以下の画面で表示等に時間がかかる場合に、「しばらくお待ちください」とメッセージを表示するよう修正しました。

【対象画面】

- ・タスク一覧画面(ホーム>タスク)
- ・タスク一覧画面(ユーザー別タスク)
- ・プロセス検索画面(ログインフレーム)
- ・プロセス一覧画面
- ・関連プロセス選択画面
- ・プロセス編集画面

(152) ホーム画面の以下のブロックの新規登録ボタンをアイコン表示に変更し、且つ表示位置をタイトルの右側に修正しました。

【対象ブロック】

- ・伝言メモ
- ・ToDo 一覧

(153) お知らせ一覧画面に表示されるお知らせの添付ファイルの表示をリンク表示に変更しました。

(154) お知らせ一覧画面に表示されるお知らせの添付ファイルのダウンロード方法をダブルクリックからリンク表示されている添付ファイル名をクリックする方法に変更しました。

(155) パスワード変更画面の以下の項目の入力項目欄のサイズおよび入力最大桁数(32 桁)を変更しました。

(156) ユーザー情報編集画面に関連構成項目が追加されました。

(157) デフォルト設定画面に以下の項目を追加しました。

- ・共通：言語の設定
- ・ホーム
- ・プロセス管理 1：プロセス 1：自動更新の初期設定

(158) ホーム画面の「対応済・確認済を表示」ボタンの名称を「最新の情報に更新」に変更しました。

(159) コード登録コマンドで、各項目の先頭と末尾のスペースは除去し DB に登録するように仕様変更しました。

(160) 分類マスタ登録コマンドで「分類名」項目の入力最大桁数を以下のように変更しました。

旧:30

新:80

コード登録コマンドで「コード名」項目の入力最大桁数を以下のように変更しました。

旧:30

新:80

(161) 関連構成アイテム 1～3 の出力フォーマットを以下の通り変更しました。

旧：関連構成アイテム名

新："関連構成アイテム ID"+"ID の区切り文字"+関連構成アイテム名

(162) 制御情報にデータ出力コマンドの出力フォーマットが変更する以下の管理項目を追加しました。

1)時刻項目は以下の管理項目に設定されたフォーマットに従って、出力されます。

【管理項目名】

時刻表示フォーマット

2)対応時間計算結果表示フォーマットは以下の管理項目に設定されたフォーマットに従って、出力されます。

【管理項目名】

対応時間計算結果表示フォーマット

(163) データ登録コマンドのマッピングアイテムファイルとデータファイルの整合性チェック処理を強化しました。

上記の影響により現在ご利用中のファイルとマッピングアイテムファイルの項目数に差異があるとデータ登録コマンドがエラーになります。

バージョンアップを行う際は、必ず新しいマッピングアイテムファイルとご利用中のデータファイルの項目数に差異がないことを確認していただきますようお願いいたします。

(164) データ登録コマンド（ユーザー、要員）とイベント受信連携デーモン（ユーザー、要員）のインポートファイルで以下の項目の入力サイズを 60Byte に拡張しました。

- ・氏名
- ・氏名カナ

(165) DB コンフィグレータ（ユーザー）のユーザーインポートファイルで以下の項目の入力サイズを 60Byte に拡張しました。

- ・氏名
- ・氏名カナ

(166) データ移行コマンドに以下の移行対象を追加しました。

- ・管理者メニュー画面/ユーザー/権限/メンテナンス権限(共通)
- ・管理者メニュー画面/ユーザー/権限/メンテナンス権限(システム別)
- ・管理者メニュー画面/画面/画面定義/関連項目設定
- ・管理者メニュー画面/画面/画面定義/申請先画面設定
- ・管理者メニュー画面/マスタ/問合せ元/問合せ元 2 情報
- ・管理者メニュー画面/制御情報/WEB サーバー設定/WEB サーバー設定

- ・管理者メニュー画面/画面/レイアウト定義/サービスデスク画面レイアウト
- ・通常メニュー画面/外部連携/Senju Family 連携/業務グループ定義
- ・管理者メニュー画面/機能別/外部ツール連携/ESP システムマスタ管理

(167) 「接続先名」コードの入力可能桁数を 256 バイトへ拡張しました。

(168) データ登録コマンドのテキスト項目 1～4 の入力可能桁数を 4000 バイトへ拡張しました

(169) 業務グループと障害メッセージ機能を追加したため、過去データ削除コマンドの削除対象テーブルを追加しました。

(170) 以下過去データ削除コマンド対象外データを対象にしました。

- ・プロセスの「業務グループ起動時刻変更」データ
- ・プロセスの「障害メッセージ」ブロックデータ

(171) 以下システム削除コマンド対象外のデータを対象にしました。

- ・業務グループ定義データ
- ・プロセスの「業務グループ起動時刻変更」データ
- ・プロセスの「障害メッセージ」ブロックデータ

(172) データ出力コマンドでマッピングアイテム指定ありの場合、以下の出力項目を追加しました。

- ・対象ノード
- ・接続先名
- ・ESP システム
- ・連携結果
- ・有効期間(FROM)
- ・有効期間(TO)
- ・有効時刻(FROM) ※1
- ・有効時刻(TO) ※1
- ・メッセージ ID
- ・発生元プロセス
- ・メッセージ

※1： 23:59 までの時刻 4 桁のため制御情報の設定は適用対象外となります。

(173) データ移行コマンドの移行対象に業務グループ定義 (SSA_JOB_GRP_MST、SSA_JOB_GRP_JOB_MST) と ESP システムマスタ情報 (ESP_SYSTEM_MST) を追加しました。

(174) データ登録コマンド、イベント受信連携デーモンで簡易フォームから登録したレコードを「クローズ」ステータスに更新する場合、制御情報の管理項目「クローズ時の自動完了設定」の設定により、画面の該当レコードを「完了」もしくは「未完了」状態にする機能を追加しました。

(175) 自動メール通知コマンドと申請状況通知コマンドの以下項目をメールテンプレート置換項目に追加しました。

- ・業務グループ起動時刻変更

(176) データ登録コマンドの以下の項目の登録・更新仕様を変更しました。

- ・プロセス管理、インシデント候補、インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理、イベント管理
- ・選択ユーザー1
- ・選択ユーザー2
- ・構成管理
- ・選択ユーザー1～10

※上記項目は制御値「編集画面の選択ユーザーX 検索対象設定」の制御を利用する。

- ・「SSM ユーザーを検索対象とする」を設定する場合
要員管理画面表示するまたは要員管理画面表示しないユーザーが登録できます。
- ・「要員を検索対象とする」を設定する場合
要員管理画面表示するユーザーが登録できますが、要員管理画面表示しないユーザーが登録できません。

(177) 以下の職責をマスタ登録コマンドから登録・更新できるように仕様を変更しました。

また、職責追加に伴って、旧フォーマットインポートファイル取り込み時のフォーマット変換処理を追加しました。

- ・「データの一括承認」
- ・「申請の強制却下」
- ・「チェックリスト再適用」
- ・「SSA 連携のステータス更新」
- ・「業務グループ再変更指示」
- ・「業務グループ再変更実施」
- ・「業務グループの定義」
- ・「障害メッセージ制御の実施」
- ・「メール送信ボタンの表示」
- ・「関連登録ボタンの表示」

(178) DB 接続設定ファイルで平文のパスワードを格納しないように仕様を変更しました。

(179) ラージテキスト 1~4 または 4000 バイトのテキストが SEN からのイベント連携機能を使用しデータ登録コマンドを行った場合且つ、指定した項目値が上限値を超えたため切り捨て処理が行われた場合に取得元文字列をログに出力するかを設定できる以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

イベント連携の文字数切り捨て時のログ出力設定

(180) 以下コードの更新を可能としました。

- ・「連携ステータス」
- ・「連携ステータス(個別)」

※新規登録及びシステムの更新はできません。

(181) Senju/EN 連携とデータ登録コマンドからデータ登録する時、下記項目に設定可能なデータ種別は「画面>画面定義>関連項目設定」の設定に従うように修正しました。下記項目に設定したデータ種別指定値が画面側設定と不一致の場合、該当関連構成項目は画面に登録できません。

【対象項目】

- ・プロセス管理

関連構成 1~4

- ・構成管理

関連構成

関連構成 2A~2E

関連機器

接続先機器、接続先機器 2

(182) データ出力時、時刻項目、時間計算項目の出力形式を ASP と同様、DB 制御値により出力フォーマットが変更できるようになりました。

プロセスとイベントすべての時刻項目と時間計算項目（編集可/参照のみにかかわらず）

※経過、SSA 連携を含むすべての時刻項目と時間計算項目です。

(183) WEB コンフィグレータの制御情報に「編集ボタン（不活性）のアイコン画像」が追加さ

れ、任意の画像に変更できるようになりました。

上記画像は、クローズされたプロセスデータへの操作を許可しない設定の時に、クローズデータの経過情報や確認情報の編集ボタン表示に使用しています。

(184) 以下コマンドを同時実行できないように変更しました。

- ・過去データ削除コマンド
- ・システム削除コマンド

(185) 申請状況通知コマンドと自動メール通知コマンドについて、下記時刻項目は DB コンフィグ レータ>制御情報>時刻表示フォーマットの設定により、"時分秒"のフォーマットでまた"時分"のフォーマットで表示されるよう変更しました。

- ・クローズ期限時刻
- ・対応予定時刻 1
- ・対応予定時刻 2
- ・対応予定時刻 3
- ・対応予定時刻 4
- ・対応予定時刻 5
- ・起票時刻
- ・最終更新時刻
- ・開始予定時刻
- ・終了予定時刻
- ・承認申請時刻
- ・メール通知基準時刻
- ・スケジュール設定開始時刻
- ・スケジュール設定終了時刻
- ・現在時刻

(186) ・関連構成アイテム 1~3 の出力フォーマットを「関連構成アイテム名」から「"関連構成アイテム ID"+"ID の区切り文字"+関連構成アイテム名」に変更しました。

(187) 2014 までの XML アップデータで、以下のサービスを停止処理がありますが、2016.0.0.0 から廃止します。

①IIS6 の場合

- ・IIS Admin Service
- ・HTTP SSL
- ・World Wide Web Publishing Service

②IIS 7 以降の場合

- ・Windows Process Activation Service
- ・World Wide Web Publishing Service

(188) 以下の画面で環境変数 1~20 の最大桁数を 80Byte から 128Byte へ拡張しました。

- ・ランブック実行新規登録
- ・ランブックテンプレートマスタ新規登録

(189) Senju/EN 連携とデータ登録コマンドからユーザー登録、更新する時、ユーザーパスワードの入力桁数 (32 桁) をチェックする機能を追加しました。

(190) データ登録コマンドから構成管理を登録する時、インポートファイルで下記項目に不正な値が含まれていた場合の動作は DB 制御情報の設定に従うように変更しました。

- ・管理責任者
- ・使用者
- ・関連構成、関連構成 2A~E
- ・関連機器
- ・接続先機器、接続先機器 2
- ・選択ユーザー1

- ・選択ユーザー2
- ・選択ユーザー3
- ・選択ユーザー4
- ・選択ユーザー5
- ・選択ユーザー6
- ・選択ユーザー7
- ・選択ユーザー8
- ・選択ユーザー9
- ・選択ユーザー10
- ・関連要員
- ・使用可能口数
- ・使用口数
- ・使用可能口数 2
- ・使用口数 2

管理項目名：データ登録コマンドの不正入力データ処理

- ・1:警告を出力して該当項目のみが特別処理を実施する
⇒現状仕様通りで、警告出して、レコード自体は登録させますが、該当項目を空白で登録する(更新の場合は更新対象外にする)
- ・2:エラーを出力してレコードを登録しない

⇒エラーを出して、インポートファイルの該当レコードを登録させない

(191) 「sjSPU_DBDiag.exe」を実行した際の出力フォーマットを変更しました。

2014 バージョンまでは「sjSPU_DBDiag.exe」を実行した際にプロセス管理、問合せ・申請のレコードの登録状況を画面毎件数一覧として出力していましたが、2016 バージョンからは「sjSPU_DBDiag.exe」を実行した際にプロセス管理、問合せ・申請のほか構成管理画面のレコードの登録状況を画面・システム毎件数一覧として出力するように変更しました。

(192) 申請状況通知コマンド実行時にメールテンプレートに以下の置換文字列が存在した場合、文字列置き換えの際に[管理者メニュー]-[制御情報]-[削除済み構成アイテム(構成管理)表示設定]の値を参照するように変更しました。[削除済み構成アイテム(構成管理)表示設定]が「表示しない」の時は関連構成に指定されている削除済みの構成アイテムを対象外とし、「表示する」の時は関連構成に指定されている削除済みの構成アイテムを対象とします。

[処理対象置換文字列]

- ・%PRC:RELATION_CI_MATTER%(基本情報:関連構成 1)
- ・%PRC:RELATION_CI_MATTER_2%(基本情報:関連構成 2)
- ・%PRC:RELATION_CI_MATTER_3%(基本情報:関連構成 3)
- ・%PRC:RELATION_CI_MATTER_4%(基本情報:関連構成 4)

(193) 自動メール通知コマンド実行時にメールテンプレートに以下の置換文字列が存在した場合、文字列置き換えの際に[管理者メニュー]-[制御情報]-[削除済み構成アイテム(構成管理)表示設定]の値を参照するように変更しました。[削除済み構成アイテム(構成管理)表示設定]が「表示しない」の時は関連構成に指定されている削除済みの構成アイテムを対象外とし、「表示する」の時は関連構成に指定されている削除済みの構成アイテムを対象とします。

[処理対象置換文字列]

- ・%PRC:RELATION_CI_MATTER%(基本情報:関連構成 1)
- ・%PRC:RELATION_CI_MATTER_2%(基本情報:関連構成 2)
- ・%PRC:RELATION_CI_MATTER_3%(基本情報:関連構成 3)
- ・%PRC:RELATION_CI_MATTER_4%(基本情報:関連構成 4)

(194) マスタ登録コマンドで承認フロー登録する際に指定した「申請種別」が複数存在する場合、2014 バージョンまでは登録順の昇順の一番先頭のコードを登録しているが、2016 バージョンでは表示順>登録順の昇順で、一番先頭の有効コードを登録するように変更しました。

(195) マスタ登録コマンドで不正値を指定してグループ内公開を登録する場合、非公開として登録され、正常終了から警告終了になるように変更しました。

また、マスタ登録コマンドで不正値を指定してグループ内公開を更新する場合は、グループ内公開が更新されず、正常終了から警告終了になるように変更しました。

(196) システム登録コマンドの基本情報項目数が 32 から 43 へ変更されたため、システム登録コマンドで旧フォーマットを指定する場合、新たなフォーマットへの変換処理を追加しました。

(197) 操作ログ取得コマンドは出力時 30000 件のレコードずつをループしているが、ヘッダー行の出力がそのループに含まれてしまっている不具合を修正しました。

(198) マスタ登録コマンドが二重起動できなくなりました。

(199) プロセス管理 の編集・詳細画面に表示される項目説明文について、項目説明文が隣の項目を隠す形で表示される不具合を修正しました。

項目説明は、左エリアの項目の場合は右エリアに、右エリアの項目の場合は左エリアに表示されます。

(200) 分析レポート出力時、ラベルに改行が含まれる場合に改行が取り除かずに出力する不具合を修正しました。

(201) ラベルマスタ管理画面で設定可能な「現在ラベル値」に「'」、「"」を入力可能としました。

(202) ユーザーパスワードチェックの仕様を統一しました。

(対象)

- ・データ登録コマンド・ユーザー登録
- ・イベント受信連携デモン・ユーザー登録
- ・DB コンフィグレータ・ユーザー設定

(パスワードチェック)

- ・使用可能文字
半角英字(大文字・小文字)
数字
記号 (!#\$%&'=~`<>_~;,\/|0{+*}?~@[.])
半角スペース
- ・制限情報によるチェック
制御情報は全て「管理者メニュー」・「制御情報」・「共通」に表示される値です。
- ・「パスワードへの使用文字種数の最小設定値」
設定値以上であること
- ・「パスワードへの ID 許可設定」
「許可しない」に設定されている場合、ID を含むパスワードが指定されていないこと
- ・「パスワード履歴チェック対象数(個)」
パスワード履歴の設定値分のパスワードと、パスワードが一致しないこと

(203) oracle タイムアウト原因を特定するためのログを強化しました。

(204) プロセス詳細画面に障害メッセージ制御を表示している時、ESP サーバーとの連携を、Senju/SM のシステムログに出力するようにしました。
ログは ESP 連携の開始時と終了時に出力します。

(205) プロセス新規登録時に障害メッセージ制御が表示されている状態で登録されたチケットを、障害メッセージ制御が表示されていないユーザーが最終承認を行った場合、これまでは自動有効化処理が行われませんでした。自動有効化処理が実行されるようになります。

自動有効化処理に連携される内容は、チケット登録・編集時に更新されたデータです。
プロセス詳細画面から実行する、有効化処理と無効化処理についても、同様の仕様になります。

す。

- (206) プロセス・簡易プロセス詳細画面で業務グループ起動時刻変更のデータをコピーした際に、コピー元の「リミット日付」、「リミット時刻」がコピー後のデータとして表示される不具合を修正しました。
- (207) プロセス・簡易プロセス詳細画面で項目「操作指示」、「連携ステータス(個別)」に不正なデータが指定されている状態で特定の操作を行った際に、警告メッセージを表示する機能を追加しました。
※通常操作で項目「操作指示」、「連携ステータス(個別)」に不正なデータが指定されることはありません。
<対象操作>
・承認申請
・最終承認
・一時停止指定
・一時停止実施
・起動時刻再変更指示
・起動時刻再変更実施
・起動時刻再変更却下
・連携ステータス(個別)更新
- (208) フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除、フレーム・ネット・ジョブ一時停止、ネット・ジョブ起動時刻変更画面内の項目「操作指示」の文字色を変更可能としました。
文字色の変更はコードマスタ管理画面で実施可能です。
- (209) ユーザーが同時に業務グループ起動時刻再変更指示画面を操作していた場合、データの同時更新を防ぐようにチェックし、警告メッセージを表示するよう修正しました。
先に業務グループ起動時刻再変更指示を行ったユーザーの操作が有効になります。
- (210) 業務グループ起動時刻再変更指示を実行した際、プロセスの最終更新日時、および最終更新者を更新するように修正しました。
これにより、別ユーザーが同じプロセスチケットを操作中、業務グループ起動時刻再変更指示が実行されたことを知らずにアクション(例えば連携ステータスキャンセル処理など)を実行した場合、「この情報は既に他のユーザーによって更新されています
[最新の情報に更新]ボタンを押下して現在の情報を確認してください」の警告アラートが表示され、他のユーザーによりデータが更新された事に気付けるようになりました。
- (211) 画面ポリシー一覧に「画面ポリシーID」を表示する機能を追加しました。
- (212) イベント受信連携/データ登録コマンドで、異なるシステムの関連項目も登録できるようにしました。
マッピングファイルに新規追加した「関連 XXX (システム)」項目を指定した場合、関連項目に登録対象システムと異なるシステムに所属するチケットも登録できるようにしました。
マッピングファイルに新規追加した「関連 XXX (システム)」項目を指定しない場合、現状仕様のままで関連項目に登録対象のシステムに所属するチケットのみが登録できます。
※新規追加した「関連 XXX (システム)」項目とは、下記項目です。
・プロセスとイベント管理
 関連構成アイテム 1 (システム)
 関連構成アイテム 2 (システム)
 関連構成アイテム 3 (システム)
 関連アカウント (システム)
 関連構成 1 (システム)
 関連構成 2 (システム)
 関連構成 3 (システム)
 関連構成 4 (システム)

- ・構成アイテム管理
 - 関連構成アイテム（システム）
 - 関連アカウント（システム）
- ・構成管理
 - 関連構成（システム）
 - 関連構成 2A（システム）
 - 関連構成 2B（システム）
 - 関連構成 2C（システム）
 - 関連構成 2D（システム）
 - 関連構成 2E（システム）
 - 関連機器（システム）
 - 接続先機器（システム）
 - 接続先機器 2（システム）

(213) SSM ユーザーID の最大桁数を 256 桁に拡張しました。また、SSM 基本認証と LDAP 認証の場合、「ユーザーID」は、半角「@」を指定できるようになりました。

AD 認証の場合は、「ユーザーID」は、半角「@」の指定はできないままです。

※制限事項

ユーザーID に「@」を含むユーザーについて、データ登録コマンドからユーザー認証方式を「AD 認証」に更新したい場合、画面からユーザーID の「@」を除外するように更新してから、データ登録コマンドでユーザー認証方式を「AD 認証」に更新する必要があります。

(214) 各プロセス画面配下に個別システムと全システム共通のメールテンプレートが存在しない場合、コマンドログとユーザーログにおける下記のログ出力レベルを変更しました。

①NOTICE: 指定された画面とシステム名に紐づくメールテンプレートがありません。デフォルトメールテンプレートが適用されます。

↓

ERROR: 指定された画面とシステム名に紐づくメールテンプレートがありません。

②NOTICE: Not found target mail template(DataType=[DataType], SystemID=[SystemID]).A default template is applied.

↓

ERROR: Not found target mail template(DataType=[DataType]).

③NOTICE: (画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])指定された画面とシステム名に紐づくメールテンプレートが定義されていなかったためデフォルトメールテンプレートが適用されました。

↓

ERROR: (画面=[画面]、システム名=[システム名]、ID=[ID])指定された画面とシステム名に紐づくメールテンプレートが定義されていません。

(215) 構成管理の申請起票可否を制御する権限チェック機能を追加しました。

本機能を使用する場合は、以下の制御情報の設定値を「する」に設定してください。

【管理項目名】

構成管理－申請起票権限チェック

【設定値】

- ・しない<デフォルト>
- ・する

本機能を使用する設定としている場合、構成管理の「データの編集権限」を保持する場合のみ、該当データの申請起票が可能となります。

また、プロセス管理の申請対象機器から申請する構成アイテムを選択する場合、「データの編集権限」を保持する構成アイテムのみ選択することができます。

- (216) 簡易プロセス一覧画面について経過項目の対応内容表示ルールを改善しました。
- (217) ログアウトなどによりセッションが切断された際の処理を改善しました。
対象となる画面及び項目は以下になります。
- <対象画面・項目>
- ▼管理者メニュー
 - 関連登録コピー定義
 - コピー登録定義
 - ▼通常メニュー
 - プロセス管理：SSA 連携(コマンド実行)
 - プロセス管理：SSA 連携(ランブック実行)
 - プロセス管理：SSA 連携(スキップ実行)
 - プロセス管理：SSA 連携(一時停止実行)
 - プロセス管理：SSA 連携(起動時刻変更)
 - プロセス管理：SSA 連携(ジョブグループ起動時刻変更)
 - プロセス管理：Senju/SM 間連携
 - 構成管理：関連選択(関連構成)
 - ▼その他
 - 添付ファイルが登録可能な全ての画面
- (218) 添付ファイルの登録・更新仕様を改善しました。対象となる画面は添付ファイルが存在するすべての画面です。

1.17.4 稼働環境の変更点

- (2) 以下のサーバー構成がサポート対象外となりました。
- ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition SP2 + Oracle Database 10g Standard Edition (10.2.0.5)
 - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition SP2 + Oracle Database 10g Standard Edition One (10.2.0.5)
- (3) 以下のサーバー構成がサポート対象となりました。
- ・ Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition SP2 + Oracle Database 11g Standard Edition (11.2.0.4)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition SP2 + Oracle Database 11g Standard Edition One (11.2.0.4)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 + Oracle Database 11g Standard Edition (11.2.0.4)
 - ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1 + Oracle Database 11g Standard Edition One (11.2.0.4)
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition + Oracle Database 12c Standard Edition (12.1.0.1.)
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition + Oracle Database 12c Standard Edition One (12.1.0.1)
 - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Edition + Oracle Database 12c Standard Edition Two(12.1.0.2)
 - ・ Oracle Linux 6.3(x64) + Oracle Database 11g Standard Edition (11.2.0.4)
 - ・ Oracle Linux 6.3(x64) + Oracle Database 11g Standard Edition One (11.2.0.4)
- (4) 以下のクライアント構成がサポート対象外となりました。

- ・ Microsoft Windows Vista Business Service Pack2 + Microsoft Internet Explorer 8
- ・ Microsoft Windows 7 Professional Service Pack1 + Microsoft Internet Explorer 8
- ・ Microsoft Windows 7 Professional Service Pack1 + Microsoft Internet Explorer 9
- ・ Microsoft Windows 7 Professional Service Pack1 + Microsoft Internet Explorer 10

※Microsoft Windows Vista Business Service Pack 2 + Microsoft Internet Explorer 9 は対応環境の対象ですが、管理者メニューの使用はできません。

- (5) 以下のクライアント構成がサポート対象となりました。
- ・ Microsoft Windows 10 + Microsoft Edge
 - ・ Microsoft Windows 10 + Microsoft Internet Explorer 11
 - ・ iOS 9.2
- (6) Senju Service Automation 連携の対応環境が追加されました。
- (7) イベント連携の対応環境が追加されました。
- (8) 以下の環境が Active Directory 連携の環境の対象外となりました。
- ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition 日本語版(Intel) + Service Pack 2
- (9) Senju Enterprise Navigator ESP 連携の対応環境が追加されました。

1.17.5 レイアウトの変更点

前バージョンと比較し、本バージョンで大幅なレイアウト変更が行われた箇所について、以下に記します。
以下に記載のないレイアウト変更については「前バージョンからの変更点」を参照してください。

以下のボタンは 2016.0.0 バージョンで文字ボタンからアイコンボタンに表示を変更したボタンもしくは 2016.0.0 バージョンでアイコンボタンのアイコンを前バージョンから変更したボタンです。
各ボタンおよびアイコンの詳細な説明は資料集「アイコン集」を参照してください。

画面	項目	2014.0.0	2016.0.0
全般	テキストエリア	 (詳細)	
ユーザー選択(単一選択)	-	[検索] [クリア]	 
ユーザー選択(複数選択)	-		
要員選択(単一選択)	-		
要員選択(複数選択)	-		
システム選択	-	[表示]	
システム×職責選択	-		
プロセス管理	関連選択(関連プロセス)	[削除]	
	関連選択(関連構成アイテム)		
	関連選択(関連アカウント)		

画面	項目	2014.0.0	2016.0.0
	関連選択(関連構成 1)		
	関連選択(関連構成 2)		
	関連選択(関連構成 3)		
	関連選択(関連構成 4)		
	関連選択(申請対象機器)		
構成管理	関連選択(関連機器)		
	関連選択(接続先機器)		
構成アイテム管理	関連選択(関連構成アイテム)		
ユーザー	関連選択(要員情報選択)		
チェックリスト設定	関連選択(チェック内容)		
ホーム	伝言メモ	 (リンク表示)	
	ToDo 一覧		
プロセス管理	添付ファイル	 (削除)	
問合せ・申請			
構成管理			
構成アイテム管理			
既知エラー			
FAQ			
ファイルライブラリ			
お知らせ			
伝言メモ			
ユーザースケジュール			
システムスケジュール			
メール編集			
プロセス管理	経過ブロック	 (イベントに戻る)	
		[追加]	
		[経過一覧]	
	社外申請者情報ブロック	[会社組織選択]	
	社内申請者情報ブロック	[ユーザー選択]	
	問合せ元 ID	[検索]	
	問合せ元 2ID		

画面	項目	2014.0.0	2016.0.0
	関連プロセス	[関連プロセス選択]	
		[関連プロセス一覧]	
	確認情報	[確認一覧]	
		[追加]	
	対応一覧	[表示切替]	
	連携ステータス	[キャンセル]	
	コマンド実行	[申請内容一覧]	
	ランブック実行		
	フレーム・ネット・ジョブスキップ ／解除		
	フレーム・ネット・ジョブ一時停止		
	ネット・ジョブ起動時刻変更		
	業務グループ起動時刻変更		
	経過	[登録]	
		[更新]	
		[キャンセル]	
イベント管理	-	[削除]	
	-	[削除対象としてすべて選択]	
	-	[削除対象をすべて解除]	
エスカレーション先選択	-	[検索条件を編集]	
	-	[検索] [クリア]	
会社組織選択	-	[選択]	
問合せ元情報選択	-		
SLAM チャート抽出条件設定一覧	-	[詳細]	
チェックリスト設定一覧	-		
チェックリスト適用設定一覧	-		
チェックリスト条件設定一覧	-		
チェックリスト診断対象選択	-		
種別データ設定一覧	-		
種別条件設定一覧	-		
種別適用設定一覧	-		
分析レポート一覧	-		
分析レポート条件設定一覧	-		

画面	項目	2014.0.0	2016.0.0
自動メール通知ルート設定一覧	-		
自動メール通知条件設定一覧	-		
自動メール通知適用設定一覧	-		
ユーザー一覧	-	[編集]	
グループ一覧	-		
システムユーザー	ユーザー選択	[検索] [クリア]	
条件選択	-	[選択]	
チェックリスト選択	-		
承認フロールート選択	-		
自動メール通知ルート選択	-		
種別データ選択	-		

以下のボタンは 2016.0.0 バージョンからアイコンボタンで表示するか、または文字ボタンで表示するかを選択可能となったボタンです。対象となるボタンはプロセス管理の各画面(新規登録・編集・詳細)の上部に表示されるボタンです。

ボタンの表示に関する設定は以下の方法で行ってください。

■設定手順

①「管理者メニュー>制御情報>制御情報」に遷移します。

②メニュー区分で「利用者メニュー」を選択します。

③制御グループで「プロセス管理」を選択します。

④表示ボタンをクリック後、変更対象プロセス画面の管理項目名「詳細画面のボタン表示設定」

を任意の値(「文字ボタンを表示する」または「アイコンボタンを表示する」)に変更します。

※なお、前バージョンからバージョンアップした際は「文字ボタンを表示する」に設定されています。

画面		ボタン	アイコン
プロセス管理	新規登録	登録	
		キャンセル	
	編集	更新	
		キャンセル	
	詳細	対応一覧	
		承認	
		再承認	
		確認	
		再確認	
		再申請	
		作業完了	
		再作業完了	
		却下	
		差戻し	
		代理承認	
		代理再承認	
		代理確認	
		代理再確認	
		代理再申請	
		代理作業完了	
		代理再作業完了	
		代理却下	

画面		ボタン	アイコン
		代理差戻し	
		承認申請	
		クローズ	
		クローズ解除	
		完了	
		完了解除	
		メール送信	
		関連登録	
		ナレッジ申請	
		帳票出力	
		イベントに戻す	
		削除	
		編集	
		コピー登録	
		最新の情報に更新	
		閉じる	

1.18 バージョン2014.0.0の主な新機能

1.18.1 主な新機能

- (1) スマートフォン版 Senju Service Manager が 2014.0.0 に対応しました。これによりすべてのプロセス管理の画面が利用可能になりました。
- (2) スマートフォン版 Senju Service Manager が承認申請機能、確認証跡機能に対応しました。
- (3) 別 CCFSP WEB サーバーが管理する Senju Service Manager のプロセスのレコードを参照できるようになりました。
- (4) 承認申請機能で、ログインユーザーが次ルートの本来承認者を選択できる機能を追加しました。
- (5) 承認申請機能で承認フロールートのユーザー選択方法に「チーム(役割)」を追加しました。既存のシステム(職責)のように、チームと役割を関連付けて、承認フロールートの本来承認者を設定することができます。これに伴い、[メンテナンス - ユーザー管理]配下に[チーム管理]、[役割管理]を追加しました
- (6) 承認申請機能で承認フロールートに使用できるカタログ数を 20 に拡張し、アクション間で自由に設定できるように変更しました。またアクションが確認および作業の場合も、却下および差戻しを行えるように変更しました。
※2013.0.0 以前よりバージョンアップを行った場合、SSM WEB サーバーコンフィグレータの[拡張設定 > サービスデスク画面 > 詳細画面設定(入力制御)]での、申請状況毎の表示設定の並び順が以下の通り、変更になります。

<バージョンアップ前>

- ・ 申請前
- ・ (却下)承認申請待ち
- ・ (差戻し)再申請待ち
- ・ 作業1～6待ち
- ・ 承認1～3待ち
- ・ 確認1～3待ち
- ・ 承認済

<バージョンアップ後>

- ・ 申請前
- ・ (却下)承認申請待ち
- ・ (差戻し)再申請待ち
- ・ 承認1～3待ち
- ・ 確認1～3待ち
- ・ 作業1～6待ち
- ・ カタログ13～20待ち

- (7) 承認申請機能で、申請中のレコードを強制的に却下しクローズを行う機能を追加しました。SSM DB サーバーコンフィグレータ[基本設定 > 制御情報]の管理項目「申請中のクローズ制御設定」で設定を行ってください。
- (8) プロセス管理でライセンス数に応じて使用する画面を任意に選択できるようにしました。
- (9) プロセス詳細と SLAM チャート及び SLAM チャート詳細のタイトルバーの背景色を変更する機能を追加しました。
- (10) プロセス管理で、あらかじめ設定した文字種とバイト数でテキスト項目の入力制御を行う機能を追加しま

した。

※本機能追加に伴い、[メンテナンス] 配下にサブメニュー[画面管理]を追加しました。本機能の利用設定は上記[画面管理]配下の[入力制御]で行います。アップデート後はすべての画面ポリシーで[入力制御]は非表示です。任意の画面ポリシーに対して表示設定を行ってください。

- (11) プロセス管理に項目「ステータス」の値によって詳細項目の必須指定を切り替える機能を追加しました。
- (12) プロセス管理(簡易プロセス)のコピー登録対象の項目をカスタマイズする機能を追加しました。
これに伴い、[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「社内申請者情報コピー登録設定」の設定は廃止され、[SSM WEB サーバーコンフィグレータ > 拡張設定 > コピー登録]に移行されます。
- (13) プロセス管理(簡易プロセス)のコピー登録の対象項目に「ランブック実行」を追加しました。
- (14) プロセス管理(簡易プロセス)の問合せ元情報機能に以下の機能拡張を行いました。
 - ・ 問合せ元 ID の検索方式の選択(完全一致/部分一致)
 - ・ 問合せ元マスタの問合せ元 ID がマルチバイト文字に対応
 - ・ 問合せ元マスタに検索キー項目「問合せ元 ID 補助」を追加
- (15) プロセス管理(簡易プロセス)のチェックボックス項目に以下の機能拡張を行いました。
 - ・ 全システム共通以外の個別システムのコードの作成に対応しました。
 - ・ マスタの最大登録件数を 1 システム辺り 50 件から、500 件に拡張しました。
 - ・ プロセス管理の検索条件項目に対応しました。
 - ・ プロセス管理の一覧帳票、詳細帳票の出力に対応しました。
- (16) プロセス管理の一覧帳票(CSV)でレコードの承認履歴および対応一覧を出力する機能を追加しました。
- (17) プロセス管理(簡易プロセス)に詳細項目「承認フロー完了通知」を追加しました。
レコードが承認済みになった時、通知メールを送信するメールアドレスを入力する項目です。
- (18) プロセス管理の変更履歴保存機能で、更新履歴の保存対象に日付項目を追加しました。
- (19) プロセス管理(簡易プロセス)の詳細項目「ランブック」にあらかじめ登録したテンプレートを引用する機能を追加しました。
- (20) プロセス管理(簡易プロセス)の SSA 連携項目の詳細で、申請対象のジョブの存在有無を表示する項目を追加しました。
- (21) プロセス管理の検索条件項目に「ブック名」「接続先名」を追加しました。
- (22) プロセス管理(簡易プロセス)に詳細項目「ラージテキスト 2~4」を追加しました。
項目定義と各機能への対応有無は既存の項目「ラージテキスト 1」と同じです。
- (23) プロセス管理の一覧項目に以下の項目を追加しました。
 - ・ コンボボックス 1~20
 - ・ コンボテキスト 1~2
 - ・ 大分類/中分類/小分類
 - ・ 2 連分類 1~2
 - ・ 3 連分類 1~2
 - ・ 5 連分類 1~2
- (24) 自動送信メール設定で以下のメールアクションに置換文字列「メール送信先ユーザー(%CMN:MAIL_RECIPIENT_USER%)」を追加しました。各アクションでメールを送信したユーザー(通知先を除く)で置換を行います。

(メールアクション)

- ・ 承認依頼
- ・ 確認依頼
- ・ 作業依頼
- ・ 承認
- ・ 却下
- ・ 差戻し
- ・ 承認依頼(通知)
- ・ 確認依頼(通知)
- ・ 作業依頼(通知)
- ・ 承認(通知)
- ・ 却下(通知)
- ・ 差戻し(通知)

(25) 簡易プロセスで承認申請を行った場合に、レコードに設定した公開グループに所属するエンドユーザーのみ本来承認者に展開する制御を追加しました。

SSM DB サーバーコンフィグレータ[基本設定 > 制御情報]の管理項目「公開グループによるエンドユーザー承認者の絞り込み設定」で設定を行ってください。

(26) 簡易プロセスの一覧で、検索条件および検索結果一覧の項目に「ステータス」を追加しました。

SSM DB サーバーコンフィグレータ[基本設定 > 制御情報]の管理項目「簡易プロセス一覧画面のステータス表示制御」で設定を行ってください。

(27) 簡易プロセスから起票・申請したレコードをサービスデスクユーザーがプロセス画面側でクローズする際に、自動的に申請状況ステータスを「完了」とするよう修正しました。

クローズ時の自動完了設定の変更は、SSMDB サーバーコンフィグレータの制御情報の以下の管理項目で行います。

【管理項目名】

クローズ時の自動完了設定

(28) 構成アイテム(構成管理)で利用できる画面数を 50 に拡張しました。

(29) 構成アイテム(構成管理)の検索条件項目に「フリーワード」を追加しました。

(30) プロセス分析で任意の検索条件を使用して、レポート出力する機能を追加しました。

(31) SLAM チャートでセル毎のレコードの検索に加え、行および列に設定されたすべてのセルのレコードを串ざしで検索する機能を追加しました。

(32) SLAM チャート詳細に CSV 帳票出力機能を追加しました。

(33) SLAM チャートで表示方法の拡張を行いました。

- ・ 行／列タイトルの背景色を変更可能にしました。
- ・ しきい値を超えた場合のセルの背景色／文字色を変更可能にしました。
- ・ しきい値を超えた場合に文字を太字で表示可能にしました。

(34) フレーム・ネット・ジョブ申請一覧に一定間隔で検索結果を自動更新する機能を追加しました。

(35) Senju/SM のログインに使用する OpenLDAP 認証サーバーを複数台、設定可能にしました。また ActiveDirectory サーバーの設定に副系サーバーを追加しました。

※本機能拡張に伴い、認証サーバーの設定画面を SSM DB コンフィグレータから[メンテナンス > ユーザー管理 > 認証サーバー]に移行しました。アップデート後はすべての画面ポリシーで[認証サーバー設定]は非表示です。任意の画面ポリシーに対して表示設定を行ってください。

- (36) システムマスタ管理に CSV ファイルを使用したシステムの一括登録機能を追加しました。
- (37) メンテナンス画面へ問合せ元マスタ管理画面を追加しました。
本画面はプロセス管理各画面で使用する問合せ元情報の検索、新規登録、編集、削除、帳票出力、一括登録が行えます。初期設定では画面ポリシーの設定は非表示となっていますので、画面ポリシー管理画面で利用する画面ポリシーを指定して、表示へ変更してください。
- (38) プロセス管理詳細画面の[メール送信]ボタンの表示、非表示を変更可能としました。
ボタン表示の変更は、SSMDB サーバーコンフィグレータの以下の管理項目で行います。
【管理項目名】
プロセス詳細画面の[メール送信]ボタン表示制御設定
【選択値】
・[メール送信]ボタンを表示しない
・[メール送信]ボタンを表示する
- メール編集画面の[メール送信]ボタンの表示、非表示を変更可能としました。
ボタン表示の変更は、SSMDB サーバーコンフィグレータの以下の管理項目で行います。
【管理項目名】
メール編集画面のボタン制御設定
【選択値】
・[送信]ボタン、[送信 + 経過追加]ボタンを表示する
・[送信]ボタンのみ表示する
・[送信 + 経過追加]ボタンのみ表示する
- メールアドレスチェック機能で指定可能なチェックパターンへ禁止を追加しました。
メール送信時に、禁止に指定されたメールアドレスに該当する場合はその旨を表示しメールは送信されません。
- (39) コード値別必須制御機能を追加しました。
コード値別必須制御機能は、2014.0.0.0 バージョンアップ時に画面ポリシーが非表示となっています。当該機能を使用する場合は画面ポリシーを表示に変更してください。
- (40) ホーム画面のデフォルト設定で以下の設定が行えるようにしました。
・ プロセス管理および簡易プロセスの経過一覧の「右端で折り返す」「並び順」の初期値
- (41) エンドユーザーのホーム画面に、ユーザーが対応するタスクを一覧表示する簡易プロセス一覧を追加しました。簡易プロセス一覧は簡易プロセス表示エリアのヘッダーから起動します。
- (42) コード登録コマンド(sjSPU_ImportCode.exe)を新規に追加しました。コードマスタ管理のマスタデータをコマンドから登録できます。
- (43) DB 再構築コマンド(sjSPB_ReconstructDB.exe)を追加しました。Oracle Database の統計情報の再取得、インデックスの再構成、キャッシュクリアを行います。
- (44) システム登録コマンド(sjSPU_ImportSystem.exe)を新規に追加しました。Web 画面のシステムマスタ管理と同内容の登録ができます。
- (45) マスタ登録コマンド(sjSPU_ImportMst.exe)で、登録を行う項目をカスタマイズできるようにしました。登録対象の項目はマッピングアイテムファイルで指定してください。
- (46) マスタ登録コマンド(sjSPU_ImportMst.exe)で問合せ元を登録する場合に、本バージョン以前のフォーマットのインポートファイルで登録を行うオプションを追加しました。
- (47) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)に、構成管理反映コマンド(sjSPB_ReflectCI.exe)を使用せずに、構成アイテム(構成管理)のレコードを現在の構成に登録する機能を追加しました。

- (48) 過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)に記録に登録した添付ファイルのみを削除する機能を追加しました。
- (49) 過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)にプロセスの記録に振分済のイベントの記録を削除する機能を追加しました。
※削除を行った場合、プロセスの記録からイベント戻しはできません。
- (50) マスタ削除コマンド(sjSPU_DeleteMst.exe)に会社マスタおよび組織マスタを削除する機能を追加しました。
- (51) 操作ログ取得コマンド(sjSPU_GetAuditLog.exe)にプロセスの記録の更新情報を出力する機能を追加しました。
- (52) データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)で、出力を行う項目をカスタマイズできるようにしました。出力対象の項目はマッピングアイテムファイルで指定してください。
- (53) データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)で以下の項目の出力に対応しました。

【プロセス管理】

- ・ 問合せ元 ID
- ・ 問合せ元テキスト 1～18
- ・ 問合せ元テキストエリア 1
- ・ 問合せ元日付 1
- ・ フロータイトル
- ・ 添付ファイル 1
- ・ 添付ファイル 2
- ・ 添付ファイル 3
- ・ 添付ファイル 4
- ・ 経過添付ファイル

【イベント管理】

- ・ 添付ファイル 1
- ・ 添付ファイル 2
- ・ 添付ファイル 3
- ・ 添付ファイル 4
- ・ 経過添付ファイル

- (54) 申請中プロセスの経過情報ブロックの追加・編集を承認フローの現在対応者のみに制限する機能を追加しました。
申請中のプロセスデータの操作制限の変更は、SSMDB サーバーコンフィグレータの以下の管理項目で行います。

【管理項目名】

申請中のプロセスデータの操作制限

【選択値】

- ・制限しない〈初期値〉
- ・制限する

メール送信後経過追加時の自動経過登録設定の変更は、SSMDB サーバーコンフィグレータの以下の管理項目で行います。

【管理項目名】

メール送信後経過追加時の自動経過登録設定

【選択値】

- ・自動登録しない
- ・自動登録する 〈初期値〉

1.18.2 不具合対応

- (1) Windows7、IE9 の組合せのクライアント端末で、コンボボックスを操作できない場合がある不具合を修正しました。
- (2) スマートフォン版の Web 画面でログイン時に誤ったパスワードを入力した際、SSM DB サーバーコンフィグレータの制御情報の管理項目「アカウントロックまでのリトライ回数」に達していなくてもアカウントがロックされる不具合を修正しました。
- (3) シングルサインオン機能を利用し、外部サイトからのリンクによって Senju Service Manager にアクセスする時、ウィンドウ名が指定した場合に、ログインフレームのナレッジダイアログ起動アイコン、ログアウトアイコン押下時にエラーとなる不具合を修正しました。
- (4) 以下の条件で V12.0.1.x 以前に送信されたメールのアクセス URL から Senju Service Manager にアクセスした場合にシステムエラーとなる不具合を修正しました。

<条件>

- ・ HTTPS 接続を行っている。
 - ・ SSM DB サーバーコンフィグレータの制御情報で「ログイン状態維持設定」を「ログイン状態を維持する」としている。
 - ・ 同一端末でログインしようとしているユーザーが既に Senju Service Manager にログイン中である。
- (5) 以下の画面で日付型の検索条件項目に数字以外の値を入力し操作を行った場合に、システムエラーが発生する不具合を修正しました。
 - ・ プロセス一覧
 - ・ 簡易プロセス一覧
 - ・ フレーム・ネット・ジョブ申請一覧
 - ・ 関連選択(関連プロセス)
 - ・ SLAM チャート抽出条件設定新規登録、編集
 - ・ チェックリスト条件設定新規登録、編集
 - (6) 以下の画面の該当項目にて複数行を表示した場合に、一部が見切れてしまう不具合を修正しました。

<対象画面>

- ・ ホーム
 - └ タスク表示エリア
 - └ 伝言メモ表示エリア
 - └ ToDo 一覧表示エリア
 - └ 代理承認表示エリア
- ・ ユーザーマスタ管理一覧
 - └ 会社名表示エリア
 - └ 組織表示エリア
- ・ システム日別スケジュール
 - └ タイトルエリア
- ・ ユーザー日別スケジュール
 - └ タイトルエリア
- ・ 構成アイテム管理(ID 管理)日別スケジュール
 - └ タイトルエリア
- ・ アカウント管理(ID 管理)日別スケジュール
 - └ タイトルエリア

- (7) 特別編集権限を持ったユーザーが以下の状態の承認済のレコードを更新した場合にシステムエラーとなる不具合を修正しました。
- ・ コマンド実行に登録されているレコードが 0 件
 - ・ コマンド実行の表示形式が編集可能、必須指定が必須
- (8) 新規登録で、公開グループの初期選択値が[SSM DB サーバコンフィグレータ>基本情報>制御情報]の管理項目「必須指定項目の初期表示方法」の設定に関わらず、常に「----」が表示される不具合を修正しました。
- (9) 日時の自動計算項目の計算結果が 2,147,483,647 秒 (=68 年)を超えた場合にシステムエラーとなる不具合を修正しました。
- (10) 自動タイムアウト時間に到達した時点で、自動ログアウトし他のユーザーがログインできるように以下の修正を行いました。

以下の管理項目を削除しました。

【管理項目名】

タイムアウトまでの時間(分)

以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

固定接続ユーザータイムアウトまでの時間(分)

同時接続ユーザータイムアウトまでの時間(分)

タイムアウトチェック間隔(分)

- (11) 自動タイムアウト時間に到達した時点で、自動ログアウトし他のユーザーがログインできるように以下の修正を行いました。

以下の管理項目を削除しました。

【管理項目名】

タイムアウトまでの時間(分)

以下の管理項目を追加しました。

【管理項目名】

固定接続ユーザータイムアウトまでの時間(分)

同時接続ユーザータイムアウトまでの時間(分)

タイムアウトチェック間隔(分)

- (12) 以下の画面でウィンドウのサイズを変更した際に縦スクロールバーが表示されない不具合を修正しました。

【対象画面】

- ・ オープン FAQ 検索ダイアログ
- ・ 種別データ選択ダイアログ
- ・ 自動メール通知ルート選択ダイアログ

- (13) 「初めにお読みください」画面の ID:0013 に記載されるインターネット一時ファイルの削除設定の説明文を以下へ変更しました。

【説明文】

以下の作業を行った場合は、インターネット一時ファイルを削除してください。

- ・ クライアント環境へのキャッシュを有効に設定した場合
- ・ Senju Service Manager のバージョンアップを行った場合
- ・ Senju Service Manager のモジュール適用を行った場合

- (14) メッセージ内に表示されるラベルの値が変更したラベル名で表示されない不具合を修正しました。

- (15) サービスデスクユーザーが簡易プロセス画面の参照権限のみをもつ場合にタスク一覧画面に本来参照出来ない簡易プロセスのデータが表示される場合がある不具合を修正しました。
- (16) プロセス一覧の検索条件で分類項目の表示順を「下位分類-上位分類」の順で表示し検索を行った場合に、アプリケーションエラーが発生する不具合を修正しました。
- (17) プロセス詳細で選択可能な下位分類コードが存在しない分類項目に対して、承認申請前・クローズ前の必須チェックが行われる不具合を修正しました。
- (18) チェックリスト条件設定で日付条件を経過日数(〇〇日以上経過)で指定した場合に、プロセスの新規登録時に該当の日付項目の条件判定が正しく行われない不具合を修正しました。
- (19) チェックリスト設定およびプロセス管理から起動するチェックリスト詳細で、チェック内容に指定された構成アイテム(構成管理)のレコードが削除されていた場合に、履歴詳細へのタイトルリンクが表示されない不具合を修正しました。
- (20) 新規登録(編集)で、ブロック制御コンボボックス 1~3 を切り替えた場合に表示される参照表示への切替え確認でキャンセルを行った場合に、制御対象ブロックの編集設定とブロック制御コンボボックスの値に不一致が発生する不具合を修正しました。
- (21) 経過一覧で、メール編集より[送信+経過追加]したレコードのチャンネルに表示されるメールアイコンからメール詳細を起動できない不具合を修正しました。
- (22) SSM DB サーバーコンフィグレータで制御情報の管理項目「SSA 連携一時停止解除指示メール送信制御設定」が「メール送信しない」を設定した場合でも、一時停止解除指示時にメールが送信される不具合を修正しました。
- (23) ネット・ジョブ起動時刻変更の起動予定時刻に 24 時間 00 分より大きい値を登録した場合に、ネット・ジョブ起動時刻変更詳細およびネット・ジョブ起動時刻変更申請内容一覧で値が空白表示される不具合を修正しました。
- (24) 以下の状態のプロセスのレコードでフレーム・ネット・ジョブ一時停止の編集ができない不具合を修正しました。
- 【発生条件】**
- ・ 申請状況が承認済
 - ・ 簡易プロセスから起票されたレコード
 - ・ ログインユーザーが該当画面の特別編集職責を持っている。
 - ・ SSM WEB サーバーコンフィグレータの設定でフレーム・ネット・ジョブ一時停止を承認済時編集不可に設定
- (25) 詳細項目「申請状況」が非表示の場合に、承認後に解除予定日時を変更したことを示すステータス「解除予定日時変更」がフレーム・ネット・ジョブ一時停止詳細に表示されない不具合を修正しました。
- (26) 新規登録で複数システムを選択している場合に、SSA 連携項目の新規登録／編集を行えない不具合を修正しました。
- (27) コードマスタ管理で種別を削除した場合、削除した種別を設定したレコードで承認申請を行うことができない不具合を修正しました。
- (28) レコードの申請状況が申請中の時、画面設定が任意入力の場合でも種別が参照表示となる不具合を修正しました。
- (29) プロセス管理の対応一覧に表示される項目毎の変更履歴に誤ったデータが登録される不具合を修正しました。

＜不具合詳細＞

- Senju/SM 2013.0.0.5 でプロセス詳細項目「ステータス」で製品の初期登録コードを使用している場合

対応一覧画面に表示される変更履歴に別プロセス画面の初期登録コードの名称が表示される場合がございます。

Senju/SM V12.0.1.0 をバージョンアップしてご利用いただいている場合は以下の初期登録コードが対象となります。

＜V12.0.1.0 以前のインシデント管理画面＞

新規

受付済

割当済

処理中

保留中

解決済

＜V12.0.1.0 以前のサービス要求画面＞

新規

受付済

割当済

処理中

保留中

既知エラー登録済

変更要求済

解決済

＜V12.0.1.0 以前の問題管理画面＞

新規

受付済

スケジュール済

承認待ち

承認済

実施待ち

実施中

実施済

＜V12.0.1.0 以前の変更管理画面＞

新規

受付済

割当済

対応中

対応済

- コードマスタ管理より初期登録コードの名称を変更している場合も事象は発生します。
- コードマスタ管理より新規に登録したコードでは本事象は発生しません。

(30) プロセス一覧の帳票出力が IIS で設定したスクリプトタイムアウトなどで異常終了した場合に、帳票出力できない場合がある不具合を修正しました。

(31) プロセス一覧の帳票出力でユーザー項目を出力した場合に、ユーザーマスタ管理から削除されたユーザーが空白で出力される不具合を修正しました。

(32) プロセス詳細帳票出力で、詳細項目「現在対応者」が非表示の場合に、EXCEL に承認情報のシートが出力されない不具合を修正しました。

(33) プロセス詳細帳票出力で、ネット・ジョブ起動時刻変更が登録されたレコードの出力を行った場合に XML ロードエラーとなり帳票出力に失敗する場合がある不具合を修正しました。

＜発生条件＞

- ・ 「ネット・ジョブ起動時刻変更」の登録数 > 「フレーム・ネット・ジョブ一時停止」の登録数となるレコードが含まれていた場合
- (34) メール送信機能を利用できない場合に、エスカレーションで通知先のユーザーを選択できる不具合を修正しました。
- (35) エスカレーションを行った場合に、エスカレーション(通知)の自動送信メール設定に承認フローコメントの置換文字列(%PRC:WF_COMMENT%)を指定すると、エスカレーションコメントで置換される不具合を修正しました。またプロセス管理(簡易プロセス)およびナレッジで承認フローを進めた場合に、承認依頼(通知)の自動送信メール設定にエスカレーションコメントの置換文字列(%PRC:ES_COMMENT%)を指定すると、承認フローコメントで置換される不具合を修正しました。
- (36) イベント管理から振分けたクローズ済みのレコードに対してイベント戻しが行える不具合を修正しました。
- (37) 簡易プロセスから問合せが行われたレコードを、プロセス管理で承認申請し申請中となった場合に、プロセス詳細から完了が行える不具合を修正しました。
- (38) 対応一覧で表示するレコードが存在しない時、並び順を変更した場合に、システムエラーとなる不具合を修正しました。
- (39) メール編集で宛先、CC、BCC にセミコロン(;)のみを入力した状態で送信先選択を起動した場合に、システムエラーとなる不具合を修正しました。
- (40) メール編集で、宛先/CC/BCC が設定されていないメールテンプレートを適用した場合に、既に入力していたメールアドレスがクリアされる不具合を修正しました。
- (41) 自動メール通知機能で、自動メール通知条件設定で日付条件を経過日数(〇〇日以上経過)で指定した場合に、プロセスの新規登録・更新時に該当の日付項目の条件判定が正しく行われない不具合を修正しました。
- (42) 自動メール通知機能で、現ルートの通知先ユーザー数が前ルートの通知先ユーザー数より少ない自動メール通知ルートがプロセスのレコードに適用された場合、通知先ユーザーが正しく適用されない不具合を修正しました。
- (43) スマートフォン版で、詳細項目に設定した数字が電話番号リンクとして表示される不具合を修正しました。
- (44) フォームのすべての項目の表示形式が参照だった場合にコピー登録を行える不具合を修正しました。
- (45) 編集画面でプロセス管理の画面にのみに適用される職責「データの特別編集」が使用される不具合を修正しました。
- (46) エスカレーション先選択画面にて、選択元リスト検索条件の保存時の不具合を修正しました。
・ 検索条件「氏名」を指定して保存する際の入力チェックを 30 バイトから検索実行時と同じく 200 バイトでチェックし保存できるように修正しました。
- (47) プロセス管理の社外申請者情報「メールアドレス」ラベルを変更した時、エスカレーション先選択ダイアログの「メールアドレス」ラベルが変更されてしまう不具合を修正しました。
- (48) プロセス管理の社内申請者情報「氏名」ラベルを変更した時、エスカレーション先選択ダイアログの「氏名」ラベルが変更されてしまう不具合を修正しました。
- (49) プロセス管理の社内申請者情報「氏名」ラベルを変更した時、メール送信先選択ダイアログの「氏名」ラベルが変更されてしまう不具合を修正しました。

- (50) プロセス管理の社内申請者情報「氏名カナ」ラベルを変更した時、メール送信先選択ダイアログの「氏名カナ」ラベルが変更されてしまう不具合を修正しました。
- (51) エスカレーション履歴画面の一覧タイトルを、「検索結果一覧」から「エスカレーション履歴一覧」に修正しました。
- (52) プロセス経過追加編集画面の経過追加時に、以下の経過項目のバリデーションチェックが行なわれていない不具合を修正しました。
- 【対象項目】
- ・(経過)対応先
 - ・(経過)テキスト 1
 - ・(経過)テキスト 2
 - ・(経過)テキスト 3
 - ・(経過)テキスト 4
 - ・(経過)テキストエリア 1
 - ・(経過)テキストエリア 2
 - ・(経過)テキストエリア 3
 - ・(経過)テキストエリア 4
- (53) プロセスの経過追加時に、入力制御機能に対応している項目に 4000 バイトを超える文字数を入力して登録しようとすると、システムエラーが発生する不具合を修正しました。
- (54) 承認フロールート管理で帳票出力を行った場合に、末尾のルートの承認者が複数選択されている場合に末尾のルートのみ<SSM_SEPARATOR>の置換が行われない不具合を修正しました。
- (55) SSA 機能で使用する以下のコード値のコード名称、色、表示順を変更可能としました。
- 【対象コード】
- ・連携ステータス
 - ・連携ステータス(個別)
- (56) 簡易プロセスで自動送信するサービスデスクユーザー宛てのメールに自動メール設定で設定したサービスデスクユーザー宛てのテンプレートが適用されない不具合を修正しました。
- 【対象のメールアクション】
- 承認依頼
 - 確認依頼
 - 作業依頼
 - 承認
 - 差戻し
 - 却下
 - 承認依頼(通知)
 - 確認依頼(通知)
 - 作業依頼(通知)
 - 承認(通知)
 - 差戻し(通知)
 - 却下(通知)
- (57) 簡易プロセスから新規登録を行った際に、以下の場合に自動メール通知が適用されない不具合を修正しました。
- ・簡易プロセス新規登録画面でステータスが非表示の状態で、条件に「ステータス」が含まれている場合
 - ・条件に「種別」が含まれている場合
- (58) Senju Service Manager V12.0.0.0 以前のバージョンからバージョンアップした場合に、イベントに「振分済」と「保留中」のデータが表示されない不具合を修正しました。

(59) 構成アイテム(構成管理)の一括登録で以下の項目へ小数点またはマイナスの値を指定した場合に指定した値が正しく登録されない不具合を修正しました。

〈対象項目〉

- ・ ディスク容量
- ・ メモリ容量
- ・ 数値テキスト1
- ・ 数値テキスト2
- ・ 数値テキスト3
- ・ 数値テキスト4

(60) 構成アイテム(構成管理)の一括登録で、接続先機器に親階層以外のデータ種別の構成アイテムが指定された場合に接続先機器へ指定した構成アイテムが登録される不具合を修正しました。

(61) 構成アイテム(構成管理)の一括登録で、構成アイテム(構成管理)詳細で項目「システム」の前に配置されたコード項目の値を登録できない不具合を修正しました。

(62) 構成アイテム(構成管理)の一括登録で、構成アイテム(構成管理)詳細で分類項目を分類の階層順に配置していない場合、分類項目の値が登録されない不具合を修正しました。

(63) 構成アイテム(構成管理)の一括登録で接続先機器、関連機器にて異なる画面を指定した場合に、最大登録件数を超えて接続先機器、関連機器が登録される不具合を修正しました。

(64) 構成アイテム管理(構成管理)で接続先機器に複数の画面のレコードを選択した場合、どちらか一方のレコードの紐づきが登録できない不具合を修正しました。

(65) 構成アイテム(構成管理)の新規登録及び編集で入力エラー発生後に添付ファイルを登録した場合、登録した添付ファイルをダウンロードできない不具合を修正しました。

(66) 要員管理編集にて、職責が設定済みのシステムに対して、ログインユーザーが所属していないシステムについても解除操作が可能となっていた不具合を修正しました。

(67) [ログインフレーム-ログインフレーム-FAQ]の画面ポリシーの設定が反映されず、ログインフレームのFAQ ダイアログから、FAQ のレコードを参照できない場合がある不具合を修正しました。

(68) SLAM チャートの詳細でプロセスのレコードがクローズされているのにも関わらず、対応期限切れアイコンが表示される不具合を修正しました。

(69) 参照可能なプロセス管理の画面が存在しない場合に、フレーム・ネット・ジョブ申請一覧でシステムエラーが発生する不具合を修正しました。

(70) フレーム・ネット・ジョブ申請一覧で検索条件「制御種類」に複数のコードを選択し、検索した場合にシステムエラーとなる不具合を修正しました。

(71) 時刻表示フォーマットが時分の時、フレーム・ネット・ジョブ申請一覧で「リミット時刻 From」と「リミット時刻 To」の検索が正しく行われない不具合を修正しました。また入力形式をプロセス管理に合わせ、「HHMM(時分)」に変更しました。

(72) フレーム・ネット・ジョブ申請一覧で「リミット時刻 From」と「リミット時刻 To」の大小関係をチェックする処理を追加しました。

(73) フレーム・ネット・ジョブ申請一覧でコンボボックス「表示順」内の項目の並び順を検索結果一覧の項目の並び順に統一しました。

(74) フレーム・ネット・ジョブ申請一覧で検索条件「解除予定日時変更」を指定し検索した場合に、「解除予

定日時変更」の検索対象とならないフレーム・ネット・ジョブスキップ／解除、ネット・ジョブ起動時刻変更のレコードが検索される不具合を修正しました。

※「解除予定日時変更」を指定した場合は、フレーム・ネット・ジョブ一時停止のデータのみ検索対象となります。

- (75) CTI 連携機能を使用して「RecwareⅢ」に保存された録音情報のリスニング時、録音ファイルが複数件登録されている場合に、誤った録音ファイルが再生される不具合を修正しました。
- (76) Senju/SM 間連携機能で外部リンクの履歴を保存する際に最大件数チェックエラーとなった場合のメッセージを修正しました。
- (77) Senju/SM 間連携設定新規登録画面で登録時に既に設定が登録されている場合のメッセージを修正しました。
- (78) 互換表示が OFF の場合に、フレーム・ネット・ジョブ申請一覧で検索を実施後、表示順の変更のみ行い改ページをした場合に、検索時に設定した表示順とらず変更した表示順が表示される不具合を修正しました。
- (79) ユーザーマスタ管理の一覧帳票で「アカウント区分」項目の出力値が、「サービスデスクユーザー(同時接続)」だった場合に、「サービスデスクユーザー(固定接続)」と出力される不具合を修正しました。
- (80) メールアドレスチェック設定編集画面の「許可」ラベルを、メールアドレスチェック設定一覧画面の検索条件ラベルにあわせて「許可ステータス」に修正をしました。
- (81) チェックリスト適用設定一覧の検索条件のステータスリストが、グレーで表示される不具合を修正しました。
- (82) 種別適用設定一覧の検索条件のステータスリストが、グレーで表示される不具合を修正しました。
- (83) 種別データ設定詳細画面の、登録日時／更新日時が表示されない不具合を修正しました。
- (84) 種別データ設定編集画面の、登録日時／更新日時が表示されない不具合を修正しました。
- (85) 構成管理変更予定画面の、ウィンドウタイトルを「Senju Service Manager」から「<構成アイテム名>(構成アイテム ID)」と設定されるよう修正しました。
- (86) 構成管理削除予定画面の、ウィンドウタイトルを「Senju Service Manager」から「<構成アイテム名>(構成アイテム ID)」と設定されるよう修正しました。
- (87) メール詳細画面の本文項目ラベルを「件名」から「本文」に修正をしました。
- (88) メインメニュー編集画面で、メインメニュー名の入力エラー時に表示される、入力エラー画面のメインメニュー名ラベルの取得値に誤りがあったため修正をしました。
- (89) サブメニュー追加画面で、サブメニュー名の入力エラー時に表示される、入力エラー画面のサブメニュー名ラベルの取得値に誤りがあったため修正をしました。
- (90) サブメニュー編集画面で、サブメニュー名の入力エラー時に表示される、入力エラー画面のサブメニュー名ラベルの取得値に誤りがあったため修正をしました。
- (91) データ種別編集画面で、データ種別名の入力エラー時に表示される、入力エラー画面のデータ種別名ラベルの取得値に誤りがあったため修正をしました。
- (92) コメント入力画面で、コメントの入力エラー時に表示される、入力エラー画面のコメントラベルの取得値に誤りがあったため修正をしました。

- (93) 分類マスタ管理画面で1つの分類種別に対して全階層の合計で100件以上の分類が登録されている状態で、2階層目の分類または3階層目の分類の[削除]ボタンをクリックした場合に分類編集画面が起動する不具合を修正しました。
- (94) コードマスタ管理の「コード種別」に表示される以下のコード項目の名称にカスタマイズしたラベル値が反映されない不具合を修正しました。
- ＜プロセス管理＞
- ・ チェックボックス1
 - ・ チェックボックス2
 - ・ チェックボックス3
 - ・ クローズ種別
- (95) 以下の画面で、ログインユーザーが参照権限を持たないレコードのタイトルを参照できてしまう不具合を修正しました。
- (対象画面)
- ・ ホーム
 - ・ 帳票タスク一覧
 - ・ ユーザー別タスク一覧
 - ・ 代理承認
 - ・ ブックマーク一覧
 - ・ ブックマークリスト設定
 - ・ FAQ 詳細
 - ・ FAQ 編集
 - ・ 既知エラー 詳細
 - ・ 既知エラー 編集
 - ・ 関連ナレッジ検索
- (96) タスク一覧で、サービスデスクユーザーが問合せ・申請の画面の表示権限のみを持っている場合に、問合せ・申請の画面で参照可能なレコードのタイトルリンクが表示されない不具合を修正しました。
- (97) タスク一覧(ユーザー毎)で以下の不具合を修正しました。
- ・ クローズ期限日時が現在日時を超えていた場合に、クローズ期限日時の文字色が赤で表示されない。
 - ・ クローズ期限日時が現在日時を超えていた場合、かつ未クローズのレコードに対して期限切れアイコンが表示されない。
 - ・ SSM DB サーバーコンフィグレータの制御情報「グループリストの選択可能グループ設定」で「全ての登録グループ」を指定した場合に、検索結果と帳票出力の結果が不一致となる。
- (98) エンドユーザーの代理承認一覧で、エンドユーザー承認ライセンスを保有していない場合にログインユーザーが承認者となっているレコードが表示される不具合を修正しました。
- (99) ログインユーザーがエンドユーザーの場合に、デフォルト設定にサービスデスクユーザー用の項目「デフォルトメール送信者アドレス」が表示される不具合を修正しました。
- (100) システムスケジュールの登録画面でシステムを変更しても項目「予定」がシステムに紐付いたリストに切り替わらない不具合を修正しました。
- (101) ホーム画面左側のユーザースケジュールで、ログインユーザーが参照権限を持たないレコードのタイトルを参照できてしまう不具合を修正しました。
- (102) ユーザースケジュールで、コードマスタ管理で無効とした「予定」の名称が表示されない不具合を修正しました。

- (103) [ホーム>ユーザー設定] 配下の画面の画面ポリシーが 1 つしかない場合に、[ホーム>ユーザー設定]配下の画面の更新または編集のキャンセルを行った際、アプリケーション実行エラーとなる不具合を修正しました。
- (104) ユーザー設定のインポートで、認証方法が「ActiveDirectory 認証」および「OpenLDAP 認証」のユーザーに対して認証設定名を空白で登録できる不具合を修正しました。
- (105) ユーザー設定のインポートで、フィールド情報より“アカウント区分”を指定せずインポートを行った場合に更新したユーザーに紐づく承認フロールートやタスクが正しく表示されない不具合を修正しました。
- (106) ユーザー設定のインポートで、登録されている組織に紐づかない会社を指定した場合に会社と組織の紐づきが不整合の状態に登録される不具合を修正しました。
- (107) 261 文字以上の文字列を入力した状態で、一覧の表示幅を広げた場合、末尾の文字列が文字化けして表示される不具合を修正しました。
- (108) 簡易画面の項目「セパレータ」の項目名を変更できてしまう不具合を修正しました。
- (109) サービスデスク画面の入力例、簡易画面の説明にシングルクォート(')を設定できない不具合を修正しました。
- (110) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)およびイベント受信デーモンでプロセスのレコードに登録した場合、申請完了時間の登録値を Web 画面と同様に「0 日 0 時間 0 分」から未設定に変更しました。
- (111) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)およびイベント受信デーモンでプロセスのレコードに登録した場合、編集合計時間の登録値を Web 画面と同様に未設定から「0 日 0 時間 0 分」に変更しました。
- (112) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)で構成アイテム(構成管理)のレコードに登録する際、接続先機器に以下のレコードに登録できない不具合を修正しました。
- ・ 直近の予定の申請が取消された構成アイテム(構成管理)のレコード
- (113) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)で構成アイテム(構成管理)の項目「接続先機器」に登録した場合に、親階層のレコードの接続機器最大件数のチェックを行っていない不具合を修正しました。
- (114) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)で構成アイテム(ID 管理)のレコードを新規登録モードで登録した場合に、新規登録モードを指定していた時、ステータスに指定された値が未指定の際、未設定で登録される不具合を修正しました(「有効」を設定します)。
- (115) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)で案件種別“構成アイテム”と“要員”を指定した場合に、「関連プロセス区分」「関連プロセス ID」を指定するとエラーになる不具合を修正しました。
※「関連プロセス区分」「関連プロセス ID」を指定した場合、登録はできますが 2013.0.0 から画面より削除した項目のため確認はできません。なお、本不具合は 12.0.1.0 以前から 2013.0.0.0 バージョンアップされた Senju/SM にて発生します。
- (116) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)およびイベント連携機能で、添付ファイルが登録された構成アイテム(構成管理管理)のレコードに対して、削除予定または添付ファイル項目未指定にて変更予定を起票した場合に、履歴のレコードに対して添付ファイルが登録されない不具合を修正しました。
- (117) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)およびイベント連携機能で以下のユーザーマスタのレコードに登録した場合に、パスワードが空白で登録される不具合を修正しました。

- ・ 認証方法:SSM 基本認証
 - ・ パスワード:空白(未指定)
 - ・ 上記以外必須項目:必ず指定するが値は任意
 - ・ 上記以外任意項目:任意
- (118) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)およびイベント連携機能で、ユーザーマスタのレコードを登録した場合に、フィールド情報の“認証設定名”に空白が指定できる不具合を修正しました。
- (119) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)およびイベント連携機能で、ユーザーマスタのレコードを登録した時に、登録されている組織に紐づかない会社を指定した場合に会社と組織の紐づきが不整合の状態に登録される不具合を修正しました。
- (120) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)で、ユーザーマスタ管理のレコードの登録をする場合に、ユーザーIDに最大桁数を超える文字列を指定した場合、文字列の切り捨てが行われず、レコードを登録できない不具合を修正しました。
- (121) Senju Enterprise Navigator - Senju Service Manager 間のメール受信連携・イベント受信連携または、データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)で、変更管理の“変更情報添付ファイル名”と“付加情報添付ファイル名”、変更管理の“実施者”と“実施予定者”各々に指定したデータが、逆に登録されてしまう不具合を修正しました。
- (122) イベント連携機能でプロセスのレコードの経過追加を行った場合に最終更新日時が更新されない不具合を修正しました。
- (123) イベント連携機能で、Senju Enterprise Navigator から大量のイベントを受信した場合に、Senju Service Manager で未処理のイベントが 1 万件を超えた場合に処理に失敗する不具合を修正しました。
- (124) イベント連携機能で、Senju Enterprise Navigator のサービスを再起動した直後に、イベント連携処理が行われた場合に、Senju Service Manager の実行結果を Senju Enterprise Navigator で受け取れない場合がある不具合を修正しました。
- (125) イベント連携機能で、Senju Enterprise Navigator - Senju Service Manager 間の接続が外部要因(ネットワーク切断等)によって切断した場合に、接続が復旧した後、再接続に失敗する不具合を修正しました。
- (126) イベント連携機能で、プロセスのレコードを登録した場合に Senju Enterprise Navigator に返却するパラメータ「出力メッセージ」および「実行結果」にプロセスのレコード ID を返却していない不具合を修正しました。
- (127) マスタ登録コマンド(sjSPU_ImportMst.exe)で問合せ元情報を登録する場合に、問合せ元テキスト 1~10 に最大桁以上の値を指定すると最大桁数での切り捨てが行われずに登録される不具合を修正しました。
※本バージョンより前に登録を行った最大桁数以上の値が設定された問合せ元情報をプロセスで引用した場合は、プロセスの登録／更新時に最大桁数チェックエラーとなります。
- (128) データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)で、出力ファイルのヘッダー項目のラベル名称に含まれる半角カンマを全角カンマに変換するよう変更しました。
- (129) 申請状況通知コマンド(sjSPX_ChkEscaCond.exe)で、送信対象者を現在対応者とした場合に承認フロールート No1 へ差し戻されたレコードに対する通知メールが送信されない不具合を修正しました。
- (130) 申請状況通知コマンド(sjSPX_ChkEscaCond.exe)および自動メール通知コマンド(sjSPX_ChkElapsedTime.exe)で通知対象プロセスの起票時刻が「00:00:00」～「08:59:59」の場合、通知メールが送られない不具合を修正しました。

- (131) 申請状況通知コマンド(sjSPX_ChkEscaCond.exe)および自動メール通知コマンド(sjSPX_ChkElapsedTime.exe)で送信したメールの宛先に設定されたメールアドレスにユーザー名が付与されない不具合を修正しました。
- (132) 申請状況通知コマンド(sjSPX_ChkEscaCond.exe)および自動メール通知コマンド(sjSPX_ChkElapsedTime.exe)で送信者、宛先(CC、BCC 含む)の名称にダブルクォート(")、カンマ(,)、円マーク(¥)が含まれていた場合に、メール送信が行えない不具合を修正しました。
- (133) 申請状況通知コマンド(sjSPX_ChkEscaCond.exe)で、プロセスのレコードに設定されたシステムに所属していないユーザーに対してメール送信が行われる不具合を修正しました。
- (134) 過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)で、すべての履歴のみにデータが存在する構成アイテム(構成管理)のレコードを削除できない不具合を修正しました。
- (135) コマンド実行編集画面で、コマンドシーケンスの入力エラー時に表示される入力エラー画面のラベルを「コマンド実行」から「コマンドシーケンス」に修正をしました。
- (136) マスタ登録コマンドを使用して承認フロールートマスタを登録時に、承認者または通知先に同じユーザーが重複して指定された場合に、同じユーザーが複数登録される不具合を修正しました。
- (137) データ登録コマンドを使用してユーザーを登録時に以下の項目に同じデータが重複して指定された場合に、登録エラーとなり登録が行えない不具合を修正しました。
- 【対象項目】
- ・職責
 - ・グループ
 - ・代理承認者
 - ・チーム×役割

1.18.3 前バージョンからの変更点

- (5) アクセス URL を使用し、Web 画面にログインした場合にユーザーのアカウント区分や表示権限に従い、表示する画面(プロセス管理/問合せ・申請)を判定するようにしました。
- (6) システム選択ダイアログのユーザーインターフェースを強化しました。
- (7) セッション維持機能を利用時に、ブラウザまたはブラウザ内のタブの閉じるボタン(×ボタン)押下した際に Senju Service Manager からログアウトが行えるよう変更しました。
ログアウト有無の変更は、SSMDB サーバーコンフィグレータの以下の管理項目で行います。
- 【管理項目名】
セッション維持機能利用時のログアウト制御設定
- 【選択値】
- ・ログアウト制御を行わない
 - ・ログアウト制御を行う
- ログイン時に既にログイン中となっている場合、表示されるメッセージの内容も変更しました。
- (8) 承認フロー関連のダイアログでコメントを必須入力項目に設定できるようになりました。
設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「ワークフロー画面コメント必須制御設定」で行います。

- (9) 承認申請機能で、承認フロールートの各ルートにあらかじめメールの通知先を設定できる機能拡張を行いました。
- (10) 承認申請機能で、次ルートの承認者へのメール送信を必須にする設定を追加しました。
設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「承認時メール送信先の必須制御設定」で行います。
- (11) 承認フロー履歴で、通知先に指定したユーザーを表示する項目を追加しました。
- (12) SSM DB サーバーコンフィグレータの制御情報の管理項目「一覧帳票出力上限件数(件)」の制御により、対象の件数が制御情報で設定した件数を超えていた場合、帳票出力ボタンが不活性となり、マウスカーソルを合わせた時に、メッセージを表示するように変更しました。
- (13) Web 画面の処理時間が SSM WEB サーバーの IIS の設定[ASP のスクリプトのタイムアウト]の値を超えエラーとなった場合に表示する画面をインフォメーション画面に変更しました。
- (14) 各画面で必要なマスタデータが存在しない場合に表示する画面をシステムエラーからインフォメーション画面に変更しました。
- (15) Web 画面の未操作によるタイムアウトが行われた場合に SSM WEB サーバーのシステムログ (sjSPB_System.log) に出力されるログの出力レベルを WARN から INFO へ変更しました。
- (16) Senju Service Manager 用オラクルユーザーが管理する通常機能に使用しない VIEW オブジェクト、PACKAGE オブジェクトを削除します。
※Senju Service Manager V12.0.0.0、V12.0.1.0 から バージョンアップを行い継続利用されている場合のみ、削除を行います。
- (17) 検索条件(メンテナンスで登録する検索条件含む)で、分類項目に設定されていた分類コードの一部が削除された場合、存在しない分類コードが設定されていた旨、アラートを表示するように変更しました。
- (18) 簡易プロセスで起票したレコードのシステム名と種別を変更可／不可を制御する機能を追加しました。
設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「簡易画面起票レコード編集制御設定」で行います。
- (19) クローズとなったレコードを完全に操作できないようにする制御を追加しました。設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「クローズされたプロセスデータの操作制限」で行います。
- (対象の操作)
- ・ SSA 連携キャンセル
 - ・ SSA 連携個別キャンセル
 - ・ SSA 連携一時停止解除指示
 - ・ SSA 連携一時停止解除実施
 - ・ 確認情報 追加/編集/削除
 - ・ 経過情報 追加/編集/削除
 - ・ イベント経由経過追加
 - ・ 経過のイベント戻し
 - ・ メール送信+経過追加
 - ・ 他のレコードから関連プロセスで紐づけられた場合の最終更新日時の更新
 - ・ ナレッジ申請をしたナレッジのレコードが承認済みになった際の最終更新日時の更新
- (20) 詳細項目「コンボテキスト」で初期インストール時に登録済みのコード「その他」の名称を変更できるようにしました。
- (21) 詳細項目「ステータス」で初期インストール時に登録済みのコード「クローズ」の名称を変更できるように

しました。

- (22) レコードを更新した場合、申請状況が「申請中」「承認済」の場合に、種別設定機能が適用されないよう変更しました。
- (23) コード値別編集制御機能で、ブロック制御コンボボックスを変更し制御ブロックの編集制御が参照となった場合、制御ブロック配下の項目の値をクリアするか値を保持するか、ログインユーザーが選択できるようになりました。
- (24) メール設定および自動メール設定で、置換文字列に指定できるプロセス管理の項目を拡張しました。対象となる項目は別紙「項目一覧」を参照してください。
- (25) エスカレーション先選択およびメール編集から起動する送信先選択の検索条件に項目「メールアドレス」を追加しました。
- (26) メール編集で送信者のメールアドレスの補足説明の文言「全システム共通メールアドレス」の表示／非表示を制御できるよう変更しました。
設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「SSA 連携スキップ指定／解除ボタン表示設定」で行います。
- (27) メール送信先選択で、選択元・選択済リストに表示する送信先内のアドレス区分の名称を、選択元リストで選択した画面(※)でカスタマイズしたラベル名称を反映するようにしました。
※要員管理、構成アイテム(構成管理 1～10)
- (28) 自動送信メール設定で、以下の置換文字列に付与されるガイド文「PC 版はこちら」「スマートフォン版はこちら」の表示を廃止しました。バージョンアップ前と同様のメール内容でメール送信を行う場合、自動送信メール設定で置換文字列の前にガイド文に追加してください(※)。
(対象置換文字列)
アクセス URL「%PRC:ACCESS_URL%」
スマートフォン用アクセス URL「%PRC:PHN_ACCESS_URL%」
※上記置換文字列の両方が自動送信メール設定に定義されている場合のみ
- (29) SSA 連携機能で、接続先名に指定するコード値に、千手連携アダプタのドメイン名を指定し連携処理を行えるようになりました。
- (30) SSA 連携機能で、ランブック実行項目の SSA 連携ステータスに以下を追加しました。
 - ・ 起動成功／正常終了／異常終了
- (31) SSA 連携機能で、スキップ指定追加ボタンとスキップ指定解除ボタンの表示をそれぞれ制御できるようになりました。
設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「SSA 連携スキップ指定／解除ボタン表示設定」で行います。
- (32) SSA 連携機能で、以下の画面で項目「接続先名／運用日付／連携システム／フレーム名／ネット名／ジョブ名」の自由入力を許可するか、ジョブ定義のコピーのみ許可するかの制御を追加しました。
設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「SSA フレーム・ネット・ジョブ検索結果反映項目の入力制御設定」で行います。
(対象項目)
 - ・ フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除
 - ・ フレーム・ネット・ジョブ一時停止
 - ・ ネット・ジョブ起動時刻変更
- (33) SSA 連携機能で、以下の項目でフレーム名 = ネット名かつネット指定(ジョブ名が空)の場合、登録不

可とする入力チェックを追加しました。

(対象項目)

- ・ フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除
- ・ フレーム・ネット・ジョブ一時停止
- ・ ネット・ジョブ起動時刻変更

(34) SSA 連携機能で、詳細項目「連携ステータス」から行う一括キャンセルを使用できる条件を以下の通り修正しました。

旧: プロセスの項目「連携ステータス」が「依頼待ち」である場合

新: プロセスの SSA 連携項目に連携ステータス(個別)が「依頼待ち」のレコードが1件でもある場合

(35) SSA 連携機能で、フレーム・ネット・ジョブ検索で、検索条件「絞込み」に「ジョブまで」を指定した場合、ジョブが未設定のレコードを検索しないように変更しました。

(36) SSA 連携機能で、フレーム・ネット・ジョブ検索の検索結果を以下の順で表示するようにしました。

- ・ 接続先名(昇順) > 運用日付(昇順) > フレーム名(昇順) > ネット名(昇順) > ジョブ名(昇順)

表示順を指定した場合は、指定された表示順を第一ソートキーとして表示します。

例) 「フレーム名」「降順」を指定して検索した場合

- ・ フレーム名(降順) > 接続先名(昇順) > 運用日付(昇順) > ネット名(昇順) > ジョブ名(昇順)

(37) SSA 連携機能で、フレーム・ネット・ジョブ検索の項目「接続先名」にコードマスタ管理で無効に設定したコードを表示しないよう変更しました。

(38) SSA 連携機能で、ランブック実行の項目「稼動ノード」の入力許可文字種を、半角英数字から半角英数字記号に変更しました。

(39) CTI 連携機能を利用しているユーザーの場合、着信時に表示する構成アイテム(構成管理)詳細の表示位置をディスプレイの左端に変更しました。また受話時に表示するプロセス編集、またはプロセス詳細の表示位置をディスプレイの右端に変更しました。

※着信時、構成アイテム(構成管理)に登録されたレコードが複数件ヒットした場合に表示する着信通知は既存と同様にディスプレイの中央に表示します。着信通知のタイトルリンクから起動する構成アイテム(構成管理)詳細はディスプレイの左端に表示するよう変更しました。

(40) 自動メール通知機能で、既に自動メール通知ルートが適用されたプロセスのレコードを、いずれの自動メール通知条件設定にも合致しない状態で更新した場合に、適用中の自動メール通知ルートを適用外とするよう変更しました。

(41) 申請機能を利用している編集画面で申請状況が申請前以外の場合に経過情報を非表示にする処理を廃止しました(経過項目の入力制御は SSM WEB サーバーコンフィグレータの設定を元に行います)。

(42) レコードの登録／更新時に、そのまま申請(問合せ)を行うか、申請(問合せ)をせずに登録／更新のみを行うかログインユーザーが任意に選択できるようになりました。

(43) 一覧で検索条件「アクション」の初期表示値を「起票者(ログインユーザー)」と未選択から選択できるようになりました。設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「アクションの初期選択値」で行います。

(44) 問合せ・申請をコード自動選択設定機能の対象外に変更しました。

※レコードの操作を行った場合に種別に紐づくフォームを利用できなくなる恐れがある為です。

(45) システム主担当者ユーザーが該当画面に対する表示権限または該当システムのエスカレーション職責を持っていなくても、問合せ／再問合せ／完了を行えるように変更しました。

- (46) ログインユーザーが起票したレコードでなくても、直近の承認フローで現在ルートより前に本来申請者となっていればレコードを参照できるようにしました。
- (47) 構成アイテム(構成管理)の「データの追加」職責を新規予定起票、変更予定起票、削除予定起票用にそれぞれ分割しました。
- ・ 既存
「データの追加」
 - ・ 今バージョン
「データの追加」※新規予定起票にあたります。
「データの追加(変更予定)」
「データの追加(削除予定)」
- (48) 構成アイテム(構成管理)で一括登録を行った時、登録用の CSV ファイルに存在しないマスタ値が存在した場合に入力チェックエラーとするか制御できるようにしました。対象となる項目は別紙「項目一覧」を参照してください。
設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「構成アイテム一括登録時の不正入力データ処理」で行います。
- (49) 構成アイテム(構成管理)の一括登録の対象項目に以下を追加しました。
- ・ 参考 URL
 - ・ メールアドレス 1
 - ・ メールアドレス 2
- (50) 構成アイテム(構成管理)で変更予定と削除予定を起票した場合に、初回の新規予定起票の際に自動登録された起票日・起票時刻を引き継ぐのではなく、都度システム日付・時刻を設定するよう変更しました。
- (51) 構成アイテム(構成管理)の一覧帳票出力で、関連機器、関連構成、接続先機器、接続機器の帳票出力フォーマットを「データ種別名:構成アイテム ID:構成アイテム名」から「データ種別名:システム名:構成アイテム ID:構成アイテム名」に変更しました。
※構成管理の一括登録処理では、データ種別名、システム名、構成アイテム ID、構成アイテム名をキーに登録する構成アイテムの存在チェックを行います。この為、2014.0.0 より前のバージョンで帳票出力した CSV ファイルのフォーマットでは一括登録は行えません。
- (52) 構成アイテム(構成管理)の削除予定の詳細でそれぞれ変更箇所チェック及び申請箇所チェックボタンの表示を行わないよう変更しました。
- (53) プロセス分析で、項目のラベル名称を全般に「発生○○」という表記を「起票○○」に変更しました。
※例:「発生件数」を「起票件数」に変更しています。
※機能に変更はありません。
プロセスのレコードの集計はバージョンアップ前と同様に
プロセスの起票日を記述に指定された期間内で起票されたレコードを集計します。
- (54) メンテナンス配下の一覧画面で検索結果の最大表示件数を変更可能にしました。設定は[SSM DB サーバーコンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報]の管理項目「一覧 1 ページ表示件数(件)」で行います。
- (55) ユーザーマスタ管理で、ユーザーが選択可能な代理承認者の最大件数を 100 件から 300 件に拡張しました。
- (56) システムの登録可能最大件数を 300 件から 1,000 件に拡張しました。これに伴い、1 ユーザーが所属可能なシステムの最大件数を 300 件から 1,000 件に変更、また 1 ユーザーが所属可能な職責(システムと職責の組合せ)の最大件数を 900 件から 3,000 件に拡張しました。

(57) 組織マスタの最大登録件数を 500 件から 1,000 件に拡張しました。

(58) コードマスタ管理で登録できるコード数の最大件数を以下の通り変更しました。

(ステータスが有効のコードの最大件数)

旧:1000 件

新:500 件

(ステータスが有効のコードと無効のコードを合わせたの最大件数)

旧:500 件

新:1000 件

(59) 祝祭日マスタに以下の祝祭日を追加しました。既に同一日付に祝日が登録されていた場合、追加は行いません。

- ・ 2015/09/22(国民の休日)および 2016 年～2020 年の祝祭日

(60) 自動メール通知条件設定の対象項目に起票日を追加しました。

(61) ホームに代理承認の直近 5 件を表示する設定を追加しました。

設定は SSM DB サーバコンフィグレータの制御情報設定で行います。

デフォルトでは「表示しない」が設定されています。

＜追加設定＞

[メインメニュー/サブメニュー/画面]

ホーム/ホーム/ホーム

[管理項目名]

ホーム画面代理承認一覧制御

＜Senju Service Manager V12.0.0.0 以前からのバージョンアップの場合＞

- ・ Senju Service Manager V12.0.0.0 以前からバージョンアップした場合の動作は「ホーム画面代理承認一覧制御」に「表示する」を設定した場合と同一となります。Senju Service Manager 2013.0.0.5 で、引き続きホームに直近 5 件の代理承認を表示する場合は、「表示しない」から「表示する」に再設定してください。
- ・ Senju Service Manager V11.0.1.0 以前からバージョンアップした場合は、エンドユーザーのホームへ代理承認の直近 5 件を表示するよう機能拡張されます。

(62) お知らせに以下の機能拡張を行いました。

- ・ 一覧で 100 件以上のお知らせを表示可能にしました。
- ・ お知らせを起票したユーザーが公開期限の切れたお知らせを参照できるようにしました。

(63) ホーム画面のお知らせで、公開先にログインユーザーの未所属グループが含まれる場合、グループ名が表示される不具合を修正しました。

(64) ブックマーク機能で、エンドユーザーがログインフレームのナレッジをブックマークに登録できるようにしました。

(65) 制御情報で、以下の管理項目の名称と説明を変更しました。

※機能に変更はありません。

(1)

旧: 停止リミット日時有効期限予告(分)

新: SSA 連携の連携期限予告時間(分)

(2)

旧: 解除予定時刻有効期限予告(分)

新: SSA 連携の一時停止解除期限予告時間(分)

(66) 制御情報で、一覧帳票の最大出力件数の制限を行う以下の管理項目を追加しました。

- ・ タスク一覧帳票出力上限件数(件)
- ・ 構成アイテム管理一覧帳票出力上限件数(件)
- ・ 構成管理一覧帳票出力上限件数(件)
- ・ FAQ 一覧帳票出力上限件数(件)

(67) 制御情報で、ログ出力モードを制御する以下の管理項目を追加しました。

- ・ ログ出力モード

※標準モード、診断モードを切り替えることができます。診断モードではログ出力量が多くなり通常運用に影響が発生する可能性がありますので、通常は標準モード(初期設定の値)でご利用ください。

(68) プロセス管理(簡易プロセス)で、承認フロー処理に係るボタン名のラベル名をプロセスの画面単位で設定可能にしました。

(69) プロセス管理(簡易プロセス)で、フレーム・ネット・ジョブ検索の項目「絞込み」内のラベルの初期値を変更しました。

旧: (コンボボックス) まで

新: (コンボボックス) を検索

(70) サービスデスク画面の詳細画面設定で、制御対象ブロックに配置できない項目を変更しました。既に制御ブロック配下に項目を配置されている場合、アップデート後に別ブロックに移動してください。

【2013.0.0 で配置不可だった項目】

1: レコード ID

2: システム

3: タイトル

205: ブロック制御コンボボックス 1

206: ブロック制御コンボボックス 2

207: ブロック制御コンボボックス 3

※項目名の前の数字は別紙「項目一覧」に対応します。

※2014.0.0 で配置不可となった項目は別紙「項目一覧」を参照してください。

(71) サービスデスク画面の詳細画面設定で、プロセスの項目「(社外申請者)会社名」と「(社外申請者)組織名」の承認アクション毎の入力制御設定を編集できるように変更しました。

(72) 簡易画面設定(入力制御)で、簡易プロセスの項目「申請完了日」「申請完了時刻」の表示形式を「編集可」から「参照のみ」に変更しました。また上記項目の簡易画面設定(入力チェック制御)の承認申請時の必須設定を「任意」固定に変更しました。

※Web 画面の動作は本パッチ適用前と変更はありません。

上記項目は必ず参照表示となり、承認申請時の必須チェックは行われません。

(73) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)およびイベント受信デーモンで、以下の登録データチェックを追加しました。

クラス名(フィールド名): チェック

要員情報(社員番号): 半角文字

構成(構成アイテム ID): 半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)

構成アイテム(構成アイテム ID: 半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)

ユーザー(ユーザー ID): 半角英数字、特殊記号(! # % & () - . ^ _ { } ~ \$ ')

(74) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)で分類項目を登録時、分類マスタに存在しない分類やシステムに紐付かない分類が指定された場合に、紐づく分類項目すべてに値を登録しない仕様に変更しました。

(75) 2013.0.0 での要員管理、構成アイテム管理(ID 管理)のコメント入力の関連プロセス項目の廃止に伴い、データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)で同項目の登録を廃止しました。マッピングアイテムフ

ファイルに「関連プロセス区分」「関連プロセス ID」を指定した場合、レコードは登録されますが警告メッセージがログに出力されます。

- (76) データ登録コマンド(sjSPU_ImportData.exe)およびイベント連携機能によるプロセスのレコード登録が、自動メール通知コマンド(sjSPX_ChkElapsedTime.exe)によるメール送信に対応しました。
- (77) マスタ登録コマンド(sjSPU_ImportMst.exe)で問合せ元マスタの最大登録件数を 3 万件から 20 万件に拡張しました。
- (78) データ出力コマンド(sjSPU_ExportData.exe)で、プロセス管理の関連構成 1~4 の出力形式を変更しました。
変更前) 構成アイテム名
変更後) 画面名 : 構成アイテム ID : 構成アイテム名
- (79) データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)で、イベント管理のレコードを出力した場合の表示順をレコード ID の降順から、レコードの登録順に変更しました。
- (80) データ出力コマンド(sjSPU_ExportData_Ex.exe)の検索条件項目に SSA 連携項目の明細レコードの「運用日付」を追加しました。
- (81) データ移行コマンド(sjSPU_MigrateData.exe)で、移行先のスキーマ名を指定可能にしました。
- (82) Oracle Database サーバー分離環境の SSMDDB サーバーでデータ移行コマンド(sjSPU_MigrateData.exe)を実行する為に必要な Oracle Client のコンポーネン「Oracle Database Utilities」についての記載をインストールガイドに追加しました。
- (83) 過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)およびシステム削除コマンド(sjSPU_DeleteSystem.exe)の実行ログの削除対象データの出力内容を内部テーブル名から画面名に変更しました。
- (84) 過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)で削除対象開始日と削除対象終了日の前後関係が不正だった場合の実行ログおよび標準出力を以下に変更しました。
旧 : 削除対象開始日と削除対象終了日の関係が不正です。(YYYY-MM-DD > YYYY-MM-DD)
新 : 削除対象終了日は削除対象開始日以降の日付を指定してください。(開始日 : YYYY-MM-DD > 終了日 : YYYY-MM-DD)
- (85) 操作ログ取得コマンド(sjSPU_GetAuditLog.exe)で、サービスデスクユーザーのアカウント区分(固定/同時接続)毎にログインユーザー数を出力できるようにしました。
- (86) 必須項目が参照表示されている場合の必須チェックの動作を以下のとおり統一しました。
 - ・必須項目が参照項目として表示されている場合はチェックを行いません。
 - ・必須項目が編集項目として表示されている場合はチェックを行います。本修正により、これまでの動作が下記のとおり変更になります。
 - ・SSM WEB サーバーコンフィグレータの詳細画面設定(入力制御)で必須とした項目をブロック制御により参照とした場合に、承認フロー進行時に必須チェックが行われないよう修正しました。
 - ・承認フロー進行時にコード値別必須制御により必須とした項目のチェックが行われるよう修正しました。
 - ・SSM WEB サーバーコンフィグレータの詳細画面設定(入力チェック制御)で必須とした項目が参照の場合に必須チェックが行われないよう修正しました。
- (87) プロセス管理の申請対象機器が適用済となった場合に、構成情報のリンクをクリックして遷移する画面として必ず「履歴」の画面が表示されるよう修正しました。
- (88) 分類、コードの名称へ登録可能な最大桁数を 30Byte から 80Byte へ拡張しました。
全角 40 文字、半角 80 文字までの分類名称、コード名称が登録できます。

- (89) 操作確認画面でボタンの表示(ラベルの値)に改行が含まれる場合に改行が半角スペースへ変換されて表示される不具合を修正しました。
- (90) プロセス管理の一覧帳票で関連プロセス項目に紐づいたレコード数が多い場合の帳票出力性能を改善いたしました。
- (91) 構成管理画面で他ユーザーが編集集中の構成アイテムを表示した場合に「[ユーザー名]編集集中」と表示される箇所で「編集集中」と表示される不具合を修正しました。

1.18.4 稼働環境の変更点

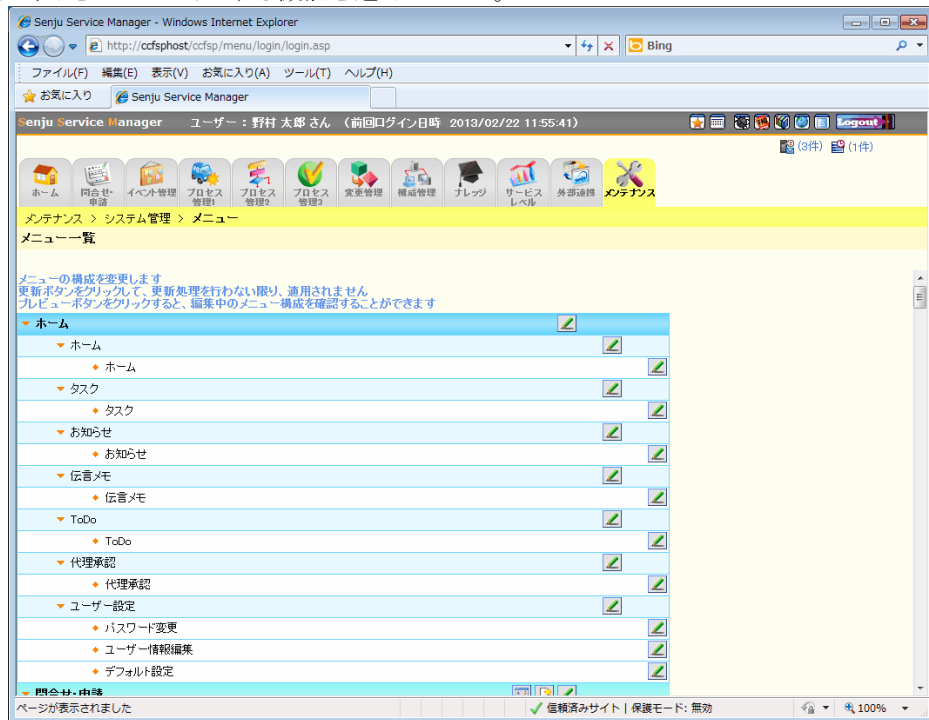
- (1) SSM DB サーバーのサポート対象に Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition を追加しました。
- (2) SSM WEB サーバーのサポート対象に Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition (IIS8) を追加しました。
- (3) SSM DB サーバーのサポート対象に Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard Edition を追加しました。
- (4) Oracle Database サーバーのサポート対象に Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition (Oracle Database 12c Standard Edition (12.1.0.1.)および Oracle Database 12c Standard Edition One (12.1.0.1.)) を追加しました。
- (5) Oracle Database サーバーのサポート OS に OracleLinux6.3 を追加しました。
- (6) Oracle Database サーバーのサポート対象に Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition (Oracle Database 12c Standard Edition (12.1.0.2.)および Oracle Database 12c Standard Edition One (12.1.0.2.)) を追加しました。
- (7) 以下のクライアント構成がサポート対象となりました。
 - ・Microsoft Windows Vista Business Service Pack2 + Google Chrome 43
 - ・Microsoft Windows Vista Business Service Pack2 + Mozilla Firefox 38
 - ・Microsoft Windows 7 Professional Service Pack1 + Google Chrome 43
 - ・Microsoft Windows 7 Professional Service Pack1 + Mozilla Firefox 38
 - ・Microsoft Windows 8.1 Pro + Google Chrome 43
 - ・Microsoft Windows 8.1 Pro + Mozilla Firefox 38※対応しているバージョンは Senju Service Manager の 2014.0.0.4 以降です。
- (8) クライアント端末のサポート対象に Microsoft Windows 8.1 Professional 64bit (Microsoft Internet Explorer 11 + Microsoft Office Excel 2013) を追加しました。
- (9) Microsoft Windows 7 Professional SP1 のサポート対象ブラウザに、Microsoft Internet Explorer 10、Microsoft Internet Explorer 11 を追加しました。
- (10) Microsoft Windows Vista Business SP2 のサポート対象ブラウザに、Microsoft Internet Explorer 9 を追加しました。
- (11) Microsoft Windows XP Professional SP3 がクライアント端末のサポート対象外になりました。
- (12) Microsoft Office Excel 2003 が Web 画面からの帳票出力のサポート対象外になりました。

- (13) Senju Service Automation 連携対応プロダクトバージョンは「Senju Enterprise Navigator 2013.0.2」
「Senju Enterprise Navigator 2014.0.0」です。
- (14) Active Directory 連携機能で使用する Active Directory サーバーのサポート対象に「Windows Server
2008 R2 Standard Edition Service Pack 1」を追加しました。

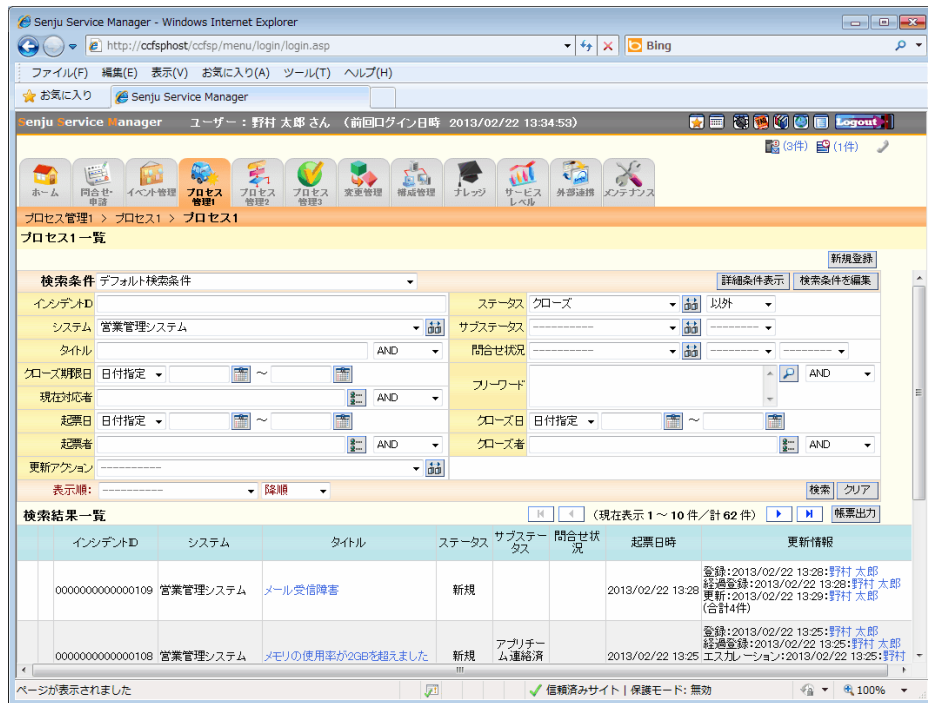
1.19 バージョン2013.0.0の主な新機能

1.19.1 主な新機能

- (1) メニューレイアウトをカスタマイズする機能を追加しました。



- (2) 簡易プロセスから起票されたレコードをプロセス管理で完了できる機能を追加しました。
- (3) プロセス管理、簡易プロセスに設定した日時をスケジュールへ表示する機能を追加しました。
- (4) プロセス管理、簡易プロセスにチェックボックスを表示する機能を追加しました。
- (5) プロセス管理、簡易プロセスでの経過登録可能件数を最大 500 件へ拡張しました。
- (6) プロセス管理の検索条件、詳細項目に空白項目を表示する機能を追加しました。
- (7) プロセス管理の検索条件に複数キーワード指定時に AND、OR 検索を選択する機能を追加しました。
- (8) プロセス管理の検索条件に承認フローのフロータイトルを指定する機能を追加しました。
- (9) プロセス管理の検索結果一覧に社外申請者情報を表示する機能を追加しました。
- (10) プロセス管理に更新情報を検索する機能を追加しました。



(11) プロセス管理の対応一覧に更新情報を表示する機能を追加しました。



(12) プロセス管理の対応一覧に詳細／コメントの表示切り替え機能を追加しました。また、対応一覧の表示項目を選択する機能を追加しました。

(13) プロセス管理に特定ブロック内に配置した項目の入力制御を行なう機能を追加しました。

(14) プロセス管理に条件に応じて種別を自動設定する機能を追加しました。

(15) プロセス管理に項目毎の入力例を表示する機能を追加しました。

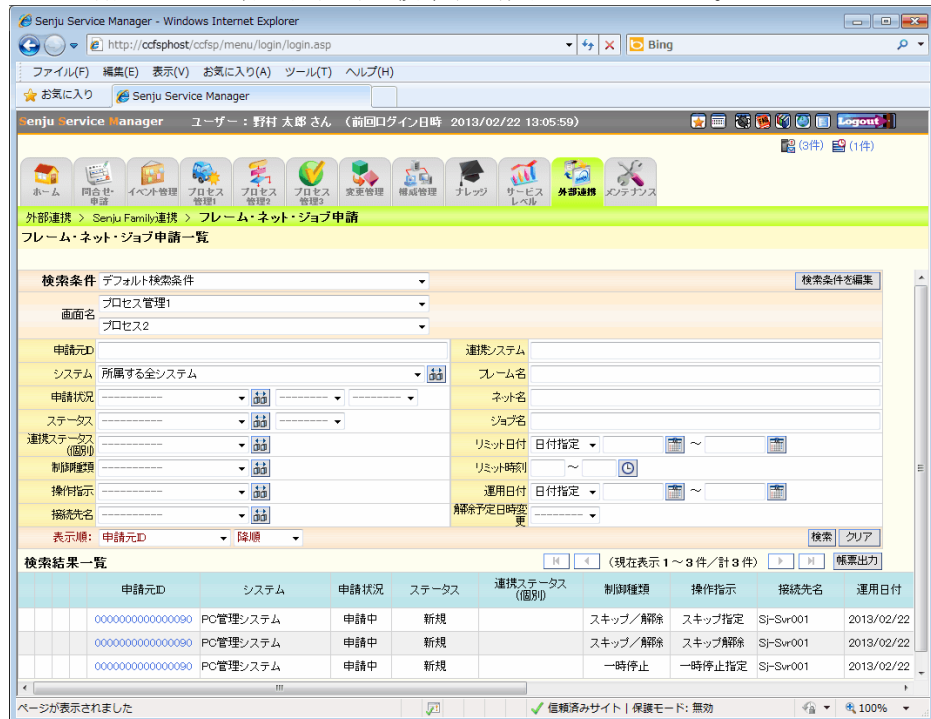
(16) プロセス管理に経過時間や設定条件に応じて指定ユーザーにメールを送信する機能を追加しました。

(17) プロセス管理で承認申請中に申請者、現在対応者へメールを送信する機能を追加しました。

(18) プロセス管理で承認フローのアクションに応じてチェックリスト、簡易チェックリストの入力を制御する機能を追加しました。

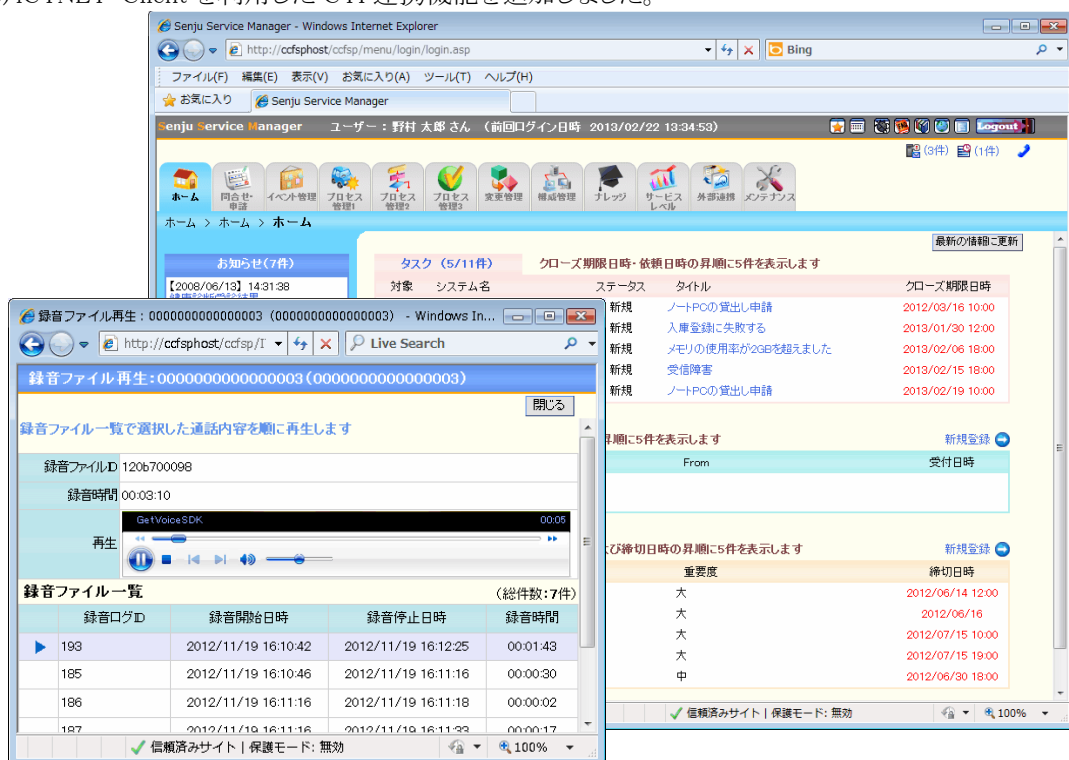
- (19) プロセス管理で現在対応者を関連登録、コピー登録の対象項目に追加し、コピーしたユーザーに自動でエスカレーションする機能を追加しました。
- (20) プロセス管理で関連登録、コピー登録する場合に以下の項目を引き継ぐ機能を追加しました。
- ・ 関連プロセス
 - ・ 関連ナレッジ
 - ・ 関連構成アイテム(1～3)
 - ・ 関連アカウント
 - ・ 関連構成(1～4)
 - ・ 添付ファイル(1～4、経過)
 - ・ 現在対応者
 - ・ (社内申請者情報) 社員番号
 - ・ (社内申請者情報) 氏名
 - ・ (社内申請者情報) 氏名カナ
 - ・ (社内申請者情報) 会社名
 - ・ (社内申請者情報) 組織名
 - ・ (社内申請者情報) 役職
 - ・ (社内申請者情報) 内線番号
 - ・ (社内申請者情報) 電話番号 1
 - ・ (社内申請者情報) 電話番号 2
 - ・ (社内申請者情報) FAX
 - ・ (社内申請者情報) 携帯電話番号
 - ・ (社内申請者情報) メールアドレス 1
 - ・ (社内申請者情報) メールアドレス 2
- (21) プロセス管理に 5 連分類項目を1項目追加しました。
- (22) プロセス管理に簡易チェックリストを 6 項目追加しました。
- (23) プロセス管理のチェックリスト、簡易チェックリスト 1～7 にチェック項目を追加・削除する機能を追加しました。
- (24) プロセス管理の参考 URL に複数行入力する機能を追加しました。
- (25) プロセス管理のエスカレーション情報、ステータスを非表示とする機能を追加しました。
- (26) プロセス管理の問合せ元情報に日付を表示する機能を追加しました。また、簡易プロセスで問合せ元情報を検索する機能を追加しました。
- (27) プロセス管理のコンボテキスト項目のテキスト入力可能コード値(「その他」)の表示色を変更する機能を追加しました。
- (28) プロセス管理の SSA 連携項目に個別キャンセル機能を追加しました
- (29) プロセス管理の SSA 連携項目に Senju Enterprise Navigator より連携されたフレーム、ネット、ジョブの情報を転記する機能を追加しました。
- (30) プロセス管理の SSA 連携項目としてネット・ジョブ起動時刻変更機能を自動実行する機能を追加しました。
- (31) プロセス管理の SSA 連携項目「ランブック実行」で指定可能な環境変数を 2 から 20 へ拡張しました。
- (32) プロセス管理の SSA 連携項目「ランブック実行」でブック名をコードマスタ管理から検索する機能を追加しました。

- (33) プロセス管理の SSA 連携項目「フレーム・ネット・ジョブスキップ／解除」「フレーム・ネット・ジョブ一時停止」「ネット・ジョブ起動時刻変更」でフレーム名、ネット名、ジョブ名を Senju Enterprise Manager と連携するマスタから検索する機能を追加しました。
- (34) プロセス管理の SSA 連携項目「ジョブ一時停止／解除」「ジョブスキップ／解除」にフレーム単位、またはネット単位の依頼機能を追加しました。
- (35) 登録されたジョブ申請をプロセス管理画面毎に検索する機能を追加しました。



- (36) 簡易プロセスでユーザーが所属するグループに所属する別のユーザーが起票したレコードを参照可能とする機能を追加しました。
- (37) メール編集の送信先選択の検索条件として氏名、氏名カナを指定する機能を追加しました。
- (38) 承認フロー上の各ユーザーに対してメールの送信有無を設定する機能を追加しました。
- (39) エスカレーション先選択で検索条件を保存する機能を追加しました。
- (40) 関連構成選択で検索条件を保存する機能を追加しました。
- (41) オープン FAQ で「オープン FAQ 公開」を指定したシステムの FAQ を表示する機能を追加しました。
- (42) デフォルト設定でユーザー毎にログイン時の初期画面を指定できる機能を追加しました。
- (43) 構成管理一覧に構成アイテム(構成管理)の一括登録機能を追加しました。
- (44) SLAM チャート詳細で現在対応者を表示する機能を追加しました。
- (45) プロセス分析で任意の 2 項目を内訳とするレポート機能を追加しました。
- (46) ログイン時に初期表示する画面をユーザー単位で設定する機能を追加しました。
- (47) 1ユーザーあたりの一覧検索条件登録可能件数を最大 20 件へ拡張しました。

- (48) ユーザーアカウントのロック解除機能を追加しました。
- (49) OpenLDAP によるユーザー認証機能を追加しました。
- (50) 固定ユーザー、同時接続ユーザーを組み合わせで設定できるライセンス機能を追加しました。
- (51) 職責登録可能件数を最大 500 件へ拡張しました。
- (52) 承認フローのカタログ数を拡張しました。
- (53) チェックリスト適用条件設定でコード項目として選択可能な項目数を 10 から 50 に拡張しました。
- (54) Senju Service Manager のバージョン情報を画面上で確認する機能を追加しました。
- (55) iCTNET-Client を利用した CTI 連携機能を追加しました。



- (56) SSM WEB サーバーコンフィグレータで簡易プロセス表示項目の高さを変更する機能を追加しました。
- (57) SSM DB サーバーコンフィグレータ及びメンテナンスで管理するマスタデータを別環境へ移行する機能を追加しました。
- (58) データ登録コマンドでプロセス管理のクローズを解除する機能を追加しました。
- (59) データ出力コマンドでコマンドラインからプロセス管理の検索条件を指定する機能を追加しました。
- (60) データ出力コマンドでプロセス管理の項目ヘッダーを出力する機能を追加しました。
- (61) データ出力コマンドでプロセス管理の出力ファイルを指定する機能を追加しました。
- (62) 操作ログ取得コマンドでイベント管理の操作ログを出力する機能を追加しました。

1.19.2 不具合対応

- (1) プロセス管理/ナレッジ/構成管理の関連付け可能な件数を超過して登録・更新した場合にエラー画面に遷移する不具合を修正しました。
- (2) プロセス管理の詳細画面設定(入力制御)で、チェックリスト、簡易チェックリストの編集可/不可の設定を変更できない不具合を修正しました。
- (3) プロセス管理より承認申請した場合に、エンドユーザーがルート上に表示される不具合を修正しました。
- (4) 自動送信メールに申請時刻として起票時刻が出力される不具合を修正しました。
- (5) 自動送信メールに申請者情報としてログインユーザーが出力される不具合を修正しました。
- (6) メール送信時に奇数バイト数のテキストファイルを添付した場合、及びテキストファイルをアップロードした場合に、ファイルの末尾に改行が追加される不具合を修正しました。
- (7) 伝言メモで正しく職責付与されているユーザーが添付ファイルを登録されない不具合を修正しました。
- (8) データ登録コマンドで、インポートデータのシステム名、日付項目、現在対応者、経過コンボボックス 1～4 に半角または全角スペースを指定した場合に、データが全角スペースで登録される不具合を修正しました。
- (9) データ登録コマンドで、構成管理の関連構成情報を更新する場合に、関連構成情報が削除されない不具合を修正しました。
- (10) データ登録コマンドで、構成管理の更新処理を行う場合に、以下の項目が空で更新される不具合を修正しました。
※修正対象項目: 構成変更日、構成変更時間、設置日、停止日、使用期間 (FROM)、使用期間 (TO)
- (11) 構成情報反映コマンドで、関連付けが行われた構成アイテム側から構成情報の予定を反映する場合、関連構成情報が反映されない不具合を修正しました。

1.19.3 前バージョンからの変更点

- (1) インシデント管理/サービス要求/問題管理/変更管理を「プロセス管理」として統合しました。
※旧バージョンからアップデートした場合は、これまでのメニュー名、サブメニュー名、画面名を引継ぎます。各画面は以下のプロセスと対応します。

旧プロセス	プロセス管理
インシデント管理	プロセス 1
サービス要求 1～100	プロセス 2～101
問題管理	プロセス 102
変更管理	プロセス 103

- (2) 問合せ/申請を「簡易プロセス」として統合し、メインメニュー「ホーム」から「問合せ・申請」に移動しました。各画面は問合せ・申請いずれにも利用可能とし、フォームの選択形式を変更しました。
※旧バージョンからアップデートした場合は、これまでのサブメニュー名、画面名を引継ぎます。各画面は以下の問合せ・申請画面と対応しています。

旧問合せ・申請	簡易プロセス
問合せ	簡易プロセス 1
申請 1～100	簡易プロセス 2～101
	簡易プロセス 102～103

本バージョンより簡易プロセス 102、103 が新規追加されました。

- (3) インシデント候補振分を「イベント管理」に名称変更し、メインメニュー「インシデント管理」から「イベント管理」に移動しました。旧バージョンの「インシデント候補振分」から「インシデント管理」を起票する機能は「イベント管理」から「プロセス 1」を起票する機能に変更しました。
※旧バージョンからアップデートした場合は、これまでの画面名を引継ぎます。
- (4) 「インシデント分析」「サービス要求分析」「問題分析」「変更分析」を「プロセス分析」として統合し、メインメニュー「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」から「サービスレベル」配下に移動しました。
- (5) プロセス管理、簡易プロセスでテキスト項目の高さによって表示をテキストボックスとテキストエリアに切り替えるよう変更しました。
- (6) プロセス管理とイベント管理で画面表示項目のラベルを個別に設定できるよう変更しました。
- (7) プロセス管理、構成管理、構成アイテム管理で関連構成に登録した構成アイテムを削除する場合、構成アイテム名+「(削除)」と表示し、最新の履歴情報へリンクするよう変更しました。
- (8) プロセス管理、構成管理の以下の画面の「構成アイテム」各項目の表示形式を「画面アイコン+ID+:+タイトル(構成アイテム名)」に統一しました。
 - ・ 構成管理一覧「関連機器」
 - ・ プロセス管理一覧「関連構成 1」「関連構成 2」「関連構成 3」「関連構成 4」同様に、以下の一覧帳票の出力形式を「画面名+ID+<SSM_INSIDE_DIVISION>(区切り文字)+タイトル(構成アイテム名)」に統一しました。
 - ・ 構成管理一覧(CSV 帳票)「関連構成」「接続先機器」「接続機器」「関連機器」
 - ・ プロセス管理一覧「関連構成 1」「関連構成 2」「関連構成 3」「関連構成 4」「申請対象機器」
- (9) プロセス管理で種別コードが未設定の承認フローで承認申請を行えるよう変更しました。
- (10) プロセス管理の職責「データのクローズ」を「データのクローズ」「データのクローズ解除」に分割しました。
- (11) プロセス管理で送信メールの置換文字列表記を変更しました。旧バージョンからアップデートした場合は、変更後の置換文字列で送信メール設定内容が更新されます。
- (12) プロセス管理で承認フローとエスカレーション時に送信されるメールの送信有無をユーザー毎に設定できるよう変更しました。
- (13) プロセス管理で承認フローとエスカレーション時に送信されるメールに、ログインユーザーが参照するプロセス管理画面に表示されない内容は出力しないよう変更しました。
- (14) 自動送信メールの送信先ユーザーに不正なメールアドレスが設定されていた場合に、メール送信を続行できるよう変更しました。
- (15) プロセス管理の SSA 連携項目「フレーム・ネット・ジョブ一時停止」で解除実施前に解除指示を行なうように変更しました。
- (16) プロセス管理の SSA 連携項目「フレーム・ネット・ジョブ一時停止」の承認申請時及び承認時に不正な一時停止依頼・指示を防ぐチェックを追加しました。

(17) プロセス管理の登録時に自動登録するチェックリストと種別項目の適用条件の優先順位を以下の通りに変更しました。

[旧バージョン]優先順位 > 登録順

[本バージョン]優先順位 > システムの表示順(全システム共通を先頭) > 登録順

これにより、全システム共通と個別システムの条件で優先順位が同じ場合、全システム共通の条件を優先して適用されます。

(18) プロセス管理でコピー登録する場合の引継ぎ項目をプロセス管理内で統一しました。同様に、簡易プロセスでコピー登録する場合の引継ぎ項目を簡易プロセス内で統一しました。統一前後のコピー対象項目は以下の一覧を参照してください。

<プロセス管理:コピー対象項目一覧>

プロセス管理 2013.0.0	インシデント管理 12.0.1	サービス要求 12.0.1	問題管理 12.0.1	変更管理 12.0.1
システム名	システム名	システム名	システム名	システム名
タイトル	タイトル	タイトル	タイトル	タイトル
種別	種別	種別	種別	種別
備考	備考	備考	備考	備考
サブステータス	サブステータス	サブステータス	サブステータス	サブステータス
インパクト	インパクト	インパクト	インパクト	インパクト
緊急度	緊急度	緊急度	緊急度	緊急度
優先度	優先度	優先度	優先度	優先度
コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1
コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2
コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3
コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4
コンボボックス 5	—	区分 1	—	—
コンボボックス 6	—	区分 2	—	—
コンボボックス 7	—	区分 3	—	—
コンボボックス 8	—	—	—	—
コンボボックス 9	—	—	—	—
コンボボックス 10	—	—	—	—
コンボボックス 11	—	—	—	—
コンボボックス 12	—	—	—	—
コンボボックス 13	—	—	—	—
コンボボックス 14	—	—	—	—
コンボボックス 15	—	—	—	—
コンボボックス 16	—	—	—	—
コンボボックス 17	—	—	—	—
コンボボックス 18	—	—	—	—
コンボボックス 19	—	—	—	—
コンボボックス 20	—	—	—	—
ラジオボタン 1	—	—	—	—
ラジオボタン 2	—	—	—	—
コンボテキスト 1-コンボ	コンボテキスト 1-コンボ	コンボテキスト 1-コンボ	コンボテキスト 1-コンボ	コンボテキスト 1-コンボ
コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト	コンボテキスト 1-テキスト
コンボテキスト 2-コンボ	コンボテキスト 2-コンボ	コンボテキスト 2-コンボ	コンボテキスト 2-コンボ	コンボテキスト 2-コンボ
コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト	コンボテキスト 2-テキスト
大分類	大分類	大分類	大分類	大分類
中分類	中分類	中分類	中分類	中分類
小分類	小分類	小分類	小分類	小分類
2 連分類 1-1	2 連分類 1-大分類	2 連分類 1-大分類	2 連分類 1-大分類	2 連分類 1-大分類
2 連分類 1-2	2 連分類 1-中分類	2 連分類 1-中分類	2 連分類 1-中分類	2 連分類 1-中分類
2 連分類 2-1	2 連分類 2-大分類	2 連分類 2-大分類	2 連分類 2-大分類	2 連分類 2-大分類
2 連分類 2-2	2 連分類 2-中分類	2 連分類 2-中分類	2 連分類 2-中分類	2 連分類 2-中分類
3 連分類 1-1	3 連分類 1-大分類	3 連分類 1-大分類	3 連分類 1-大分類	3 連分類 1-大分類
3 連分類 1-2	3 連分類 1-中分類	3 連分類 1-中分類	3 連分類 1-中分類	3 連分類 1-中分類
3 連分類 1-3	3 連分類 1-小分類	3 連分類 1-小分類	3 連分類 1-小分類	3 連分類 1-小分類
3 連分類 2-1	3 連分類 2-大分類	3 連分類 2-大分類	3 連分類 2-大分類	3 連分類 2-大分類

プロセス管理 2013.0.0	インシデント管理 12.0.1	サービス要求 12.0.1	問題管理 12.0.1	変更管理 12.0.1
3 連分類 2-2	3 連分類 2-中分類	3 連分類 2-中分類	3 連分類 2-中分類	3 連分類 2-中分類
3 連分類 2-3	3 連分類 2-小分類	3 連分類 2-小分類	3 連分類 2-小分類	3 連分類 2-小分類
5 連分類 1-1	5 連分類-1	5 連分類-1	5 連分類-1	5 連分類-1
5 連分類 1-2	5 連分類-2	5 連分類-2	5 連分類-2	5 連分類-2
5 連分類 1-3	5 連分類-3	5 連分類-3	5 連分類-3	5 連分類-3
5 連分類 1-4	5 連分類-4	5 連分類-4	5 連分類-4	5 連分類-4
5 連分類 1-5	5 連分類-5	5 連分類-5	5 連分類-5	5 連分類-5
5 連分類 2-1	—	—	—	—
5 連分類 2-2	—	—	—	—
5 連分類 2-3	—	—	—	—
5 連分類 2-4	—	—	—	—
5 連分類 2-5	—	—	—	—
テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1
テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2
テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3
テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4
テキスト 5	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード
テキスト 6	インシデント内容	サービス要求内容	問題内容	変更内容
テキスト 7	影響範囲	サービス要求理由	影響範囲	テキストエリア 6
テキスト 8	原因	サービス要求を却下した場合の影響	原因	変更理由
テキスト 9	ワークアラウンド 及び結果	サービス要求に要 するリソース	ワークアラウンド	変更に必要なリソ ース
テキスト 10	対応及び結果	—	対応及び結果	変更計画
テキスト 11	—	—	解決策	実施内容
テキスト 12	—	—	—	切戻し計画
テキスト 13	—	—	—	—
テキスト 14	—	—	—	テキストエリア 5
テキスト 15	—	—	—	変更しない場合の 影響
テキスト 16	テキストエリア 1	テキストエリア 1	テキストエリア 1	テキストエリア 1
テキスト 17	テキストエリア 2	テキストエリア 2	テキストエリア 2	テキストエリア 2
テキスト 18	テキストエリア 3	テキストエリア 3	テキストエリア 3	テキストエリア 3
テキスト 19	テキストエリア 4	テキストエリア 4	テキストエリア 4	テキストエリア 4
数値テキスト 1	数値テキスト 1	単位付数値 1	単位付数値 1	単位付数値 1
数値テキスト 2	数値テキスト 2	単位付数値 2	単位付数値 2	単位付数値 2
数値テキスト 3	—	予定時間	—	—
開始予定日	—	開始予定日時	—	変更希望日時
開始予定時刻	—	開始予定日時	—	変更希望日時
終了予定日	—	終了予定日時	—	—
終了予定時刻	—	終了予定日時	—	—
日付テキスト 1	日付テキスト 1	日付テキスト 1	日付テキスト 1	日付テキスト 1
日付テキスト 2	日付テキスト 2	日付テキスト 2	日付テキスト 2	日付テキスト 2
時刻テキスト 1	時刻テキスト 1	時刻テキスト 1	時刻テキスト 1	時刻テキスト 1
時刻テキスト 2	時刻テキスト 2	時刻テキスト 2	時刻テキスト 2	時刻テキスト 2
(社内申請者)社員番 号	—	—	—	—
(社内申請者)氏名	—	—	—	—
(社内申請者)氏名カ ナ	—	—	—	—
(社内申請者)会社名	—	—	—	—
(社内申請者)組織名	—	—	—	—
(社内申請者)役職	—	—	—	—
(社内申請者)内線番 号	—	—	—	—
(社内申請者)電話番 号 1	—	—	—	—
(社内申請者)電話番 号 2	—	—	—	—
(社内申請者)FAX	—	—	—	—
(社内申請者)携帯電 話番号	—	—	—	—
(社内申請者)メール アドレス 1	—	—	—	—

プロセス管理 2013.0.0	インシデント管理 12.0.1	サービス要求 12.0.1	問題管理 12.0.1	変更管理 12.0.1
(社内申請者)メール アドレス 2	—	—	—	—
(社外申請者)会社名	(社外申請者)会社名	(社外申請者)会社名	(社外申請者)会社名	(社外申請者)会社名
(社外申請者)組織名	(社外申請者)組織名	(社外申請者)組織名	(社外申請者)組織名	(社外申請者)組織名
(社外申請者)氏名	(社外申請者)氏名	(社外申請者)氏名	(社外申請者)氏名	(社外申請者)氏名
(社外申請者)氏名カ ナ	(社外申請者)氏名カ ナ	(社外申請者)氏名カ ナ	(社外申請者)氏名カ ナ	(社外申請者)氏名カ ナ
(社外申請者)電話番 号	(社外申請者)電話番 号	(社外申請者)電話番 号	(社外申請者)電話番 号	(社外申請者)電話番 号
(社外申請者)メール アドレス	(社外申請者)メール アドレス	(社外申請者)メール アドレス	(社外申請者)メール アドレス	(社外申請者)メール アドレス
参考 URL1	参考 URL	参考 URL	参考 URL	参考 URL
参考 URL2	—	—	—	—
参考 URL3	—	—	—	—
参考 URL4	—	—	—	—
参考 URL5	—	—	—	—
参考 URL6	—	—	—	—
参考 URL7	—	—	—	—
現在対応者	—	—	—	—
選択ユーザー1	—	利用責任者	—	—
選択ユーザー2	—	利用者	—	—
関連プロセス	—	—	—	—
関連ナレッジ	—	—	—	—
関連構成アイテム 1	—	—	—	—
関連構成アイテム 2	—	—	—	—
関連構成アイテム 3	—	—	—	—
関連アカウント	—	—	—	—
関連構成 1	—	—	—	—
関連構成 2	—	—	—	—
関連構成 3	—	—	—	—
関連構成 4	—	—	—	—
添付ファイル 1	—	—	—	—
添付ファイル 2	—	—	—	—
添付ファイル 3	—	—	—	—
添付ファイル 4	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 1	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 2	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 3	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 4	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 5	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 6	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 7	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 8	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 9	—	—	—	—
種別設定元コンボ ボックス 10	—	—	—	—
ブロック制御コン ボボックス 1	—	—	—	—
ブロック制御コン ボボックス 2	—	—	—	—
ブロック制御コン ボボックス 3	—	—	—	—

※「—」は V12.0.1 でコピー対象外の項目です。

＜簡易プロセス管理:コピー対象項目一覧＞

簡易プロセス管理 2013.0.0	問合せ 12.0.1	申請 12.0.1
システム名	システム名	システム名
タイトル	タイトル	タイトル
種別	種別	種別
備考	備考	備考
サブステータス	サブステータス	サブステータス
インパクト	インパクト	インパクト
緊急度	緊急度	緊急度
優先度	優先度	優先度
コンボボックス 1	コンボボックス 1	コンボボックス 1
コンボボックス 2	コンボボックス 2	コンボボックス 2
コンボボックス 3	コンボボックス 3	コンボボックス 3
コンボボックス 4	コンボボックス 4	コンボボックス 4
コンボボックス 5	—	区分 1
コンボボックス 6	—	区分 2
コンボボックス 7	—	区分 3
コンボボックス 8	—	—
コンボボックス 9	—	—
コンボボックス 10	—	—
コンボボックス 11	—	—
コンボボックス 12	—	—
コンボボックス 13	—	—
コンボボックス 14	—	—
コンボボックス 15	—	—
コンボボックス 16	—	—
コンボボックス 17	—	—
コンボボックス 18	—	—
コンボボックス 19	—	—
コンボボックス 20	—	—
ラジオボタン 1	—	—
ラジオボタン 2	—	—
コンボテキスト 1- コンボ	コンボテキスト 1- コンボ	コンボテキスト 1- コンボ
コンボテキスト 1- テキスト	コンボテキスト 1- テキスト	コンボテキスト 1- テキスト
コンボテキスト 2- コンボ	コンボテキスト 2- コンボ	コンボテキスト 2- コンボ
コンボテキスト 2- テキスト	コンボテキスト 2- テキスト	コンボテキスト 2- テキスト
テキスト 1	テキスト 1	テキスト 1
テキスト 2	テキスト 2	テキスト 2
テキスト 3	テキスト 3	テキスト 3
テキスト 4	テキスト 4	テキスト 4
テキスト 5	キーワード	キーワード
テキスト 6	インシデント内容	サービス要求内容
テキスト 7	影響範囲	サービス要求理由
テキスト 8	原因	サービス要求を却 下した場合の影響
テキスト 9	ワークアラウンド 及び結果	サービス要求に要 するリソース
テキスト 10	対応及び結果	—
テキスト 11	—	—
テキスト 12	—	—
テキスト 13	—	—
テキスト 14	—	—
テキスト 15	—	—
テキスト 16	テキストエリア 1	テキストエリア 1
テキスト 17	テキストエリア 2	テキストエリア 2
テキスト 18	テキストエリア 3	テキストエリア 3
テキスト 19	テキストエリア 4	テキストエリア 4
数値テキスト 1	数値テキスト 1	単位付数値 1
数値テキスト 2	数値テキスト 2	単位付数値 2
数値テキスト 3	—	予定時間

簡易プロセス管理 2013.0.0	問合せ 12.0.1	申請 12.0.1
計算開始日	発生日	受付日時
計算開始時刻	発生日時	受付日時
計算終了日 1	受付日	実施完了日時
計算終了時刻 1	受付日時	実施完了日時
計算終了日 2	速報日	—
計算終了時刻 2	速報日時	—
計算終了日 3	復旧日	—
計算終了時刻 3	復旧日時	—
開始予定日	—	開始予定日時
開始予定時刻	—	開始予定日時
終了予定日	—	終了予定日時
終了予定時刻	—	終了予定日時
日付テキスト 1	日付テキスト 1	日付テキスト 1
日付テキスト 2	日付テキスト 2	日付テキスト 2
時刻テキスト 1	時刻テキスト 1	時刻テキスト 1
時刻テキスト 2	時刻テキスト 2	時刻テキスト 2
(社内申請者)社員番号	—	—
(社内申請者)氏名	—	—
(社内申請者)氏名カナ	—	—
(社内申請者)会社名	—	—
(社内申請者)組織名	—	—
(社内申請者)役職	—	—
(社内申請者)内線番号	—	—
(社内申請者)電話番号 1	—	—
(社内申請者)電話番号 2	—	—
(社内申請者)FAX	—	—
(社内申請者)携帯電話番号	—	—
(社内申請者)メールアドレス 1	—	—
(社内申請者)メールアドレス 2	—	—
(社外申請者)会社名	(社外申請者)会社名	(社外申請者)会社名
(社外申請者)組織名	(社外申請者)組織名	(社外申請者)組織名
(社外申請者)氏名	(社外申請者)氏名	(社外申請者)氏名
(社外申請者)氏名カナ	(社外申請者)氏名カナ	(社外申請者)氏名カナ
(社外申請者)電話番号	(社外申請者)電話番号	(社外申請者)電話番号
(社外申請者)メールアドレス	(社外申請者)メールアドレス	(社外申請者)メールアドレス
選択ユーザー 1	選択ユーザー 1	利用責任者
選択ユーザー 2	選択ユーザー 2	利用者
添付ファイル 1	添付ファイル	添付ファイル
添付ファイル 2	—	添付ファイル (詳細情報)
添付ファイル 3	—	—
添付ファイル 4	—	—
大分類	大分類	大分類
中分類	中分類	中分類
小分類	小分類	小分類
2 連分類 1-1	2 連分類 1-大分類	2 連分類 1-大分類
2 連分類 1-2	2 連分類 1-中分類	2 連分類 1-中分類
2 連分類 2-1	2 連分類 2-大分類	2 連分類 2-大分類
2 連分類 2-2	2 連分類 2-中分類	2 連分類 2-中分類
3 連分類 1-1	3 連分類 1-大分類	3 連分類 1-大分類
3 連分類 1-2	3 連分類 1-中分類	3 連分類 1-中分類
3 連分類 1-3	3 連分類 1-小分類	3 連分類 1-小分類
3 連分類 2-1	3 連分類 2-大分類	3 連分類 2-大分類

簡易プロセス管理 2013.0.0	問合せ 12.0.1	申請 12.0.1
3 連分類 2-2	3 連分類 2-中分類	3 連分類 2-中分類
3 連分類 2-3	3 連分類 2-小分類	3 連分類 2-小分類
5 連分類 1-1	5 連分類-1	5 連分類-1
5 連分類 1-2	5 連分類-2	5 連分類-2
5 連分類 1-3	5 連分類-3	5 連分類-3
5 連分類 1-4	5 連分類-4	5 連分類-4
5 連分類 1-5	5 連分類-5	5 連分類-5
5 連分類 2-1	—	—
5 連分類 2-2	—	—
5 連分類 2-3	—	—
5 連分類 2-4	—	—
5 連分類 2-5	—	—
対応予定日 1	対応予定日 1	対応予定日時 1
対応予定日 2	対応予定日 2	対応予定日時 2
対応予定日 3	対応予定日 3	対応予定日時 3
対応予定日 4	対応予定日 4	対応予定日時 4
対応予定日 5	対応予定日 5	対応予定日時 5
対応予定時刻 1	対応予定日時 1	対応予定日時 1
対応予定時刻 2	対応予定日時 2	対応予定日時 2
対応予定時刻 3	対応予定日時 3	対応予定日時 3
対応予定時刻 4	対応予定日時 4	対応予定日時 4
対応予定時刻 5	対応予定日時 5	対応予定日時 5
対応実績日 1	対応実績日 1	対応実績日時 1
対応実績日 2	対応実績日 2	対応実績日時 2
対応実績日 3	対応実績日 3	対応実績日時 3
対応実績日 4	対応実績日 4	対応実績日時 4
対応実績日 5	対応実績日 5	対応実績日時 5
対応実績時刻 1	対応実績日時 1	対応実績日時 1
対応実績時刻 2	対応実績日時 2	対応実績日時 2
対応実績時刻 3	対応実績日時 3	対応実績日時 3
対応実績時刻 4	対応実績日時 4	対応実績日時 4
対応実績時刻 5	対応実績日時 5	対応実績日時 5
メール通知基準日	—	—
メール通知基準時刻	—	—
タイトル	タイトル	—
対応日	対応日	—
対応時刻	対応時刻	—
対応者	対応者	—
対応先	対応先	—
内容	(経過)内容	—
添付ファイル	添付ファイル	—
FROM	FROM	—
TO	TO	—
CC	CC	—
テキスト 1	テキスト 1	—
テキスト 2	テキスト 2	—
テキスト 3	テキスト 3	—
テキスト 4	テキスト 4	—
テキストエリア 1	テキストエリア 1	—
テキストエリア 2	テキストエリア 2	—
テキストエリア 3	テキストエリア 3	—
テキストエリア 4	テキストエリア 4	—
コンボボックス 1	コンボボックス 1	—
コンボボックス 2	コンボボックス 2	—
コンボボックス 3	コンボボックス 3	—
コンボボックス 4	コンボボックス 4	—
日付テキスト 1	日付テキスト 1	—
日付テキスト 2	日付テキスト 2	—
時刻テキスト 1	時刻テキスト 1	—
時刻テキスト 2	時刻テキスト 2	—
数値テキスト 1	数値テキスト 1	—
数値テキスト 2	数値テキスト 2	—

※「―」は V12.0.1 でコピー対象外の項目です。

(19) プロセス管理でナレッジ申請する場合の引継ぎ項目を変更しました。

※旧問題管理から既知エラーへナレッジ申請した場合の既知エラー「解決策」の引継ぎ元項目を「解決策」から「対応及び結果」に変更しました。

(20) プロセス管理の CSV 一覧帳票の名称を「processX_list.csv」に変更しました(X はプロセス管理の画面 No)。旧バージョンからアップデートした場合は、従来通りの名称で CSV 帳票を出力します。

(21) プロセス管理の一覧帳票出力の同時実行数を Senju Service Manager システム全体で 3 に制限する制御を追加しました。

(22) プロセス管理の一覧帳票出力で閾値を超えた件数の帳票出力を行わない制御を追加しました。

(23) プロセス管理の一覧帳票出力で旧変更管理では必ず出力していた関連構成アイテム(ID 管理) 項目の出力有無を制御情報で設定するよう統一しました。

(24) 簡易プロセスを申請として利用した場合、申請の新規登録の後に表示するメッセージを以下に変更しました。
メッセージ「登録しました この内容で承認申請しますか？」

(25) エスカレーション履歴で問合せを起票した場合のアクションを起票とエスカレーションに分けて表示するよう変更しました。

(26) ホームユーザー設定ーデフォルト設定の「検索時の大文字小文字／全角半角」設定項目の表記を「検索時の英数字区別」に変更しました。

(27) 伝言メモ一覧で「受信一覧表示」または「送信一覧表示」のリンク表示を廃止しました。

(28) エンドユーザーのデフォルト設定から「エスカレーション初期検索の実行」「エスカレーション検索条件の初期設定」「関連構成検索条件の初期設定」を削除しました。

(29) システム未設定のイベント管理のレコードが削除可能なユーザーを、ユーザーが所属するシステムのうちいずれかでイベント管理のレコードを削除できる権限を保持するユーザーに限定しました。

(30) 構成アイテム管理およびアカウント管理の履歴情報入力時、関連情報(関連プロセス)を非表示に変更しました。

(31) 分析レポート管理で「グラフ指定」「グラフ定義名」項目のラベル名を「レポート指定」「レポート定義名」に変更しました。

(32) トーク集機能を廃止しました。

(33) メニュー一覧の画面名編集で時間帯(FROM、TO)の入力を必須から任意に変更しました。

(34) Internet Explorer の検索ツールバーの表示に対応しました。

(35) 日付項目に入力できる日付の期間を「1970 年～2100 年」に変更しました。

(36) ユーザーのサービスデスクユーザーのアカウント区分を固定もしくは同時接続から選択できるよう変更しました。

- (37) セッション切れ等により、ログイン状態が無効となった場合に表示する画面を、システムエラー画面からインフォメーション画面に変更しました。
- (38) 以下の項目の初期ラベル値を変更しました。
- ・ 関連構成アイテム → 関連構成アイテム 1
 - ・ 変更対象 CI → 関連構成アイテム 2
 - ・ 影響 CI → 関連構成アイテム 3
 - ・ 関連構成 → 関連構成 1
 - ・ エスカレーション → 現在対応者
 - ・ 参考 URL → 参考 URL1
- (39) 以下のダイアログ名を変更しました。
- ・ 関連プロセス選択 → 関連選択(関連プロセス)
 - ・ 関連ナレッジ選択 → 関連選択(関連ナレッジ)
 - ・ 関連構成アイテム選択 → 関連選択(関連構成アイテム)
 - ・ 変更対象 CI 選択 → 関連選択(変更対象 CI)
 - ・ 影響 CI 選択 → 関連選択(影響 CI)
 - ・ 関連アカウント選択 → 関連選択(関連アカウント)
 - ・ 関連構成選択 → 関連選択(関連構成)
 - ・ 関連構成 1 選択 → 関連選択(関連構成 1)
 - ・ 関連構成 2 選択 → 関連選択(関連構成 2)
 - ・ 関連構成 3 選択 → 関連選択(関連構成 3)
 - ・ 関連構成 4 選択 → 関連選択(関連構成 4)
 - ・ 申請対象機器選択 → 関連選択(申請対象機器)
 - ・ 関連機器選択 → 関連選択(関連機器)
 - ・ 接続先機器選択 → 関連選択(接続先機器)
 - ・ チェック内容 → 対象選択(チェック内容)
 - ・ 要員検索 → 対象選択(要員)
- (40) 複数 SSM WEB サーバー構成の場合に、WEB サーバー別にラベル名称を設定する機能を廃止し、全 WEB サーバーで共通のラベル名称を参照するよう変更しました。簡易プロセスのラベル名称は以前のバージョン同様に、WEB サーバー毎のラベル名称を参照します。
- (41) SSM WEB サーバーコンフィグレータで旧バージョンの「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」の画面設定の初期状態を、プロセス管理の画面設定のテンプレートとして登録しました。各テンプレートはプロセス管理配下の全画面に適用可能です。
- (42) SSM WEB サーバーコンフィグレータでラベルを編集後、IIS の再起動をすることなく画面に反映するよう変更しました。
- (43) SSM WEB サーバーコンフィグレータで全ラベルの一覧を廃止し、各画面のラベル一覧を表示するダイアログを追加しました。
- (44) データ登録コマンドの入力ファイルフォーマットを変更しました。従来のフォーマットの場合もデータの登録は可能ですが、本バージョンより追加した項目には対応していません。
- (45) データ登録コマンドで構成アイテムの変更予定登録時に対象となるレコードが存在しない場合、新規予定で登録できるように変更しました。
- (46) マスタ登録コマンドでグループ、職責、承認フローの入力ファイルフォーマットを変更しました。従来のフォーマットでコマンドを実行すると、本バージョンに対応した入力ファイルを出力します。出力されたファイルで再度コマンドを実行して下さい。

- (47) 分類登録、削除コマンドの指定可能フィールドから画面名(旧データ種別名)を削除しました。
- (48) 操作ログ取得コマンドによる再問合せ時のログ出力内容を以下のように変更しました。
[画面名]問合せ編集 → 問合せ(再問合せ)
[処理モード]再問合せ → 更新
- (49) Senju Service Manager インストール時、データベースユーザーに対してトリガー作成権限を追加するよう変更しました。
- (50) 過去データ削除コマンド(sjSPU_DeleteData.exe)に以下の機能を追加しました。
削除対象がイベント管理またはインシデント候補の場合、イベント取込実施済のイベントデータは削除外でしたが、イベント取込実施済のイベントデータも削除対象と出来るよう、コマンドオプションを追加しました。
※イベント詳細画面より「新規プロセス登録」または「既存プロセス経過追加」を行ったデータを「イベント取込実施済のイベントデータ」と記載しています。
・追加コマンドオプション
 -m: 取込済イベント削除モード
詳細は別紙「コマンドリファレンス」を参照してください。

1.20 バージョン12.0.1の主な新機能

1.20.1 主な新機能

- (1) エスカレーション、承認フローの承認、差戻しを行った際に自動送信されるメールを自由にカスタマイズする機能を追加しました。

Senju Service Manager - Windows Internet Explorer

http://cdsp/ncsp/menu/login/login.asp

Live Search

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

お気に入り Senju Service Manager

senju service manager ユーザー：野村 太郎 さん (前回ログイン日時：2012/03/16 21:34:02)

ホーム インシデント管理 サービス要求 問題管理 変更管理 構成管理 ナレッジ サービスレベル メンテナンス

ユーザー管理 システム管理 申請管理 メール管理 分析管理 SLAMチャート管理 チェックリスト管理

メンテナンス > メール管理 > 自動送信メール設定

自動送信メール設定編集

データ種別名	インシデント管理
システム名	全システム共通
メールアクション	エスカレーション

登録 削除 キャンセル

タイトル	【%CMN.ITEM_TYPE_NAME%-%%LBL.ESCALATION%】%ICD.DISP_INSERT_NO%
本文	<p>現在日付(%CMN.DATE%)</p> <p>現在時刻(%CMN.TIME%)</p> <p>ログインユーザー名(%CMN.LOGIN.USER.NAME%)</p> <p>データ種別名(%CMN.ITEM_TYPE_NAME%)</p> <p>エスカレーション先(%ICD.ES.TO.USER%)</p> <p>エスカレーションコメント(%ICD.ES.COMMENT%)</p> <p>スマートフォンアクセスURL(%ICD.PHN.ACCESS.U)</p> <p>基本情報:インシデントID(%ICD.DISP_INSERT_NO%)</p> <p>基本情報:システム名(%ICD.SYSTEM%)</p> <p>基本情報:タイトル(%ICD.TITLE%)</p> <p>エスカレーション情報:起票者(%ICD.CREATE.USER%)</p> <p>分類情報:種別(%ICD.TYPE%)</p> <p>分類情報:インパクト(%ICD.IMP.LEVEL%)</p> <p>分類情報:緊急度(%ICD.BMG.LEVEL%)</p> <p>分類情報:優先度(%ICD.PRI.LEVEL%)</p> <p>日時情報:起票日(%ICD.CREATE.YMD%)</p> <p>日時情報:起票時刻(%ICD.CREATE.TIME%)</p> <p>日時情報:最終更新日(%ICD.UPDATE.YMD%)</p> <p>日時情報:最終更新時刻(%ICD.UPDATE.TIME%)</p> <p>【ラベル】システム名(%LBL.SYSTEM.NAME%)</p> <p>【ラベル】タイトル(%LBL.TITLE%)</p>
登録日時	2012/04/01 00:00:00
最終更新日時	2012/04/01 00:00:00
登録者	SSM管理者
最終更新者	SSM管理者

ページが表示されました

信頼済みサイト | 保護モード: 無効

100%

- (2) 経過情報、エスカレーション履歴、チェックリスト、簡易チェックリストの一覧を、時系列に沿って表示する対応一覧機能を追加しました。



- (3) チェックリストを追加、変更した際の影響を、本番運用前に事前に診断する機能を追加しました。



- (4) メール送信時にインシデント管理の経過情報に FROM、TO、CC 情報を登録するよう機能拡張しました。

入庫登録に失敗する (0000000000000098) - Windows Internet Explorer

http://ccfshost/ccfsp/ITIL/Incident/Detail/incident_detail.asp

インシデント 管理詳細: 入庫登録に失敗する (0000000000000098)

対応一覧 クローズ メール送信 関連登録 ナレッジ申請 帳票出力 削除 編集 コピー登録 最新の情報に更新 閉じる

クローズ期限日 クローズ期限時刻

経過情報

経過1 (1/1)

タイトル タイトル エラー報告受付

対応日 2012/03/15 対応時刻 16:53

対応者 野村 太郎 対応先

チャネル

内容

おつかれさます。
御徒町です。
メールにて問合せを受けました。
入庫管理を行うために、新規登録画面で【登録】ボタンを押下したところ、「DBエラー001000 入庫マスタを更新できません」というエラー画面が表示され登録が行えないとのことです。
お手数をかけますが、早急に復旧をお願いします。
尚、参考ファイルとして、エラー画面のビットマップを添付します。

添付ファイル (0/0)

FROM 北品川 政行(メールアドレス1) <m.kitasinagawa@ssm.nri.co.jp>

TO 御徒町 泰雄 <y-okatimati@ssm.nri.co.jp>

CC 平和台 祐子(メールアドレス1) <y.heiwada@ssm.nri.co.jp>

社外申請者情報

会社名 株式会社M技術開発

組織名 ITサービス部

氏名 中目黒 健一

氏名カナ ナカメグロ ケンイチ

電話番号 02-596

メールアドレス k-nakameguro@m.p

エスカレーション情報

起票者 野村 太郎

エスカレーション

エスカレーター

クローズ者

分類情報

種別 障害 インパクト 顧客影響大

緊急度 明日までに対応 優先度 A

大分類 運用系ジョブ

中分類 業務サーバ

小分類

キーワード 在庫管理 入庫登録 エラー DB 001000 入庫マスタ

ページが表示されました

信頼済みサイト | 保護モード: 無効

100%

- (5) FAQ の「質問」と「回答」を、インシデント管理の経過情報の内容に反映する機能を追加しました。
- (6) インシデント管理の経過情報にメールアドレス項目を追加し、メール送信時に自動転記する機能を追加しました。
- (7) インシデント管理一覧、サービス要求一覧に現在対応者を出力するよう機能拡張しました。
- (8) インシデント管理一覧に数値テキスト項目を出力するよう機能拡張しました。
- (9) インシデント管理の検索項目に、個々のテキストエリアを検索する機能を追加しました。
- (10) Senju Service Manager から送信されたメールの返信を、送信元インシデントの経過に自動登録する機能を追加しました。
- (11) インシデント管理の経過の最大件数を変更する機能を追加しました。
- (12) インシデント候補振分の検索条件にてシステムを複数選択できるよう機能拡張しました。
- (13) インシデント管理にて、問合せ元情報を検索する機能を追加しました。また、検索結果をインシデントのデータとして登録可能とします。
- (14) メール送信設定にてログインユーザー情報の備考を設定できるよう機能拡張しました。
- (15) メール送信設定にてインシデント管理のラージテキスト項目を設定できるよう機能拡張しました。
- (16) 自動送信メールのアクセス URL からログインする際に、ログイン画面を介さずに詳細情報にアクセスで

きるよう機能拡張しました。

(17) 構成管理にて、メールアドレス項目を追加しました。

(18) メール送信機能にて、送信先にブックマーク、構成を選択可能とする機能を追加しました。

(19) データ登録コマンドにて、変更管理のシステムを指定せずに経過追加できるよう機能拡張しました。

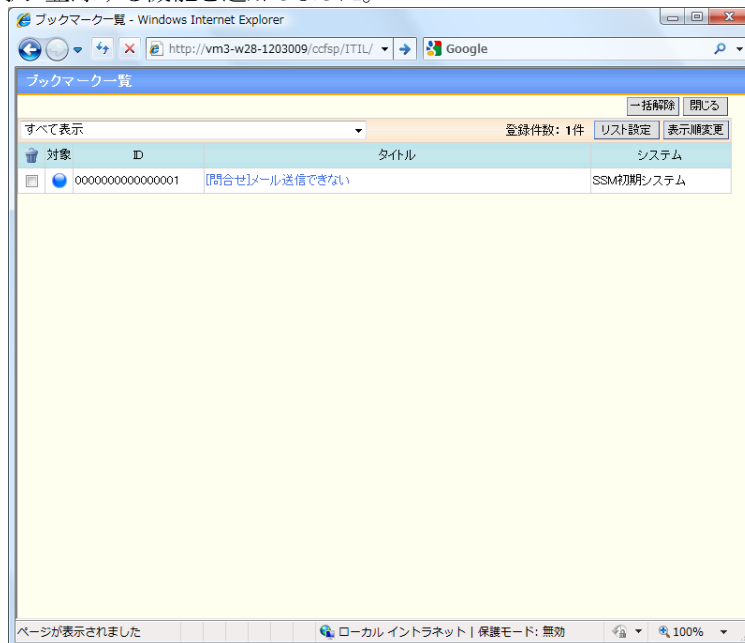
(20) インシデント管理、インシデント候補のデータ出力を行うコマンド機能を追加しました。

(21) 編集ボタン、削除ボタンのアイコンを変更する機能を追加しました。

(22) 伝言メモを複数ユーザーに送付する機能を追加しました。

(23) スマートフォン環境にて iOS5 に対応しました。

(24) インシデント管理/サービス要求/問題管理/変更管理/既知エラー/FAQ/ファイルライブラリ/リンク集/構成管理/構成アイテム管理/要員管理の詳細画面においてユーザーがブックマークとして任意に選択・登録する機能を追加しました。



1.20.2 セキュリティ機能強化

(1) 添付ファイルのアクセス権限チェックを強化しました。

(2) セッション管理のセキュリティを強化しました。

1.20.3 不具合対応

(1) SLAM チャート詳細画面にて、職責の重複設定による表示不具合を修正しました。

- (2) CSV 形式で帳票を出力する際に、半角ダブルクォーテーションと半角シングルクォーテーションが全角に置き換わる不具合を修正しました。
- (3) WEB コンフィグレータの関連登録コピーにて、サービス要求から別のデータ種別のサービス要求へ関連登録を行う際、関連先のブロック名と項目名に関連元のブロック名と項目名が表示される不具合を修正しました。
- (4) 自動送信メールの本文にタブ文字が含まれる場合、メールの本文が欠けてしまう不具合を修正しました。
- (5) インシデント管理の検索条件指定時に、システムのソート順が選択元リストと選択済みリストで異なる不具合を修正しました。
- (6) インシデント候補振り分けにて存在しないシステムを指定、かつシステム固有のコード、分類を登録する際、コード、分類が空とならない不具合を修正しました。
- (7) 承認フロー管理画面の検索結果一覧が、データ種別の表示順にソートされない不具合を修正しました。
- (8) IIS ログに不正なログが出力される不具合を修正しました。

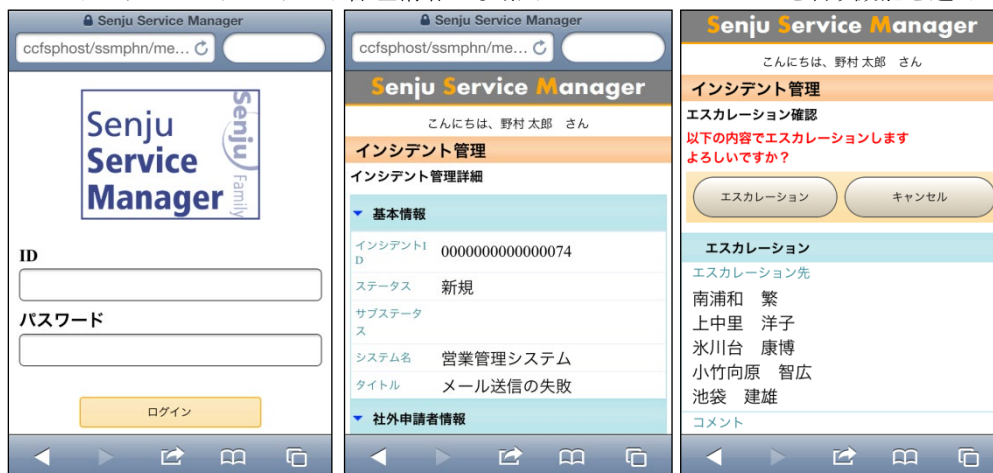
1.20.4 前バージョンからの変更点

- (1) メンテナンスタブのメール設定のメールテンプレート画面の名称を送信メール設定画面に変更しました。
- (2) 帳票出力にて数値テキスト項目を出力する際に、従来は数値および単位を出力しておりましたが、数値のみ出力するよう変更しました。これにより帳票の集計処理等が容易になります。

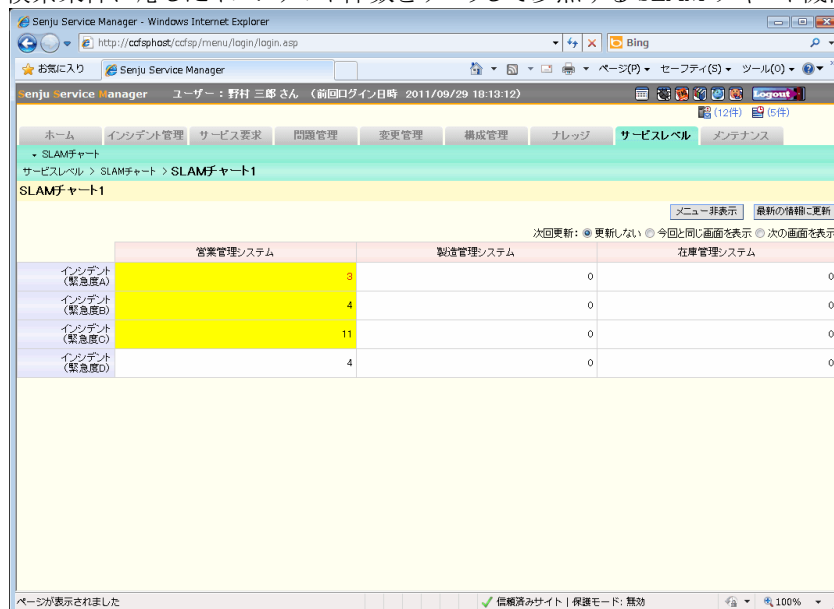
1.21 バージョン12.0.0の主な新機能

1.21.1 主な新機能

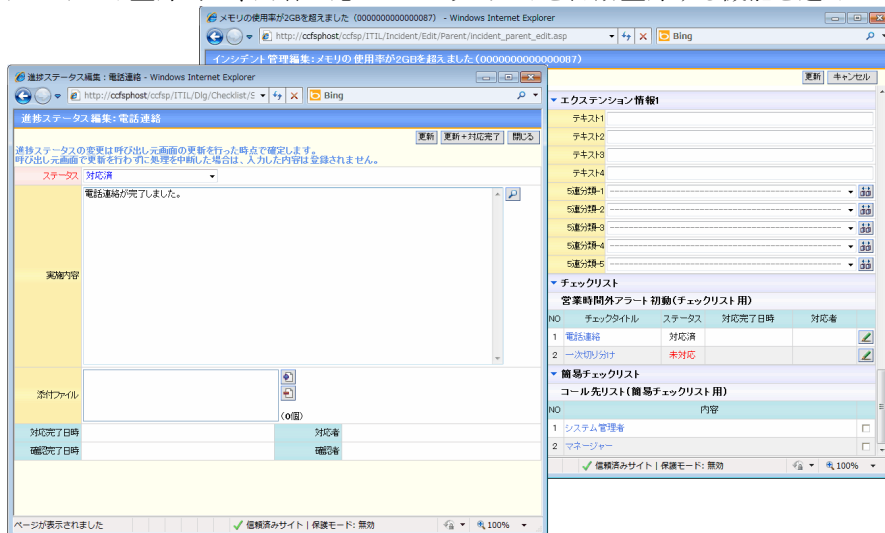
- (1) スマートフォンにてインシデント管理情報の参照およびエスカレーションを行う機能を追加しました。



- (2) 検索条件に応じたインシデント件数をサマリして参照する SLAM チャート機能を追加しました。



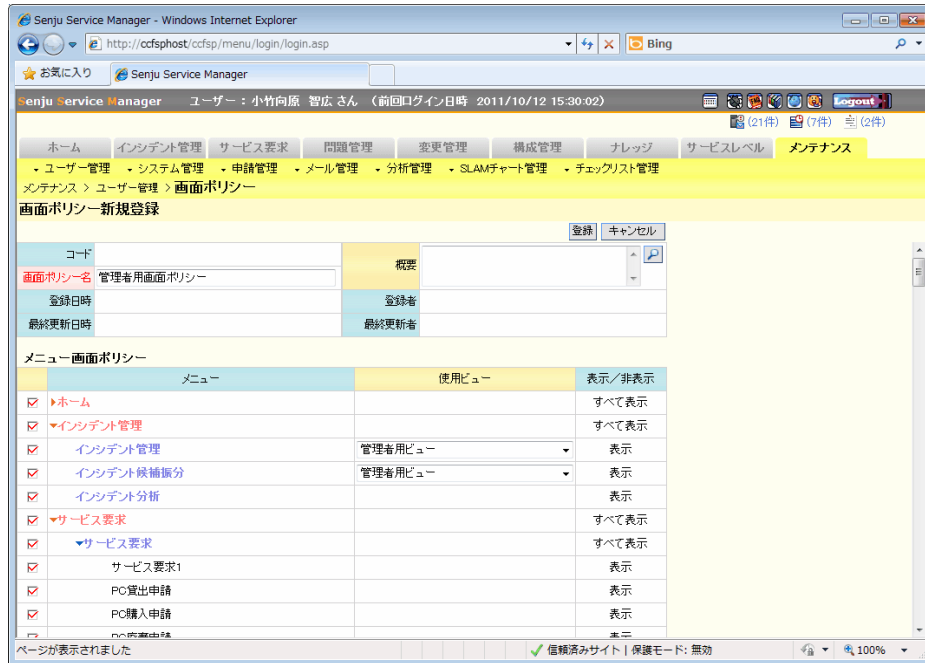
- (3) インシデント登録時に、内容に応じてチェックリストを自動登録する機能を追加しました。



- (4) SSM のアカウントを持っていないユーザーに対しても FAQ 情報を公開する機能を追加しました。



- (5) ユーザーごとにインシデント管理の画面レイアウトを変更する機能を追加しました。



- (6) インシデント管理の検索機能を強化しました。相対日付、時刻、関連構成、拡張用選択項目を検索条件に指定することが可能になりました。
- (7) 新規登録画面を表示した際に、必須項目を未選択状態にして表示する機能を追加しました。
- (8) 経過一覧画面で各経過を対応日時順に並替える機能を追加しました。
- (9) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理、構成管理、構成アイテム管理の詳細画面において各項目の高さをカスタマイズする機能を追加しました。
- (10) 検索条件保存機能の登録可能件数を最大 10 件へ拡張しました。
- (11) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理、構成管理の関連構成の登録可能件数を最大 200 件へ拡張しました。
- (12) 1 会社あたりの組織登録件数を最大 500 件へ拡張しました。
- (13) SSMWEB サーバーコンフィギュレータにて、インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理の社外申請者情報ブロックおよび社内申請者情報ブロックの各項目を他ブロックへ移動することが可能になりました。
- (14) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理の新規起票時に社内申請者情報に関する項目へのログインユーザー情報を自動入力するか否かを切替える機能を追加しました。
- (15) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理、ナレッジの ID の自動付与時の設定ルールとして「データ種別名略称+システム名略称+左 0 詰め」のパターン設定を追加しました。
- (16) 承認フローを進める際、次の承認先以外のユーザーに対しても情報を通知する機能を追加しました。
- (17) 特定のメールアドレスが宛先に含まれている場合、メール送信ダイアログからメール送信する際に警告を表示する機能を追加しました。

- (18) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理の時間集計項目において、非稼働時間を除いて時間集計を行う機能を追加しました。
- (19) 承認申請中の構成管理情報を編集不可に設定できるよう機能拡張しました。
- (20) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理の一覧帳票において、現在対応者と関連プロセス情報が出力されるよう機能拡張しました。
- (21) インシデント内容をインシデント一覧画面に出力する機能を追加しました。
- (22) システム別とステータス別のコード件数、FAQ、ユーザー、コード、分類の一覧帳票を出力する機能を追加しました。
- (23) ユーザー検索画面の検索機能を強化しました。検索条件にログイン状態、最終ログイン日を追加しました。
- (24) ユーザー検索ダイアログにて、ユーザーID で検索できるように機能拡張しました。
- (25) 構成管理を一括登録および更新申請するコマンド機能を追加しました。コマンドから登録された構成情報について構成反映のための承認の要/不要を設定することが可能です。
- (26) 承認フロー、承認フロールート、職責、グループ、分類を一括登録/更新するコマンド機能を追加しました。
- (27) データ登録コマンドにて、サービス要求のレコードを一括更新できるように機能拡張しました。
- (28) インシデント管理に最大 128KB 入力可能な項目を追加しました。
- (29) 構成管理に選択ユーザー項目を 10 項目追加しました。
- (30) SSM サーバー環境が、Windows Server 2008 R2 の環境に対応しました。
- (31) クライアント環境が、Windows7 + IE9 の環境に対応しました。
- (32) OracleDB のアーカイブログモード設定に対応しました。

1.21.2 セキュリティ機能強化

- (1) 参照権限のないシステムのレコードについてタイトルが表示されないように機能強化しました。
- (2) 編集中のレコードが他ユーザーによって削除されないように排他制御を強化しました。

1.21.3 不具合対応

- (1) 経過ブロックを非表示にした際、メール送信ダイアログが表示できない不具合を修正しました。
- (2) 承認フロールートに登録する際、特定のルートに差戻しを行う承認フロールートが登録できない不具合を修正しました。
- (3) 検索条件画面でシステム名を変更した際、検索条件と結果に不整合が生じる場合がある不具合を修正しました。
- (4) 特定の承認フローにおいてエンドユーザーによる代理承認ができない不具合を修正しました。

1.21.4 前バージョンからの変更点

- (1) インシデント候補画面でインシデント候補振分画面が統一されました。本バージョンからはインシデント候補振分画面のみが表示されます。
- (2) インシデント管理、サービス要求の完了ステータスの機能が変更されました。本バージョンからは問合せ状況、申請状況とは別の項目として完了/未完了が管理されます。
そのため問合せ状況、申請状況を検索する際の検索対象が前バージョンまでとは異なります。

1.22 バージョン11.0.1の主な新機能

1.22.1 主な新機能

- (1) 関連登録時、登録元レコードから登録先レコードへ自動転記する項目をカスタマイズする機能を追加しました。

関連登録コピー設定

最終更新日時: 2011-01-01 00:00:00

コピー元基本情報

メインメニュー: サービス要求
サブメニュー: サービス要求
データ種別: サービス要求1

コピー先基本情報

メインメニュー: 問題管理
サブメニュー: 問題管理
データ種別: 問題管理

選択項目一覧

コピー元ブロック名	コピー元項目名	コピー元型	→	*コピー先ブロック名	*コピー先項目名	コピー先型
基本情報	システム名	システム	→	基本情報	システム名	システム
基本情報	タイトル	テキスト	→	基本情報	タイトル	テキスト
社外申請者情報	会社名	テキスト	→	社外申請者情報	会社名	テキスト
社外申請者情報	組織名	テキスト	→	社外申請者情報	組織名	テキスト
社外申請者情報	氏名	テキスト	→	社外申請者情報	氏名	テキスト
社外申請者情報	氏名カナ	テキスト	→	社外申請者情報	氏名カナ	テキスト
社外申請者情報	電話番号	テキスト	→	社外申請者情報	電話番号	テキスト
社外申請者情報	メールアドレス	テキスト	→	社外申請者情報	メールアドレス	テキスト
分類情報	キーワード	テキストエリア	→	分類情報	キーワード	テキストエリア
付加情報	備考	テキストエリア	→	付加情報	備考	テキストエリア
付加情報	参考URL	テキスト	→	付加情報	参考URL	テキスト
詳細情報	サービス要求理由	テキストエリア	→	詳細情報		

未選択項目一覧

コピー元ブロック名	コピー元項目名	コピー元型
詳細情報	サービス要求内容	テキストエリア
詳細情報	区分1	コンボボックス
詳細情報	区分2	コンボボックス
詳細情報	区分3	コンボボックス
詳細情報	開始予定日	日付テキスト
詳細情報	開始予定時刻	時刻テキスト
詳細情報	終了予定日	日付テキスト
詳細情報	終了予定時刻	時刻テキスト
詳細情報	予定時間	数値テキスト
詳細情報	利用責任者	ユーザー(複数)
詳細情報	利用者	ユーザー(複数)
詳細情報	サービス要求を却...	テキストエリア

問題内容
影響範囲
原因
ワークアラウンド
解決策
対応及び結果

キャンセル OK

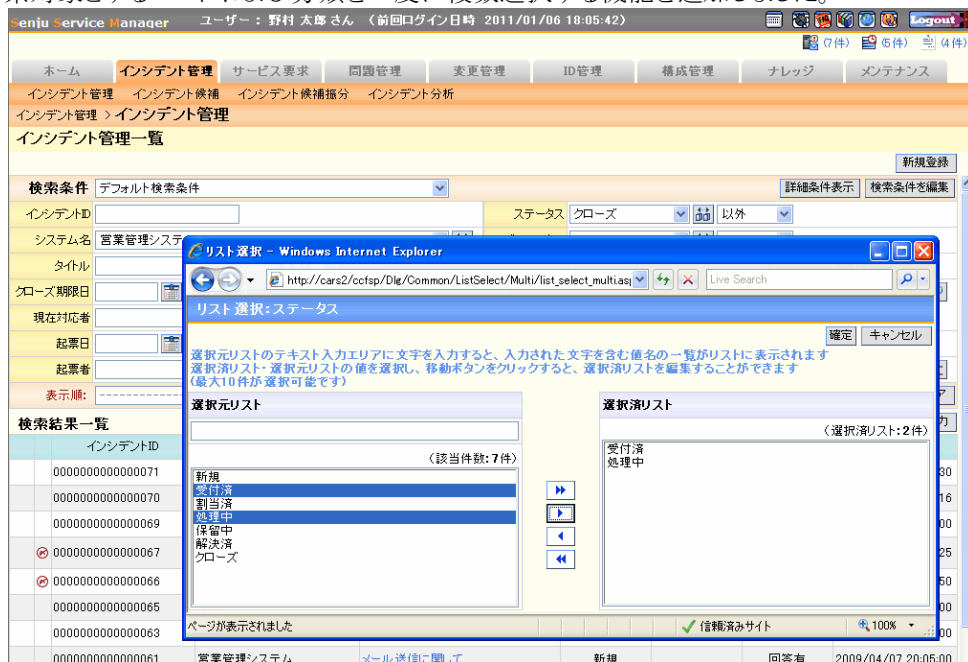
- (2) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理の必須入力チェック機能を拡張しました。インシデント管理と問題管理では、新たにクローズ時の必須チェック項目をカスタマイズする機能を追加しました。サービス要求、変更管理では、新たに承認申請時およびクローズ時の必須チェック項目をカスタマイズする機能を追加しました。
- (3) 承認申請中レコードの、承認および確認のフェーズで編集可能とする項目をカスタマイズする機能を追加しました。
- (4) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理の1レコードあたりに登録可能な確認情報を最大200件までに拡張しました。
- (5) 登録済の承認フロールートのコピーして新規の承認フロールートを登録する機能を追加しました。
- (6) 登録済の職責をコピーして新規の職責を登録する機能を追加しました。
- (7) メールテンプレートに経過情報の項目を設定できるようになりました。
- (8) メールテンプレートにて設定した任意の項目に対して引用符を設定できるようになりました。

- (9) システムマスタ編集画面にて、デフォルトで選択されるメールテンプレートを設定する機能を追加しました。
- (10) インシデント候補振分からインシデントへ新規登録および経過追加したレコードを、インシデント候補振分へ戻す機能を追加しました。
- (11) 構成管理レコードの編集前後で変更された項目の一覧を参照する機能を追加しました。



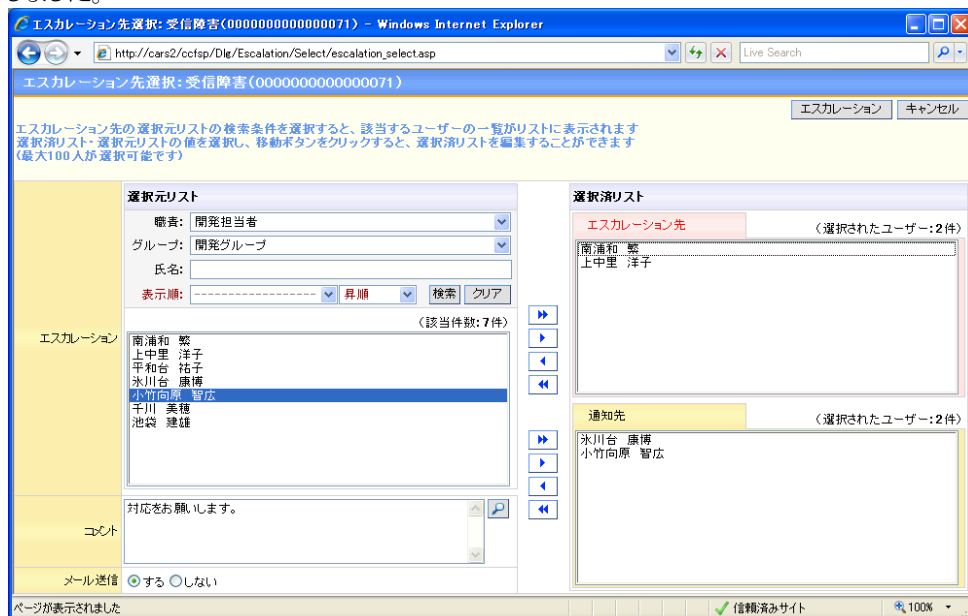
- (12) 構成管理の変更申請として起票されたサービス要求の申請状況を構成管理のレコードから参照する機能を追加しました。
- (13) サービス要求で定義できる画面数を拡張しました。要件に合わせて申請画面を最大 100 画面まで定義することができます。

- (14) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理、構成アイテム管理、構成管理の検索時に、検索対象とするコードおよび分類を一度に複数選択する機能を追加しました。



- (15) クローズ期限や対応期限を過ぎた案件をチェックログへ出力するコマンドを追加しました。

- (16) 案件のエスレーション時に、エスカレーション先以外のユーザーに対しても情報を通知する機能を追加しました。



- (17) 選択されたインパクトおよび緊急度をもとに、インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理の優先度を自動設定する機能を追加しました。



- (18) 従来の SSM のインストールおよびバージョンアップの手順を一部自動化し、作業負荷を軽減しました。

1.22.2 セキュリティ機能強化

- (1) SMTP over SSL と SMTP 認証を使用したメール送信に対応しました。SMTP 認証では BASIC 認証をサポートしています。

1.22.3 不具合対応

- (1) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理のフリーワード検索時に、備考および参考 URL のカラムが検索されない不具合を修正しました。
- (2) あるユーザーが構成アイテムを編集時に別のユーザーがインシデント等から編集時の構成アイテムを関連付けした場合に、構成アイテムが更新されたタイミングでインシデントから関連づけられた情報が消えてしまう不具合を修正しました。
- (3) サービスデスクユーザーが起票した問合せに対し経過から回答を登録した際、自動メールが送信されない不具合を修正しました。
- (4) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理の関連検索(要員)ダイアログにて、ログインユーザーが所属していないシステムを選択すると XML ロードエラー画面に遷移する不具合を修正しました。
- (5) ID 管理の構成アイテムで帳票出力および改ページができない不具合を修正しました。
- (6) 問合せ起票者がサービスデスクユーザーの場合、インシデントの経過追加から、チャネル「アウトバウンド-SSM」で問合せの回答を登録しても、起票者へ自動でメールが送信されない不具合を修正しました。

- (7) ユーザー複数選択ダイアログにて、選択元リストでユーザーをダブルクリックした時に発生する不具合を修正しました。
- (8) 構成管理の構成反映時に添付ファイルが多重登録される場合がある不具合を修正しました。

1.23 バージョン11.0.0の主な新機能

1.23.1 主な新機能

- (1) サービス要求の各画面を複数作成可能となるよう機能拡張しました。アカウント発行申請や入館申請等、要件に合わせて申請画面を複数定義することができます。

Senju Service Manager ユーザー： 惣流大和 さん (前回ログイン日時: 2010/07/23 09:32:06)

ホーム インシデント管理 **サービス要求** 問題管理 変更管理 ID管理 構成管理 ナレッジ メンテナンス

サービス要求 サービス要求分析

サービス要求 サービス要求

サービス要求メニュー

データ種別名	サービス概要	サービス提供時間	サービスオーナー
アカウント発行	店舗スタッフのアカウントを発行する場合の申請	09:00 ~ 17:00	
アカウント失効サービス	退職した店舗スタッフのアカウントを失効させる場合の申請	09:00 ~ 17:00	
サーバアクセス	本社サーバへのアクセスを行う場合の申請。緊急の場合も含まれます。	00:00 ~ 23:59	
入館	データセンターへの入館申請	00:00 ~ 23:59	
作業	データセンターでの作業を行う場合の申請	09:00 ~ 17:00	
社員証発行	社員証を発行する場合の申請	09:00 ~ 17:00	

01 入館申請詳細: 入館申請(00000000000000209)

承認申請 クローズ メール送信 関連登録 帳票出力 削除 編集 コピー登録 最新の情報に更新 閉じる

基本情報		分類情報	
サービス要求ID	00000000000000209	区分	臨時
ステータス	新規	入館区分	事務室の入館のみ
システム名	システム1	理由	リリース対応のため
タイトル	入館申請	入館・入室日	2010/08/01
クローズ期限日		退館・退室日	2010/08/01
社内申請者情報		管理責任者	権藤 伊川
氏名	惣流大和	管理責任者内線番	2222 (親数値テキスト1単位)
会社名	野村総合研究所	持出持込区分	あり
組織名	千手事業部	工事区分	あり
内線番号	11111	入館階情報	
電話番号	045-335-xxxx	会社名	野村総合研究所子会社A
メールアドレス	senjuinfo@nri.co.jp	組織名	百手事業部
エスカレーション情報		氏名	式波大和
起票者	惣流大和	個人コード	s0002
承認者	東戸塚 純子	入館階	1階
クローズ者		システム名称	千手
		時間帯開始	20:00
		時間帯終了	23:00

- (2) 構成管理の各画面を複数作成可能となるよう機能拡張しました。サーバー機器や電源等、要件に合わせて構成アイテムの管理画面を複数定義することができます。

データ種別名	内容	作業可能時間	管理
機器	ラック内に設置するサーバー・ネットワーク機器/ブレードシャーシ/ディスク装置/PDU/SPS/ブレード/ディスク		
PDU	ラック内に設置するPDU		
ブレード/ディスク	シャーシ内に設置するブレードおよびディスク		
分電盤	分電盤		
二次電源	二次電源		
ラック	ラック		
構成アイテム7			

- (3) エンドユーザーが申請画面で承認処理を行える機能を追加しました。これにより、エンドユーザーの担当者の申請内容を、エンドユーザーの上長が承認した後、サービスデスクに申請する等の多段承認を実現することができます。また、過去の承認ルートに自身が存在する申請も、申請一覧画面の検索結果に表示されるように機能拡張しました。
- (4) 既知エラー、FAQ、ファイルライブラリ、リンク集の各一覧画面とナレッジダイアログにおいて、ソート機能と検索条件の保存機能を追加しました。
- (5) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理、ID 管理 (構成アイテム管理)、構成管理の「数値テキスト」項目に入力可能な桁数を 6 桁から 12 桁に拡張しました。
- (6) 1ユーザーに割り当てられる職責の最大件数を 600 件に拡張しました。複数のシステムに所属する場合は、所属するシステム全体での累計となります。例えば、システム1における職責 A、職責 B 及びシステム2における職責 A、職責 B を割り当てたユーザーの職責件数は 4 件となります。
- (7) ユーザー別のタスクを全件表示する機能を追加しました。ユーザー別のタスク一覧はホーム画面タスク一覧の「残タスク」リンクをクリックすることによって表示されます。

- (8) 問合せ完了時及び申請完了時に、自動メール送信による通知を行う機能を追加しました。
- (9) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理、ID 管理(構成アイテム管理)、構成管理の詳細画面で削除を行う際、他ユーザーが編集中の場合は、アラートを表示し削除できないように変更しました。
- (10) 画面ポリシー管理で、メンテナンスメニュー配下の各画面を、画面単位で表示・非表示を設定できるよう変更しました。この変更により「システムマスタ管理」画面は表示せず、「コードマスタ管理」画面のみ表示するというような初期設定が可能です。
- (11) 申請詳細画面、申請編集画面で他ユーザーが対象申請を編集中の場合に、画面左上に「***編集中」の表示を行うように変更しました。また、申請編集画面で更新を行う際、他ユーザーが先に更新処理を行った場合は、上書き確認の確認メッセージを表示するように機能拡張しました。
- (12) 問合せ及び申請画面の社内申請者情報項目の表示形式、必須設定の入力制御を要件に合わせて変更できるようにしました。
- (13) メールテンプレートで送信元メールアドレスを設定できるよう機能拡張しました。メールテンプレートに送信元メールアドレスを事前に設定しておくことで、メールテンプレート選択を行なったときに、送信元を指定したメールアドレスで初期設定できます。
- (14) WEB サーバーコンフィグレータでサービスデスク画面を設定する際に、ブロック名及び項目名(ラベル名)を変更できるよう機能を追加しました。
- (15) インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理、ID 管理、構成管理、問合せ、申請の各詳細画面にて、ウインドウサイズに合わせ画面サイズを変更できるようにしました。
- (16) 表示形式と入力有無(必須形式)の設定を別画面で設定するように変更しました。
- (17) 「ステータス」と「サブステータス」のように、1 行に複数の項目が表示される場合に、個別に表示形式と入力有無(必須形式)を設定できるように変更しました。
- (18) マスタ登録コマンドにて、「全システム共通」の会社、組織を一括登録できるように機能拡張しました。
- (19) パスワードの最小文字数を1桁から設定できるように変更しました。

1.23.2 セキュリティ機能強化

- (1) Senju Service Manager で起動する全てのウィンドウにアドレスバーを表示するよう変更しました。

1.23.3 不具合対応

- (1) 問合せ回答時に自動送信されるメールの内容が、エスカレーションメールの内容となる不具合を修正しました。
- (2) 参照済みのタスクのボード表示が解除されない不具合を修正しました。

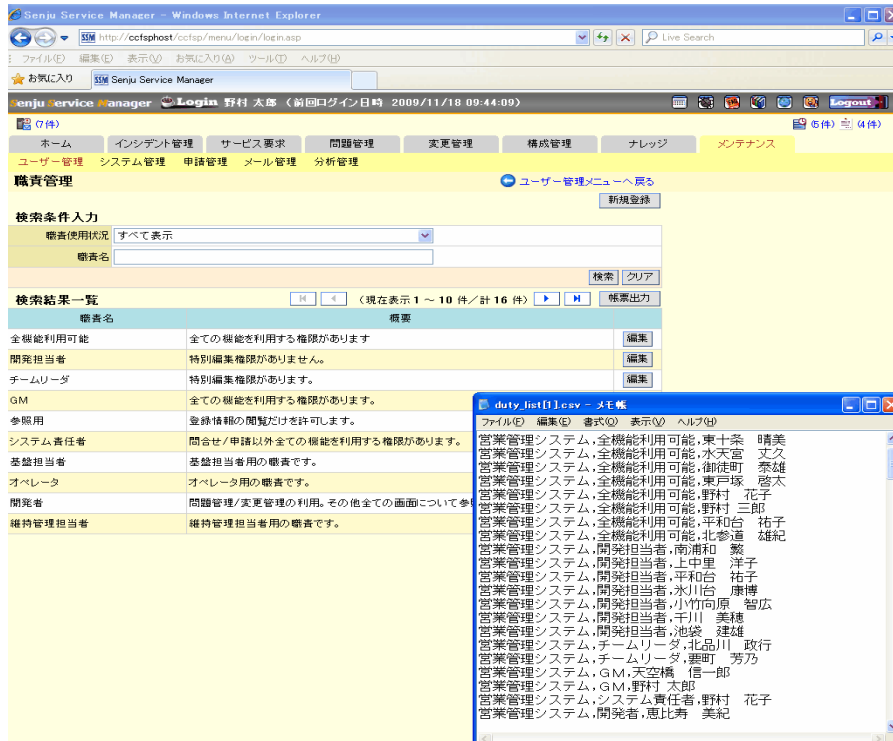
1.23.4 前バージョンからの変更点

- (1) データ登録コマンド、分類登録コマンドの入力ファイルフォーマットを変更しました。従来のフォーマットで各コマンドを実行すると、新しい入力ファイルフォーマットを出力します。出力された新しい入力フォーマットのファイルで再度コマンドを実行して下さい。
- (2) SSMDDB コンフィグレータの制御情報で設定可能であったユーザーログの出力設定を廃止し、常に操作ログを出力するように変更しました。
- (3) 画面毎に設定されるボタン名称のラベルを廃止し、共通の処理については各画面で共通のラベル定義を使用するように変更しました。例えば各検索画面の「検索」ボタン、「クリア」ボタン、各新規登録画面の「登録」ボタン等が該当します。

1.24 バージョン10.0.1の主な新機能

1.24.1 主な新機能

- (1) 職責一覧画面で、システム・ユーザー・職責が紐付いた一覧帳票を、CSV形式にて出力する機能を追加しました。出力される帳票は、現在使用中の職責のみ出力されます。



- (2) 承認フロー管理画面で、承認フローの一覧帳票を、CSV形式にて出力する機能を追加しました。承認フロー管理で検索された全ての承認フローが出力されます。
- (3) 承認フロールート管理画面で、承認フロールートの一覧帳票を、CSV形式にて出力する機能を追加しました。承認フロールート管理で検索された全ての承認フロールートが出力されます。
- (4) 構成アイテム管理一覧画面で、構成アイテムの一覧帳票を、CSV形式にて出力する機能を追加しました。検索条件に合致する構成アイテムを、一覧形式で出力します。

- (5) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」の一覧帳票に、関連構成アイテムを出力できるように機能拡張しました。対象の帳票は CSV 形式と EXCEL 形式の両方になります。

インシデントID	問合せ状況	ステータス	サブステータス	システム名	タイトル	関連構成アイテム
0000000000000071	新規			営業管理システム	受信障害	
0000000000000070	新規			営業管理システム	推奨環境以外での動作について	
0000000000000069	回答有			営業管理システム	メール送信に関して	
0000000000000067		割当済	アプリチーム連絡済み	営業管理システム	入庫登録に失敗する	サーバー-002
0000000000000066	保留中			営業管理システム	メール送信の失敗	
0000000000000065	問合せ中			営業管理システム	パスワードの有効期限	
0000000000000063	完了	新規		営業管理システム	メール受信に失敗する。	
0000000000000061	回答有	新規		営業管理システム	メール送信に関して	
0000000000000059	問合せ中	新規		営業管理システム	APPLYの画面の挙動について相談があります。	
0000000000000058	問合せ中	新規		営業管理システム	TOP画面にて障害発見	
20080117-0000054	問合せ中	新規		営業管理システム	動意管理システムでの不具合	
20071203-0000052	問合せ中	新規		営業管理システム	パスワードの変更方法	
0000000000000019	割当済			営業管理システム	サーバー障害	
0000000000000017	新規		アプリチーム連絡済み	営業管理システム	不明な画面	
0000000000000016	問合せ中	新規		営業管理システム	パスワードの有効期限	
0000000000000015	問合せ中	新規		営業管理システム	トライアルライセンスキーが登録できない。	
0000000000000014	問合せ中	新規		営業管理システム	システムの削除	
0000000000000013	問合せ中	新規		営業管理システム	在庫参照画面でエラー	
0000000000000012	問合せ中	新規		営業管理システム	アカウントがロックされてしまいました	
0000000000000011	処理中		アプリチーム連絡済み	営業管理システム	エラー画面(入庫)	
0000000000000010	問合せ中	新規		営業管理システム	システムの削除	
0000000000000009	受付済			営業管理システム	RuntimeError	
0000000000000008	回答有	新規	アプリチーム連絡済み	営業管理システム	メール受信に失敗する	
0000000000000006	回答有	割当済		営業管理システム	ブラウザへの対応について	

- (6) CSV 形式の帳票を出力する際、禁則文字変換機能を強化しました。
- ・ <SSM_LINEFEED>: 帳票出力項目内に「改行文字」が含まれていた場合、「改行文字」を指定した任意の文字または文字列に変換できます。
 - ・ <SSM_SEPARATOR>: 帳票出力項目内で各名称等、区切って表示する必要がある項目について、「区切り文字」を指定した任意の文字に変換できます。
- (7) 「分類」の一括登録・削除ができるコマンドを追加しました。
- (8) インシデント候補振分画面で、職責による操作権限を割り当てられる機能を追加しました。ユーザーに職責を設定することで、適切な操作権限(参照/操作/削除)を与えられたユーザーのみインシデント候補振分の操作が可能となります。
- (9) インシデント候補振り分け画面で、インシデント候補を「システム名」で絞り込むことができるようになりました。
- (10) インシデント候補振り分け画面から、インシデント候補画面を経由せずに、直接インシデントを起票できるように機能拡張しました。

- (11) SSM WEB サーバーコンフィグレータの詳細画面設定において、非表示不可項目を異なるブロックに移動することができるように機能拡張しました。

【インシデント管理】

- ・インシデント ID, 問合せ状況
- ・ステータス, サブステータス
- ・システム名
- ・タイトル

【サービス要求】

- ・サービス要求 ID, 申請状況
- ・ステータス, サブステータス
- ・システム名
- ・タイトル

【問題管理】

- ・問題 ID
- ・ステータス, サブステータス
- ・システム名
- ・タイトル

【変更管理】

- ・変更 ID, 申請状況
- ・ステータス, サブステータス
- ・システム名
- ・タイトル

【構成アイテム管理】

- ・構成アイテム ID
- ・構成アイテム名
- ・ステータス
- ・システム名

詳細画面設定

メニュー: インシデント管理
サブメニュー: インシデント管理
画面名: 詳細

画面説明
Senju Service Managerの各詳細画面に表示する項目を変更できます。
未選択項目一覧へ移動するとSenju Service Managerの各詳細画面には表示されません。
背景が灰色の項目はそのブロック内から移動できません。
背景がピンク色の項目は「OK」ボタンをクリックする時に選択項目一覧に設定する必要があります。(未選択項目一覧に設定されている場合は、保存することができません。)
文字が灰色の項目は編集できません。
「*」印の項目は編集可能です。

未選択項目一覧

項目名	表示形式	入力有無	説明
インシデントID	参照のみ	任意	インシデントID
対応予定日1	編集可能	任意	対応予定日1
対応予定日2	編集可能	任意	対応予定日2
対応予定日3	編集可能	任意	対応予定日3
対応予定日4	編集可能	任意	対応予定日4
対応予定日5	編集可能	任意	対応予定日5
対応実績日1	編集可能	任意	対応実績日1
対応実績日2	編集可能	任意	対応実績日2
対応実績日3	編集可能	任意	対応実績日3
対応実績日4	編集可能	任意	対応実績日4
対応実績日5	編集可能	任意	対応実績日5

経過

項目名	表示形式	入力有無	説明
テキスト1	編集可能	任意	テキスト1
テキスト2	編集可能	任意	テキスト2
テキスト3	編集可能	任意	テキスト3
テキスト4	編集可能	任意	テキスト4
テキストエリア1	編集可能	任意	テキストエリア1
テキストエリア2	編集可能	任意	テキストエリア2
テキストエリア3	編集可能	任意	テキストエリア3
テキストエリア4	編集可能	任意	テキストエリア4
コンボボックス1	編集可能	任意	コンボボックス1
コンボボックス2	編集可能	任意	コンボボックス2
コンボボックス3	編集可能	任意	コンボボックス3

選択項目一覧

ブロック名: 基本情報

項目名	*表示形式	*入力有無	説明
会社名(紐番名)	編集可能	任意	会社名
氏名	編集可能	任意	氏名
氏名カナ	編集可能	任意	氏名カナ
電話番号	編集可能	任意	電話番号
メールアドレス	編集可能	任意	メールアドレス
インシデントID問合せ状況	参照のみ	任意	インシデントID問合せ状況
ステータス/サブステータス	編集可能	必須	ステータス/サブステータス
システム名	編集可能	必須	システム名
タイトル	編集可能	必須	タイトル

経過

ブロック名: 経過

項目名	*表示形式	*入力有無	説明
タイトル	編集可能	任意	経過タイトル
対応日	編集可能	任意	対応日/対応
対応者/対応先	編集可能	任意	対応者/対応先
チャンネル	編集可能	任意	インアウトレ
内容	編集可能	任意	内容
添付ファイル	編集可能	任意	添付ファイル

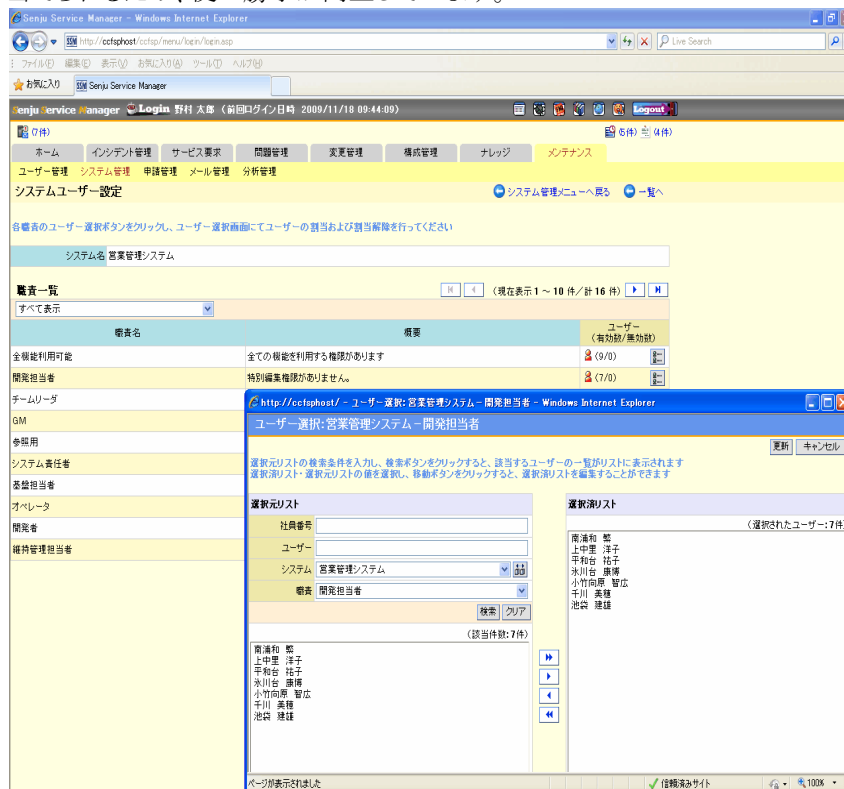
キャンセル 初期値に戻す 戻る 次へ OK

なお、移動することができるようになった項目の背景はピンク色となっています。

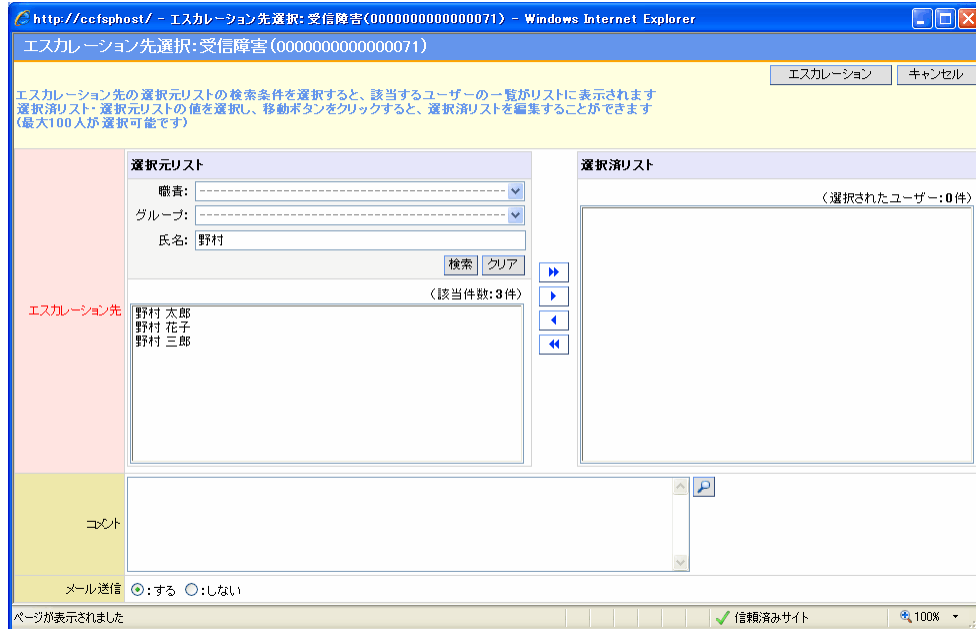
- (12) SSM WEB サーバーコンフィグレータのラベル設定において、「初期ラベル値」「現在ラベル値」のフィルタオプションで画面表示時に改行が含まれているラベルも検索できるように機能拡張しました。

- (13) SSM WEB サーバーコンフィグレータのラベル機能について、使用性が全般的に向上しました。

- (14) SSM WEB サーバーコンフィグレータで、社内申請者ブロックの各項目の表示/非表示を、自由に変更できるように機能拡張しました。
- (15) システムからユーザーと職責を割り当てる機能を追加しました。この機能により、新規システム作成時に、個々のユーザーにシステムと職責を割り当てる作業が必要なくなり、一括してユーザーと職責を割り当てられるため、使い勝手が向上しています。



- (16) エスカレーション時のユーザー選択を選択するダイアログで、氏名で検索できる機能を追加しました。



- (17) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」において、Senju Service Manager からメール送信を行う際、経過への追加を自動化できるようにしました。また、経過自体にメール内容をそのまま転記できるようにしました。
- (18) 一部の画像を任意の画像に変更できるようにしました。
- ・ログイン画面のロゴ画像
 - ・ログインフレームのタイトルロゴ画像
- (19) 職責の上限値を 120 に拡張しました。
- (20) 1 ユーザーあたりに指定できるシステムの上限值を 300 に拡張しました。
- (21) 全分類の合計登録上限値を 5000 に拡張しました。また、1 システムあたり 100 大分類まで登録できるように拡張しました。
- (22) Senju Service Manager から送信されるすべてのメールのヘッダー「X-Mailer」と「Organization」に、「Senju Service Manager」と付与されるようにしました。本対応により、SSM からのメールかどうかの識別ができるようになりました。
- (23) Windows Server 2008 SE/EE SP2 + Oracle11g(11.1.0.7)の環境に対応しました。
- (24) Windows Vista + IE8.0 の環境に対応しました。

1.24.2 セキュリティ機能強化

- (1) パスワードの有効期限が切れた場合の処理として、従来のアラート表示のみに加えて、以下の処理を追加しました。
- ・ログイン後、強制的にパスワードの変更画面に遷移し、パスワードを変更させる。パスワードを変更しないと、他の画面に遷移できない。
 - ・ログインさせない。
- (2) ログインユーザーに指定できるパスワードのパターンを追加しました。新しく追加されたパターンは、3 種類以上の文字種が含まれていなければならない、かつ ID と同じ文字列を含んではいけないというパター

ンになります。

- (3) 権限および入力データのチェック機能を強化しました。

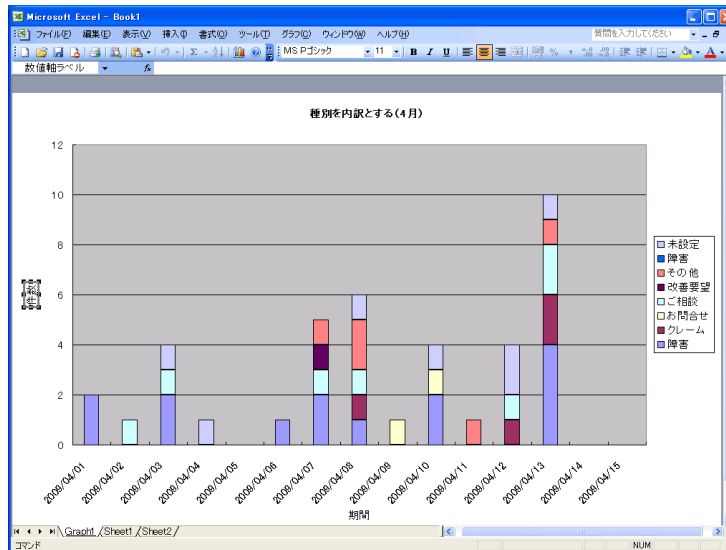
1.24.3 不具合対応

- (1) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」「構成アイテム管理」の EXCEL 形式の帳票出力時、ASCII の制御コードが含まれていると出力に失敗する問題を修正しました。ASCII の制御コードが含まれていた場合は、帳票出力時に半角の「?」に置換されます。
- (2) ログイン画面で、正しいログイン ID とパスワードを入力しているにもかかわらず、ログインエラーになることがある不具合を修正しました。
- (3) 確認情報一覧において、登録時に選択した種別とは異なる種別が表示される不具合を修正しました。
- (4) クローズコメントダイアログの詳細表示で、クローズに選択したクローズ種別とは異なる種別が表示される不具合を修正しました。
- (5) SSM WEB サーバーコンフィグレータにおいて、「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」「構成アイテム管理」の関連プロセス情報/社内申請者情報/社外申請者情報(構成アイテムは保守連絡先情報)ブロック内の各項目の表示形式を、全て「参照」に設定して編集画面を表示した場合、それぞれのブロックにボタンが表示され、編集可能項目となる不具合を修正しました。
※サービス要求/変更管理については、承認済データで特別編集権限があるユーザーで編集画面を表示した場合でのみ発生します。
- (6) ファイルライブラリの更新処理において、128 件目以降に登録されたレコードの更新処理に失敗する不具合を修正しました。
- (7) SSM WEB サーバーコンフィグレータの詳細画面設定(変更管理/サービス要求)において、関連プロセス項目での承認済編集を「編集可(○)」に設定しているにもかかわらず、画面を表示したとき編集不可項目になる不具合を修正しました。
- (8) メール送信ダイアログで送信先のメールアドレスを複数指定する場合、2 件目以降のメールアドレスの先頭に空白文字が含まれていると、正しくメールが送信されない不具合を修正しました。
- (9) 承認フロー申請中に却下を実行し、その後別のユーザーが再度承認申請を行い、該当ルートの最終承認が行われた場合、最初に承認申請した申請者に、エスカレーションおよびメール送信が行われてしまう不具合を修正しました。本修正により、最後に申請を行ったユーザーに対して、エスカレーションおよびメール送信が行われます。
- (10) データ登録コマンドで「数値テキスト 1」「数値テキスト 2」に値を設定した場合、ゼロで終わる数字を入力すると、ゼロがすべて消去されて登録される不具合を修正しました。
- (11) メール送信ダイアログの処理速度を改善しました。

1.25 バージョン10.0.0の主な新機能

1.25.1 主な新機能

- (1) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」において、「新規起票とクローズ件数」などの関連性をグラフ化して表示する機能を追加しました。KPI の評価支援などに利用することが可能です。



- (2) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」「構成アイテム管理」「ナレッジ」の各案件を表示する際に、一覧画面とは別にウィンドウを起動して表示するよう機能拡張しました。問題管理を表示しつつインシデント管理の回答を記入する、インシデント編集画面に新規インシデントを起票するなど、使い勝手が向上しました。

- (3) 「サービス要求」「変更管理」の承認フローに、従来の「申請」「承認」「却下」「確認」に加え、「差戻し」「作業」が行えるよう機能拡張しました。

- ・「差戻し」では、承認フロー上の任意の段階までフローを差し戻すことができる機能です。差し戻されたフローは差し戻された箇所からやり直しになります。
- ・「作業」では、承認フロー上の任意の段階において、任意のサービス要求項目(変更管理では変更管理項目)を自由に編集できる機能です。編集項目の設定は SSM WEB サーバーコンフィグレータで行います。

これらの機能により、開発チーム内での申請と運用チーム内での申請をひとつのフローで実現するなど、より柔軟なフローの構築が可能です。



- (4) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」において、予定日と実績日を登録可能なフィールドを追加しました。インシデントのクローズ期限だけでなく、一次回答期限や顧客報告期限など最大 5 つの予実績管理を行うことでサービスレベルの把握や対応漏れ防止を実現します。

- (5) 日付の表示方法を時分表示と時分秒表示とで切り替えられるよう拡張しました。

起票日	2009/04/03	起票時刻	14:27:00
最終更新日	2009/04/10	最終更新時刻	17:51:23
発生日	2009/04/03	発生時刻	09:35:24
受付日	2009/04/03	受付時刻	14:27:00
速報日	2009/04/07	速報時刻	15:00:00

- (12) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」で社内申請者情報を検索項目として選択できるよう機能拡張しました。また一覧画面の表示/非表示のカスタマイズが可能になっています。
- (13) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」で起票者を一覧画面に表示できるようにしました。



- (14) リスト項目に件数を表示するように機能拡張しました。
- (15) ログイン画面に Senju Service Manager の利用者向けの FAQ を表示する機能を追加しました。Senju Service Manager を使う上でよくある問合せが記述されており、管理者に対する問合せを軽減します。



- (16) Senju Service Manager からのログアウト時、ウィンドウを閉じずに Senju Service Manager のログイン画面に遷移するよう変更しました。
- (17) グループの表示順を自由に変更できるように機能拡張しました。簡単な GUI 操作で任意の順序に並べ替えることが可能です。
- (18) 優先度やインパクトなどメンテナンス・システム管理から登録できる”コード”に有効・無効を設定できるよ

う機能拡張しました。キャンペーン用の分類や既に使用していない種別などに対して無効を設定することで、登録済みのインシデントに影響を与えることなく新規インシデントのプルダウンメニューへの表示/非表示が設定可能です。

(19) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」のステータスの名称変更及びステータスの追加・削除ができるよう機能拡張しました。デフォルトでは ITIL に即したステータスがプロセス毎に用意されていますが、お使いの環境に合わせてステータスを自由にカスタマイズすることができます。

(20) システムの登録可能上限値を 300 に拡張しました。

(21) インシデントや問題などのデータを一括で登録・更新できるコマンドを追加しました。登録可能なデータは以下のとおりです。

- ・ インシデント、インシデント候補
- ・ サービス要求
- ・ 問題
- ・ 変更
- ・ 要員、構成アイテム
- ・ ユーザー
- ・ 会社
- ・ 組織

外部システムや旧システムからのデータ移行や、日々発生するシステムからのアラートの一括取り込みなどに利用することが可能です。

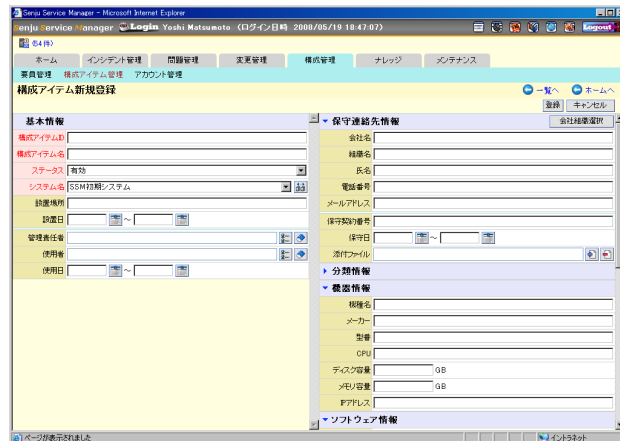
1.25.2 不具合対応

- (1) 承認フロー実行中に承認/確認予定ユーザーが削除されると、承認フローを進められなくなる不具合を修正しました。
- (2) 旧バージョンからのバージョンアップ後、経過の登録数上限値が旧バージョンのままになる不具合を修正しました。
- (3) サービス要求で経過の対応者を非表示にすると、サービス要求編集画面でエラーが表示される不具合を修正しました。
- (4) SSM WEB サーバーコンフィグレータのラベル編集画面で、不要なラベル名が表示される不具合を修正しました。

1.26 バージョン3.0.1の主な新機能

1.26.1 主な新機能

- (1) 「構成アイテム管理」の詳細画面を自由に変更できるよう機能拡張しました。「インシデント管理」と同様に、お客様のご要件に応じて管理項目を自由に変更できます。



- (2) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」「構成アイテム管理」の検索画面を自由に変更できるよう機能拡張しました。お客様のご要件に応じて、必要な検索項目のみに絞り込むことが可能です。検索項目の変更は SSM WEB サーバーコンフィグレータを用いて行います。
- (3) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」「構成アイテム管理」の一覧画面を自由に変更できるよう機能拡張しました。お客様のご要件に応じて、一覧表示したい項目のみに変更する事が可能です。表示項目の変更は SSM WEB サーバーコンフィグレータを用いて行います。
- (4) インシデントに確認情報を登録する機能を実装しました。上長や有識者の確認/レビューが実施された証跡として利用できます。ユーザーが確認情報を追加すると「誰が」「何時」「何を」確認したのかが履歴として追加されます。確認情報には任意のコメントが入力可能です。確認情報の編集と削除は、その確認情報を登録したユーザーのみが行なえます。同様に「サービス要求」「問題管理」「変更管理」についても確認情報を登録できます。

▼ 確認情報			確認一覧	追加
確認日時	ユーザー	コメント		
2008/06/24 18:23:56	小竹向原 智広	内容を確認しました。...		
2008/06/24 10:00:42	野村 太郎			
2008/06/23 13:48:47	平和台 祐子	再発の防止に努めるよ..		

- (5) インシデントに社内申請者ブロックを追加しました。社内申請者ブロックの各項目にはインシデントを起票したユーザーの情報が自動入力(コピー)されます。インシデントを起票した時点のユーザー情報がコピーされるため、人事異動などによりユーザー情報が変更されてもインシデントに記録された情報は変更されません。同様に「サービス要求」「問題管理」「変更管理」についても社内申請者ブロックを追加しました。
- (6) インシデントに「構成管理」の「要員」「構成アイテム」「アカウント」を選択する項目を追加しました。これら項目は「構成管理」と自動的にリンクし、例えば「ある構成アイテムがどのインシデントと関係しているか」を構成アイテムの詳細画面から参照する事ができます。同様に「サービス要求」「問題管理」「変更管理」についても選択項目を追加しました。
- (7) インシデント詳細画面にアクセス用の URL を表示する機能を実装しました。SSM WEB サーバーコンフィグレーターにより「アクセス URL」項目を選択して下さい。詳細画面に表示した「アクセス URL」は単票及び一覧票の出力対象となります。同様に「サービス要求」「問題管理」「変更管理」についても「アクセス URL」を表示可能です。
- (8) ユーザー毎に設定可能な「デフォルト設定項目」に以下の 3 つを追加しました。
 - ・ IME モードの切り替え制御:各入力項目へフォーカスを移動した際に、IME モード(ひらがな/半角英数など)の自動切換えをする/しないを設定します。
 - ・ 検索で大文字小文字を区別:各検索画面で大文字/小文字を区別して検索する/しないを設定します。
 - ・ ナレッジダイアログ初期表示:ナレッジダイアログの初期表示をナレッジトップ画面にするか、ナレッジ検索一覧画面にするかを設定します。
- (9) 「FAQ」と「既知のエラー」の検索画面で、フリーワード検索を可能としました。
- (10) 承認フローの設定を「承認フロー設定」と「承認フロールート設定」に分離しました。「承認フロールート設定」には、「誰が」「何をする」を設定します。「承認フロー設定」では、「どの申請種別」に「どの承認フロールート」を使用するかを設定します。人事異動などにより承認者の変更が発生する場合は、「承認フロールート設定」のみの変更で対応でき、維持管理負荷が軽減します。
- (11) ユーザーID で.(ピリオド)を使用可能としました。
- (12) メールテンプレートで「宛先」「CC」「BCC」項目を設定可能としました。
- (13) 「添付ファイル」項目に登録可能なファイル数を 10 に拡張しました。
- (14) 経過の登録可能数を 100 に拡張しました。
- (15) 一覧画面の表示数を 10~100 の値にユーザーが任意に変更可能にしました。
- (16) インシデントを日付指定により削除するコマンド(sjSPU_DeleteData)を提供します。不要となった過去のインシデントを一括削除する場合や、テストデータを一括削除する場合に利用下さい。なお削除したデータは復旧できませんので、本コマンドの実行は十分注意して実施願います。本コマンドでサービス要求、問題、変更の削除も行なえます。
- (17) システム名を指定し、システムに関する全てのデータを一括削除するコマンド(sjSPU_DeleteSystem.exe)を提供します。不要となったシステムを一括削除する場合にご利用下さい。なお削除したデータは復旧できませんので、本コマンドの実行は十分注意して実施願います。
- (18) SSM DB サーバー用診断コマンド(sjSPU_DBDiag.exe)を提供します。弊社への問合せの際は、本コマンドの実行結果を添付下さい。

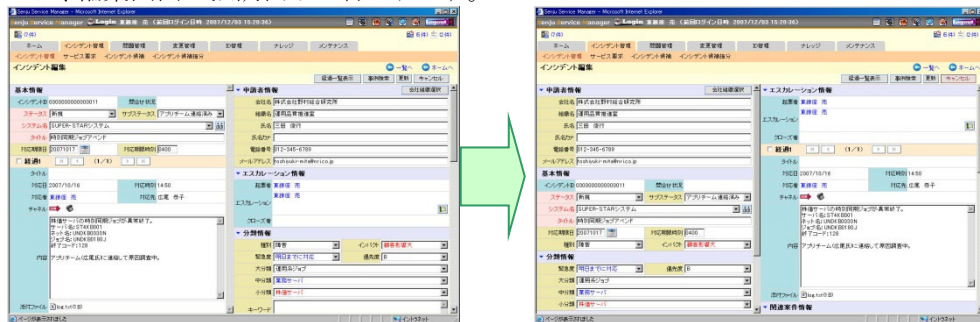
1.26.2 不具合対応

- (1) インシデント管理の事例詳細ダイアログの経過ブロックが、職責に関らず表示されない不具合を修正しました。
- (2) v2.1.1 からのバージョンアップ後、ナレッジダイアログのトップ画面表示でナレッジが 10 件以上表示される不具合を修正しました。
- (3) v2.1.1 からのバージョンアップ後、各コードや分類の表示順が V2.1.1 と異なって表示される不具合を修正しました。

1.27 バージョン3.0.0の主な新機能

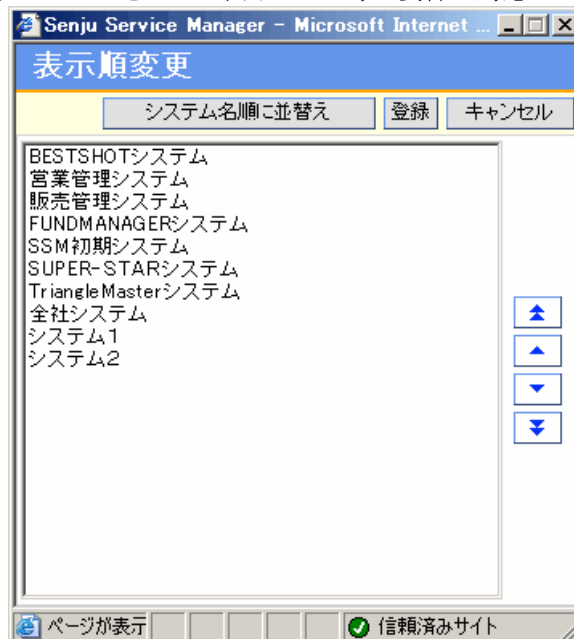
1.27.1 主な新機能

- (1) 「インシデント管理」「サービス要求」「問題管理」「変更管理」の詳細画面を自由に変更できるよう機能拡張しました。お客様のご要件に応じて、各管理画面を自由に変更できます。詳細画面に対して変更可能な内容は以下となります。
- ・ 詳細画面の管理項目に対して表示/非表示を設定する事ができます。追加可能な管理項目はエクステンションデータとして提供され、標準では非表示の設定となっています。
 - ・ 詳細画面のブロック(管理項目をグループ化した単位)の並びを自由に変更可能です。また使用しないブロックを非表示に設定する事もできます。
 - ・ 詳細画面の管理項目に対して、必須項目を任意に設定可能です。必須項目に設定した管理項目は、編集画面で強調表示が行われます。



- (2) 詳細画面に対する管理項目の変更は SSM WEB サーバーコンフィグレータを用いて行います。また管理項目は WEB サーバー毎に設定可能ですので、SSM WEB サーバーを複数構築して頂く事で、システム毎に管理項目を変更したい等の要件にも対応可能です。
- (3) 「問合せ」と「申請」の2種類のエンドユーザー用画面に対して、必須項目を任意に設定可能としました。必須項目に設定した管理項目は、編集画面で強調表示が行われます。「問合せ」と「申請」画面に対する設定は SSM WEB サーバーコンフィグレータを用いて行います。
- (4) サービス要求の単票出力機能を実装しました。

- (5) システムの表示順を変更可能にしました。インシデント管理、ナレッジなどシステムを表示する全ての画面に対して、変更した表示順でシステムが表示されます。使用頻度の高いシステムを上位に設定したい、目的の近いシステムを並べて表示したい等の要件に対応します。



- (6) システム登録数の上限値拡張を 200 に拡張しました。
- (7) システムが増えた場合の選択補助機能として、検索条件を入力可能なシステム検索ダイアログを用意しました。インシデント等の一覧画面ではシステム検索ダイアログで選択したシステムを検索対象として設定できます。システムは複数選択可能です。選択システムを対象として検索処理が実行され、その結果を一覧画面に表示します。
- (8) インシデントの新規登録画面において、複数のシステムに対して同時に同じインシデントを登録する機能を実装しました。OS のパッチ適用や複数システムに影響する障害管理をシステム毎に管理する要件に対応します。同様にサービス要求、問題管理、変更管理についても複数システムへの同時登録を提供しています。
- (9) メール送信先の選択ミスを防止したい等の要件に対して、メール送信先アドレスとして「自分が所属する全システムに関係するユーザー」か「該当する 1 システムに関係するユーザー」を選択できるよう拡張しました。
- (10) ユーザーにメールアドレスを 2 つ設定可能とし、メール送信先選択ダイアログで、どちらのメールアドレスを使うかまたは両方に送信するか選択可能としました。昼間と夜間で送信先メールアドレスを切替える場合などに活用頂けます。
- (11) メール送信元に「サービスデスクの代表アドレス」か「送信者のメールアドレス」を選択できるよう拡張しました。

- (12) メールテンプレートをシステム毎及びインシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理毎に設定できるよう拡張しました。またメールテンプレートにインシデント等の管理項目を設定し、現在参照しているインシデントの内容を自動転記する機能を実装しました。メール送信時の作業負荷軽減とオペミス防止に役立ちます。

- (13) エスカレーション連絡用メールの末尾に該当インシデントの URL を自動転記する機能を実装しました。URL をクリックするとログイン画面に自動遷移し、ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力後、該当インシデントに自動遷移します。インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理に対応しています。
- (14) 既知エラーや FAQ のダイアログを参照する際に、現在参照中のインシデントや問題に設定されているシステムを初期選択システムとして表示するよう拡張しました。ダイアログ操作負荷の軽減が図れます。
- (15) インシデント一覧画面において、現在そのインシデントを担当している「現在対応者」で検索できるよう機能拡張しました。また「現在対応者」「起票者」「クローズ者」に対しては、従来の自由入力に加えて、検索ダイアログによる入力補助機能を実装しました。同様にサービス要求、問題管理、変更管理についても対応しています。
- (16) インシデント詳細画面において、関連案件情報にステータスを表示するよう拡張しました。
- (17) 職責に関して、登録権限と編集権限、経過登録権限と経過編集権限を分離しました。より詳細な権限設定が可能となります。インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理に対応しています。
- (18) 各 ID の採番ルールとして、“登録日付”+“-”+“連番”を実装しました。インシデント管理、サービス要求、問題管理、変更管理に対応しています。
- (19) 各コードや分類に色を設定できるよう拡張しました。
- (20) ログイン画面に任意の文言を設定可能としました。「5 回入力を間違えるとアカウントがロックされます」や「サービス提供時間は 9:00～18:00 までです」等、要件に応じた文言を自由に設定頂けます。
- (21) スケジュール機能を拡張しました。既存のユーザー別スケジュール表に加え、システム別のスケジュール表を提供します。システムのスケジュール表には、該当するシステムに関するスケジュール及びシステムのインシデント、サービス要求、問題、変更の対応期限日時を表示します。スケジュール表はダイアログとして表示可能とし、ログイン情報フレームから起動できます。またユーザー及びシステム名の右クリ

ックメニュー「スケジュール表を表示する」から表示する事もできます。

- (22) ユーザー情報の一括登録/一括変更機能を実装しました。一括登録/一括変更は専用ツール(SSM DB サーバーコンフィグレータ)を用いて行います。新規プロジェクト立上げ時や人事異動による体制変更時などの作業負荷を軽減します。
- (23) ユーザーの認証方式として、Active Directory による認証に対応しました。
- (24) Windows Vista 及び Internet Explorer 7 に対応しました。

1.27.2 不具合対応

- (1) イベント連携プロセスがメモリリークする不具合を修正しました。本不具合の対応には、Oracle のパッチ適用も必要です。
- (2) イベント連携プロセスにて特定のバイナリーコードが含まれる添付ファイルの自動登録に失敗する不具合を修正しました。
- (3) SSM WEB サーバーコンフィグレータによるラベル名の変更にて、ラベル名のソート後に名称の変更を実施すると、他のラベルも誤って変更される不具合を修正しました。
- (4) ナレッジの各一覧画面にて、新規登録時に全システム共通に設定した分類情報が表示されない不具合を修正しました。

1.28 バージョン2.1.1の主な新機能

1.28.1 主な新機能

- (1) 日時情報を基に各対応までに要した時間を自動算出する機能を実装しました。表示できる内容は以下となります。
- ・インシデント管理
 1. クローズ時間:クローズ日－発生日
 2. 復旧時間:復旧日－発生日
 3. 速報時間:速報日－発生日
 4. 受付時間:受付日－発生日
 - ・サービス要求
 1. クローズ時間:クローズ日－受付日
 2. 実施完了時間:実施完了日－受付日
 3. 承認時間:承認日－受付日
 - ・問題管理
 1. クローズ時間:クローズ日－発生日
 2. 解決時間:解決日－発生日
 3. 既知エラー登録時間:既知エラー登録日－発生日
 4. 受付時間:受付日－発生日
 - ・変更管理
 1. クローズ時間:クローズ日－受付日
 2. 実施完了時間:実施完了日－受付日
 3. 承認時間:承認日－受付日
- (2) インシデント/サービス要求/問題/変更のプロセス毎に、サブステータスを設定する機能を実装しました。サブステータスの内容は、お客様の要件に応じて任意に設定できます。
- (3) インシデント/サービス要求/問題/変更の詳細画面に「付加情報」を追加しました。簡単なコメントや任意の添付ファイルを格納する補完的な項目としてご利用下さい。

- (4) インシデント/サービス要求/問題/変更の経過一覧表示機能において、簡易表示機能を追加しました。従来の「全項目表示」と簡易版の「簡易表示」は、ラジオボタンで切替え可能です。また、デフォルトの表示方法は「ホーム」-「ユーザー設定」でユーザー毎に設定可能です。
- (5) サービス要求の一覧帳票出力機能を実装しました。
- (6) インシデント/問題/変更の一覧帳票出力機能を性能改善しました。V2.1.0 の約半分の処理時間で帳票出力が行えます。
- (7) 帳票出力時に、帳票に使用できない文字・文字列を自動的に指定した任意の文字・文字列に置換する機能を実装しました。出力した帳票を他のソフトウェアで表示する場合などに、該当ソフトでエラーとなる文字や文字列を排除して出力する事ができます。
- (8) 参照権限のないインシデント/サービス要求/問題/変更に対するアクセス制限機能を強化しました。
- (9) エスカレーションや承認申請時に、通知用のメールをデフォルトで送信する/しないを任意に設定できるように拡張しました。
- (10) インシデント候補振分画面でインシデント候補を担当者に割り当てる際、メールによる通知を行えるよう機能拡張しました。本機能により、インシデント候補の対応漏れを軽減できます。
- (11) イベント送信コマンドからインシデントを直接起票できるよう拡張しました。システムのアラートなどを全てインシデントとして管理するような運用の場合、インシデント候補を経ずに直接起票が可能となり、サービスデスク担当者の負荷を下げる事ができます。
- (12) 会社組織マスタ管理機能において、会社の登録数上限値を 100 から 1000 に拡張しました。また、会社と組織を別々に登録するインターフェイスに変更しました。
- (13) Senju Service Manager に対する各ユーザーの操作履歴を、テキストファイルに出力するコマンドを提供します。履歴の取得期間及びファイルの出力フォーマット(CSV 形式または TSV 形式)を指定し実行します。

1.28.2 不具合対応

- (1) サービスデスクユーザーがインシデント管理画面/サービス要求画面にて回答を作成中に、エンドユーザーが同じインシデントやサービス要求に対して問合せ画面・申請画面から再問合せ・再申請を行うと、サービスデスクユーザーの編集結果が上書きされる不具合を修正しました。
- (2) システムの削除に失敗する不具合を修正しました。
- (3) 起票予定者が複数いる場合に、承認フロー履歴画面の 1 行目に全ての起票予定者が表示されない不具合を修正しました。
- (4) ホームの伝言メモから新規登録を行った場合、デフォルト設定でグループを設定しても有効にならない不具合を修正しました。
- (5) ホームのホームから、伝言メモや ToDo を削除した直後にスケジュールの翌月・前月ボタンをクリックすると、エラーになる不具合を修正しました。

1.29 バージョン2.1.0の主な新機能

1.29.1 主な新機能

- (1) 「問合せ」と「申請」の2種類のエンドユーザー用画面を提供します。

「問合せ」画面は、エンドユーザーからの質問や不具合連絡の用途に利用下さい。また「申請」画面は、エンドユーザーからのアカウントやPCの利用申請の用途に利用下さい。

「問合せ」と「申請」の各画面は「種別」毎に作成可能です。例えば、「質問専用画面」「不具合連絡用画面」「PC利用申請画面」と用途毎に入力項目を変更した画面を構築できます。これらエンドユーザー用画面は専用ツール(CCFSP WEB サーバーコンフィグレータ)を用いて作成可能です。

エンドユーザー用画面から入力された「問合せ」はインシデントとして、また「申請」はサービス要求として自動起票され、サービスデスクユーザーにより対応されます。サービスデスクユーザーにより回答や承認作業が実施されると、その結果がエンドユーザー用画面に反映され、エンドユーザーは自身の起票した「問合せ」と「申請」の進捗を確認する事ができます。

このようにエンドユーザー用画面を通して、サービスデスクとエンドユーザーの円滑なコミュニケーションを実現できます。

システム名	在庫管理システム
申請種別	本書アクセス申請用フォーム
申請状況	承認済
申請タイトル	本書アクセス申請(20070226)
申請内容	以下の内容で本書アクセスの申請を行います。 ご承認よろしくお願します。 【対象サービス】webcam2 (社内専用) 【作業内容】 ・DS再届納
開始予定日	2007/02/26
開始予定時刻	15:00
終了予定日	2007/02/26
終了予定時刻	15:30
利用責任者	田中花子
利用種別	佐藤

- (2) 本番アクセス用アカウントの貸出やノードの保守作業などの各種申請業務を管理する機能として、サービス要求機能を実装しました。サービス要求機能では、承認作業をワークフローで管理し、不正な作業・操作を未然に防ぐことが可能となります(予防的統制)。また承認情報の記録により、「誰が」「何時」「誰の承認を得て」「どのような作業を実施したのか」を証拠として管理できます。

CONTACT CAFE SP - Microsoft Internet Explorer

CONTACT CAFE SP Login 田中花子 <前回ログイン日時: 2007/02/21 18:23:10>

ホーム インシデント管理 問題管理 変更管理 助管理 ナレッジ メンテナンス

インシデント管理 サービス要求 インシデント候補 インシデント候補指分

サービス要求一覧

ホームへ 詳細条件表示 新規登録

検索条件入力

サービス要求ID		起票者	
システム名	在庫管理システム	起票日	
タイトル		対応開始日	
フリーワード		ステータス	クローズ 以外
		申請状況	

検索 クリア

検索結果一覧

1 2 <現在表示 1 ~ 1 件 / 計 1 件> 3 4 すべて開く すべて閉じる

サービス要求ID	システム名	タイトル	ステータス	申請状況	起票者	起票日時
検索		タイトル			対応者	対応日時
000000000000000013	在庫管理システム	本書アクセス申請(20070226)	新規	承認済	佐藤一	2007/02/26 14:08

ページが表示されました

信頼済みサイト

- (3) 本番環境へのアクセス申請を管理する機能として、ID 管理機能を実装しました。ID 管理機能では、システムに関連するアカウント/ノード/要員を構成アイテムとして管理します。サービス要求機能との連携により「誰が」「何時」「どのアカウントに対して利用申請を行い」「誰に承認されたか」を証跡として管理可能となります。各構成アイテムはサービス要求に限らず、インシデント/問題/変更など他の管理プロセスとの関連付けも可能です。

Senju Service Manager のサービスデスクユーザーやエンドユーザーを要員管理画面に表示する/しないの設定は、メンテナンス画面で行えます。

システム名	ノード名	アカウント	種別	種別ID	種別3	ステータス
在庫管理システム	本書DBサーバー正系	system	ミドルウェア	Oracle		有効
在庫管理システム	運用管理コントロール	senjajope	ミドルウェア	eXsenja		有効
在庫管理システム	運用管理コントロール	senja	ミドルウェア	eXsenja		有効

- (4) 従来の「ユーザーポリシー」を「職責」と名称変更を行い、システム毎に別々の職責を割り当て可能としました。この機能により、例えば「A システムのインシデントは編集可能、B システムのインシデントは参照のみ」とシステム毎に柔軟な権限の付与が可能となります。
- (5) サービス要求、変更管理、ナレッジの申請時に必要な承認フロー機能を強化しました。従来のサービスデスクユーザーを指定する設定方法に加え、職責による設定を可能としました。承認方法も「全員の承認が必要」「誰か一人の承認が必要」を選択可能とし、お客様の運用要件に応じた柔軟なルート設定が行えます。
- (6) 「職責」で設定可能な権限として、サービス要求と変更に対する「特別編集権限」を実装しました。これは承認フローにより承認済みとなったサービス要求と変更の編集を許可する管理者向けの権限です。

- (7) システム毎に管理項目が異なる運用要件に対応するため、インシデント/サービス要求/問題/変更管理の「種別」「インパクト」「優先度」「分類」をシステム毎に設定できるよう機能拡張しました。新規作成や編集時には、そのシステムに関連するマスタデータのみが選択可能となります。なお全システムに共通なマスタデータを登録した場合には、「全システム共通」システムにマスタデータを登録して下さい。
- (8) 従来共通のマスタデータとして管理していた「分類情報」の「インパクト」「優先度」「緊急度」を、インシデント/サービス要求/問題/変更管理毎に設定可能となるよう機能拡張しました。
- (9) Senju Service Manager で使用している各ラベルの名称を自由に変更できるよう機能拡張しました。お客様のご要件に応じて、またはお客様の使い慣れた文言に変更して各管理画面を自由に変更して下さい。
- ラベル名は専用ツール(CCFSP WEB サーバーコンフィグレータ)を用いて変更可能です。またラベル名はWEB サーバー毎に設定可能ですので、CCFSP WEB サーバーを複数導入して頂く事で、システム毎にラベル名を変更したい等の要件にも対応可能です。

CCFSP WEB コンフィグレータ

データ取得時刻: 2007/02/09 11:08:24

初期ラベル値 *現在ラベル値 用途(使用シーン) 説明

問合せ	質問	ホーム	問合せ
回答	回答	ホーム	回答
すべて閉じる	すべて閉じる	ホーム	すべて閉じる
すべて開く	すべて開く	ホーム	すべて開く
表示	表示	ホーム	表示
パスワード変更	パスワード変更	ホーム	パスワード変更
最新の情報に更新	最新の情報に更新	ホーム	最新の情報に更新
再問合せ	再問合せ	ホーム	再問合せ
再申請	再申請	ホーム	再申請
完了	完了	ホーム	完了
経過一覧	経過一覧	ホーム	経過一覧
経過一覧	経過一覧	ホーム	経過一覧
デフォルトシステム	デフォルトシステム	ホーム	デフォルトシステム
デフォルトグループ	デフォルトグループ	ホーム	デフォルトグループ
受付時刻	受付時刻	ホーム	受付時刻
受付日	受付日	ホーム	受付日
受付日時	受付日時	ホーム	受付日時
終了日	終了日	ホーム	終了日
お知らせ	お知らせ	ホーム	お知らせ
対応期限日時	対応期限日時	ホーム	対応期限日時

・ラベル名に定義する文字列は、全角で6文字以内で設定することを推奨します。
・ラベル名に複数行記述する場合は、2行以内で設定することを推奨します。

* 編集可能項目

保存

終了

- (10) 各インシデントについて、そのインシデントの編集に要した時間を自動計測する機能を実装しました。サービスデスクユーザーが各インシデントに対して、どのくらいの作業を実施しているかを把握することができます。インシデント同様に、サービス要求/問題/変更管理についても編集に要した時間を自動計測します。

- (11) インシデント/サービス要求/問題/変更管理の詳細画面において、他のサービスユーザーが編集中である旨を表示するよう機能拡張しました。複数のサービスデスクユーザーが同時に同じインシデントを編集し、編集内容が上書きされる等のトラブルを防ぐ事ができます。
- (12) インシデント/サービス要求/問題/変更管理の詳細画面において、申請者情報の会社名及び組織名をあらかじめ登録したマスタから選択・入力する機能を実装しました。マスタから会社名と組織名を選択・入力することにより、サービスデスクユーザーが誤った会社名や組織名を入力するミスを低減し、また入力負荷を軽減する事ができます。申請者情報の会社名及び組織名をマスタからの入力のみ制限するか、またはマスタからの入力に加え自由入力も可能とするかは、設定ツール(CCFSP DB サーバーコンフィグレータ)により変更可能です。
- (13) インシデント/サービス要求/問題/変更管理の詳細画面において、申請者情報に「ふりかな」の項目を追加しました。
- (14) インシデント/サービス要求/問題/変更管理の一覧画面において、詳細条件として「申請者情報」で検索できるよう機能拡張しました。
- (15) お客様の要件に応じて、詳細条件に「分類情報」「申請者情報」を表示する/しないを変更できるよう機能拡張しました。設定変更は、設定ツール(CCFSP DB サーバーコンフィグレータ)で行えます。
- (16) 事例検索ダイアログを新規登録時だけでなく、編集時にも表示可能となるよう機能拡張しました。
- (17) インシデント/サービス要求/問題/変更管理の ID を、「16 桁の正数とする(0 パディングあり)」「正数とする(0 パディングなし)」を設定できるよう機能拡張しました。設定変更は、設定ツール(CCFSP DB サーバーコンフィグレータ)で行えます。
- (18) 添付ファイルをファイルサーバーへの格納からデータベース内への格納に変更しました。この変更により CCFSP WEB サーバーと CCFSP DB サーバーとの分離構成の構築が容易になり、かつバックアップ対象をデータベースのみに限定する事ができます(設定情報は別途バックアップが必要です)。
- (19) 複数の添付ファイルを保存可能とし、添付ファイルの「サイズ」「最終更新日」「最終更新者」を表示できるよう拡張しました。また添付ファイルを開く際には、画面に表示されている添付ファイル名で開くよう変更しました。
- (20) インシデント一覧画面の帳票出力において、インシデントとその経過情報を組合せた一覧帳票を出力する機能を追加しました。一つのインシデントに 5 件の経過が記述されている場合、帳票は 5 行として出力されます。
- (21) ナレッジダイアログを「FAQ」「既知のエラー」に分割し、「ファイルライブラリ」及び「リンク集」もダイアログで参照可能としました。各ナレッジには有効期限を設定可能とし、古くなったナレッジは自動的に非表示となります。またサービスデスクユーザーのみに公開したいナレッジと、エンドユーザーを含めた全ユーザーに公開するナレッジを制御可能にしました。
- (22) 従来のデフォルトユーザーグループに加え、デフォルトシステム、デフォルト詳細検索条件を追加しました。ユーザー毎に設定可能なデフォルト設定により、一覧画面等の表示を自身が最もよく設定や条件で開始することができます。

1.29.2 セキュリティ機能強化

- (1) ログインに関するセキュリティ強化を行いました。
 - ・ パスワードの最小文字長
 - ・ パスワードの定期的な変更を促すアラート
 - ・ 過去使用したパスワードの再利用禁止
 - ・ 連続してログインに失敗したアカウントに対するロックこれら各種設定は、設定ツール(CCFSP DB サーバーコンフィグレータ)で行えます。

- (2) 「誰が」「何時」「どの端末から」「ログインし」「どのような操作を行ったか」を操作ログとしてデータベースに蓄積する機能を実装しました。操作ログを蓄積する/しないの設定は、設定ツール(CCFSP DB サーバーコンフィグレータ)で行えます。
- (3) 指定した時間以上 Senju Service Manager の操作を行わないと自動的にログアウトする機能を実装しました。Senju Service Manager からログアウトせずに長時間離席する事を禁止するような運用を行われる場合にご利用下さい。自動的にログアウトするまでの時間は、設定ツール(CCFSP DB サーバーコンフィグレータ)で行えます。

1.29.3 不具合対応

- (1) インシデント/問題/変更の経過一覧表示画面で、入力内容(文字)によって表示レイアウトが崩れる不具合を修正しました。
- (2) 伝言メモ送信時にグループとユーザーの両方を選択しなければ、伝言メモの送信に失敗する不具合を修正しました。
- (3) 使用中のコード A を削除した後に、コード B を新規登録すると、今までコード A を選択していた箇所がコード B に置換わる不具合を修正しました。

1.30 バージョン2.0.0の主な新機能

1.30.1 主な新機能

- (1) ログインユーザー本人のタスクに加え、同じグループに所属する他のメンバーのタスク状況を参照する画面を実装しました。グループリーダーはグループ全体のワークロードと、また誰にどのようなタスクが集中しているのかを容易に把握することが可能となり、リソースの再配分を検討することができます。
- (2) 一人当たりのタスクの数に閾値を設定できるようにしました。タスクが閾値を超えると、アラートが表示されるため、一人の担当者にタスクが集中することによるレスポンスの低下を防ぐことが可能です。
- (3) タスクとして割当てられたインシデント、問題、変更の対応期限日を各人のスケジュールに自動登録する機能を実装しました。何時までにどのタスクに対応しなければいけないのかの把握が容易となり、対応漏れを抑止します。またインシデント、問題、変更、タスク画面にて、対応期限日を過ぎたタスクをアイコンで強調表示する機能を実装しました。
- (4) 一つのインシデントを同時に複数のユーザーにエスカレーションする機能を実装しました。インシデントを個人ではなくグループ全体にエスカレーションしたい場合や、適切なエスカレーション先が不明の場合にご活用頂けます。問題、変更についても同様に複数のユーザーへのエスカレーションが行えます。
- (5) インシデント、問題、変更をクローズする際に、クローズする種別と理由を入力できるよう機能拡張しました。一次窓口で解決したインシデントの数やナレッジの活用状況など、サービスデスクのパフォーマンスを測定するためのデータ収集が可能です。
- (6) インシデント、問題、変更の単票及び一覧票を出力する機能を実装しました。また各ユーザーが担当するタスクを一覧票で出力する機能を実装しました。単票は EXCEL 形式で、一覧票は EXCEL 形式または CSV 形式を選択することができます。EXCEL の機能と組合せる事で、重大度やステータスなど様々な切り口でサービスデスクの分析が可能になります。
- (7) インシデント、問題、変更の一覧画面にフリーワード検索機能を実装しました。
- (8) 画面に表示されるユーザー名をクリックすると、ユーザー情報画面と伝言メモ送信画面を表示する機能を実装しました。サービスデスクユーザー間でのコミュニケーションが更に容易になります。またユーザー情報の編集は管理者だけでなくユーザー本人でも行えるよう機能拡張しました。
- (9) ユーザーが複数のグループに所属する場合、その中の一つをデフォルトユーザーグループに設定することができます。スケジュールやタスク一覧には、デフォルトユーザーグループを初期値として表示します。
- (10) メール送信設定が未設定の場合はメール送信ボタンを不活性とするよう機能拡張しました。
- (11) DB 接続設定やメール送信設定を行う GUI ツールを実装しました。
- (12) SEN など他の運用管理ツールからのインシデント候補登録機能で、添付ファイルをサポートしました。

1.30.2 セキュリティ機能強化

- (1) https に対応しました。
- (2) ユーザーパスワードを暗号化して保存するよう機能強化しました。
- (3) ユーザーパスワードを変更する場合、現在のパスワードを再確認するよう機能強化しました。

- (4) ログイン時に最終ログイン時刻を表示するよう拡張しました。
- (5) ログイン時にログインユーザーID を非表示とするよう変更しました。

1.30.3 不具合対応

- (1) インシデント、問題、変更にて関連案件の削除を行うと他の関連案件も削除される不具合を修正しました。
- (2) インシデント、問題、変更からナレッジ申請(既知エラー、FAQ)を行う場合、キーワード項目が全て引き継がれない不具合を修正しました。
- (3) 新規ユーザー作成時に代理承認者の設定に失敗する不具合を修正しました。
- (4) メールテンプレート編集画面で大分類や中分類の操作を行う際、エラーが発生する不具合を修正しました。

1.31 バージョン1.1.0の主な新機能

1.31.1 主な新機能

- (1) ホームのタスク欄及びタスク一覧に「ステータス」を表示するよう機能拡張しました。インシデント、問題、変更及び各種承認に関する全タスクのステータスを一覧で確認することができます。
- (2) インシデント詳細画面/問題詳細画面/変更詳細画面の「経過」に強調表示機能を追加しました。“後で内容を見直す”、“重要である”などチェックマークを付ける感覚で用途に応じて自由に利用して頂けます。
- (3) インシデント詳細画面/問題詳細画面/変更詳細画面の「対応履歴」にエスカレーションされた日時を表示するよう拡張しました。何時、誰から誰にインシデント/問題/変更がエスカレーションされたという履歴を管理することができます。
- (4) 「トーク集」機能を追加しました。顧客対応や電話対応などのビジネスマナーもナレッジとして一元管理することができます。
- (5) ファイルライブラリを二階層(大分類と中分類)に拡張しました。

1.32 バージョン1.0.0の主な新機能

1.32.1 インシデント管理

ユーザーからの障害申告や各種問い合わせへの対応は、サービスデスクの基本的な業務です。とりわけビジネスクリティカルな IT サービスの障害に対しては、迅速なサービスの復旧はもとより、根本的な原因を特定し、関連するサービスのへの影響を把握し、対策を講じる必要があります。

「Senju Service Manager」は、ユーザーからの各種問い合わせに対し、その障害/問合せ内容を登録し、詳細情報を記憶する「インシデント管理」機能を提供します。

「インシデント管理」機能では、「FAQ」や「既知のエラー」を参照し、クイックレスポンスをサポートします。また原因不明な問題は「問題管理」機能と連携し、開発担当者による根本的な解決を図ることが出来ます。

- (1) インシデントの登録
- (2) 重要度の指定/分類
- (3) 過去のインシデントの検索
- (4) インシデントの経過管理
- (5) エスカレーション
- (6) 問題管理への登録/連携

CONTACT CAFE - Microsoft Internet Explorer

CONTACT CAFE ログイン shimada 島田政行 (ログイン時刻 18:43:10) ナレッジ ログアウト

ホーム インシデント管理 問題管理 変更管理 ナレッジ インシデント候補補償 メンテナンス

インシデント管理

インシデント詳細

クローズ エスカレーション メール送信 関連案件選択 関連登録 ナレッジ申請 編集

基本情報

インシデントID 20060202002 ステータス 割当済

システム名 SEN

タイトル SYSL30

対応期限日 2006/02/02 対応期限時刻

起票者 島田政行 起票日時 2006/02/02 13:00

関連案件

対応予定者

経過 (1/2) 編集 追加

タイトル SYSL30

対応日 2006/02/02 対応時刻 12:57

対応者

対応先

チャンネル

内容

添付ファイル

分類情報

詳細情報

インシデント内容

影響範囲

原因

ワークアラウンド及び結果

対応及び結果

日時情報

発生日 2006/02/02 発生時刻 12:57

ページが表示されました

イントラネット

1.32.2 問題管理

「インシデント管理」から登録された問題については、その根底にある原因を特定・解決し、その問題を再発させてはなりません。

「Senju Service Manager」は、問題に対するプロアクティブな対策を講じるための「問題管理」機能を提供します。

「問題管理」機能では、解決された問題を「既知のエラー」として管理し、「インシデント管理」をサポートします。また影響度の大きな問題は「変更管理」機能と連動して、インシデントの発生を未然の防ぐ役割を担います。

- (1) 問題の登録
- (2) 重要度の指定/分類
- (3) 過去の問題や既知のエラーの検索

- (4) 問題の経過管理
- (5) 既知のエラーの登録
- (6) 変更管理への登録/連携

CONTACT CAFE - Microsoft Internet Explorer

CONTACT CAFE ログイン shimada 島田政行 (ログイン時刻 18:43:10) ナレッジ ログアウト

ホーム インシデント管理 **問題管理** 変更管理 ナレッジ インシデント候補振分 メンテナンス

問題管理

問題新規登録

基本情報

問題ID: [] ステータス: 新規

システム名: SEN

タイトル: ISYSL30

対応期限日: 20060208 カレンダー 対応期限時刻: []

起票者: [] 起票日時: []

関連案件: 20060202002:ISYSL30

対応予定者: [] 対応履歴: []

経過

タイトル: インシデント管理より転記

対応日: 20060208 カレンダー 対応時刻: 1845

対応者: 島田政行 対応先: []

チャンネル: []

内容: NtpClientに予期しないエラーが発生しました。

添付ファイル: [] 参照: []

分類情報

種別: 新規問題 インパクト: 小

緊急度: 中 優先度: 中

大分類: 基盤

中分類: アプリケーションサーバー

小分類: []

キーワード: イベントログ

詳細情報

問題内容: NtpClientに予期しないエラーが発生しました。

影響範囲: 調査中。

原因: 調査中。

W32Timeサービスの再起動を実施しました。

ページが表示されました

イントラネット

1.32.3 変更管理

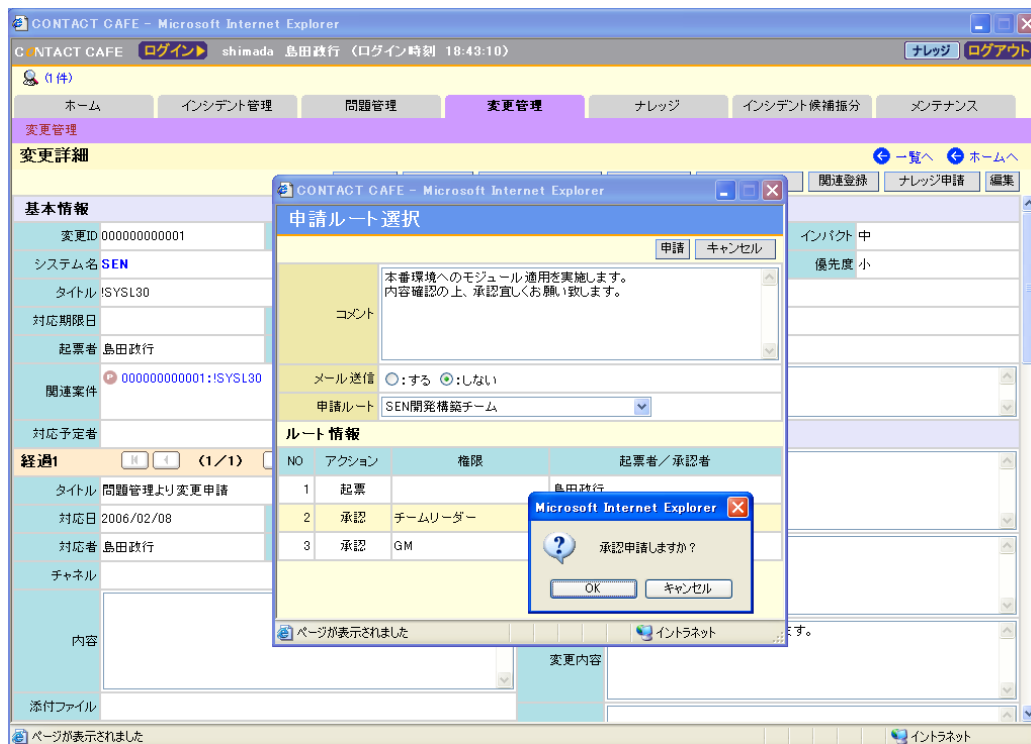
変更管理は、要求された全ての変更を、標準化された手法で実施することが重要です。

「Senju Service Manager」は、変更計画、変更の承認、そして変更後の確認に至るまでの変更プロセスを一元的に管理する「変更管理」機能を提供します。

不確実な変更の実施を防止することで、変更に伴うリスクを低減します。

同時に IT サービスに及ぼす影響を最小化し、インシデントの発生を未然に防ぐ役割を担います。

- (1) 変更要求の登録
- (2) 重要度の指定/分類
- (3) 変更計画の管理
- (4) 承認ワークフローの管理
- (5) 変更の経過管理
- (6) 変更後の確認



1.32.4 外部連携

- (1) 外部連携機能として電子メールをサポートしました。メール受信プロセスが定期的にメールサーバーをチェックし、エンドユーザーからの問合せメールを自動的にインシデント候補として取り込みます。取り込まれたインシデント候補を「破棄する」「新規インシデントとする」「既存インシデントの経過に追加する」のいずれかに振分け、管理します。
- (2) 外部連携機能として運用管理ツールからのメッセージ取り込み機能をサポートしました。Senju Enterprise Navigator システムに代表される統合運用管理ツールにて収集した各種運用管理ツールのメッセージ(アラート)を、アダプタ経由でインシデント候補として取り込みます。取り込まれたインシデント候補を「破棄する」「新規インシデントとする」「既存インシデントの経過に追加する」のいずれかに振分け、管理します。

2 稼働環境

2.1 サーバー環境

本システムの稼働環境は以下の通りです。
下記環境以外に関して、動作保証外となっております。

ディスク容量は、Senju Service Manager が稼働するために最低限必要な空き容量を示しています。
メモリ容量は、Senju Service Manager が稼働するマシンに装備すべき最低必要量を示しています。

2.1.1 Microsoft Windows Server 2022 環境

1. Oracle

共通 (SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、Oracle Database サーバー)	
OS	Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition 日本語版 ※日本語版とは日本語用と書いてあるメディアからインストールしたものを指します。
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	Oracle Database サーバーの場合、80GB 以上。 その他のサーバーは 20GB 以上。 ※ファイルシステムは NTFS が前提です。
メモリ容量	4.0GB 以上 (8.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
分離構成	SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、Oracle Database サーバーについてそれぞれ別筐体での構築に対応しています。 ※分離構成の場合、各サーバーの稼働 OS が同一である必要があります。
同一構成	同一構成場合、Oracle 12c Client もインストールしてください。
SSM WEB サーバー	
Web サーバー	Microsoft Internet Information Services 10.0
Oracle Client	Oracle Database 19c Client (19.14.0.0) ※Database サーバーの Oracle のバージョンが 19.14 以降の場合、Oracle Database Client 19.14 をインストールしてください。 ※Oracle Database サーバーと分離環境の場合のみ必要です。 ※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。 ※Amazon RDS for Oracle を利用し、ライセンスモデルを「ライセンス込み」にする場合は、Oracle Client がライセンス上利用できないため、代わりに Oracle Instant Client を利用する必要があります。その上で RDS のバージョンが「Version 19.0.0.0.ru-2021-10.rur-2021-10.r1」以降のバージョンの場合、Oracle Instant Client は、バージョン 19.14.0.0 をインストールしてください。

	<p>Oracle Database 12c Release 2 Client (12.2.0.1) ※12.2.0.1.X となるパッチの適用はサポート対象となります。 ※Database サーバーの Oracle のバージョンが 19.13 以前の場合、 Oracle19c(19.3)には以下の問題があるので、必ず Oracle Database 12c Release 2 Client (12.2.0.1)をインストールしてください。 30288208 : INSERT STRING AS ADVARCHAR INTO CLOB VIA ODBC 19C CAUSE ORA-24811 ※Oracle Database サーバーと同一環境・分離環境にかかわらず必要です。 ※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。 ※Amazon RDS for Oracle を利用し、ライセンスモデルを「ライセンス込み」にする場合は、Oracle Client がライセンス上利用できないため、代わりに Oracle Instant Client を利用する必要があります。そのうえで RDS のバージョンが「Version 19.0.0.0.ru-2021-10.rur-2021-10.r1」より低いバージョンの場合、Oracle Instant Client は、バージョン 12.2.0.1 をインストールしてください。</p>
SSM DB サーバー	
Oracle Client	SSM WEB サーバーに同じです。
Oracle Database サーバー	
データベース環境 (Windows 版)	<p>Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0) ※19.14.0.0.0 以降のパッチの適用はサポート対象となります。 ※アーカイブログモード運用をサポートします。 ※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。 ※Oracle Enterprise Manager で使用するブラウザの対応バージョンについては、Oracle 社のホームページで確認をしてください。</p> <p>Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0) ※19.3.0.0.0 以降のパッチの適用はサポート対象となります。 ※19.13.0.0.0 以前のバージョンは、今後のパッチまたはバージョンアップでサポートアウトとなる可能性があります。 ※アーカイブログモード運用をサポートします。 ※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。 ※Oracle Enterprise Manager で使用するブラウザの対応バージョンについては、Oracle 社のホームページで確認をしてください。</p>
データベース環境 (Linux 版)	「2.1.4 Oracle Linux 7 環境」、「2.1.5 Red Hat Enterprise Linux 7 環境」、「2.1.6 Oracle Linux 8 環境」、「2.1.7 Red Hat Enterprise Linux 8 環境」を参照してください。
データベース環境 (Amazon RDS)	「2.1.8 Amazon RDS for Oracle 環境」を参照してください。

2. PostgreSQL

共通 (SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、PostgreSQL Database サーバー)	
OS	<p>Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition 日本語版 ※日本語版とは日本語用と書いてあるメディアからインストールしたものを指します。</p>
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機 (Pentium 4 2.0GHz 以上を推奨) および周辺機器
ディスク容量	<p>PostgreSQL Database サーバーの場合、80GB 以上。 その他のサーバーは 20GB 以上。 ※ファイルシステムは NTFS が前提です。 ※SAS ハードディスクドライブを推奨します。</p>
メモリ容量	<p>4.0GB 以上 (8.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。</p>
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。

分離構成	SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、それぞれ別筐体での構築に対応しています。 ※SSM DB と PostgreSQL は同一のノードヘインストールする必要があります。 ※分離構成の場合、それぞれサーバーの稼働 OS が同一である必要があります。
SSM WEB サーバー	
Web サーバー	Microsoft Internet Information Services 10.0
SSM DB サーバー	
PostgreSQL Database サーバー	
データベース	PostgreSQL Database 13.X PostgreSQL Database 14.X PostgreSQL Database 16.X ※13.X、14.X、16.X のパッチ適用はサポート対象です。 ※上記、PostgreSQL サポート対象バージョンに適合する PostgreSQL ODBC driver バージョンが利用可能です。(適合する PostgreSQL ODBC driver バージョンの詳細は PostgreSQL の公式サイトをご参照ください。) ※PostgreSQL Database 14X に 13.X の PostgreSQL ODBC driver をご利用ください。
データベース環境 (Amazon RDS)	「2.1.9 Amazon RDS for PostgreSQL 環境」を参照してください。

2.1.2 Microsoft Windows Server 2019 環境

1. Oracle

共通 (SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、Oracle Database サーバー)	
OS	Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition 日本語版 ※日本語版とは日本語用と書いてあるメディアからインストールしたものを指します。
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	Oracle Database サーバーの場合、80GB 以上。 その他のサーバーは 20GB 以上。 ※ファイルシステムは NTFS が前提です。
メモリ容量	4.0GB 以上 (8.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
分離構成	SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、Oracle Database サーバーについてそれぞれ別筐体での構築に対応しています。 ※分離構成の場合、各サーバーの稼働 OS が同一である必要があります。
同一構成	同一構成場合、Oracle 12c Client もインストールしてください。
SSM WEB サーバー	
Web サーバー	Microsoft Internet Information Services 10.0

Oracle Client	<p>Oracle Database 19c Client (19.14.0.0)</p> <p>※Database サーバーの Oracle のバージョンが 19.14 以降の場合、Oracle Database Client 19.14 をインストールしてください。</p> <p>※Oracle Database サーバーと分離環境の場合のみ必要です。</p> <p>※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。</p> <p>※Amazon RDS for Oracle を利用し、ライセンスモデルを「ライセンス込み」にする場合は、Oracle Client がライセンス上利用できないため、代わりに Oracle Instant Client を利用する必要があります。その上で RDS のバージョンが「Version 19.0.0.0.ru-2021-10.rur-2021-10.r1」以降のバージョンの場合、Oracle Instant Client は、バージョン 19.14.0.0 をインストールしてください。</p>
	<p>Oracle Database 12c Release 2 Client (12.2.0.1)</p> <p>※12.2.0.1.X となるパッチの適用はサポート対象となります。</p> <p>※Database サーバーの Oracle のバージョンが 19.13 以前の場合、Oracle19c(19.3)には以下の問題があるので、必ず Oracle Database 12c Release 2 Client (12.2.0.1)をインストールしてください。</p> <p>30288208 : INSERT STRING AS ADVARCHAR INTO CLOB VIA ODBC 19C CAUSE ORA-24811</p> <p>※Oracle Database サーバーと同一環境・分離環境にかかわらず必要です。</p> <p>※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。</p> <p>※Amazon RDS for Oracle を利用し、ライセンスモデルを「ライセンス込み」にする場合は、Oracle Client がライセンス上利用できないため、代わりに Oracle Instant Client を利用する必要があります。そのうえで RDS のバージョンが「Version 19.0.0.0.ru-2021-10.rur-2021-10.r1」より低いバージョンの場合、Oracle Instant Client は、バージョン 12.2.0.1 をインストールしてください。</p>
SSM DB サーバー	
Oracle Client	SSM WEB サーバーに同じです。
Oracle Database サーバー	
データベース環境 (Windows 版)	<p>Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)</p> <p>※19.14.0.0.0 以降のパッチの適用はサポート対象となります。</p> <p>※アーカイブログモード運用をサポートします。</p> <p>※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。</p> <p>※Oracle Enterprise Manager で使用するブラウザの対応バージョンについては、Oracle 社のホームページで確認をしてください。</p>
	<p>Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0)</p> <p>※19.3.0.0.0 以降のパッチの適用はサポート対象となります。</p> <p>※19.13.0.0.0 以前のバージョンは、今後のパッチまたはバージョンアップでサポートアウトとなる可能性があります。</p> <p>※アーカイブログモード運用をサポートします。</p> <p>※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。</p> <p>※Oracle Enterprise Manager で使用するブラウザの対応バージョンについては、Oracle 社のホームページで確認をしてください。</p>
データベース環境 (Linux 版)	「2.1.4 Oracle Linux 7 環境」、「2.1.5 Red Hat Enterprise Linux 7 環境」、「2.1.6 Oracle Linux 8 環境」、「2.1.7 Red Hat Enterprise Linux 8 環境」を参照してください。
データベース環境 (Amazon RDS)	「2.1.8 Amazon RDS for Oracle 環境」を参照してください。

2. PostgreSQL

共通 (SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、PostgreSQL Database サーバー)	
OS	<p>Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition 日本語版</p> <p>Microsoft Windows Server 2019 DataCenter Edition 日本語版</p> <p>※日本語版とは日本語用と書いてあるメディアからインストールしたものを指しま</p>

	す。
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機(Pentium 4 2.0GHz 以上を推奨)および周辺機器
ディスク容量	PostgreSQL Database サーバーの場合、80GB 以上。 その他のサーバーは 20GB 以上。 ※ファイルシステムは NTFS が前提です。 ※SAS ハードディスクドライブを推奨します。
メモリ容量	4.0GB 以上(8.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
分離構成	SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、それぞれ別筐体での構築に対応しています。 ※SSM DB と PostgreSQL は同一のノードヘインストールする必要があります。 ※分離構成の場合、それぞれサーバーの稼働 OS が同一である必要があります。
SSM WEB サーバー	
Web サーバー	Microsoft Internet Information Services 10.0
SSM DB サーバー	
PostgreSQL Database サーバー	
データベース	PostgreSQL Database 13.X PostgreSQL Database 14.X PostgreSQL Database 16.X ※13.X、14.X、16.X のパッチ適用はサポート対象です。 ※上記、PostgreSQL サポート対象バージョンに適合する PostgreSQL ODBC driver バージョンが利用可能です。(適合する PostgreSQL ODBC driver バージョンの詳細は PostgreSQL の公式サイトをご参照ください。) ※PostgreSQL Database 14X に 13.X の PostgreSQL ODBC driver をご利用ください。
データベース環境 (Amazon RDS)	「2.1.9 Amazon RDS for PostgreSQL 環境」を参照してください。

2.1.3 Microsoft Windows Server 2016 環境

1. Oracle

共通(SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、Oracle Database サーバー)	
OS	Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2016 Datacenter Edition 日本語版 ※日本語版とは日本語用と書いてあるメディアからインストールしたものを指します。
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	Oracle Database サーバーの場合、80GB 以上。 その他のサーバーは 20GB 以上。 ※ファイルシステムは NTFS が前提です。
メモリ容量	4.0GB 以上(8.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
分離構成	SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、Oracle Database サーバーについてそれぞれ別筐体での構築に対応しています。 ※分離構成の場合、各サーバーの稼働 OS が同一である必要があります。
SSM WEB サーバー	

Web サーバー	Microsoft Internet Information Services 10.0
Oracle Client	<p>Oracle Database 19c Release 2 Client (19.14.0.0)</p> <p>※Database サーバーの Oracle のバージョンが 19.14 以降の場合、Oracle Database Client 19.14 をインストールしてください。</p> <p>※Oracle Database サーバーと分離環境の場合のみ必要です。</p> <p>※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。</p> <p>※Amazon RDS for Oracle を利用し、ライセンスモデルを「ライセンス込み」にする場合は、Oracle Client がライセンス上利用できないため、代わりに Oracle Instant Client を利用する必要があります。その上で RDS のバージョンが「Version 19.0.0.0.ru-2021-10.rur-2021-10.r1」以降のバージョンの場合、Oracle Instant Client は、バージョン 19.14.0.0 をインストールしてください。</p>
	<p>Oracle Database 12c Release 2 Client (12.2.0.1)</p> <p>※Database サーバーの Oracle のバージョンが 19.13 以前の場合、Oracle 19c(19.3)には以下の問題があるので、必ず Oracle Database 12c Release 2 Client (12.2.0.1)をインストールしてください。</p> <p>30288208 : INSERT STRING AS ADVARCHAR INTO CLOB VIA ODBC 19C CAUSE ORA-24811</p> <p>※Oracle Database サーバーと同一環境・分離環境にかかわらず必要です。</p> <p>※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。</p> <p>※Amazon RDS for Oracle を利用し、ライセンスモデルを「ライセンス込み」にする場合は、Oracle Client がライセンス上利用できないため、代わりに Oracle Instant Client を利用する必要があります。そのうえで RDS のバージョンが「Version 19.0.0.0.ru-2021-10.rur-2021-10.r1」より低いバージョンの場合、Oracle Instant Client は、バージョン 12.2.0.1 をインストールしてください。</p>
SSM DB サーバー	
Oracle Client	SSM WEB サーバーに同じです。
Oracle Database サーバー	
データベース環境 (Windows 版)	<p>Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0)</p> <p>※19.14.0.0.0 以降のパッチの適用はサポート対象となります。</p> <p>※アーカイブログモード運用をサポートします。</p> <p>※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。</p> <p>※Oracle Enterprise Manager で使用するブラウザの対応バージョンについては、Oracle 社のホームページで確認をしてください。</p>
	<p>Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0)</p> <p>※19.3.0.0.0 以降のパッチの適用はサポート対象となります。</p> <p>※19.13.0.0.0 以前のバージョンは、今後のパッチまたはバージョンアップでサポートアウトとなる可能性があります。</p> <p>※アーカイブログモード運用をサポートします。</p> <p>※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。</p> <p>※Oracle Enterprise Manager で使用するブラウザの対応バージョンについては、Oracle 社のホームページで確認をしてください。</p>
データベース環境 (Linux 版)	「2.1.4 Oracle Linux 7 環境」、「2.1.5 Red Hat Enterprise Linux 7 環境」、「2.1.6 Oracle Linux 8 環境」、「2.1.7 Red Hat Enterprise Linux 8 環境」を参照してください。
データベース環境 (Amazon RDS)	「2.1.8 Amazon RDS for Oracle 環境」を参照してください。

2. PostgreSQL

共通 (SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、PostgreSQL Database サーバー)	
OS	<p>Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition 日本語版</p> <p>Microsoft Windows Server 2016 Datacenter Edition 日本語版</p> <p>※日本語版とは日本語用と書いてあるメディアからインストールしたものを指しま</p>

	す。
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機(Pentium 4 2.0GHz 以上を推奨)および周辺機器
ディスク容量	PostgreSQL Database サーバーの場合、80GB 以上。 その他のサーバーは 20GB 以上。 ※ファイルシステムは NTFS が前提です。 ※SAS ハードディスクドライブを推奨します。
メモリ容量	4.0GB 以上(8.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
分離構成	SSM WEB サーバー、SSM DB サーバー、それぞれ別筐体での構築に対応しています。 ※SSM DB と PostgreSQL は同一のノードヘインストールする必要があります。 ※分離構成の場合、それぞれサーバーの稼働 OS が同一である必要があります。
SSM WEB サーバー	
Web サーバー	Microsoft Internet Information Services 10.0
SSM DB サーバー	
PostgreSQL Database サーバー	
データベース	PostgreSQL Database 13.X PostgreSQL Database 14.X PostgreSQL Database 16.X ※13.X、14.X、16.X のパッチ適用はサポート対象です。 ※上記、PostgreSQL サポート対象バージョンに適合する PostgreSQL ODBC driver バージョンが利用可能です。(適合する PostgreSQL ODBC driver バージョンの詳細は PostgreSQL の公式サイトをご参照ください。) ※PostgreSQL Database 14X に 13.X の PostgreSQL ODBC driver をご利用ください。

2.1.4 Oracle Linux 7 環境

OS	OracleLinux 7.5, 7.6, 7.9
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	80GB 以上。 ※ファイルシステムは ext4 を推奨します。
メモリ容量	2.0GB 以上(4.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
データベース	Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0) Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0) ※19.13.0.0.0 以前のバージョンは、今後のパッチまたはインストーラでサポートアウトとなる可能性があります。 ※アーカイブログモード運用をサポートします。 ※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。

2.1.5 Red Hat Enterprise Linux 7 環境

OS	Red Hat Enterprise Linux 7.5, 7.6, 7.9
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	80GB 以上。

	※ファイルシステムは ext4 を推奨します。
メモリ容量	2.0GB 以上 (4.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
データベース	Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0) Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0) ※19.13.0.0.0 以前のバージョンは、今後のパッチまたはインストーラでサポートアウトとなる可能性があります。 ※アーカイブログモード運用をサポートします。 ※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。

2.1.6 Oracle Linux 8 環境

OS	OracleLinux 8.4
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	80GB 以上。 ※ファイルシステムは ext4 を推奨します。
メモリ容量	2.0GB 以上 (4.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
データベース	Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0) Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0) ※19.13.0.0.0 以前のバージョンは、今後のパッチまたはインストーラでサポートアウトとなる可能性があります。 ※19.3.0.0.0 以降のパッチの適用はサポート対象となります。 ※アーカイブログモード運用をサポートします。 ※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。

2.1.7 Red Hat Enterprise Linux 8 環境

OS	Red Hat Enterprise Linux 8.4
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	80GB 以上。 ※ファイルシステムは ext4 を推奨します
メモリ容量	2.0GB 以上 (4.0GB 以上を推奨)。 ※仮想メモリが 4GB 程度必要です。
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。
データベース	Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0) Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0) ※19.13.0.0.0 以前のバージョンは、今後のパッチまたはインストーラでサポートアウトとなる可能性があります。 ※19.3.0.0.0 以降のパッチの適用はサポート対象となります。 ※アーカイブログモード運用をサポートします。 ※OS と同じアーキテクチャのモジュールをインストールしてください。

2.1.8 Amazon RDS for Oracle 環境

データベース	Amazon RDS for Oracle 19.0.0.0 ※SSM WEB/DBサーバーのWindows Server 2016/2019/2022の場合に限ります。
--------	--

	※ライセンスモデルについてはどの形態でもサポート対象となります。
	Amazon RDS for Oracle 19.14.0.0
	※SSM WEB/DBサーバーのWindows Server 2016/2019/2022の場合に限ります。
	※バージョンは「Version 19.0.0.0.ru-2021-10.rur-2021-10.r1」以降のバージョンを指定してください。
	※ライセンスモデルについてはどの形態でもサポート対象となります。

2.1.9 Amazon RDS for PostgreSQL 環境

データベース	Amazon RDS for PostgreSQL 13.3
	※SSM WEB/DBサーバーのWindows Server 2016/2019の場合に限ります。
	※ライセンスモデルについてはどの形態でもサポート対象となります。
	Amazon RDS for PostgreSQL 14.5
	※SSM WEB/DBサーバーのWindows Server 2016/2019の場合に限ります。
	※ライセンスモデルについてはどの形態でもサポート対象となります。
	Amazon RDS for PostgreSQL 16
	※SSM WEB/DBサーバーのWindows Server 2016/2019の場合に限ります。
	※ライセンスモデルについてはどの形態でもサポート対象となります。

2.2 クライアント環境

2.2.1 Microsoft Windows 11 環境

OS 環境	Microsoft Windows 11	
	Web ブラウザ	Chromium 版 Microsoft Edge(※1)(※2) Google Chrome(※1) Mozilla Firefox(※1)
		※1 Google Chrome／Mozilla Firefox／Chromium 版 Microsoft Edge は、2023 年 12 月 15 日時点での最新バージョンにて稼働検証しています。
		※2 IE モードでの動作はサポート対象外です。
	帳票出力	Microsoft Office Excel 2016 Microsoft Office Excel 2019 Microsoft Office Excel 2021
対応機種	64bit OS	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載された x64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	150MB 以上	
メモリ容量	4.0GB 以上を推奨	
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。	
グラフィックス	High Color(16 ビット)以上の色数を表現可能なビデオカード	
マニュアル	Adobe Reader 8.0 以上が必要	

2.2.2 Microsoft Windows 10 環境

OS 環境	Microsoft Windows 10	
	Web ブラウザ	Chromium 版 Microsoft Edge(※1)(※2) Google Chrome(※1) Mozilla Firefox(※1)
		※1 Google Chrome／Mozilla Firefox／Chromium 版 Microsoft Edge は、2023 年 12 月 15 日時点での最新バージョンにて稼働検証しています。
		※2 IE モードでの動作はサポート対象外です。
	帳票出力	Microsoft Office Excel 2016 Microsoft Office Excel 2019
対応機種	64bit OS	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載された x64 アーキテクチャをもつ IBM PC AT 互換機および周辺機器
ディスク容量	150MB 以上	
メモリ容量	4.0GB 以上を推奨	
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。	
グラフィックス	High Color(16 ビット)以上の色数を表現可能なビデオカード	
マニュアル	Adobe Reader 8.0 以上が必要	

2.2.3 スマートフォンクライアント環境

OS	iOS17 以降	
	Web ブラウザ	Safari バージョンは OS に準拠(※) ※iOS(Safari)は、2020 年 10 月 01 日時点での最新バージョンにて稼働検証しています。

2.3 その他環境

2.3.1 Senju Service Automation 連携

対応プロダクトバージョン	Senju Enterprise Navigator 2018.0.0
	Senju Enterprise Navigator 2020.0.0
	Senju Enterprise Navigator 2021.0.0
	Senju Enterprise Navigator 2022.0.0
	Senju Enterprise Navigator 2023.0.0
対応 OS	各対応プロダクトバージョンの稼働環境に準じます。

2.3.2 イベント連携

対応プロダクトバージョン	Senju Enterprise Navigator 2018.0.0
	Senju Enterprise Navigator 2020.0.0
	Senju Enterprise Navigator 2021.0.0
	Senju Enterprise Navigator 2022.0.0
	Senju Enterprise Navigator 2023.0.0
対応 OS	各対応プロダクトバージョンの稼働環境に準じます。

2.3.3 Active Directory 連携

対応プロダクトバージョン	下記の環境で稼働している Active Directory <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Windows Server 2012 Standard Edition ・Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition, Datacenter Edition ・Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition 日本語版 ・Microsoft Windows Server 2019 Datacenter Edition 日本語版 ・Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition 日本語版 ・Microsoft Windows Server 2022 Datacenter Edition 日本語版 ※ スマートカード認証には対応していません。
対応 OS	SSM DB サーバー稼働環境に準じます。 「2.1 サーバー環境」をご参照ください。

2.3.4 OpenLDAP 連携

対応プロダクトバージョン	OpenLDAP 2.4.33
対応 OS	SSM DB サーバー稼働環境に準じます。 「2.1 サーバー環境」をご参照ください。

2.3.5 CTI 連携

対応プロダクトバージョン	日立情報通信エンジニアリング株式会社の下記システムの導入が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ・iCTNET/IX コンタクトセンタシステム ・音声録音システム RecwareIII また下記の前提を満たしている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Senju Service Manager を操作するクライアント端末に、iCTNET/IX クライアントがインストールされていること。 ・ SSM WEB サーバーに RecwareIII 連携モジュールがインストールされてい
--------------	---

	<p>ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iCTNET/IX サーバーに SSM WEB がインストールされていること。 <p>※「iCTNET/IX コンタクトセンタシステム」「音声録音システム RecwareIII」の構成については各製品のマニュアルを参照してください。</p>
対応 OS	本機能を利用する場合の対応 WEB ブラウザについては千手カスタマーサポートセンターまでお問合せください。

2.3.6 Senju Enterprise Navigator ESP 連携

対応プロダクトバージョン	<p>Senju Enterprise Navigator ESP 2018.0.0</p> <p>Senju Enterprise Navigator ESP 2019.0.0</p> <p>※Senju Service Manager のデータベースに PostgreSQL を使用している場合のみサポート対象となります。</p> <p>Senju Enterprise Navigator ESP 2021.0.0</p>
対応 OS	各対応プロダクトバージョンの稼働環境に準じます。

2.3.7 Elasticsearch 連携

対応 OS	<p>Red Hat Enterprise Linux Server 7.X※</p> <p>Red Hat Enterprise Linux Server 8.X※</p> <p>CentOS 7.X※</p> <p>Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition, Datacenter Edition</p> <p>Microsoft Windows Server 2019 Standard Edition, Datacenter Edition</p> <p>Microsoft Windows Server 2022 Standard Edition, Datacenter Edition</p>
対応機種	上記対応 OS のハードウェア互換性リスト(HCL)に記載されたx64 アーキテクチャをもつ PC 及び周辺機器
搭載 CPU	<p>CPU プロセッサ/ コア数 2 以上を推奨</p> <p>※OS が Red Hat Enterprise Linux Server 7.X ,8.X もしくは CentOS7.X の場合に限りします。</p> <p>CPU プロセッサ/ コア数 4 以上を推奨</p> <p>※OS が Microsoft Windows Server の場合に限りします。</p> <p>CPU プロセッサ/ コア数 6 以上を推奨</p> <p>※Senju Service Manager と Elasticsearch サーバーを同一筐体で稼働させる場合に限りします。</p>
ディスク容量	<p>300GB 以上</p> <p>400GB 以上</p> <p>※Senju Service Manager と Elasticsearch サーバーを同一筐体で稼働させる場合に限りします。</p>
メモリ容量	<p>8.0GB 以上 (16.0GB 以上を推奨)</p> <p>12.0GB 以上 (20.0GB 以上を推奨)</p> <p>※Senju Service Manager と Elasticsearch サーバーを同一筐体で稼働させる場合に限りします。</p>
ネットワーク	TCP/IP プロトコルを使用。使用するポート番号については 通信ポート をご覧ください。
対応プロダクトバージョン	<p>Java SE Development Kit 8u221</p> <p>※OS が Red Hat Enterprise Linux Server 7.X ,8.X の場合に限りします。</p> <p>OpenJDK8</p> <p>※OS が CentOS7.X の場合に限りします。</p> <p>Java SE Development Kit 8u131</p> <p>※OS が Microsoft Windows Server の場合に限りします。</p>
連携ソフトウェア(高速検	Elasticsearch 8.11.3

索)	
連携ソフトウェア(形態素解析プラグイン)	Kuromoji 8.11.3
連携ソフトウェア(データ収集)	Logstash 8.11.3
対応データベース	<p>Oracle</p> <ul style="list-style-type: none"> • Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0) • Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0) <p>PostgreSQL</p> <ul style="list-style-type: none"> • PostgreSQL Database 13.X • PostgreSQL Database 14.X • PostgreSQL Database 16.X <p>Amazon RDS for PostgreSQL</p> <ul style="list-style-type: none"> • Amazon RDS for PostgreSQL 16.X※ <p>※OS が Microsoft Windows Server の場合に限ります。</p>

2.3.8 API 連携

対応構成	SSM WEB サーバーと同一筐体での構築に対応しています。
対応 OS	<p>SSM WEB サーバー稼働環境に準じます。「2.1 サーバー環境」をご参照ください。</p> <p>※対象 OS は Microsoft Windows Server 2016、Microsoft Windows Server 2019、Microsoft Windows Server 2022 となります。</p>
対応プロダクトバージョン	<p>WEB サーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> • Apache 2.4.58 <p>Microsoft VC++再頒布可能パッケージ</p> <ul style="list-style-type: none"> • Visual Studio 2015-2019 用 <p>※Windows 版の Apache は Visual Studio でビルドされているためランタイムパッケージである Microsoft VC++再頒布可能パッケージが必要となります。</p> <p>Python</p> <ul style="list-style-type: none"> • Python3.11.3 <p>※WEB アプリケーションは Python で作成されているため Python が必要となります。</p> <p>Python のパッケージ</p> <ul style="list-style-type: none"> • mod-wsgi 4.9.2 • SQLAlchemy 1.3.17 • Flask-SQLAlchemy 2.4.2 • marshmallow 3.6.0 • flask-marshmallow 0.12.0 • marshmallow-sqlalchemy 0.23.0 • Flask-RESTful 0.3.8 • Flask-JWT-Extended 3.24.1 • PyJWT 1.7.1 • aniso8601 9.0.1 • attrs 19.3.0 • certifi 2022.12.7 • cffi 1.15.1 • chardet 3.0.4 • Click 7.0 • cryptography 40.0.1 • Flask 1.1.1 • idna 2.8 • itsdangerous 1.1.0 • Jinja2 2.11.1

	<ul style="list-style-type: none">•jsonschema 3.2.0•MarkupSafe 1.1.1•oracledb 1.3.0•pip 23.0.1•psycopg2 2.9.6•pycparser 2.21•pyrsistent 0.15.7•pytz 2019.3•pywin32 306•requests 2.22.0•six 1.14.0•tzlocal 2.1•urllib3 1.25.11•Werkzeug 1.0.0•wheel 0.40.0 <p>※WEB アプリケーションは上記の Python パッケージの機能を利用するため 上記の Python パッケージが必要となります</p>
対応データベース	<p>Oracle</p> <ul style="list-style-type: none">•Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.3.0.0.0)•Oracle Database 19c Standard Edition 2 (19.14.0.0.0) <p>PostgreSQL</p> <ul style="list-style-type: none">•PostgreSQL Database 11.X•PostgreSQL Database 12.X•PostgreSQL Database 13.X•PostgreSQL Database 14.X <p>Amazon RDS for Oracle</p> <ul style="list-style-type: none">•Amazon RDS for Oracle 19.0.0.0•Amazon RDS for Oracle 19.14.0.0

2.4 通信ポート

Senju Service Manager で使用する通信ポートは、デフォルトの設定では下記となります。

下記の gt および lt は以下の内容を表します。

gt=greater than(より大きい任意ポート)

lt=less than(より小さい任意ポート)

通信内容	ポート
SSM DB サーバー ⇔ OracleDB サーバー	ODBC 設定でデータソースの「TNS サービス名」で指定したローカルネットサービスに設定したポート。
SSM WEB サーバー ⇔ OracleDB サーバー	〃
SSM DB サーバー ⇔ PostgreSQL DB サーバー	ODBC 設定でデータソースの「Port」に設定したポート。
SSM WEB サーバー ⇔ PostgreSQL DB サーバー	〃
SSM WEB サーバー ⇔ Senju Service Manager クライアント	80/tcp※ ⇔ 49152 ~65535 /tcp ※SSM WEB サーバーのポート番号はご使用の環境により変更可能です。
SSM WEB サーバー(メール送信) ⇔ メールサーバー	SMTP をご利用の場合 gt1024/tcp ⇔ 25/tcp SMTPS (SMTP over SSL/TLS)をご利用の場合 gt1024/tcp ⇔ 465/tcp STARTTLS をご利用の場合 gt1024/tcp ⇔ 587/tcp ※一般的には上記のようなポートになりますが、メールサーバーの設定に従ってください。
SSM DB サーバー ⇔ Senju Service Automation 連携	ODBC 設定でデータソースの「TNS サービス名」で指定したローカルネットサービスに設定したポート。
SSM DB サーバー ⇔ Senju Enterprise Navigator(SSM アダプタ)	9445/tcp ⇔ gt1024/tcp
SSM WEB サーバー(Active Directory 認証) ⇔ Active Directory サーバー	gt1024/tcp ⇔ 389/tcp
SSM WEB サーバー(OpenLDAP 認証) ⇔ OpenLDAP サーバー	gt1024/tcp ⇔ 389/tcp
SSM WEB サーバー ⇔ SSM WEB サーバー	gt1024/tcp ⇔ 80 or 443/tcp ※レイアウト定義機能、コピー項目定義機能、Senju/SM 間連携機能を使用する際の設定です。
SSM WEB サーバー ⇔ ESP サーバー	gt1024/tcp ⇔ 80/tcp
SSM WEB サーバー ⇔ ESP マネージャー	gt1024/tcp ⇔ 80/tcp
SSM WEB サーバー ⇔ Elasticsearch サーバー	gt 1024/tcp ⇔ 9200/tcp
OracleDB サーバー ⇔ Elasticsearch サーバー	ODBC 設定でデータソースの「TNS サービス名」で指定したローカルネットサービスに設定したポート。 ⇔ gt 1024/tcp
SSM WEB サーバー ⇔ API サーバー	80 or 443/tcp※⇔gt1024/tcp ※SSM WEB サーバーのポート番号はご使用の環境により変更可能です。
API サーバー	49152/tcp※⇔49152~65535/tcp

⇒Senju Service Manager クライアント	※API サーバーのポート番号はご使用の環境により変更可能です。
Elasticsearch サーバー ⇒Kibana サーバー	9200/tcp⇔5601/tcp
Kibana サーバー ⇒Senju Service Manager クライアント	5601/tcp⇔49152～65535/tcp
OracleDB サーバー ⇒コード変換スクリプトサーバー	ODBC 設定でデータソースの「TNS サービス名」で指定したローカルネットサービスに設定したポート。 ⇔ gt 1024/tcp
コード変換スクリプトサーバー ⇒Elasticsearch サーバー	49152/tcp ⇔ 9200/tcp ※コード変換スクリプトサーバーのポート番号はご使用の環境により変更可能です。

Senju Service Manager へのアクセス用 URL の通信ポートを変更する場合は以下の方法にて行ってください。

■IIS の設定

- ①インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーを起動します。
- ②接続ペイン(左側)で、「[hostname] > サイト > Default Web Site」を選択し、操作ペイン(右側)で「バインド」を選択します。
- ③バインド設定の新規追加の場合、「追加」ボタンをクリックします。
登録済みのバインド設定を変更する場合は、対象のバインド設定を選択し、「編集」ボタンをクリックします。
- ④「サイトバインドの編集」画面で、「ポート」を任意の値に変更して、「OK」ボタンをクリックします。

■ログイン URL の設定

- ①SSM WEB サーバーコンフィグレータを起動します。
- ②左ペインから、「コンフィグレータ > 基本設定 > 制御情報」を選択し、「PC 用ログイン URL」をダブルクリックします。
- ③URL を変更します。

<例>

ホスト名「ssmhost」に、プロトコル「https」、ポート「2443」でアクセスする場合。
https://ssmhost:2443/ccfsp

2.5 特記事項

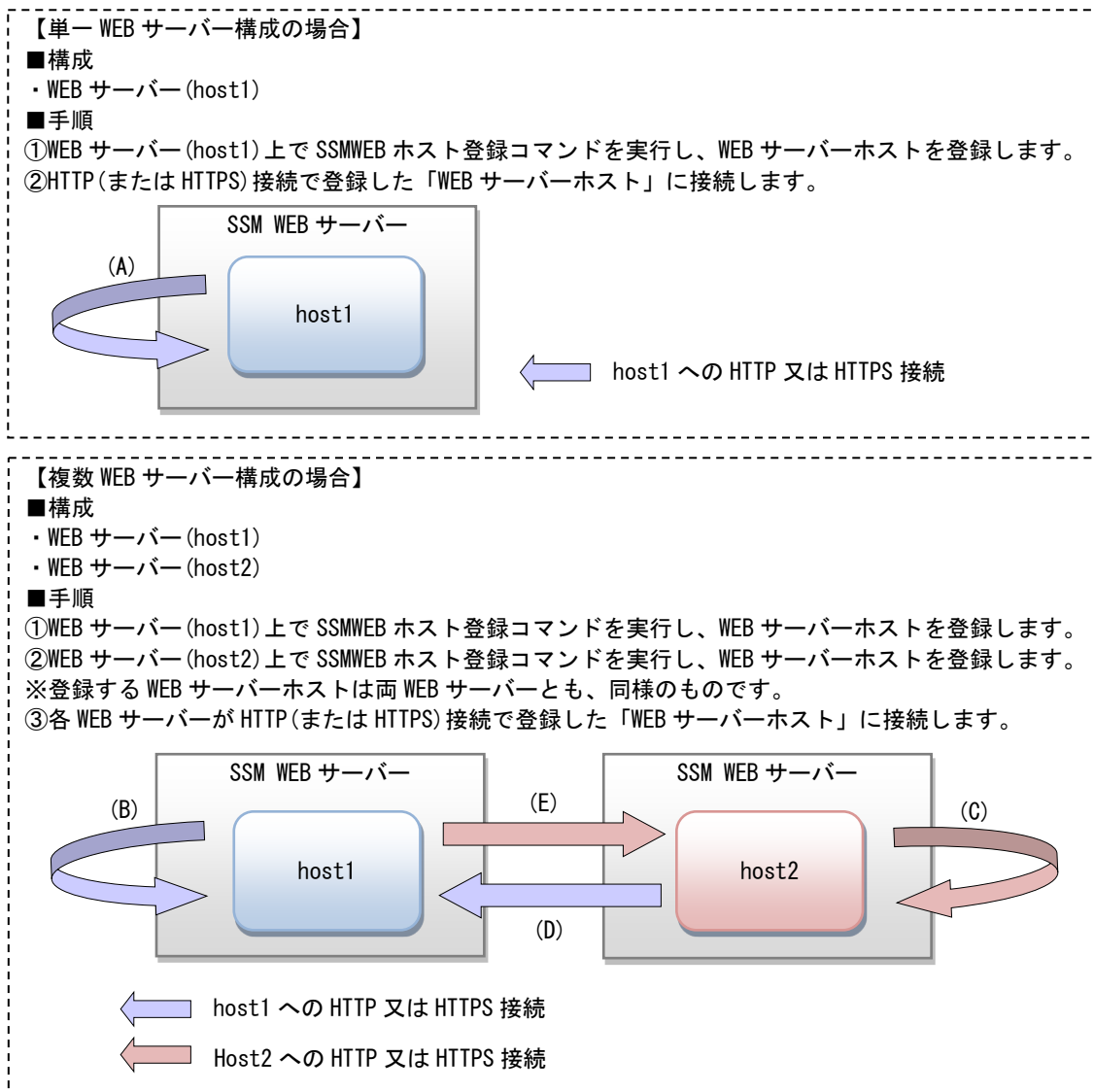
- 1) 他社製品のセキュリティホールや、ウイルスによる被害および対処方法については、弊社では対応致しかねます。ご了承下さい。
- 2) SSMWEB ホスト登録コマンドで登録した「WEB サーバーホスト」に対して WEB サーバー自身が HTTP(または HTTPS)レベルで疎通できる必要があります。(下図(A)の通信経路です。)

また、複数 WEB サーバー構成環境の場合、各 WEB サーバーが「WEB サーバーホスト」に対して HTTP(または HTTPS)レベルで疎通できる必要があります。(下図(B)～(E))の通信経路です。)

※ネットワーク環境(プロキシ、FireWall の設定)によって、通信が阻害される場合があります。ご使用のネットワーク環境を事前にご確認ください。

※HTTPS 通信を行う場合は、証明書作成時に設定されている名称と一致するホスト名を登録する必要があります。

以下の図は、SSMWEB サーバー間の通信イメージを表したものです。



- 3) 画面全般において、レイアウトや入力コントロールの見た目がブラウザにより異なる場合があります。

下記にブラウザ環境により、使用できない機能 または 挙動が異なる機能をまとめましたので、ご確認ください。

※InternetExplorer のみで利用できる機能は、InternetExplorer がサポート対象外のため使用できません。

機能	画面	ブラウザ	内容
帳票出力	タスク一覧 プロセス一覧	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	「帳票選択」ダイアログで「EXCEL」の選択肢が選択できません。
	プロセス詳細	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	帳票出力は使用できません。
	構成管理一覧 構成アイテム管理一覧 FAQ 一覧 SLAM チャート詳細 Senju Family 連携(フレーム・ネット・ジョブ申請一覧) チェックリスト診断 分類一覧 コード一覧 問合せ一覧 職責一覧 ユーザー一覧 承認フロールート一覧 承認フロー一覧 チェックリスト診断設定詳細	iPhone(Safari)	帳票出力は使用できません。
経過一覧表示	経過一覧	Mozilla Firefox	Firefox では、プロセスへの対応経過一覧を正しく表示することができません。 ・縦スクロールバーが表示されません ・縦スクロールを行うことができません ・簡易表示を行うことで縦スクロールが可能となりますが表示が崩れます
一括登録 インポート	構成管理一覧 システム一覧 問合せ元一覧	iPhone(Safari)	CSV による、一括登録、インポート機能は使用できません。
CTI 連携機能	全般	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	CTI 連携機能全般は使用できません。
	録音ファイル再生機能	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	「Internet Explorer 以外のブラウザでは再生できません」のメッセージが表示されます。

機能	画面	ブラウザ	内容
SLAM チャート	SLAM チャート	Edge	SLAM チャートを表示した際、文字化けします。 ※Edge を最新バージョンにアップグレードしても問題が解消しない可能性がありますので、別のブラウザを使用していただけますようお願いいたします。
チェックリスト診断	チェックリスト診断	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	インポート機能は使用できません。
アクセス URL による直接プロセス詳細参照	プロセス詳細	Google Chrome	アクセス URL でプロセス詳細を直接参照した場合、開かれたプロセス詳細はログアウトの処理によって閉じられません。手動にて画面を閉じてください。 アクセス URL から直接プロセス詳細を参照した際に該当のインシデントが存在しない場合、警告メッセージの表示後に無題の画面が残る場合があります。手動にて画面を閉じてください。
	プロセス詳細	Mozilla Firefox	条件:コンフィグ設定にて、ウィンドウのクローズ許可設定を行っていない場合 アクセス URL でプロセス詳細を直接参照した場合、開かれた空白タブ(ウィンドウ)は自動では閉じられません。手動で閉じてください。 コンフィグ設定にてウィンドウのクローズ許可設定を行う方法は以下の通りです。 1.ブラウザを開き上部 URL に「about:config」を入力し Enter キーを押します。 「動作保障対象外になります！」画面が表示されます。 2.「最新の注意を払って使用する」ボタンをクリックします。 コンフィグの設定画面が表示されます。 3.上部、検索窓に、「dom.allow_scripts_to_close_window」を入力し、Enter キーを押します。 4.設定値 「dom.allow_scripts_to_close_window」の項目を、ダブルクリックし、値の列が「True」になるように設定します。
	プロセス詳細	iPhone(Safari)	プロセス詳細のタブは開かれますが、自動でプロセス詳細のタブに表示が移動しません。 手動でプロセス詳細のタブに移動してください。 ※プロセス詳細のタブが開かれた後も、タブはブランクページのタブに留まったままです。

機能	画面	ブラウザ	内容
		Firefox	<p>SM に未ログイン状態でアクセス URL リンクをクリックした場合、ログイン画面からログイン後に詳細画面が開きます。</p> <p>このとき開いた詳細画面は SM の親画面を閉じた時に同時に閉じられますが、Firefox はブラウザの仕様で閉じることができません。</p> <p>※閉じられなかった詳細画面は、SM 親画面を閉じたことによるログアウト処理により、その後の操作を行うことはできません。再度ログインを行ってください。</p> <p>この事象は以下の制御情報設定のとき発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御情報「ログイン状態維持設定」: ログイン状態を維持する ・制御情報「セッション維持機能利用時のログアウト制御設定」: ログアウト制御を行う
	プロセス詳細	Edge Google Chrome Mozilla Firefox	<p>SAML 認証利用時に SM にログイン済の場合でかつ、ログインから一定の時間が経過している場合、アクセス URL リンクをクリックした際にプロセス詳細画面が開かない事がございます。</p> <p>この事象が発生した場合は、再度アクセス URL をクリックしてください。</p>
	プロセス詳細	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	<p>SAML 認証利用時に、アクセス URL リンクからプロセス詳細画面を開いた場合、「詳細画面の表示後もこの画面が残っている場合は、手動でこの画面を閉じてください」の画面が表示されます。表示された画面は手動で閉じるようにしてください。</p>
時刻選択	時刻選択ダイアログ	iPhone(Safari)	時刻選択ダイアログを使用しての時刻入力できません。
ユーザー設定	デフォルト設定	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	「IME モードの切り替え制御」項目は使用できません。

機能	画面	ブラウザ	内容
右クリックメニュー		iPhone(Safari)	<p>iPhone(Safari)は右メニューがないため、右クリック時に表示される以下のメニューは使用できません。</p> <p>【対象メニュー】</p> <p>○ユーザー名リンクの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーの詳細情報を表示 ・伝言メモを送信 <p>○プロセス名リンクの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細情報を表示 ・経過一覧を表示 <p>○システム名リンクの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムの詳細情報を表示 ・システムのスケジュールを表示 <p>○ナレッジ名リンクの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細情報を表示 <p>○関連構成アイテム、関連アカウントリンクの場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細情報を表示 ・スケジュールを表示
ドラッグ操作		iPhone(Safari)	<p>iPhone(Safari)ではドラッグ操作機能を使用できません。</p>
リッチテキスト項目設定	プロセス詳細 プロセス詳細(経過)	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	<p>URL やファイルサーバーのパスを入力します。 参照表示の場合は入力した URL やパスへのリンクとなります。 IE 以外のブラウザでは、ブラウザの仕様によりリンク機能が正しく動作しない場合があります。</p> <p>ペイントなどの画像を範囲選択・コピーし、貼り付けます。 画像が挿入されます。 IE 以外のブラウザでは、ブラウザの仕様により範囲選択した画像の挿入ができません。</p> <p>Office 製品や Web ページなどタグ構造を持ったコンテンツをコピーし、貼り付けます。 スタイルを保持した状態で画像が挿入されます。 IE 以外のブラウザでは、ブラウザの仕様により表の背景色や枠線のスタイルなどの情報が欠損します。</p>

機能	画面	ブラウザ	内容
リッチテキスト項目の入力チェック設定		Edge Google Chrome	リッチテキスト項目の入力チェック設定が「チェックする」となっている場合、以下の条件にあてはまると、画面操作のみでも入力エラーとなる可能性があります。 ・ブラウザのバージョンアップにより仕様が変更された場合 ・他アプリケーションから HTML テキストを貼り付けた場合 ・新規登録時と異なるブラウザで編集した場合（またはそれを繰り返した場合） ・Google Chrome もしくは Microsoft Edge (Chromium 版)にて、同じ文字列に対して装飾の変更や解除を繰り返した場合 入力エラーが発生した場合は、入力されている文字列をクリアして一度保存した上で、最初から入力をやりなおしてください。
リッチテキスト項目への Excel 表のコピー貼り付け	プロセス詳細 プロセス詳細(経過)	Chrome, Edge	表の背景色・枠線のスタイルが失われた状態で貼り付けが行われます。
		Firefox iPhone(Safari)	Excel 表の貼り付けはサポート対象外です。
参考 URL 項目設定	プロセス詳細 プロセス詳細(経過)	Edge Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	URL やファイルサーバーのパスを入力します。 参照表示の場合は入力した URL やパスへのリンクとなります。 IE 以外のブラウザでは、ブラウザの仕様によりリンク機能が正しく動作しない場合があります。
項目説明表示		iPhone(Safari)	以下の項目説明エリアは表示されません。 ・ラジオボタン 1 ～ 2 ・チェックボックス 1 ～ 3
ファイルのダウンロード		Edge	バージョンにより、ダウンロードが行えない場合があります。 また、ファイルのダウンロード画面で「開く」をクリックした際、ファイルが開かないことがあります。 ※Edge を最新バージョンにアップグレードしても問題が解消しない可能性がありますので、別のブラウザを使用していただけますようお願いいたします。

機能	画面	ブラウザ	内容
問合せ元 ID の IME 制御	プロセス新規登録 問合せ・申請新規登 録	Internet Explorer	<p>下記設定はご使用のクライアントが Internet Explorer の場合のみ、使用可能となります。</p> <p>「問合せ元 ID」及び「問合せ元 2ID」項目は以下の設定を行うことにより、IME 入力モードの ON/OFF を切り替えることができます。</p> <p>・[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 利用者メニュー > プロセス管理] <管理項目名></p> <p>・問合せ元 ID の IME 制御設定 ・問合せ元 2ID の IME 制御設定</p> <p>本設定は以下の設定で設定値が「制御する」になっているまたは未設定となっている場合に限り制御されます。</p> <p>・[利用者メニュー > ホーム > ユーザー設定 > デフォルト設定] <管理項目名></p> <p>・IME モードの切り替え制御</p>
Web 画面の IME 制御		Internet Explorer	<p>以下のクライアント環境で Web 画面を操作した場合、IME 制御が正しく行われず入力欄にフォーカスした時、IME の初期状態が全角かなの項目で、初期状態が半角カナとなる可能性があります。</p> <p>[環境]</p> <p>・OS Windows 7 ・ブラウザ Internet Explorer 11 ※ネイティブモード ・IME Microsoft Office IME2010</p> <p>※この場合、Internet Explorer を互換モードで動作させるか、既定の IME を「Microsoft Office IME」ではなく、OS 標準の「Microsoft IME」にすることで事象を回避できます。</p>
添付ファイル 登録	プロセス詳細	Google Chrome Mozilla Firefox	<p>添付ファイル等、画面上スクロールバーが表示される項目の高さを小さくした場合、Chrome で画面を表示すると一部項目の選択・表示が不可となる場合があります。項目の高さにより項目の内容が不鮮明になる際は、項目の高さの設定を高くしていただければ解消される可能性があります。</p> <p>※同様の現象が FireFox においても発生することが確認されています。なお、FireFox の現象も上記対応策にて解消される可能性があります。</p>

機能	画面	ブラウザ	内容
マウスのオートスクロール機能		Google Chrome	<p>マウスのオートスクロール機能(マウスホイールクリックで開始)で画面を動かした際、デフォルトのスクロール位置に戻す事ができなくなるため、画面上のオブジェクトをクリックできなくなります。Google Chrome を使用した場合もマウスのオートスクロール機能は有効です。但し、オートスクロールが有効になる箇所は、スクロールバーが表示されている部分(例えば、プロセス一覧の検索条件から結果一覧の部分)のみとなります。</p> <p>スクロールバーが表示されていない箇所(例えば、メイン画面のメニュー表示より上の部分)においてはスクロールできないため、画面のサイズを上げていただく必要があります。</p> <p>また、スクロールバーが存在しない箇所でもオートスクロール機能開始の表示になる場合がありますが、この際オートスクロール機能を解除できなくなる場合があります。</p>
詳細レイアウト(ブロック)	詳細レイアウト(ブロック)	Edge	<p>Microsoft Edge でレイアウト定義を使用した場合、表示必須項目を未配置ブロックに移動する等、ドロップ時に配置エラーとなった際に表示されるアラートで、OK ボタンがクリックできないことがあります。</p> <p>このような場合は Enter キー又は Esc キーを押すと、アラートを閉じることができます。</p>
ログアウト		Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	<p>ログアウトが完了した際にログイン画面以外に遷移したい場合は、以下の設定の値を「ブラウザを終了する」または「ログアウト完了画面に遷移する」に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[管理者メニュー > 制御情報 > 制御情報 > 共通 > 共通] ・管理項目名 > ・ログアウト時の動作設定 <p>※ご使用のクライアントが以下の場合、ログアウト時の動作設定で「ブラウザを終了する」に設定しても WEB ブラウザを終了できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Chrome ・Firefox ・Safari
ログアウト		Google Chrome Mozilla Firefox iPhone(Safari)	<p>ご使用のクライアントが以下の場合、ブラウザの「×」マークを押下して閉じた際に、自動ログアウトされない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Google Chrome ・Firefox ・Safari

機能	画面	ブラウザ	内容
ログアウト		Chrome、Edge、Firefox	<p>SM にログインしてから一定時間画面操作を行わなかった場合に、ブラウザの「×」ボタンを押下してもログアウト処理が行われない場合があります。この状態でアクセス URL をクリックした場合、SM 親画面が表示されません。事象が発生した場合は、「×」ボタンで画面を閉じた後、再ログインし直してください。</p> <p>再ログイン時に強制ログアウトのメッセージが表示されますが、「OK」を選択してログイン処理へ進んでください。</p> <p>制御情報が以下の設定の時、発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制御情報「ログイン状態維持設定」: ログイン状態を維持する ・制御情報「セッション維持機能利用時のログアウト制御設定」: ログアウト制御を行う
その他	自動送信メール設定編集	Mozilla Firefox	「タイトル」や「本文」等にフォーカスが当たった際に、文字入力位置のカーソルが自動的に最後尾に移動する機能は動作しません。
	全般	iPhone(Safari)	リンク上にマウスカーソルを置いた場合、マウスポインタは「手」ポインタになりません。
	全般	Google Chrome	テキスト項目やテキストエリア項目にフォーカスが当たった時、IME の自動制御(自動的に日本語入力になるなど)は行われません。
	全般	iPhone(Safari)	添付ファイルに関する操作(ダウンロード、開く)は行えません。画像ファイルのアップロードと、すでに添付されているファイルの削除は行えます。
	全般	iPhone(Safari)	ポイント(マウスカーソルを当てた状態)が存在しないため、アイコンのツールチップは表示できません。

4) 以下の画面につきましては iPhone(Safari)においてご利用いただくことができません。

- ・サービスレベル > プロセス分析
- ・制御情報 > 制御情報
- ・画面 > レイアウト定義 > サービスデスク画面レイアウト
- ・画面 > レイアウト定義 > 簡易画面レイアウト
- ・画面 > コピー項目定義 > 関連登録コピー定義
- ・画面 > コピー項目定義 > コピー登録定義
- ・画面 > ラベル
- ・ユーザー > 権限 > メンテナンス権限(共通)
- ・ユーザー > 権限 > メンテナンス権限(システム別)

- 機能別 > 帳票
 - 機能別 > チェックリスト > チェックリスト設定
 - Senju/SM コマンド実行
- 5) 制御情報:ログイン状態維持機能「維持しない」に設定している場合には、SM の親画面を「×」ボタンで閉じるかまたはログアウトボタンよりログアウトを行うことにより、そのとき開かれている詳細画面は同時に閉じられますが、ブラウザの仕様により閉じられない場合がございます。閉じられなかった詳細画面は、その後、操作を行うと接続エラーになり操作を続けることはできません。
- 事象発生ブラウザ
- Edge
 - Google Chrome
 - Mozilla Firefox

3 制限事項

3.1 Senju Service Managerシステム

- 1) 使用可能な漢字コードは、第一水準および第二水準、および Windows-31J (MS932) で表示可能なそれ以外の漢字です。
- 2) サポート対象の文字コードは shift-jis 形式です。
- 3) ウイルス対策製品をインストールした場合、パフォーマンスの影響や動作不調を避けるために、アプリケーションやミドルウェアのフォルダやファイルをリアルタイム検索から除外していただく必要があります。詳細については、資料集「1.1.1 Senju Service Manager システム」(9)の表を参照してください

3.2 Amazon RDS for Oracle Databaseのご利用における制限

- 1) 下記機能は対応しておりません。
 - ・ Senju/SM 間連携
 - ・ CTI 連携

その他の制限事項については、資料集「1.1 制限事項」を参照してください。

3.3 Amazon RDS for Postgres Databaseのご利用における制限

- 1) 下記機能は対応しておりません。
 - ・ Senju/SM 間連携
 - ・ CTI 連携

その他の制限事項については、資料集「1.1 制限事項」を参照してください。

4 注意事項

4.1 SSM DBサーバー/SSM WEBサーバー

- 1) ホスト名を変更する場合は、次の対応を行って下さい。
 - ・ ホスト名変更に伴うOracleの設定変更が必要です。ホスト名変更に伴う設定変更の詳細につきましては、オラクル社にお問合せ下さい。
 - ・ Senju Service Managerのライセンスキーの変更が必要です。販売元にお問合せ下さい。
- 2) IPアドレスを変更する場合は、次の対応を行って下さい。
 - ・ IPアドレス変更に伴うOracleの設定変更が必要です。IPアドレス変更に伴う設定変更の詳細につきましては、オラクル社にお問合せ下さい。